



エイズ発症予防に資するための血液製剤による HIV感染者の調査研究

令和3年度 報告書

調査研究班長 白阪 琢磨

独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター

研究班の構成

班長	白 阪 琢 磨	国立大阪医療センター
班員	天 野 景 裕	東京医科大学
	大 金 美 和	国立国際医療研究センター
	岡 慎 一	国立国際医療研究センター
	岡 本 学	国立大阪医療センター
	潟 永 博 之	国立国際医療研究センター
	川 戸 美由紀	藤田医科大学
	橋 本 修 二	藤田医科大学
	日 笠 聡	兵庫医科大学
	三重野 牧 子	自治医科大学
	八 橋 弘	国立長崎医療センター

目 次

はじめに

第Ⅰ部 目的、結果の概要

第1章 目的	1
第2章 結果の概要	2
1. 健康状態の現状と推移	2
2. 生活状況の現状と推移	10

第Ⅱ部 集計方法、結果表

第3章 集計方法	15
1. 集計の対象者	15
2. 集計の基礎資料	15
3. データの取り扱い	15
4. 結果表の作成方法	16
5. 集計結果を見る上での注意	17
第4章 結果表	22
1. 健康状態の現状	22
2. 生活状況の現状	40
3. 健康状態の推移	63
4. 生活状況の推移	90

第Ⅲ部 エイズ発症者調査

第5章 目的、結果の概要	93
第6章 集計方法	94
第7章 結果表	95
1. 健康状態の現状	95
2. 生活状況の現状	112
3. 健康状態の推移	133
4. 生活状況の推移	139

第Ⅳ部 資料

1. 健康状態報告書	141
2. 生活状況報告書	145
3. 健康状態報告書（エイズ発症者調査）	153
4. 生活状況報告書（エイズ発症者調査）	157

は じ め に

最近、抗HIV治療は飛躍的に進歩しつつある。有効性と安全性の高い薬剤が次々と開発され、CD4値やHIV-RNA量を良好な水準に維持・管理できるようになった。用法と用量の改善によって、1日1回の服用をはじめ、患者の負担軽減を図ることが可能となった。また、HIV-RNA量の持続的な抑制が他人へのHIV感染を防止することも分かってきた。さらに、これらの進歩は抗HIV治療のガイドラインに迅速に反映され、広く患者の治療に適切に取り入れられている。このように、HIV感染症は、いまや「管理可能な慢性疾患」となっているが、一方で、抗HIV治療が長期に渡ることによって、従来とは別の課題が表面化してきている。以前にもまして、健康状態（治療を含む）の的確な把握が必要であり、また、長期療養に関する今後の対応方策を検討する上で、生活状況の把握が基礎となる。さらに、エイズ発症予防に資するための調査研究として、エイズ未発症のHIV感染者とともに、エイズ発症者の状況の把握がより重要性が大きくなってきている。

わが国では、HIVの混入した非加熱血液凝固因子製剤の投与によって、1,434人がHIVに感染したと報告されている（厚生省HIV感染者発症予防・治療に関する研究班 平成10年度研究報告書）。血液製剤によるHIV感染者を対象として、平成5年度から「エイズ発症予防に資するための血液製剤によるHIV感染者の調査研究事業」が開始された。本事業に基づいて、HIV感染者の発症予防に資するための、日常健康管理および治療に関する調査研究が実施され、その成果として、毎年度、研究報告書が刊行されている。

本研究報告書は令和2年度までの本事業で集積された情報に基づき、エイズ未発症のHIV感染者における健康状態と生活状況の現状と推移を「第Ⅰ部 目的、結果の概要」と「第Ⅱ部 集計方法、結果表」に示している。「第Ⅲ部 エイズ発症者調査」は令和2年度までの「エイズ発症者調査」によるもので、エイズ発症者における健康状態と生活状況の現状と推移を示している。また、「第Ⅳ部 資料」には本事業の報告書を資料として添付した。

HIV感染者・エイズ発症者やその家族、医師や医療関係者、行政やNGO等の関係者、研究者などの今後の活動において、本研究報告書が参考になれば幸いである。

本調査研究にご協力頂いた皆様に対して、深甚の謝意を表します。本調査研究は「エイズ発症予防に資するための血液製剤によるHIV感染者の調査研究事業」により独立行政法人医薬品医療機器総合機構に提出された報告をもとに公益財団法人友愛福祉財団の委託事業として行ったものである。

第Ⅰ部 目的、結果の概要

第1章 目 的

第2章 結果の概要

1. 健康状態の現状と推移
2. 生活状況の現状と推移

第1章 目 的

抗HIV治療はその有効性と安全性が大きく進展し、また、用法・用量などの面でも改善が図られている。一方、治療が長期に渡ることによって、HIV感染者のQOL維持・向上において、健康状態（治療を含む）と生活状況の現状やその変化の詳細を把握することが一層重要となっている。

「エイズ発症予防に資するための血液製剤によるHIV感染者の調査研究事業」（以下、本事業）は、血液製剤によるHIV感染者から健康状態および日常生活に関する情報を得ることにより、感染者の発症予防に資するための、日常健康管理および治療に関する調査研究を行うものである。

本事業は平成5年度から開始され、その対象者は血液製剤によるHIV感染者（二次・三次感染者を含む）であって、本事業に申請され、本事業の対象と認められた者である。

研究目的は、血液製剤によるHIV感染者において、健康状態（治療を含む）と生活状況の現状と推移を明らかにすることにある。健康状態（治療を含む）としては、CD4値、HIV-RNA量、肝炎の状況、抗HIV薬とその副作用の状況などである。生活状況としては、住居、就業、悩みやストレスなどである。

第2章 結果の概要

令和2年度事業対象者は483人であった。2年度の開始者は3人、エイズ発症・死亡などに伴う中止者は6人であった。平成5～令和2年度では、事業対象者の実人数は952人であり、エイズ発症・死亡などに伴う中止者が475人であった。

本章は研究結果の中から主要な部分を抜き出してまとめたものである。その内容から「1. 健康状態の現状と推移」と「2. 生活状況の現状と推移」の節に分かれている。なお、集計方法は「第3章 集計方法」、詳細な結果は「第4章 結果表」に示されている。

1. 健康状態の現状と推移

まず、健康状態の現状として、令和2年度事業対象者483人において、CD4値、HIV-RNA量、肝炎の状況、抗HIV薬の併用の状況を観察した。データは同年度の最新のものをを用いた。[図2-1-1～2](#)にCD4値とHIV-RNA量の分布を示す（[表4-1-2](#)を参照、平成30・令和元年度の結果を付記）。CD4値は200/μl未満が6%、200～350未満が16%、350～500未満が29%、500以上が50%であった。HIV-RNA量は検出せずが71%と50未満が26%であり、10,000以上は0.2%であった。平成30・令和元年度と同様に、CD4値は350以上の割合が高く（79%）、HIV-RNA量は検出せずと50未満の割合が100%に近い結果（97%）であった。

[図2-1-3](#)に肝炎の状況を示す（[表4-1-12](#)を参照、平成30・令和元年度の結果を付記）。肝がんが4%、肝硬変が11%、慢性肝炎が47%、いずれもなしが38%であり、平成30・令和元年度の結果と比べて、大きな変化がなかった。HCV抗体陽性とC型肝炎治療歴ありの割合がきわめて高く、一方、HCV-RNAはほとんどが検出せずであった。

[図2-1-4](#)に抗HIV薬の併用区分を示す（[表4-1-6](#)を参照、平成30・令和元年度の結果を付記）。抗HIV薬の併用区分としては、「NRTI2剤+INSTI」（核酸系逆転写酵素阻害剤2剤+インテグラーゼ阻害薬）が65%、「その他（INSTI含む）」（「NRTI2剤+INSTI」以外でインテグラーゼ阻害薬を含む組み合わせ）が19%と大きかった。「NRTI2剤+PI1・2剤」（NRTI2剤+プロテアーゼ阻害剤1剤または2剤）が4%、「NRTI2剤+NNRTI」（NRTI2剤+非核酸系逆転写酵素阻害剤1剤）が8%、それ以外の投与状況が2%であった。投与なしは過去の投与歴なしが2%、過去の投与歴ありが1%であった。平成30・令和元年度の結果と比べて、「NRTI2剤+INSTI」と「その他（INSTI含む）」の割合がさらに高い傾向（合計で84%）であった。

[図2-1-5](#)に抗HIV薬の併用の主な組み合わせを示す（[表4-1-9](#)を参照）。薬剤の8つの組み合わせが10人以上に投与され、投与者全体の71%を占めていた。「NRTI2剤+INSTI」が6つ、「NRTI2剤+NNRTI」が1つ（TAF+FTC+RPV）と「その他（INSTI含む）」が1つ（RPV+DTG）であった。その中で、50人以上は4つの「NRTI2剤+INSTI」の組み合わせ（3TC+ABC+DTG、TAF+FTC+RAL、TAF+FTC+DTG、TAF+FTC+BIC）であった。

次に、健康状態の推移として、平成9年度第1期当初の事業対象者605人において、エイズ発症・死亡、および、CD4値、HIV-RNA量、抗HIV薬の併用区分の推移を観察した。図2-1-6にエイズ発症・死亡の状況を示す。エイズ発症よりも死亡が多く、平成9～令和2年度でエイズ発症が68人と死亡が179人、合計247人であった。エイズ発症と死亡の合計人数をみると、年間平均が9～22年度の13.2人に対し、23～令和2年度で6.2人と減少傾向であった。

図2-1-7にCD4値が350/μl以上の割合を示す（表4-3-1を参照）。CD4値が350/μl以上の割合は、エイズ未発症の生存者では、9～13年度まで上昇し、その後ほぼ横ばいが続いたが、20年度頃から上昇傾向となった。エイズ発症・死亡者を最悪値とみて観察対象に含めると、14～17年度に低下傾向、その後、若干の上昇またはほぼ横ばいの傾向であった。

図2-1-8にHIV-RNA量が400未満の割合を示す（表4-3-2を参照）。HIV-RNA量が400未満の割合は、エイズ未発症の生存者では、9年度第1期から急激に上昇し、その後も上昇傾向を継続し、令和2年度でほぼ100%であった。

図2-1-9に抗HIV薬の併用区分の推移を示す（表4-3-3を参照）。「NRTI2剤+PI1・2剤」の割合は11年度まで急激に上昇し、その後に低下と上昇を経て、最近、低下傾向であった。「NRTI2剤+NNRTI」の割合は15年度まで急激に上昇したが、その後にほぼ横ばいが続き、最近はやや低下傾向であった。20年度から「NRTI2剤+INSTI」の急激な増加が開始した。令和2年度には、投与者全体の中で、「NRTI2剤+INSTI」が66%程度、「NRTI2剤+INSTI」と「その他（INSTI含む）」の合計が88%程度であった。

平成19年度第1期当初の事業対象者602人において、HIV-RNA量、および、エイズ発症・死亡の推移をより詳しく観察した。図2-1-10にエイズ未発症の生存者におけるHIV-RNA量別の割合を示す（表4-3-6を参照）。HIV-RNA量を検出せずと50未満の割合は24年度以降に上昇傾向を示し、令和2年度で97%程度となった。図2-1-11に観察当初（19年度第1期）のCD4値別、エイズ発症・死亡の推移を示す（表4-3-15を参照）。観察当初のCD4値が500以上と350～500未満において、14年後（令和2年度末）の非発症生存割合はそれぞれ88%と83%であった。

以上、最近、HIV-RNA量は適切に管理された者がほとんどであり、CD4値は良好な状態にある者が多く、また、エイズ発症・死亡はかなり減少傾向であった。一方、肝がんや肝硬変が一部の者に見られ、慢性肝炎の者が多かった。抗HIV薬の併用区分は「NRTI2剤+PI1・2剤」と「NRTI2剤+NNRTI」から「NRTI2剤+INSTI」へ移行し、「NRTI2剤+INSTI」のいくつかの組み合わせに集中していた。最新の知見に基づく適切な治療がさらに推進されるとともに、エイズ発症・死亡の防止、HIV-RNA量の管理の徹底とCD4値の一層の改善を望みたい。

図2-1-1. CD4値の分布（平成30～令和2年度事業対象者）

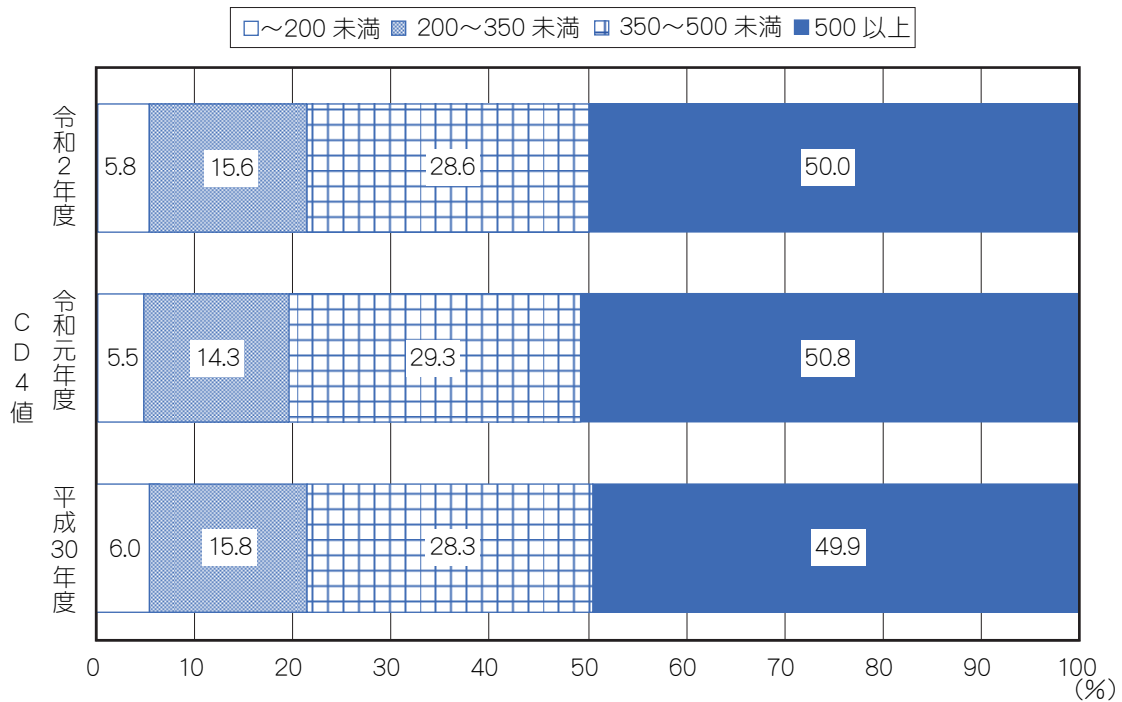


図2-1-2. HIV-RNA量の分布（平成30～令和2年度事業対象者）

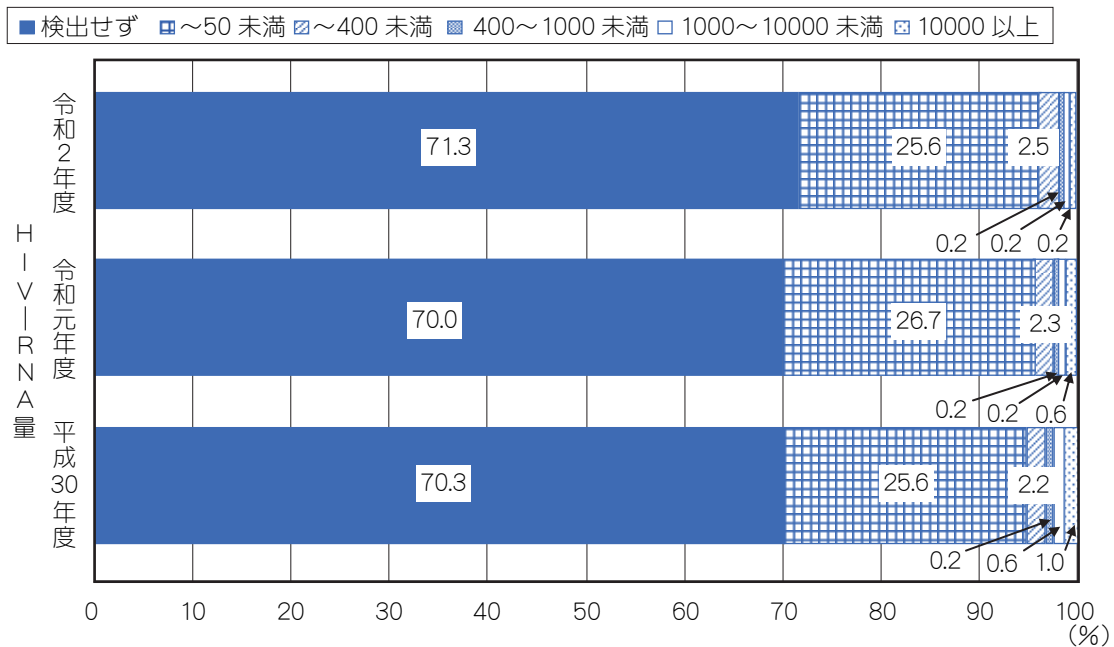


図2-1-3. 肝炎の状況（平成30～令和2年度事業対象者）

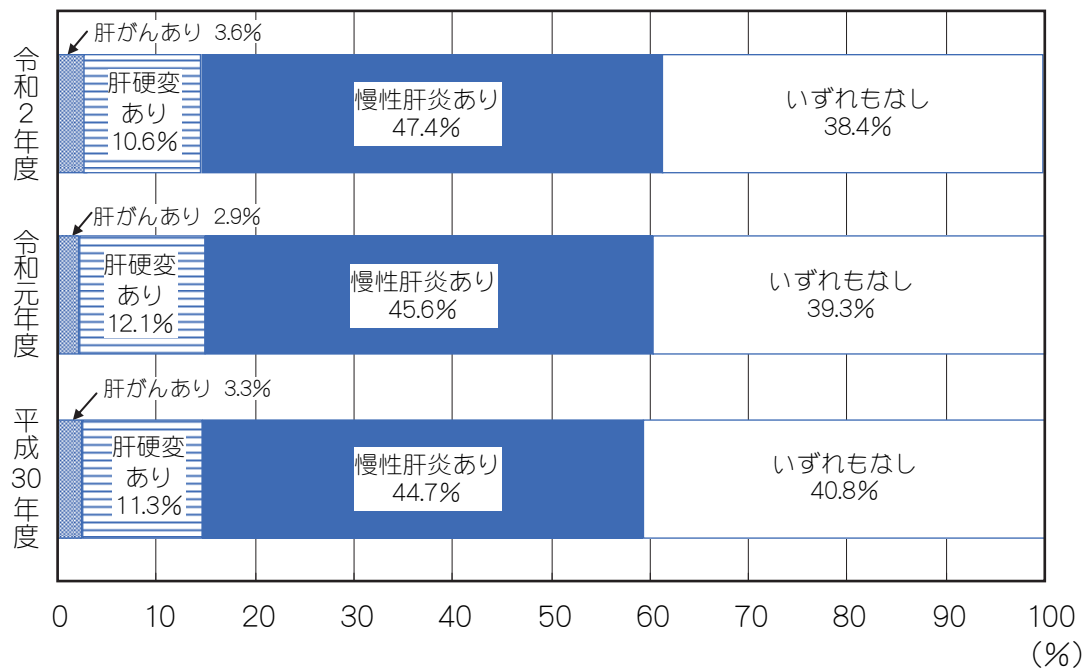


図2-1-4. 抗HIV薬の併用区分（平成30～令和2年度事業対象者）

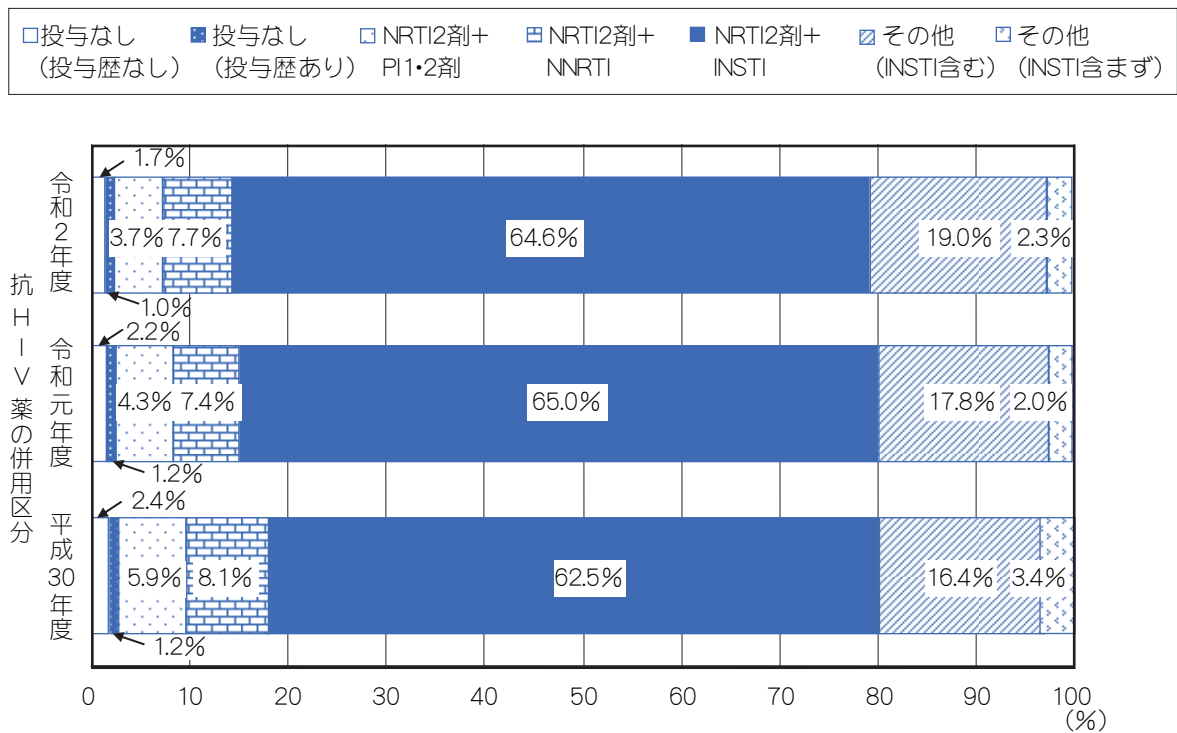
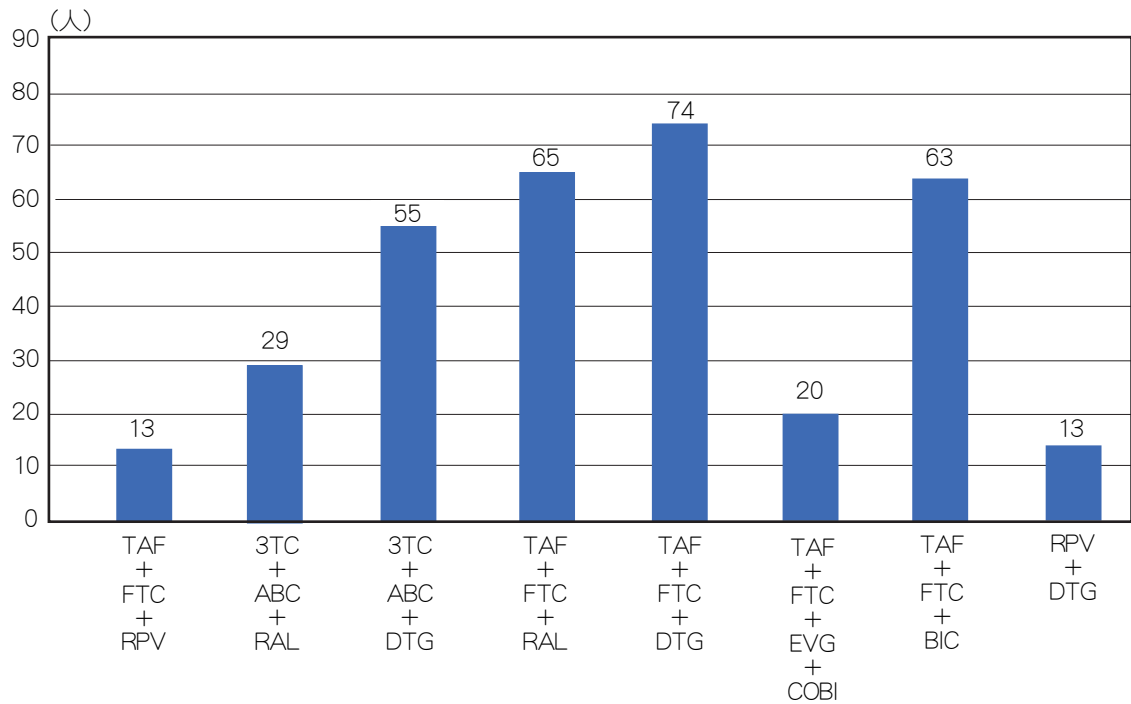


図2-1-5. 抗HIV薬の併用の主な組み合わせ（令和2年度事業対象者）



各組合せにおける合剤服用状況

デシコビ 服用 1 例	エプジコム 服用 23 例	エプジコム 服用 8 例	デシコビ 服用 65 例	デシコビ 服用 74 例	ゲンボイヤ 服用 20 例	ピクトルビ 服用 63 例	ジャルカ 服用 11 例
オデフシ 服用 12 例		トリーメク 服用 45 例					

* 10例以上の組み合わせ

図2-1-6. エイズ発症・死亡の状況（平成9年度第1期事業対象者）

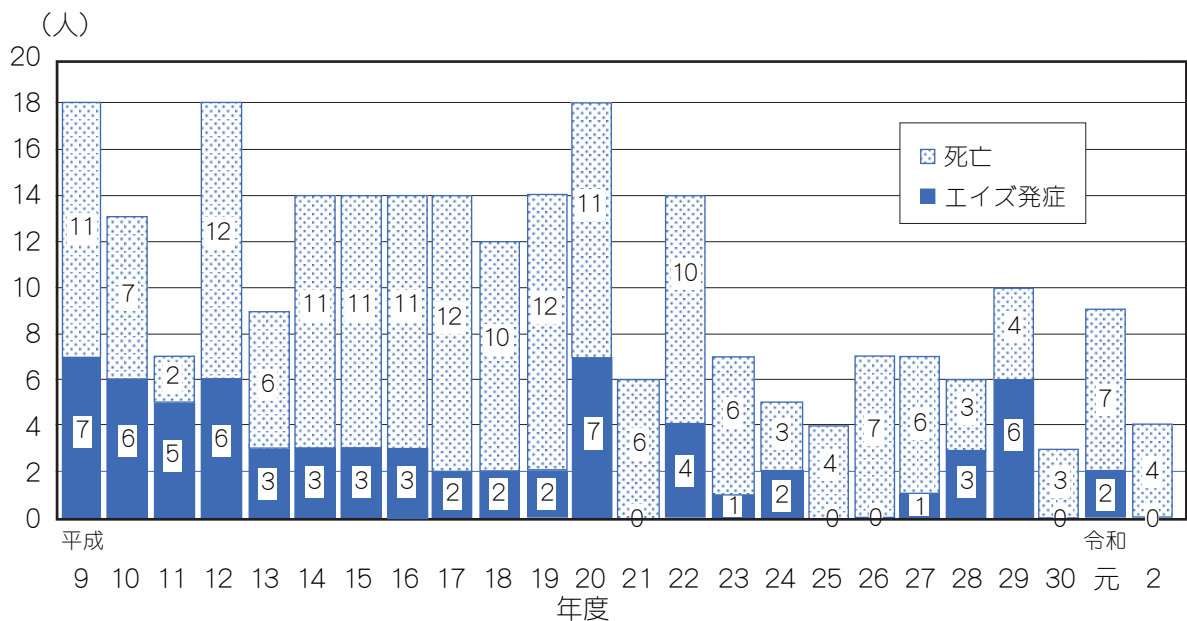


図2-1-7. CD4値の推移（平成9年度第1期事業対象者）

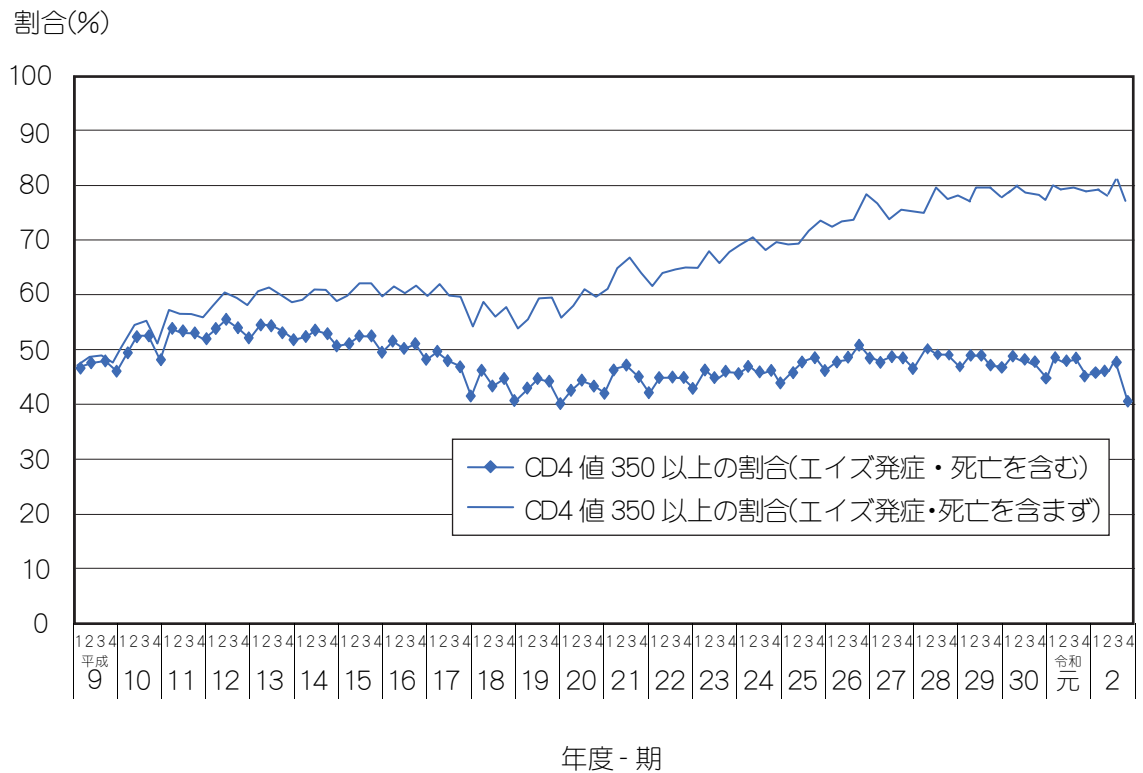


図2-1-8. HIV-RNA量の推移（平成9年度第1期事業対象者）

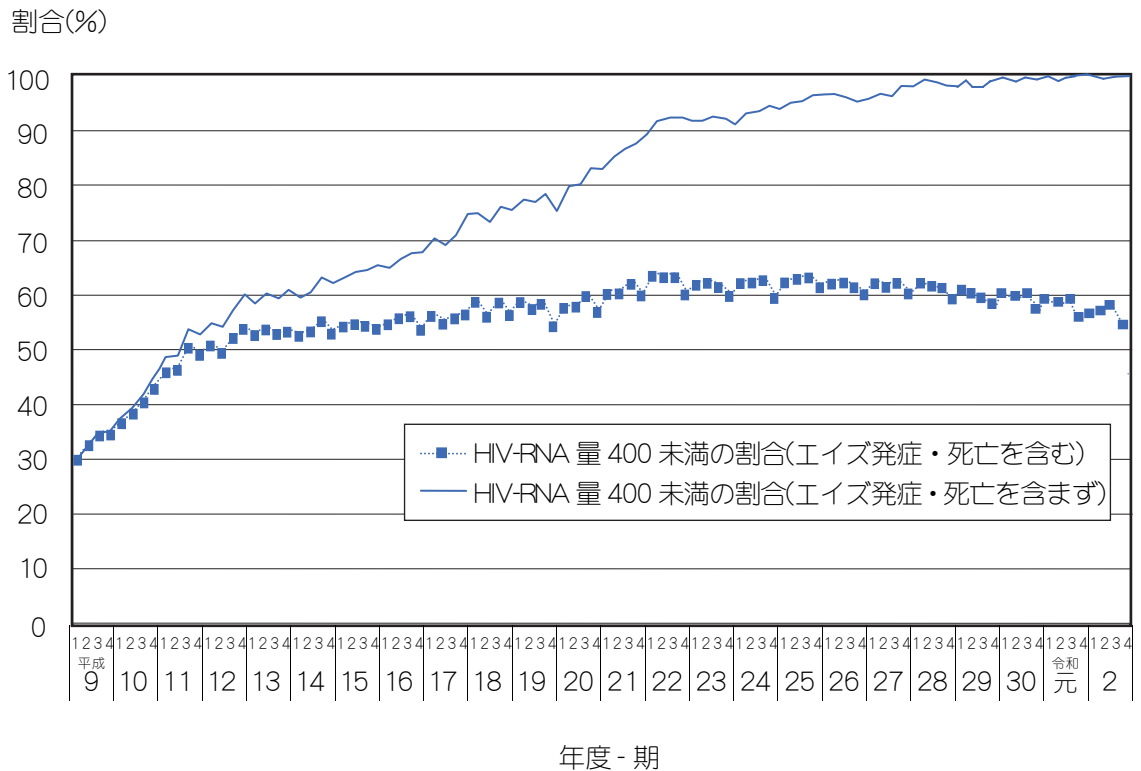


図2-1-9. 抗HIV薬の併用区分の推移（平成9年度第1期事業対象者）

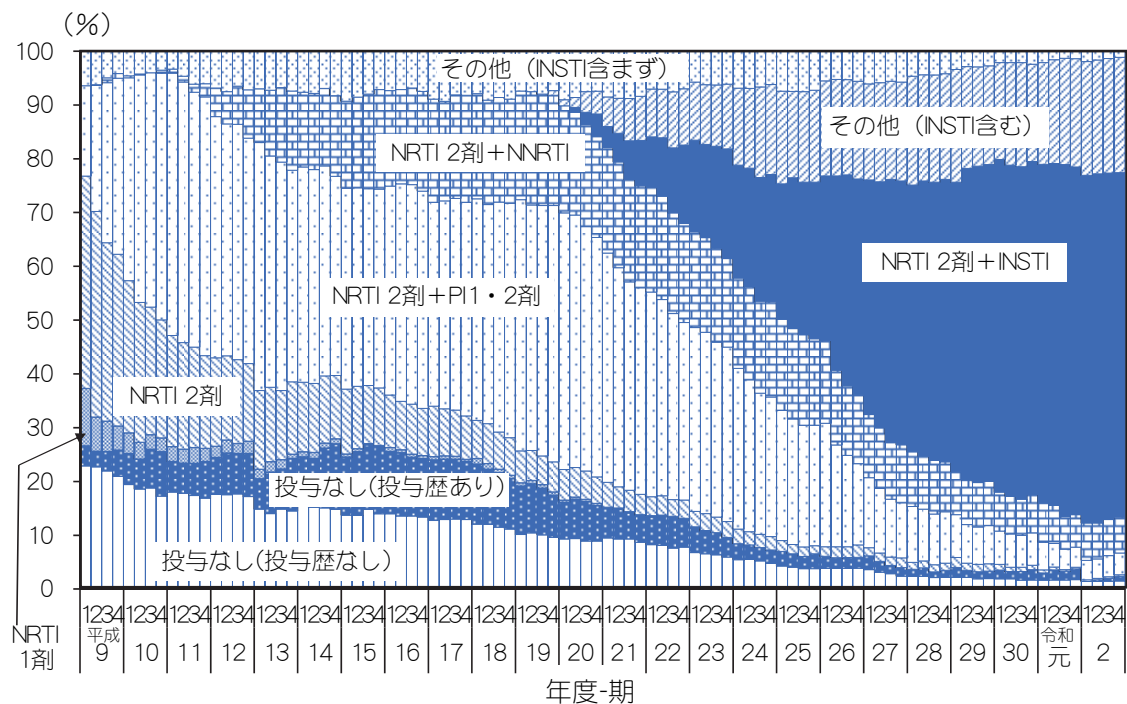
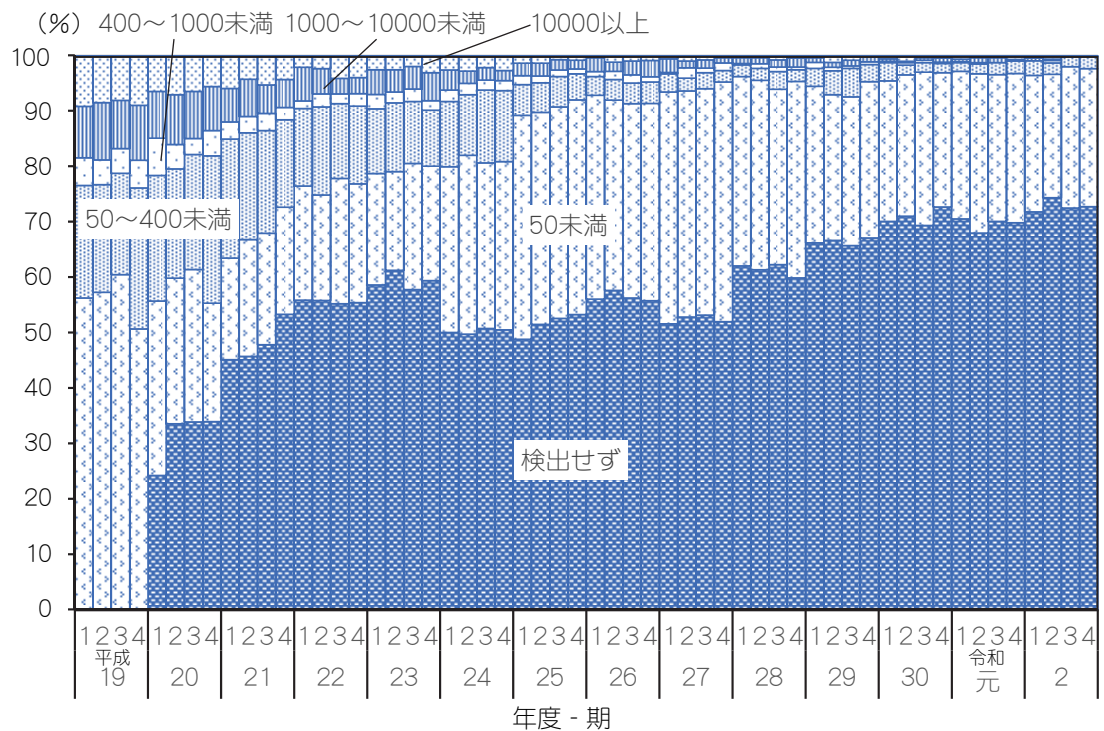


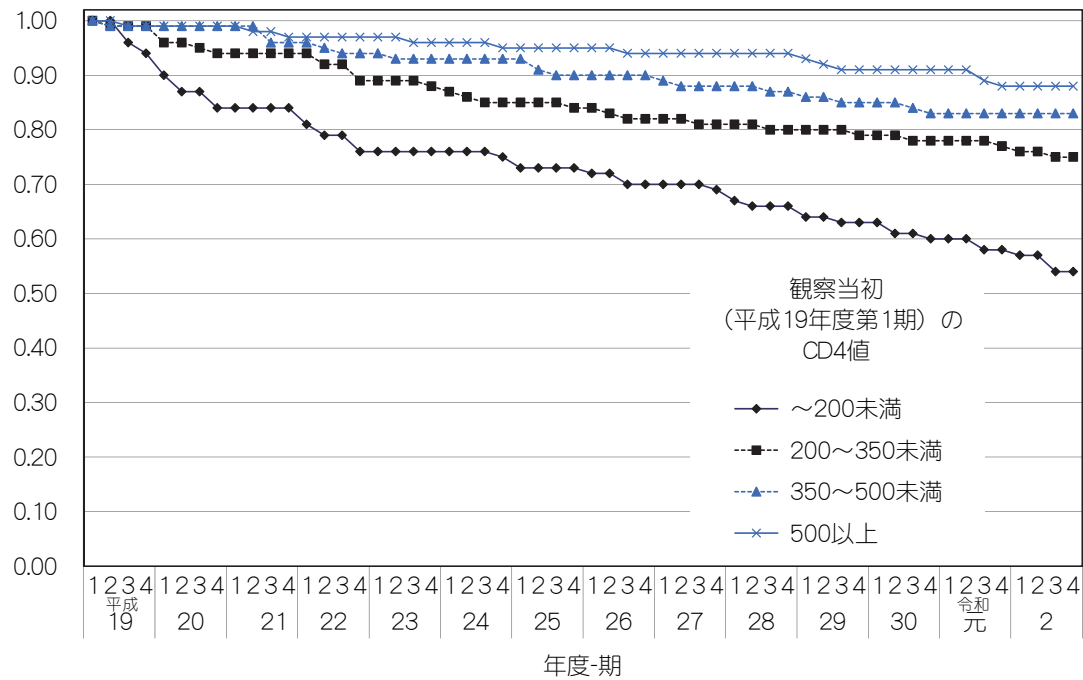
図2-1-10. HIV-RNA量の推移（平成19年度第1期事業対象者（エイズ発症・死亡者を除く））



* 平成19年度は調査票に「検出せず」の項目なし

図2-1-11. 観察当初のCD4値別、エイズ発症・死亡の推移（平成19年度第1期事業対象者）

非発症生存割合



2. 生活状況の現状と推移

まず、生活状況の現状として、令和2年度事業対象者において、就業状況、健康意識、こころの状態、自覚症状の状況を観察した。いずれの項目も質問に対する事業対象者の回答により得たものであり、また、国民生活基礎調査と同一の質問を用いている。参考のため、令和元年の同調査による日本人男性の40～59歳の結果を示した（以下、国民生活基礎調査と呼ぶ）。

図2-2-1に就業状況を示す（表4-2-5を参照）。仕事ありの割合が66%、就職希望ありの割合が10%であった。40～59歳では、仕事ありの割合は71%で、国民生活基礎調査のそれ94%よりも著しく低かった。

図2-2-2に健康意識を示す（表4-2-10を参照）。「現在の健康状態はいかがですか」に対して、回答が「あまりよくない」と「よくない」の割合は36%であった。40～59歳では、同割合は35%で、国民生活基礎調査のそれ10%に比べて著しく高かった。

図2-2-3にこころの状態を示す（表4-2-11を参照）。こころの状態はK6（うつ病・不安障害等のスクリーニング尺度）であり、15点以上が問題の可能性ありと判定される。15点以上の割合は11%であった。40～59歳では、同割合は13%で、国民生活基礎調査のそれ3%に比べて著しく高かった。

図2-2-4に自覚症状を示す（表4-2-12を参照）。「あなたはここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところ（自覚症状）がありますか」に対して、回答が「ある」の割合は69%であった。40～59歳では、同割合は69%で、国民生活基礎調査のそれ25%に比べて著しく高かった。

次に、生活状況の推移として、平成19年度第1期当初の事業対象者602人において、就業状況と健康意識の平成27年度以降の推移を観察した。図2-2-5に就業状況の推移を示す（表4-4-1を参照）。エイズ発症・死亡以外をみると、各年度とも、仕事ありの割合に大きな変化がなかった。図2-2-6に健康意識の推移を示す（表4-4-3を参照）。「現在の健康状態はいかがですか」に対して、エイズ発症・死亡以外をみると、回答に大きな変化がなかった。

以上、仕事なしで就職希望ありの者がかなりみられた。健康意識のあまりよくない者と自覚症状ありの者が多く、また、こころの状態に重い問題の可能性のある者もみられた。生活状況の現状に大きな課題があること示唆され、より詳しく分析するとともに、推移の観察をさらに継続することが重要と考えられる。

図2-2-1. 就業状況（令和2年度事業対象者）

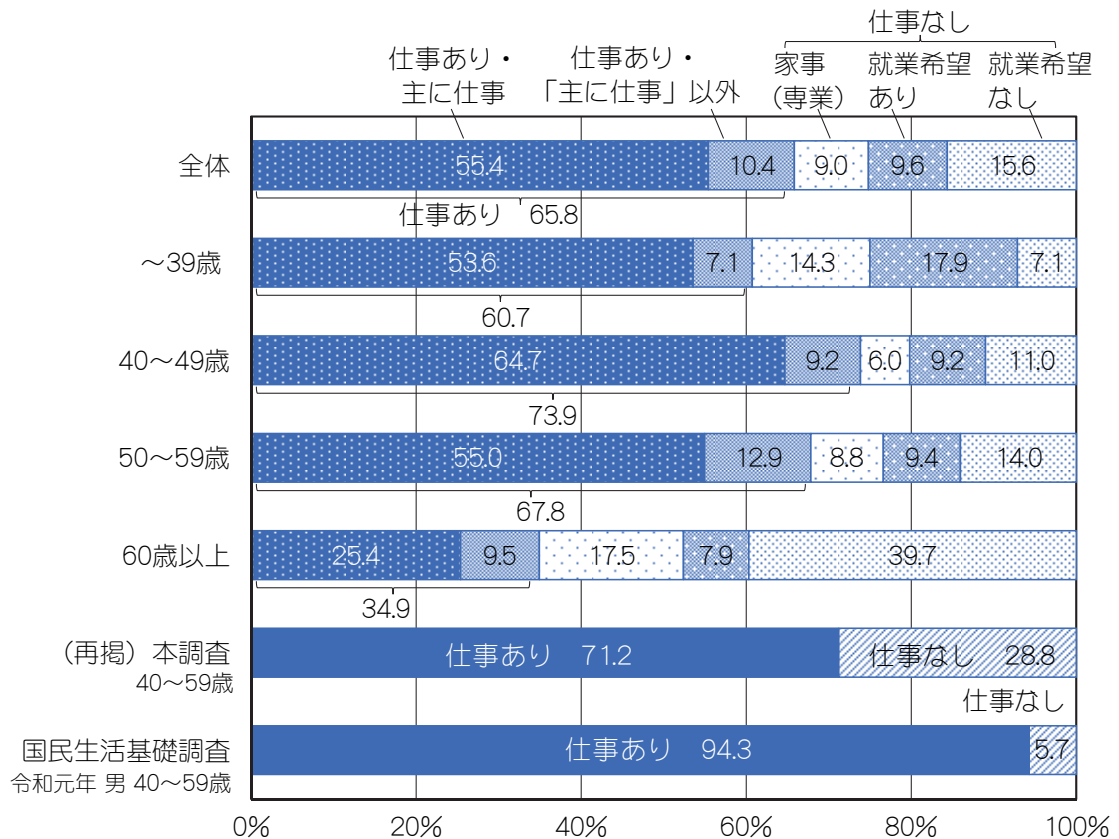


図2-2-2. 健康意識（令和2年度事業対象者）

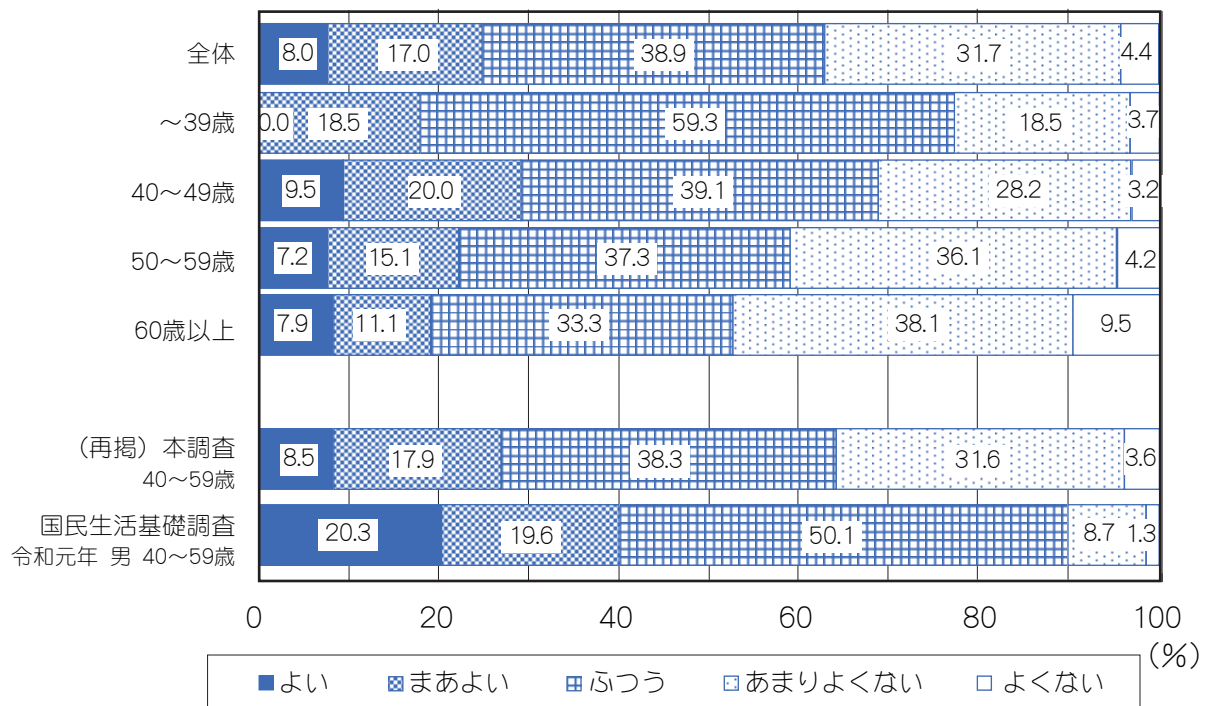


図2-2-3. こころの状態（令和2年度事業対象者）

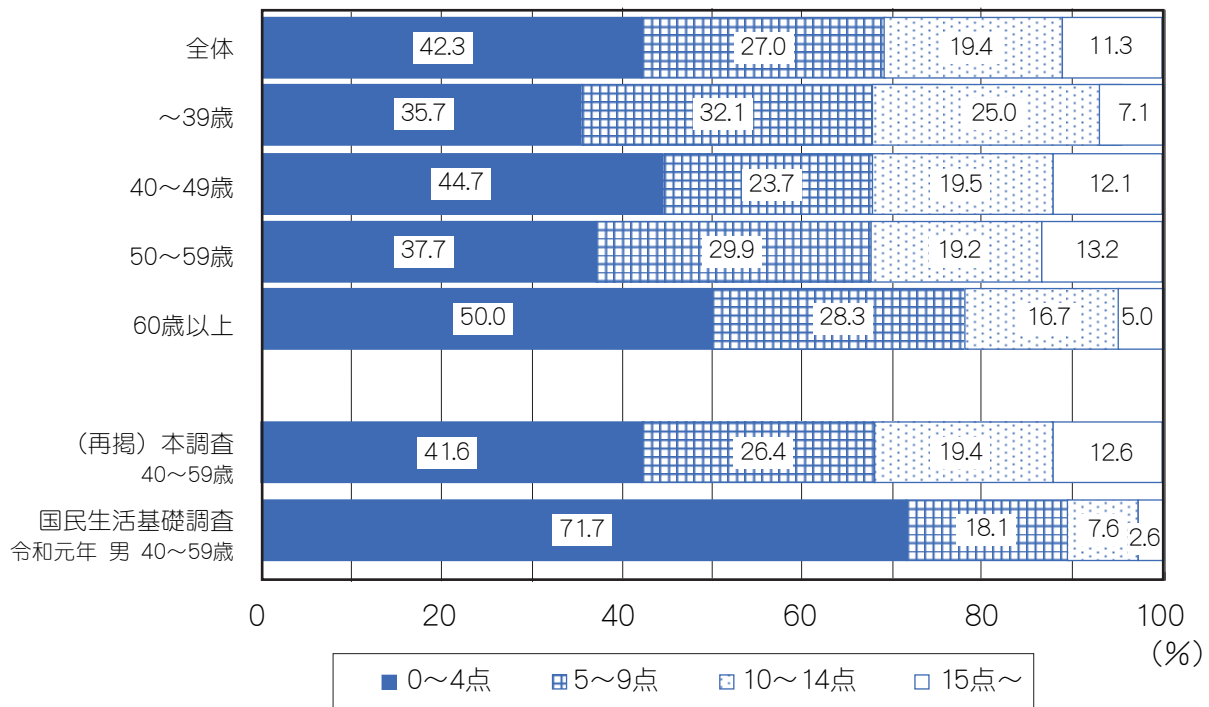


図2-2-4. 自覚症状（令和2年度事業対象者）

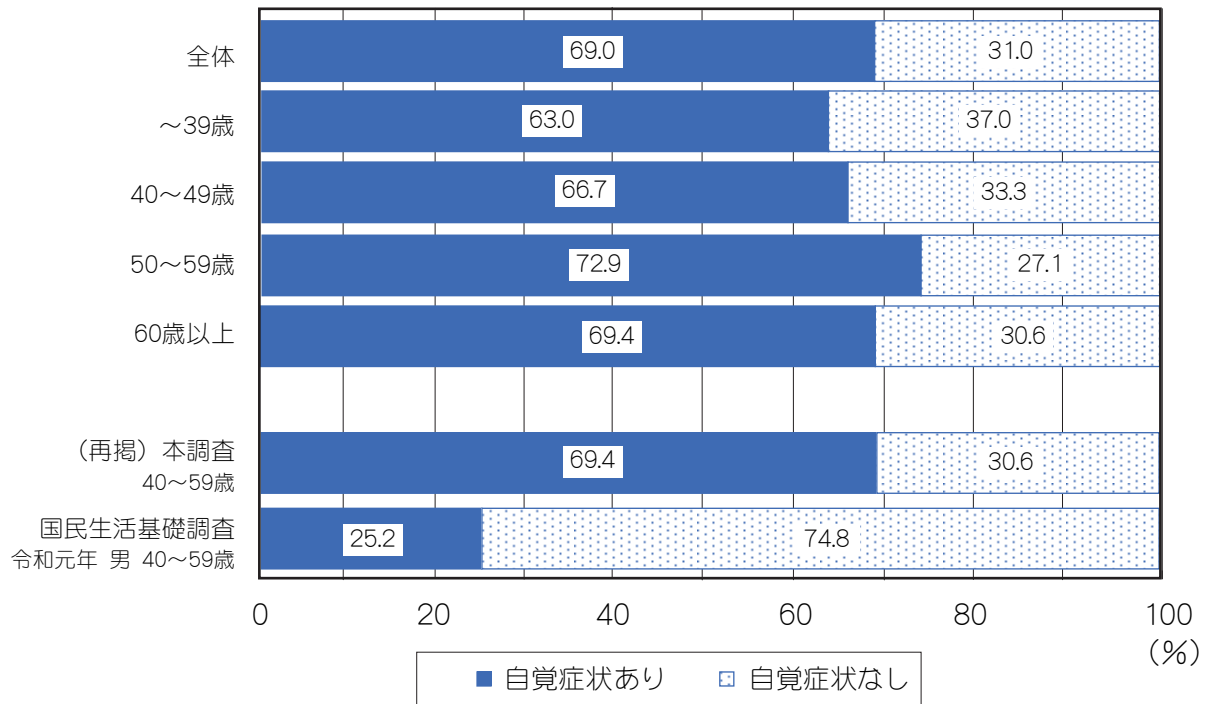


図2-2-5. 就業状況の推移（平成19年度第1期事業対象者）

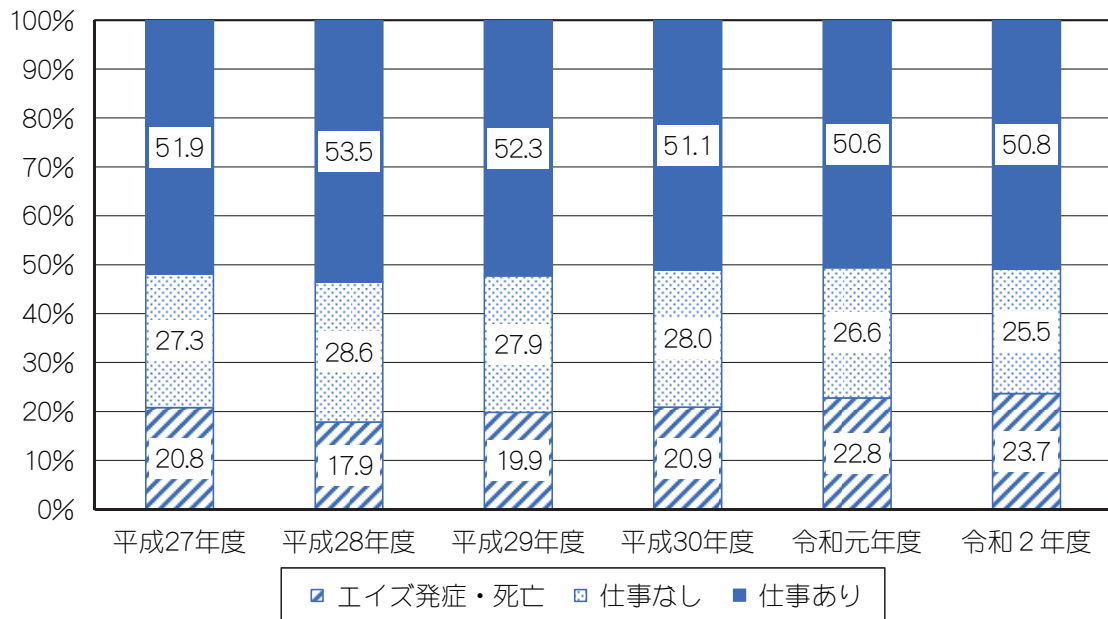
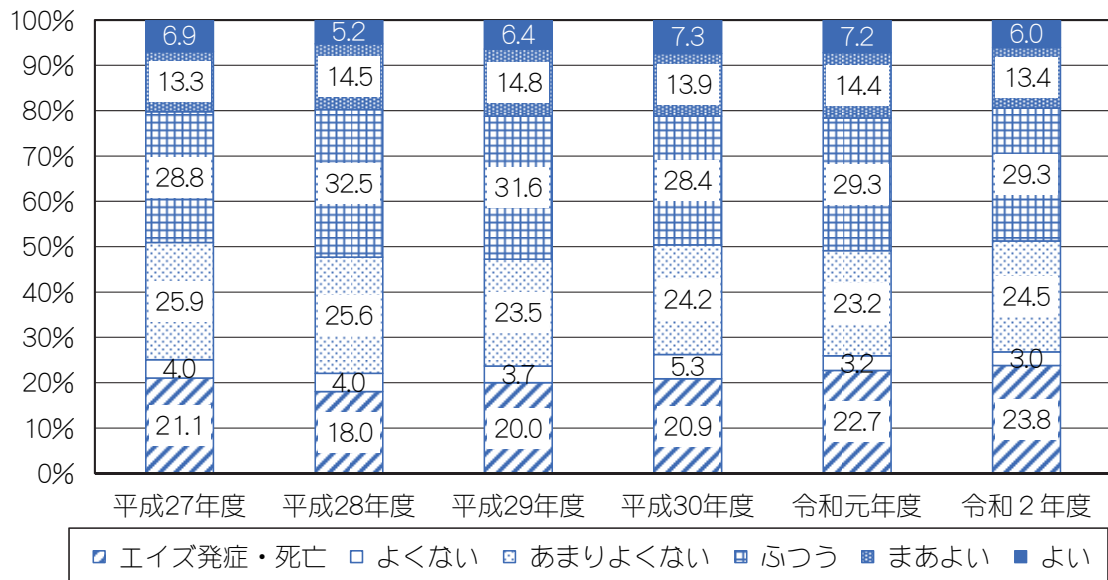


図2-2-6. 健康意識の推移（平成19年度第1期事業対象者）



第Ⅱ部 集計方法、結果表

第3章 集計方法

1. 集計の対象者
2. 集計の基礎資料
3. データの取り扱い
4. 結果表の作成方法
5. 集計結果を見る上での注意

第4章 結果表

1. 健康状態の現状
2. 生活状況の現状
3. 健康状態の推移
4. 生活状況の推移

第3章 集計方法

1. 集計の対象者

集計の対象者は平成5～令和2年度の「エイズ発症予防に資するための血液製剤によるHIV感染者の調査研究事業」の対象者全員である。本事業対象者は血液製剤によるHIV感染者（二次・三次感染者を含む）であって、本事業に申請され、本事業の対象と認められた者である。5～8年度の申請はCD4値が500以下の者に制限されていたが、9年度以降はその制限がなくなっている。エイズを発症すると、本事業の対象から外れる。なお、27年度から、エイズ発症者を対象とする「エイズ発症者調査」を実施している（第Ⅲ部を参照）。

表3-1-1に、事業対象者数と開始・中止状況（集計対象者）を示す。なお、第1期は4～6月、第2期は7～9月、第3期は10～12月、第4期は翌年1～3月である。平成5～令和2年度に一度でも本事業の対象になった実人数は952人である。その中で、5年度に本事業の対象となった者が48%、6～9年度が8～12%、10～16年度が1～3%、17～令和2年度が1%未満であった。本事業の中止者は475人であり、中止理由のほとんどはエイズ発症・死亡に伴うものである。その中で、8年度末までの中止者が177人であり、37%を占めている。令和2年度の本事業対象者は483人である。厚生労働省委託事業「血液凝固異常症全国調査」によれば、血液製剤によるHIV感染者（エイズ発症者と死亡者を除く）は2020年5月時点で533人とされており、その91%に当たる。

なお、本集計対象者数は本事業対象者数と厳密には一致しない。たとえば、中止後に再開した者においては、中止期間中は本事業の対象でないが、本集計では中止期間中も集計対象に含めたなどである。

2. 集計の基礎資料

集計の基礎資料は平成5～令和2年度に本事業対象者から提出された、「健康状態報告書」、「生活状況報告書」と「日常報告書」である（「第Ⅳ部 資料」を参照）。

「健康状態報告書」は年度の四半期別のCD4値、HIV-RNA量と抗HIV薬の投与状況、および、年度の肝炎の状況などであり、主治医により記載される。抗HIV薬の許認可の状況を考慮して、順次、薬剤名が追加されている。

「生活状況報告書」は年度の就業状況、日常生活への影響、健康意識、こころの状態などであり、事業対象者により記載される（調査内容は報告書を参照）。「生活状況報告書」の使用は27年度途中から開始され、それに伴い「日常報告書」（身体状況、日常生活動作など）の使用が中止された。

3. データの取り扱い

CD4値、HIV-RNA量などの連続データはカテゴリー化を行った。CD4値のカテゴリーは200未満、200～350未満、350～500未満、500以上とし、HIV-RNA量のそれは検出せず、50未満と50～400未満、400～1000未満、1000～10000未満、10000以上とした。ただし、過去の検査法の検出限界から、平成9年度第1期事業対象者の集計では400未満を1つの区分にまとめた（「4. 結果表の作成方法」を参照）。

抗HIV薬の併用区分は個々の抗HIV薬の投与状況に基づいて、投与なしと投与ありに大別した。投与なしについては、本事業の対象者になった時点から当該時点までの抗HIV薬の投与状況によ

り、「投与なし（投与歴なし）」と「投与なし（投与歴あり）」に区分した。投与ありについては、「NRTI2剤+PI1・2剤」、「NRTI2剤+NNRTI」、「NRTI2剤+INSTI」、「その他（INSTI含む）」と「その他（INSTI含まず）」に区分した。なお、コンビビルなどの合剤はそれに含まれる薬剤により分類した。抗HIV薬の服用状況は薬剤ごとに回答されているが、抗HIV薬の併用区分別に集計する場合には該当する抗HIV薬の最も悪い服用状況を用いた。

4. 結果表の作成方法

本集計は4つに大別され、その区分に合わせて「第4章 結果表」も4つの節に分かれている。それぞれの区分ごとに、以下、結果表の作成方法を示す。

（1）健康状態の現状

本集計は本事業対象者の健康状態（治療を含む）の現状把握を目指したものである。集計対象者は令和2年度事業対象者483人とした。基礎資料は同年度の最新の「健康状態報告書」から得た（表3-4-1）。集計対象項目はCD4値、HIV-RNA量、抗HIV薬の併用区分、肝炎の状況などとした。

基礎疾患、性別、年齢、CD4値、CD4/CD8比とHIV-RNA量の分布を示した（表4-1-1～2）。CD4値とHIV-RNA量は年齢別の分布を示した（表4-1-3～4）。HIV-RNA量はCD4値別の分布を示した（表4-1-5）。抗HIV薬の併用区分はCD4値とHIV-RNA量別に集計した（表4-1-6）。抗HIV薬の併用区分別に、服用状況、副作用と抗HIV薬を集計した（表4-1-7～9）。抗HIV薬別の服用状況と副作用を集計した（表4-1-10～11）。

肝炎ウイルスの保有状況別に、肝炎の状況を示した（表4-1-12～13）。HBs抗原とHCV抗体の保有状況を示した（表4-1-14）。肝炎の状況別に、腹部画像検査、HCV-RNA量、HCV-RNAセロタイプとゲノタイプ、血小板数、ALT、総ビリルビン、アルブミン、プロトロンビン、および、PIVKA II、AFP、クレアチニン、eGFR、シスタチンCの分布を示した（表4-1-15～19）。肝炎の状況別に、C型肝炎治療歴と肝移植歴、C型肝炎治療薬の投与状況を示した（表4-1-20～21）。肝炎の状況別に、CD4値、HIV-RNA量、抗HIV薬の併用区分の分布を示した（表4-1-22～24）。年齢別とCD4値別の血圧と骨密度、および、年齢別の疾患の有無（脳血管疾患、虚血性心疾患、肝以外の悪性新生物、高血圧・糖尿病）を集計した（表4-1-25～29）。

（2）生活状況の現状

本集計は本事業対象者の生活状況の現状把握を目指したものである。集計対象者は令和2年度事業対象者483人とした。基礎資料は同年度の「生活状況報告書」から得た。集計対象項目は住居、就業、健康意識、こころの状態、自覚症状、現在の生活の状況、日常生活の悩みやストレス、障害者手帳の取得、障害者総合支援法に基づく障害支援区分の認定、障害福祉サービスの利用、介護保険法に基づく要介護（支援）認定、介護サービスの利用、生活意識、所得、公的年金の受給、自由記載欄、身長、体重、BMIなどとした。こころの状態はうつ病・不安障害等のスクリーニング尺度のK6の得点により0～4点、5～9点、10～14点、15点以上（重い問題の可能性あり）に区分した。

各調査項目について、年齢階級別の回答分布を示した（表4-2-1～35）。年齢階級は39歳以下、40～49歳、50～59歳、60歳以上とした。就業状況、健康意識、こころの状態について、CD4値別の回答分布を示した（表4-2-36～38）。世帯人員数別の住居の種類の回答分布、就

業状況別の所得金額の回答分布を示した（表4-2-39～40）。

（3）健康状態の推移

本集計は同一集団の健康状態（治療を含む）の推移把握を目指したものである。集計対象者としては、平成9年度第1期事業対象者（9年4月1日時点の事業対象者605人）、および、19年度第1期事業対象者（19年4月1日時点の事業対象者602人）の2つとした。集計対象者を9年度第1期としたのは、その時点で調査項目の追加（HIV-RNA量など）を行ったためであり、多剤併用療法の開始・普及時期とも関係する。また、集計対象者に19年度第1期を追加したのは、その時点で調査項目の追加（肝炎の状況など）を行ったためであり、最近の抗HIV治療の進展とも関係する。集計対象者の集計では、それぞれ、その後の各時点の基礎資料を用いた。結果表には27年度までの各第1期と28～令和2年度の各四半期の結果を示した。

平成9年度第1期事業対象者において、CD4値とHIV-RNA量について、各時点の分布と中央値または割合を示した（表4-3-1～2）。抗HIV薬の併用区分と副作用は各時点の分布と割合を示した（表4-3-3～4）。

平成19年度第1期事業対象者において、CD4値とHIV-RNA量について、各時点の分布と中央値または割合を示した（表4-3-5～6）。抗HIV薬の併用区分と副作用は各時点の分布と割合を示した（表4-3-7～8）。肝炎の状況は各時点の分布と割合を示した（表4-3-9）。CD4値とHIV-RNA量について、観察当初の状況別に、各時点の分布と中央値または割合を示した（表4-3-10～11）。肝炎の状況について、観察当初の肝炎の状況、HBs抗原とHCV抗体の保有状況別に、各時点の分布と割合を示した（表4-3-12～14）。

平成9年度第1期事業対象者において、観察当初のCD4値とHIV-RNA量別、各時点のエイズ発症・死亡の状況を示した（表4-3-15～16）。平成19年度第1期事業対象者において、観察当初のCD4値とHIV-RNA量別、各時点のエイズ発症・死亡の状況を示した（表4-3-17～18）。

本集計対象者にはエイズ発症・死亡に伴う脱落があり、集計表の中央値と割合は、エイズ発症・死亡を含めた場合と除いた場合の2通りの方法で算出した。エイズ発症・死亡を除いた場合、悪化した者を除いて観察していることになり、CD4値などの推移結果の解釈に注意を要する。エイズ発症・死亡を含めた場合、その後のCD4値などはすべて最悪値とした。

（4）生活状況の推移

本集計は同一集団の生活状況の推移把握を目指したものである。集計対象者としては、平成19年度第1期事業対象者（19年4月1日時点の事業対象者602人）とした。生活状況の把握が平成27年度以降にもかかわらず、集計対象者を平成19年度第1期としたのは、健康状態の推移把握と同一集団としたためである。基礎資料は各年度の「生活状況報告書」から得た。集計対象項目は各年度に共通する調査項目（就業状況、こころの状態、健康意識、生活意識）とした。集計対象者の集計では、それぞれ、その後の各時点の基礎資料を用いた。結果表には平成27～令和2年度の各年度の結果を示した。各調査項目について、各年度の回答分布、および、エイズ発症・死亡数を示した（表4-4-1～4）。

5. 集計結果を見る上での注意

集計結果は「第2章 結果の概要」と「第4章 結果表」に示した。これらの集計結果を見る上での主な注意点を挙げておく。

基礎資料に関する注意点として、データの正確性と精度などがある。「健康状態報告書」には主治医の記載の誤り、「生活状況報告書」には事業対象者の回答の誤り、また、データ処理段階の誤りの可能性がある。CD4値やHIV-RNA量は四半期内の1回の測定によるもので、測定精度が関係する。抗HIV薬の投与歴は本事業対象者になった時点以降の抗HIV薬の投与状況に基づいている。副作用は抗HIV薬によるものに限らず、その関係から「投与なし」にも若干存在する。HIV-RNA量の測定方法には経年的な変更がある。

集計に関わる注意点として、欠損値の扱いなどがある。欠損値は「不明」として集計する一方、統計値（平均値、標準偏差、中央値、パーセント）の計算では除外した。欠損値を除く統計値の計算は標準的な方法であるが、欠損値が多い場合にはその統計値の不確実性が大きい。統計値はその基礎となるデータ数が少ない場合には精度が低くなる。たとえば、パーセントの分子または分母が少ないとパーセントの値は不安定であり、対象者数が少ないと中央値の値は不安定である。本集計ではより詳しい集計結果を示すために、分子や分母、対象者数がかなり少ないものも示している。また、[表4-3-1](#)などでは、2通りの中央値または割合を示している。これはエイズ発症・死亡を最悪値とみなした場合とそれを除いた場合のものである。

それ以外の注意点として、たとえば、[表4-1-6](#)にCD4値とHIV-RNA量別の抗HIV薬の併用区分の割合が示されている。これは、CD4値とHIV-RNA量によって抗HIV薬の併用区分が選択されていると見ることもできるが、逆に、抗HIV薬の併用によってCD4値とHIV-RNA量が管理されていると見ることもできる。両者の関係には、抗HIV薬の服用状況や副作用が介在している可能性もある。本集計結果の多くにはこのような解釈上の難しさがある。

以上、集計結果を見る際には、上記の点などに注意するとともに、その解釈には十分に慎重な議論が求められる。

表3-1-1. 事業対象者と開始・中止状況（集計対象者）

		全体	各期ごと			
			第1期	第2期	第3期	第4期
平成5年度	事業対象者数	453	385	384	415	438
	開始者数	453	385	0	35	33
	中止者数	23	1	4	10	8
平成6年度	事業対象者数	530	463	489	487	492
	開始者数	100	33	34	13	20
	中止者数	55	8	15	15	17
平成7年度	事業対象者数	552	490	498	496	510
	開始者数	77	15	20	16	26
	中止者数	50	12	18	12	8
平成8年度	事業対象者数	603	553	554	558	561
	開始者数	101	51	21	13	16
	中止者数	49	20	9	13	7
平成9年度	事業対象者数	667	621	633	642	654
	開始者数	113	67	16	15	15
	中止者数	18	4	6	3	5
平成10年度	事業対象者数	672	658	656	662	661
	開始者数	23	9	2	7	5
	中止者数	15	4	1	6	4
平成11年度	事業対象者数	682	666	667	674	676
	開始者数	25	9	3	8	5
	中止者数	9	2	1	3	3
平成12年度	事業対象者数	682	677	673	668	662
	開始者数	9	4	4	1	0
	中止者数	20	8	6	6	0
平成13年度	事業対象者数	670	666	664	663	662
	開始者数	8	4	1	3	0
	中止者数	9	3	4	1	1
平成14年度	事業対象者数	673	666	666	666	664
	開始者数	12	5	2	2	3
	中止者数	16	2	2	5	7
平成15年度	事業対象者数	663	662	661	657	652
	開始者数	6	5	1	0	0
	中止者数	20	2	4	5	9
平成16年度	事業対象者数	648	645	646	646	641
	開始者数	5	2	1	1	1
	中止者数	15	0	1	6	8
平成17年度	事業対象者数	634	633	628	625	620
	開始者数	1	0	0	0	1
	中止者数	17	5	3	6	3
平成18年度	事業対象者数	619	618	615	610	606
	開始者数	2	1	0	0	1
	中止者数	17	3	5	5	4
平成19年度	事業対象者数	604	602	599	594	587
	開始者数	2	0	0	1	1
	中止者数	18	3	6	8	1
平成20年度	事業対象者数	588	588	580	577	573
	開始者数	2	2	0	0	0
	中止者数	20	8	3	4	5
平成21年度	事業対象者数	568	568	567	565	562
	開始者数	0	0	0	0	0
	中止者数	8	1	2	3	2
平成22年度	事業対象者数	564	560	561	557	555
	開始者数	4	0	4	0	0
	中止者数	15	3	4	2	6
平成23年度	事業対象者数	549	549	548	547	544
	開始者数	0	0	0	0	0
	中止者数	7	1	1	3	2
平成24年度	事業対象者数	542	542	539	537	536
	開始者数	0	0	0	0	0
	中止者数	9	3	2	1	3
平成25年度	事業対象者数	535	533	533	530	530
	開始者数	2	0	1	0	1
	中止者数	9	1	3	1	4
平成26年度	事業対象者数	527	526	524	523	521
	開始者数	1	0	0	0	1
	中止者数	7	2	1	3	1

表3-1-1(続き) 事業対象者と開始・中止状況(集計対象者)

		全体	各期ごと			
			第1期	第2期	第3期	第4期
平成27年度	事業対象者数	521	521	520	518	516
	開始者数	1	1	0	0	0
	中止者数	7	1	2	2	2
平成28年度	事業対象者数	514	514	512	511	507
	開始者数	0	0	0	0	0
	中止者数	7	2	1	4	0
平成29年度	事業対象者数	508	508	504	502	499
	開始者数	1	1	0	0	0
	中止者数	12	4	2	3	3
平成30年度	事業対象者数	496	496	495	494	492
	開始者数	0	0	0	0	0
	中止者数	6	1	1	2	2
令和元年度	事業対象者数	491	490	491	490	487
	開始者数	1	0	1	0	0
	中止者数	11	0	1	3	7
令和2年度	事業対象者数	483	480	479	478	477
	開始者数	3	0	1	0	2
	中止者数	6	2	1	3	0

表3-4-1. 健康状態の現状の令和2年度集計における基礎資料の時点

基礎資料の報告状況	集計に用いた時点					
	第1期	第2期	第3期	第4期	なし	計
1. 抗HIV薬、CD4値、HIV-RNA量の報告あり	5	10	84	381	—	480
2. 抗HIV薬、CD4値の報告あり	0	0	0	2	—	2
3. 抗HIV薬、HIV-RNA量の報告あり	0	0	0	1	—	1
4. 抗HIV薬の報告あり	0	0	0	0	—	0
5. CD4値、HIV-RNA量の報告あり	0	0	0	0	—	0
6. CD4値の報告あり	0	0	0	0	—	0
7. HIV-RNA量の報告あり	0	0	0	0	—	0
8. 抗HIV薬、CD4値、HIV-RNA量以外の報告あり	0	0	0	0	—	0
9. データなし	—	—	—	—	0	0
計	5	10	84	384	0	483

第4章 結果表

1. 健康状態の現状

本節では、以下の表を示した。

表4-1-1.	基礎疾患	(令和2年度事業対象者)
表4-1-2.	性、年齢、CD4値、CD4/CD8比とHIV-RNA量の分布	(令和2年度事業対象者)
表4-1-3.	年齢別、CD4値	(令和2年度事業対象者)
表4-1-4.	年齢別、HIV-RNA量	(令和2年度事業対象者)
表4-1-5.	CD4値別、HIV-RNA量	(令和2年度事業対象者)
表4-1-6.	CD4値とHIV-RNA量別、抗HIV薬の併用区分	(令和2年度事業対象者)
表4-1-7.	抗HIV薬の併用区分別、服用状況	(令和2年度事業対象者)
表4-1-8.	抗HIV薬の併用区分別、副作用	(令和2年度事業対象者)
表4-1-9.	抗HIV薬の併用薬剤	(令和2年度事業対象者)
表4-1-10.	抗HIV薬別、服用状況	(令和2年度事業対象者)
表4-1-11.	抗HIV薬別、副作用	(令和2年度事業対象者)
表4-1-12.	HBs抗原の保有状況別、肝炎の状況	(令和2年度事業対象者)
表4-1-13.	HCV抗体の保有状況別、肝炎の状況	(令和2年度事業対象者)
表4-1-14.	HBs抗原の保有状況別、HCV抗体の保有状況	(令和2年度事業対象者)
表4-1-15.	肝炎の状況別、腹部画像検査	(令和2年度事業対象者)
表4-1-16.	肝炎の状況別、HCV-RNA量	(令和2年度事業対象者)
表4-1-17.	肝炎の状況別、HCV-RNAセロタイプとゲノタイプ	(令和2年度事業対象者)
表4-1-18.	肝炎の状況別、血小板数、ALT、総ビリルビン、アルブミン、 プロトロンビン	(令和2年度事業対象者)
表4-1-19.	肝炎の状況別、PIVKA II、AFP、クレアチニン、eGFR、シスタチンC	(令和2年度事業対象者)
表4-1-20.	肝炎の状況別、C型肝炎治療歴と肝移植歴	(令和2年度事業対象者)
表4-1-21.	肝炎の状況別、C型肝炎治療薬の投与状況	(令和2年度事業対象者)
表4-1-22.	肝炎の状況別、CD4値	(令和2年度事業対象者)
表4-1-23.	肝炎の状況別、HIV-RNA量	(令和2年度事業対象者)
表4-1-24.	肝炎の状況別、抗HIV薬の併用区分	(令和2年度事業対象者)
表4-1-25.	年齢別、血圧	(令和2年度事業対象者)
表4-1-26.	CD4値別、血圧	(令和2年度事業対象者)
表4-1-27.	年齢別、骨密度	(令和2年度事業対象者)
表4-1-28.	CD4値別、骨密度	(令和2年度事業対象者)
表4-1-29.	年齢別、疾患の有無	(令和2年度事業対象者)

表4-1-1. 基礎疾患（令和2年度事業対象者）

基礎疾患	人数	(%)
血友病 A	350	(72.5)
血友病 B	100	(20.7)
von Willebrand 病	3	(0.6)
二次感染	20	(4.1)
三次感染	2	(0.4)
その他	8	(1.7)
計	483	(100.0)

表4-1-2. 性、年齢、CD4値、CD4/CD8比とHIV-RNA量の分布（令和2年度事業対象者）

		人数	(%)			人数	(%)
性別	男	457	(94.6)	CD4/CD8 比	～0.10 未満	0	(0.0)
	女	26	(5.4)		0.10～0.50 未満	42	(9.4)
	計	483			0.50～1.00 未満	195	(43.7)
年齢	0～10 歳未満	0	(0.0)		1.00～1.50 未満	113	(25.3)
	10～20 歳未満	1	(0.2)		1.50 以上	96	(21.5)
	20～30 歳未満	1	(0.2)		不明	37	—
	30～40 歳未満	26	(5.4)		計	483	
	40～50 歳未満	220	(45.5)		平均値 1.161 (標準偏差 1.481)		
	50～60 歳未満	172	(35.6)		中央値 0.920		
	60～70 歳未満	48	(9.9)	HIV-RNA 量	検出せず ^a	343	(71.3)
	70 歳以上	15	(3.1)		50 未満*	123	(25.6)
	計	483			50～400 未満	12	(2.5)
	平均値 50.4 歳 (標準偏差 8.5 歳)				400～1000 未満	1	(0.2)
	中央値 49.0 歳				1000～5000 未満	1	(0.2)
CD4 値	～200 未満	28	(5.8)		5000～10000 未満	0	(0.0)
	200～350 未満	75	(15.6)		10000～50000 未満	1	(0.2)
	350～500 未満	138	(28.6)		50000 以上	0	(0.0)
	500 以上	241	(50.0)		不明	2	—
	不明	1	—		計	483	
	計	483			中央値 検出せず ^a		
	平均値 543.4 (標準偏差 255.4)						
	中央値 500.0						

() : 計より不明を除いた数を分母とする%

* : 検出限界未満（検出限界値 50 以下、不明）を含む

表4-1-3. 年齢別、CD4値（令和2年度事業対象者）

年齢	CD4 値					計
	～200未満	200～350未満	350～500未満	500以上	不明	
30～40歳未満	2 (7.7)	5 (19.2)	9 (34.6)	10 (38.5)	0	26
40～50歳未満	6 (2.7)	34 (15.5)	60 (27.4)	119 (54.3)	1	220
50～60歳未満	11 (6.4)	26 (15.1)	52 (30.2)	83 (48.3)	0	172
60歳以上	9 (14.3)	10 (15.9)	17 (27.0)	27 (42.9)	0	63
計	28 (5.8)	75 (15.6)	138 (28.8)	239 (49.8)	1	481

対象：30歳以上

()：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

表4-1-4. 年齢別、HIV-RNA量（令和2年度事業対象者）

年齢	HIV-RNA 量						計
	50未満*	50～400未満	400～1000未満	1000～10000未満	10000以上	不明	
30～40歳未満	25 (96.2)	1 (3.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	26
40～50歳未満	214 (97.7)	3 (1.4)	0 (0.0)	1 (0.5)	1 (0.5)	1	220
50～60歳未満	163 (95.3)	7 (4.1)	1 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	1	172
60歳以上	62 (98.4)	1 (1.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	63
計	464 (96.9)	12 (2.5)	1 (0.2)	1 (0.2)	1 (0.2)	2	481

対象：30歳以上

()：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

*：検出せず、および、検出限界未満（検出限界値 50 以下または不明）を含む

表4-1-5. CD4値別、HIV-RNA量（令和2年度事業対象者）

CD4値	HIV-RNA 量						計
	50未満*	50～400未満	400～1000未満	1000～10000未満	10000以上	不明	
～200未満	28 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	28
200～350未満	74 (98.7)	1 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	75
350～500未満	133 (97.1)	3 (2.2)	0 (0.0)	1 (0.7)	0 (0.0)	1	138
500以上	230 (95.8)	8 (3.3)	1 (0.4)	0 (0.0)	1 (0.4)	1	241
不明	1 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	1
計	466 (96.9)	12 (2.5)	1 (0.2)	1 (0.2)	1 (0.2)	2	483

()：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

*：検出せず、および、検出限界未満（検出限界値 50 以下または不明）を含む

表4-1-6. CD4値とHIV-RNA量別、抗HIV薬の併用区分（令和2年度事業対象者）

CD4値	HIV-RNA量	抗HIV薬の併用区分								計
		投与なし (投与歴なし)	投与なし (投与歴あり)	NRTI 2剤+ PI 1・2剤	NRTI 2剤+ NNRTI	NRTI 2剤+ INSTI	その他 (INSTI含む)	その他 (INSTI含まず)	不明	
～200未満	50 未満*	0 (0.0)	1 (3.6)	0 (0.0)	1 (3.6)	19 (67.9)	6 (21.4)	1 (3.6)	0	28
	50～400 未満	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	0
	400～1000 未満	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	0
	1000～10000 未満	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	0
	10000 以上	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	0
	不明	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	0
	計	0 (0.0)	1 (3.6)	0 (0.0)	1 (3.6)	19 (67.9)	6 (21.4)	1 (3.6)	0	28
200 ～350未満	50 未満*	1 (1.4)	1 (1.4)	5 (6.8)	4 (5.4)	40 (54.1)	22 (29.7)	1 (1.4)	0	74
	50～400 未満	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0	1
	400～1000 未満	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	0
	1000～10000 未満	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	0
	10000 以上	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	0
	不明	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	0
	計	1 (1.3)	1 (1.3)	5 (6.7)	4 (5.3)	40 (53.3)	23 (30.7)	1 (1.3)	0	75
350 ～500未満	50 未満*	1 (0.8)	1 (0.8)	8 (6.0)	8 (6.0)	79 (59.4)	34 (25.6)	2 (1.5)	0	133
	50～400 未満	2 (66.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	3
	400～1000 未満	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	0
	1000～10000 未満	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0	1
	10000 以上	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	0
	不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
	計	3 (2.2)	1 (0.7)	8 (5.8)	8 (5.8)	81 (58.7)	34 (24.6)	3 (2.2)	0	138
500以上	50 未満*	1 (0.4)	2 (0.9)	5 (2.2)	23 (10.0)	165 (71.7)	28 (12.2)	6 (2.6)	0	230
	50～400 未満	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	5 (62.5)	1 (12.5)	0 (0.0)	0	8
	400～1000 未満	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
	1000～10000 未満	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	0
	10000 以上	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
	不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
	計	4 (1.7)	2 (0.8)	5 (2.1)	24 (10.0)	171 (71.0)	29 (12.0)	6 (2.5)	0	241
不明	50 未満*	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
	50～400 未満	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	0
	400～1000 未満	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	0
	1000～10000 未満	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	0
	10000 以上	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	0
	不明	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	0
	計	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
計	50 未満*	3 (0.6)	5 (1.1)	18 (3.9)	36 (7.7)	304 (65.2)	90 (19.3)	10 (2.1)	0	466
	50～400 未満	3 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (8.3)	6 (50.0)	2 (16.7)	0 (0.0)	0	12
	400～1000 未満	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
	1000～10000 未満	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0	1
	10000 以上	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
	不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	2
	計	8 (1.7)	5 (1.0)	18 (3.7)	37 (7.7)	312 (64.6)	92 (19.0)	11 (2.3)	0	483

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

*: 検出せず、および、検出限界未満（検出限界値 50 以下または不明）を含む

表4-1-7. 抗HIV薬の併用区分別、服用状況（令和2年度事業対象者）

抗HIV薬の併用区分	服用状況						投与者数
	全部服用	殆ど服用	半分服用	少し服用	服用せず	不明	
NRTI 2剤+PI 1・2剤	18 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	18
NRTI 2剤+NNRTI	25 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	12	37
NRTI 2剤+INSTI	304 (97.4)	8 (2.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	312
その他（INSTI含む）	91 (98.9)	1 (1.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	92
その他（INSTI含まず）	11 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	11
計	449 (98.0)	9 (2.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	12	470

(): 各行の投与者数より不明を除いた数を分母とする%

表4-1-8. 抗HIV薬の併用区分別、副作用（令和2年度事業対象者）

抗HIV薬の併用区分	副作用			投与者数
	あり	なし	不明	
NRTI 2剤+PI 1・2剤	2 (11.8)	15 (88.2)	1	18
NRTI 2剤+NNRTI	2 (5.7)	33 (94.3)	2	37
NRTI 2剤+INSTI	23 (7.8)	270 (92.2)	19	312
その他（INSTI含む）	18 (20.7)	69 (79.3)	5	92
その他（INSTI含まず）	0 (0.0)	10 (100.0)	1	11
計	45 (10.2)	397 (89.8)	28	470

抗HIV薬の併用区分	副作用（項目別）					
	嘔気	下痢	口内炎	貧血	血尿	しびれ
NRTI 2剤+PI 1・2剤	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
NRTI 2剤+NNRTI	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (2.9)
NRTI 2剤+INSTI	3 (1.0)	3 (1.0)	1 (0.3)	0 (0.0)	2 (0.7)	1 (0.3)
その他（INSTI含む）	2 (2.3)	1 (1.1)	0 (0.0)	1 (1.1)	0 (0.0)	5 (5.7)
その他（INSTI含まず）	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
計	5 (1.1)	4 (0.9)	1 (0.2)	1 (0.2)	2 (0.5)	7 (1.6)

抗HIV薬の併用区分	副作用（項目別）					
	皮疹	頭痛	中枢神経症状	リボスτροφイー	黄疸	その他
NRTI 2剤+PI 1・2剤	0 (0.0)	1 (5.9)	1 (5.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
NRTI 2剤+NNRTI	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (2.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
NRTI 2剤+INSTI	2 (0.7)	0 (0.0)	3 (1.0)	8 (2.7)	1 (0.3)	7 (2.4)
その他（INSTI含む）	0 (0.0)	1 (1.1)	3 (3.4)	10 (11.5)	0 (0.0)	3 (3.4)
その他（INSTI含まず）	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
計	2 (0.5)	2 (0.5)	7 (1.6)	19 (4.3)	1 (0.2)	10 (2.3)

(): 投与者数より不明を除いた数にしめる%

表4-1-9. 抗HIV薬の併用薬剤（令和2年度事業対象者）

NRTI 2 剤+PI 1・2 剤	件数 (%)	NRTI 2 剤+INSTI	件数 (%)
TAF+FTC +DRV +COBI (デシコビ+プレジコビックス服用 2 例、 シムツザ服用 4 例)	6 (33.3)	TAF+FTC +DTG (デシコビ服用 74 例)	74 (23.7)
TAF+FTC +RTV+DRV (デシコビ服用 4 例)	4 (22.2)	TAF+FTC +RAL (デシコビ服用 65 例)	65 (20.8)
3TC+ABC +ATV (エブジコム服用 1 例)	1 (5.6)	TAF+FTC +BIC (ビクタルビ服用 63 例)	63 (20.2)
3TC+ABC +DRV +COBI (エブジコム+プレジコビックス服用 1 例)	1 (5.6)	3TC+ABC +DTG (エブジコム服用 8 例、 トリーメク服用 45 例)	55 (17.6)
3TC+ABC +FPV (エブジコム服用 1 例)	1 (5.6)	3TC+ABC +RAL (エブジコム服用 23 例)	29 (9.3)
3TC+ABC +RTV+DRV (エブジコム服用 1 例)	1 (5.6)	TAF+FTC +EVG+COBI (ゲンボイヤ服用 20 例)	20 (6.4)
3TC+ABC +RTV+FPV (エブジコム服用 1 例)	1 (5.6)	ABC+FTC +RAL	1 (0.3)
TAF+FTC +FPV (デシコビ服用 1 例)	1 (5.6)	ABC+TDF +DTG	1 (0.3)
TAF+FTC +RTV+FPV (デシコビ服用 1 例)	1 (5.6)	ABC+TDF +RAL	1 (0.3)
TDF+FTC +RTV+DRV (ツルバダ服用 1 例)	1 (5.6)	AZT+3TC +DTG	1 (0.3)
		TDF+FTC +DTG (ツルバダ服用 1 例)	1 (0.3)
		TDF+FTC +RAL (ツルバダ服用 1 例)	1 (0.3)
計 (10 通り)	18 (100.0)	計 (12 通り)	312 (100.0)
NRTI 2 剤+NRTI	件数 (%)		
TAF+FTC +RPV (デシコビ服用 1 例、 オデフシイ服用 12 例)	13 (35.1)		
TAF+FTC +EFV (デシコビ服用 7 例)	7 (18.9)		
3TC+ABC +RPV (エブジコム服用 4 例)	4 (10.8)		
TAF+FTC +DOR (デシコビ服用 3 例)	3 (8.1)		
TDF+FTC +EFV (ツルバダ服用 3 例)	3 (8.1)		
3TC+ABC +NVP (エブジコム服用 2 例)	2 (5.4)		
3TC+ABC +EFV (エブジコム服用 1 例)	1 (2.7)		
3TC+ABC +ETR (エブジコム服用 1 例)	1 (2.7)		
3TC+TDF +EFV	1 (2.7)		
AZT+3TC +EFV	1 (2.7)		
AZT+3TC +NVP (コンビビル服用 1 例)	1 (2.7)		
計 (11 通り)	37 (100.0)		

表4-1-9 (続き)。抗HIV薬の併用薬剤 (令和2年度事業対象者)

その他 (INSTI 含む)	件数 (%)	その他 (INSTI 含む) (続き)	件数 (%)
RPV +DTG (ジナルカ服用 11 例)	13 (14.1)	TAF+FTC +DRV +RAL+COBI (デシコビ+プレジコビックス服用 1 例)	1 (1.1)
3TC +DTG (ドゥベイト服用 8 例)	9 (9.8)	TAF+FTC +DTG +MVC (デシコビ服用 1 例)	1 (1.1)
RTV+DRV +RAL	6 (6.5)	TAF+FTC +EFV +RAL (デシコビ服用 1 例)	1 (1.1)
DRV +COBI+DTG (プレジコビックス服用 5 例)	5 (5.4)	TAF+FTC +ETR +RAL (デシコビ服用 1 例)	1 (1.1)
TAF+FTC +RPV +DTG (オデフシ服用 3 例、 ジナルカ服用 1 例)	5 (5.4)	TAF+FTC +ETR +RAL +MVC (デシコビ服用 1 例)	1 (1.1)
ETR +RAL	4 (4.3)	TAF+FTC +RPV +RAL+BIC (ビクトルビ服用 1 例)	1 (1.1)
RPV +RAL	3 (3.3)	TAF+FTC +RTV+DRV +BIC (ビクトルビ服用 1 例)	1 (1.1)
RTV+DRV +DTG	3 (3.3)	TAF+FTC +RTV+DRV +DTG +MVC (デシコビ服用 1 例)	1 (1.1)
TAF+FTC +DRV +COBI+DTG (シムツーザ服用 3 例)	3 (3.3)	TAF+FTC +RTV+DRV +ETR +RAL (デシコビ服用 1 例)	1 (1.1)
3TC +ETR +RAL	2 (2.2)	TAF+FTC +RTV+DRV +RAL (デシコビ服用 1 例)	1 (1.1)
3TC +RTV+DRV +RAL	2 (2.2)	TAF+FTC +RTV+DRV +RPV +DTG (デシコビ+ジナルカ服用 1 例)	1 (1.1)
3TC+ABC +ETR +RAL (エブジコム服用 2 例)	2 (2.2)	TDF +ETR +RAL	1 (1.1)
DRV +RAL+COBI (プレジコビックス服用 2 例)	2 (2.2)	TDF+FTC +RTV+DRV +RAL (ツルバダ服用 1 例)	1 (1.1)
RPV +RAL +MVC	2 (2.2)	計 (45 通り)	92 (100.0)
3TC +NVP +RAL	1 (1.1)	その他 (INSTI 含まず)	件数 (%)
3TC +RAL	1 (1.1)	AZT+3TC	1 (9.1)
3TC +RAL +MVC	1 (1.1)	TAF+FTC +DRV +RPV +COBI (デシコビ服用 1 例、 シムツーザ服用 2 例)	3 (27.3)
3TC+RPV +RAL	1 (1.1)	TAF+FTC +DRV +COBI +MVC (シムツーザ服用 2 例)	2 (18.2)
3TC+ABC +RTV+DRV +RAL (エブジコム服用 1 例)	1 (1.1)	3TC +DRV +COBI +MVC (プレジコビックス服用 1 例)	1 (9.1)
ABC +RPV +RAL	1 (1.1)	ABC +RPV	1 (9.1)
DOR +DTG	1 (1.1)	DRV +COBI +MVC (プレジコビックス服用 1 例)	1 (9.1)
DRV +ETR +COBI+DTG (プレジコビックス服用 1 例)	1 (1.1)	DRV +RPV +COBI (プレジコビックス服用 1 例)	1 (9.1)
DRV +RPV +RAL+COBI (プレジコビックス服用 1 例)	1 (1.1)	TAF+FTC +DRV +DOR +COBI (シムツーザ服用 1 例)	1 (9.1)
DTG +MVC	1 (1.1)	計 (8 通り)	11 (100.0)
FPV +DTG	1 (1.1)		
RAL +MVC	1 (1.1)		
RTV+DRV +ETR +RAL	1 (1.1)		
RTV+DRV +RPV +RAL	1 (1.1)		
RTV+LPV +RAL	1 (1.1)		
TAF+FTC +BIC +MVC (ビクトルビ服用 1 例)	1 (1.1)		
TAF+FTC +DRV +EVG+COBI (ゲンボイヤ服用 1 例)	1 (1.1)		
TAF+FTC +DRV +EVG+COBI +MVC (ゲンボイヤ服用 1 例)	1 (1.1)		

(右上へ続く)

(): 各併用区分の計を分母とする%

表4-1-10. 抗HIV薬別、服用状況（令和2年度事業対象者）

抗 HIV 薬	服 用 状 況						投与者数
	全部服用	殆ど服用	半分服用	少し服用	服用せず	不明	
AZT	3 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	3
3TC	21 (95.5)	1 (4.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	22
AZT/3TC	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
ABC	12 (92.3)	1 (7.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	13
TDF	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	4
3TC/ABC	47 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	47
FTC	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	2
TDF/FTC	6 (85.7)	1 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	7
TAF/FTC (DVY)	168 (98.8)	2 (1.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	170
RTV	28 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	28
LPV	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
ATV	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
FPV	5 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	5
DRV	27 (96.4)	1 (3.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	28
NVP	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	4
EFV	14 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	14
ETR	15 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	15
RPV	23 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	23
DOR	5 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	5
RAL	139 (99.3)	1 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	140
DTG	109 (97.3)	3 (2.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	112
MVC	13 (92.9)	1 (7.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	14
DTG/ABC/3TC (TRI)	43 (95.6)	2 (4.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	45
EVG/COBI/FTC/TAF (GEN)	21 (95.5)	1 (4.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	22
DRV/COBI (PCX)	17 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	17
RPV/TAF/FTC (ODF)	15 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	15
DRV/COBI/FTC/TAF (SMT)	12 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	12
RPV/DTG	13 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	13
BIC/TAF/FTC (BVY)	64 (97.0)	2 (3.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	66
DTG/3TC	8 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	8

() : 各行の投与者数より不明を除いた数を分母とする%

表4-1-11. 抗HIV薬別、副作用（令和2年度事業対象者）

抗HIV薬	副作用			投与者数	副作用（項目別）			
	あり	なし	不明		嘔気	下痢	口内炎	貧血
AZT	1 (33.3)	2 (66.7)	0	3	1 (33.3)	0 (0.0)	1 (33.3)	0 (0.0)
3TC	8 (38.1)	13 (61.9)	1	22	1 (4.8)	1 (4.8)	1 (4.8)	0 (0.0)
AZT/3TC	1 (100.0)	0 (0.0)	0	1	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
ABC	1 (8.3)	11 (91.7)	1	13	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
TDF	0 (0.0)	4 (100.0)	0	4	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
3TC/ABC	4 (8.9)	41 (91.1)	2	47	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
FTC	0 (0.0)	2 (100.0)	0	2	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
TDF/FTC	0 (0.0)	7 (100.0)	0	7	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
TAF/FTC (DVY)	11 (7.0)	146 (93.0)	13	170	2 (1.3)	2 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
RTV	4 (14.3)	24 (85.7)	0	28	0 (0.0)	1 (3.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
LPV	0 —	0 —	1	1	0 —	0 —	0 —	0 —
ATV	0 (0.0)	1 (100.0)	0	1	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
FPV	0 (0.0)	4 (100.0)	1	5	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
DRV	4 (14.3)	24 (85.7)	0	28	0 (0.0)	1 (3.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
NVP	1 (25.0)	3 (75.0)	0	4	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
EFV	0 (0.0)	12 (100.0)	2	14	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
ETR	2 (14.3)	12 (85.7)	1	15	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
RPV	5 (22.7)	17 (77.3)	1	23	2 (9.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
DOR	0 (0.0)	5 (100.0)	0	5	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
RAL	20 (15.3)	111 (84.7)	9	140	3 (2.3)	1 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
DTG	10 (9.5)	95 (90.5)	7	112	2 (1.9)	2 (1.9)	1 (1.0)	1 (1.0)
MVC	5 (35.7)	9 (64.3)	0	14	1 (7.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (7.1)
DTG/ABC/3TC (TRI)	5 (11.4)	39 (88.6)	1	45	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
EVG/COBI/FTC/TAF (GEN)	2 (9.1)	20 (90.9)	0	22	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
DRV/COBI (PCX)	3 (17.6)	14 (82.4)	0	17	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
RPV/TAF/FTC (ODF)	0 (0.0)	15 (100.0)	0	15	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
DRV/COBI/FTC/TAF (SMT)	1 (10.0)	9 (90.0)	2	12	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
RPV/DTG	2 (18.2)	9 (81.8)	2	13	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
BIC/TAF/FTC (BVY)	2 (3.3)	59 (96.7)	5	66	0 (0.0)	1 (1.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
DTG/3TC	0 (0.0)	8 (100.0)	0	8	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

(): 投与者数より不明を除いた数を分母とする%

表4-1-11 (続き). 抗HIV薬別、副作用 (令和2年度事業対象者)

抗HIV薬	副作用 (項目別)							
	血尿	しびれ	皮疹	頭痛	中枢神経症状	リボスτροφイー	黄疸	その他
AZT	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
3TC	0 (0.0)	3 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (23.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
AZT/3TC	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
ABC	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (8.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
TDF	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
3TC/ABC	1 (2.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (4.4)	0 (0.0)	1 (2.2)
FTC	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
TDF/FTC	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
TAF/FTC (DVY)	1 (0.6)	0 (0.0)	2 (1.3)	1 (0.6)	1 (0.6)	3 (1.9)	1 (0.6)	4 (2.5)
RTV	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.6)	1 (3.6)	2 (7.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
LPV	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
ATV	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
FPV	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
DRV	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.6)	1 (3.6)	2 (7.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
NVP	0 (0.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
EFV	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
ETR	0 (0.0)	1 (7.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
RPV	0 (0.0)	1 (4.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.5)	3 (13.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
DOR	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
RAL	1 (0.8)	4 (3.1)	1 (0.8)	0 (0.0)	2 (1.5)	9 (6.9)	1 (0.8)	3 (2.3)
DTG	1 (1.0)	0 (0.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	4 (3.8)	0 (0.0)	5 (4.8)
MVC	0 (0.0)	2 (14.3)	0 (0.0)	1 (7.1)	0 (0.0)	4 (28.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
DTG/ABC/3TC (TRI)	0 (0.0)	1 (2.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (2.3)	2 (4.5)	0 (0.0)	2 (4.5)
EVG/COBI/FTC/TAF (GEN)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.5)	1 (4.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
DRV/COBI (PCX)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.9)	0 (0.0)	3 (17.6)
RPV/TAF/FTC (ODF)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
DRV/COBI/FTC/TAF (SMT)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (10.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
RPV/DTG	0 (0.0)	1 (9.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (9.1)	1 (9.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
BIC/TAF/FTC (BVY)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
DTG/3TC	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

(): 投与者数より不明を除いた数を分母とする%

表4-1-12. HBs抗原の保有状況別、肝炎の状況（令和2年度事業対象者）

HBs抗原の保有状況	肝炎の状況					計
	肝がんあり	肝硬変あり	慢性肝炎あり	いずれもなし	不明	
陽性	1 (5.6)	1 (5.6)	10 (55.6)	6 (33.3)	3	21
陰性	14 (3.4)	45 (11.0)	189 (46.3)	160 (39.2)	7	415
不明	2 (4.4)	4 (8.9)	24 (53.3)	15 (33.3)	2	47
計	17 (3.6)	50 (10.6)	223 (47.3)	181 (38.4)	12	483

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-1-13. HCV抗体の保有状況別、肝炎の状況（令和2年度事業対象者）

HCV抗体の保有状況	肝炎の状況					計
	肝がんあり	肝硬変あり	慢性肝炎あり	いずれもなし	不明	
陽性	16 (4.3)	45 (12.0)	197 (52.4)	118 (31.4)	12	388
陰性	0 (0.0)	2 (4.0)	8 (16.0)	40 (80.0)	0	50
不明	1 (2.2)	3 (6.7)	18 (40.0)	23 (51.1)	0	45
計	17 (3.6)	50 (10.6)	223 (47.3)	181 (38.4)	12	483

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-1-14. HBs抗原の保有状況別、HCV抗体の保有状況（令和2年度事業対象者）

HBs抗原の保有状況	HCV抗体の保有状況			計
	陽性	陰性	不明	
陽性	16 (76.2)	5 (23.8)	0	21
陰性	344 (88.4)	45 (11.6)	26	415
不明	28 (100.0)	0 (0.0)	19	47
計	388 (88.6)	50 (11.4)	45	483

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-1-15. 肝炎の状況別、腹部画像検査（令和2年度事業対象者）

肝炎の状況	腹部画像検査の有無			計
	有	無*	不明	
肝がんあり	14 (100.0)	0 (0.0)	3	17
肝硬変あり	43 (91.5)	4 (8.5)	3	50
慢性肝炎あり	121 (66.1)	62 (33.9)	40	223
いずれもなし	72 (52.2)	66 (47.8)	43	181
不明	3 —	5 —	4	12
計	253 (64.9)	137 (35.1)	93	483

(): 各行の計より未検査と不明を除いた数を分母とする%

* 「無」と「未検査」の合計

表4-1-16. 肝炎の状況別、HCV-RNA量（令和2年度事業対象者）

肝炎の状況	HCV-RNA 量 (TaqMan 法) (LogIU/ml)						計
	検出せず	～3.7 未満	3.7～6.0 未満	6.0～6.7 未満	6.7 以上	不明	
肝がんあり	12 (92.3)	0 (0.0)	1 (7.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	4	17
肝硬変あり	43 (93.5)	2 (4.3)	1 (2.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	4	50
慢性肝炎あり	173 (97.2)	1 (0.6)	2 (1.1)	1 (0.6)	1 (0.6)	45	223
いずれもなし	103 (99.0)	1 (1.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	77	181
不明	12 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	12
計	343 (97.2)	4 (1.1)	4 (1.1)	1 (0.3)	1 (0.3)	130	483

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-1-17. 肝炎の状況別、HCV-RNAセロタイプとゲノタイプ（令和2年度事業対象者）

肝炎の状況	セロタイプ				計
	1グループ	2グループ	該当なし	不明	
肝がんあり	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	15	17
肝硬変あり	5 (83.3)	0 (0.0)	1 (16.7)	44	50
慢性肝炎あり	22 (66.7)	3 (9.1)	8 (24.2)	190	223
いずれもなし	8 (66.7)	3 (25.0)	1 (8.3)	169	181
不明	1 —	0 —	0 —	11	12
計	38 (70.4)	6 (11.1)	10 (18.5)	429	483

肝炎の状況	ゲノタイプ							計
	1a	1b	2a	2b	3a	その他	不明	
肝がんあり	1 (14.3)	3 (42.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (14.3)	2 (28.6)	10	17
肝硬変あり	6 (30.0)	2 (10.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	8 (40.0)	3 (15.0)	30	50
慢性肝炎あり	25 (30.5)	12 (14.6)	8 (9.8)	6 (7.3)	22 (26.8)	9 (11.0)	141	223
いずれもなし	6 (50.0)	1 (8.3)	0 (0.0)	2 (16.7)	2 (16.7)	1 (8.3)	169	181
不明	1 —	1 —	1 —	0 —	1 —	0 —	8	12
計	39 (31.2)	19 (15.2)	10 (8.0)	8 (6.4)	34 (27.2)	15 (12.0)	358	483

() : 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-1-18. 肝炎の状況別、血小板数、ALT、総ビリルビン、アルブミン、プロトロンビン
(令和2年度事業対象者)

肝炎の状況	血小板数 (×10 ⁴ /mm ³)					計
	～15 未満	15～20 未満	20～25 未満	25 以上～	不明	
肝がんあり	12 (70.6)	3 (17.6)	2 (11.8)	0 (0.0)	0	17
肝硬変あり	33 (66.0)	7 (14.0)	6 (12.0)	4 (8.0)	0	50
慢性肝炎あり	25 (11.4)	74 (33.6)	69 (31.4)	52 (23.6)	3	223
いずれもなし	21 (11.6)	51 (28.2)	52 (28.7)	57 (31.5)	0	181
不明	0 (0.0)	6 (50.0)	4 (33.3)	2 (16.7)	0	12
計	91 (19.0)	141 (29.4)	133 (27.7)	115 (24.0)	3	483

肝炎の状況	ALT(GPT) (IU/L)					計
	～40 未満	40～80 未満	80～120 未満	120 以上～	不明	
肝がんあり	12 (70.6)	4 (23.5)	1 (5.9)	0 (0.0)	0	17
肝硬変あり	40 (80.0)	8 (16.0)	1 (2.0)	1 (2.0)	0	50
慢性肝炎あり	165 (74.7)	46 (20.8)	6 (2.7)	4 (1.8)	2	223
いずれもなし	145 (80.1)	30 (16.6)	5 (2.8)	1 (0.6)	0	181
不明	11 (91.7)	1 (8.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	12
計	373 (77.5)	89 (18.5)	13 (2.7)	6 (1.2)	2	483

肝炎の状況	総ビリルビン (mg/dl)					計
	～0.7 未満	0.7～1.3 未満	1.3～1.6 未満	1.6 以上～	不明	
肝がんあり	3 (17.6)	8 (47.1)	0 (0.0)	6 (35.3)	0	17
肝硬変あり	17 (35.4)	17 (35.4)	6 (12.5)	8 (16.7)	2	50
慢性肝炎あり	101 (47.0)	101 (47.0)	8 (3.7)	5 (2.3)	8	223
いずれもなし	81 (45.8)	86 (48.6)	6 (3.4)	4 (2.3)	4	181
不明	5 (41.7)	5 (41.7)	1 (8.3)	1 (8.3)	0	12
計	207 (44.1)	217 (46.3)	21 (4.5)	24 (5.1)	14	483

肝炎の状況	アルブミン (g/dL)					計
	～3.0 未満	3.0～3.5 未満	3.5～4.0 未満	4.0 以上～	不明	
肝がんあり	3 (18.8)	1 (6.3)	2 (12.5)	10 (62.5)	1	17
肝硬変あり	3 (6.1)	4 (8.2)	14 (28.6)	28 (57.1)	1	50
慢性肝炎あり	2 (1.0)	3 (1.4)	8 (3.8)	195 (93.8)	15	223
いずれもなし	1 (0.6)	0 (0.0)	9 (5.7)	148 (93.7)	23	181
不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (100.0)	2	12
計	9 (2.0)	8 (1.8)	33 (7.5)	391 (88.7)	42	483

肝炎の状況	プロトロンビン PT活性% (%)					計
	～50 未満	50～70 未満	70～100 未満	100 以上～	不明	
肝がんあり	0 (0.0)	3 (21.4)	7 (50.0)	4 (28.6)	3	17
肝硬変あり	0 (0.0)	6 (15.0)	27 (67.5)	7 (17.5)	10	50
慢性肝炎あり	1 (0.7)	1 (0.7)	70 (47.3)	76 (51.4)	75	223
いずれもなし	0 (0.0)	0 (0.0)	35 (32.4)	73 (67.6)	73	181
不明	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (62.5)	3 (37.5)	4	12
計	1 (0.3)	10 (3.1)	144 (45.3)	163 (51.3)	165	483

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-1-19. 肝炎の状況別、PIVKA II、AFP、クレアチニン、eGFR、シスタチンC
(令和2年度事業対象者)

肝炎の状況	PIVKA II (mAU/mL)					計
	～20 未満	20～30 未満	30～40 未満	40 以上～	不明	
肝がんあり	4 (23.5)	6 (35.3)	2 (11.8)	5 (29.4)	0	17
肝硬変あり	21 (52.5)	9 (22.5)	4 (10.0)	6 (15.0)	10	50
慢性肝炎あり	30 (31.6)	43 (45.3)	18 (18.9)	4 (4.2)	128	223
いずれもなし	14 (20.6)	38 (55.9)	11 (16.2)	5 (7.4)	113	181
不明	0 (0.0)	5 (83.3)	1 (16.7)	0 (0.0)	6	12
計	69 (30.5)	101 (44.7)	36 (15.9)	20 (8.8)	257	483

肝炎の状況	AFP (ng/mL)					計
	～3 未満	3～6 未満	6～20 未満	20 以上～	不明	
肝がんあり	4 (26.7)	7 (46.7)	4 (26.7)	0 (0.0)	2	17
肝硬変あり	10 (22.7)	29 (65.9)	4 (9.1)	1 (2.3)	6	50
慢性肝炎あり	64 (48.1)	58 (43.6)	8 (6.0)	3 (2.3)	90	223
いずれもなし	40 (48.2)	36 (43.4)	5 (6.0)	2 (2.4)	98	181
不明	3 (37.5)	5 (62.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	4	12
計	121 (42.8)	135 (47.7)	21 (7.4)	6 (2.1)	200	483

肝炎の状況	クレアチニン (mg/dL)					計
	～0.6 未満	0.6～1.2 未満	1.2～1.8 未満	1.8 以上～	不明	
肝がんあり	4 (23.5)	11 (64.7)	1 (5.9)	1 (5.9)	0	17
肝硬変あり	4 (8.2)	36 (73.5)	3 (6.1)	6 (12.2)	1	50
慢性肝炎あり	12 (5.4)	188 (85.1)	15 (6.8)	6 (2.7)	2	223
いずれもなし	15 (8.3)	158 (87.3)	6 (3.3)	2 (1.1)	0	181
不明	1 (8.3)	11 (91.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	12
計	36 (7.5)	404 (84.2)	25 (5.2)	15 (3.1)	3	483

肝炎の状況	eGFR (mL/分/1.73m ²)							計
	～15 未満	15～30 未満	30～45 未満	45～60 未満	60～90 未満	90 以上～	不明	
肝がんあり	2 (12.5)	0 (0.0)	1 (6.3)	1 (6.3)	5 (31.3)	7 (43.8)	1	17
肝硬変あり	4 (8.3)	1 (2.1)	3 (6.3)	2 (4.2)	23 (47.9)	15 (31.3)	2	50
慢性肝炎あり	5 (2.4)	2 (0.9)	7 (3.3)	23 (10.9)	130 (61.6)	44 (20.9)	12	223
いずれもなし	1 (0.6)	0 (0.0)	7 (4.1)	21 (12.3)	99 (57.9)	43 (25.1)	10	181
不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (10.0)	7 (70.0)	2 (20.0)	2	12
計	12 (2.6)	3 (0.7)	18 (3.9)	48 (10.5)	264 (57.9)	111 (24.3)	27	483

肝炎の状況	シスタチンC (mg/L)					計
	～0.63 未満	0.63～0.95 未満	0.95～1.20 未満	1.20 以上～	不明	
肝がんあり	0 (0.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	3 (75.0)	13	17
肝硬変あり	0 (0.0)	2 (20.0)	4 (40.0)	4 (40.0)	40	50
慢性肝炎あり	0 (0.0)	13 (50.0)	9 (34.6)	4 (15.4)	197	223
いずれもなし	0 (0.0)	21 (65.6)	7 (21.9)	4 (12.5)	149	181
不明	0 —	1 —	1 —	1 —	9	12
計	0 (0.0)	38 (50.7)	21 (28.0)	16 (21.3)	408	483

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-1-20. 肝炎の状況別、C型肝炎治療歴と肝移植歴（令和2年度事業対象者）

肝炎の状況	C型肝炎治療歴			肝移植歴			計
	あり	なし	不明	あり	なし	不明	
肝がんあり	13 (76.5)	4 (23.5)	0	1 (5.9)	16 (94.1)	0	17
肝硬変あり	44 (89.8)	5 (10.2)	1	2 (4.1)	47 (95.9)	1	50
慢性肝炎あり	189 (86.7)	29 (13.3)	5	2 (0.9)	216 (99.1)	5	223
いずれもなし	80 (44.9)	98 (55.1)	3	2 (1.1)	176 (98.9)	3	181
不明	9 (90.0)	1 (10.0)	2	0 (0.0)	11 (100.0)	1	12
計	335 (71.0)	137 (29.0)	11	7 (1.5)	466 (98.5)	10	483

() : 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-1-21. 肝炎の状況別、C型肝炎治療薬の投与状況（令和2年度事業対象者）

肝炎の状況	C型肝炎治療薬の投与			計
	あり	なし	不明	
肝がんあり	0 (0.0)	17 (100.0)	0	17
肝硬変あり	0 (0.0)	49 (100.0)	1	50
慢性肝炎あり	0 (0.0)	220 (100.0)	3	223
いずれもなし	0 (0.0)	179 (100.0)	2	181
不明	0 (0.0)	12 (100.0)	0	12
計	0 (0.0)	477 (100.0)	6	483

() : 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-1-22. 肝炎の状況別、CD4値（令和2年度事業対象者）

肝炎の状況	CD4 値					計
	～200 未満	200～350 未満	350～500 未満	500 以上	不明	
肝がんあり	7 (41.2)	1 (5.9)	5 (29.4)	4 (23.5)	0	17
肝硬変あり	10 (20.4)	11 (22.4)	16 (32.7)	12 (24.5)	1	50
慢性肝炎あり	4 (1.8)	38 (17.0)	65 (29.1)	116 (52.0)	0	223
いずれもなし	7 (3.9)	25 (13.8)	46 (25.4)	103 (56.9)	0	181
不明	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (50.0)	6 (50.0)	0	12
計	28 (5.8)	75 (15.6)	138 (28.6)	241 (50.0)	1	483

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-1-23. 肝炎の状況別、HIV-RNA量（令和2年度事業対象者）

肝炎の状況	HIV-RNA 量						計
	50未満*	50～ 400未満	400～ 1000未満	1000～ 10000未満	10000以上	不明	
肝がんあり	17 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	17
肝硬変あり	50 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	50
慢性肝炎あり	214 (96.4)	6 (2.7)	1 (0.5)	1 (0.5)	0 (0.0)	1	223
いずれもなし	173 (96.1)	6 (3.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	1	181
不明	12 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	12
計	466 (96.9)	12 (2.5)	1 (0.2)	1 (0.2)	1 (0.2)	2	483

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

*: 検出限界未満（検出限界値 50 以下、不明）を含む

表4-1-24. 肝炎の状況別、抗HIV薬の併用区分（令和2年度事業対象者）

肝炎の状況	抗HIV薬の併用区分								計
	投与なし (投与歴なし)	投与なし (投与歴あり)	NRTI 2剤 + PI 1・2剤	NRTI 2剤 + NNRTI	NRTI 2剤 + INSTI	その他 (INSTI含む)	その他 (INSTI含まず)	不明	
肝がんあり	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.9)	11 (64.7)	5 (29.4)	0 (0.0)	0	17
肝硬変あり	0 (0.0)	1 (2.0)	2 (4.0)	6 (12.0)	26 (52.0)	13 (26.0)	2 (4.0)	0	50
慢性肝炎あり	5 (2.2)	1 (0.4)	5 (2.2)	17 (7.6)	150 (67.3)	39 (17.5)	6 (2.7)	0	223
いずれもなし	3 (1.7)	3 (1.7)	11 (6.1)	12 (6.6)	116 (64.1)	33 (18.2)	3 (1.7)	0	181
不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (8.3)	9 (75.0)	2 (16.7)	0 (0.0)	0	12
計	8 (1.7)	5 (1.0)	18 (3.7)	37 (7.7)	312 (64.6)	92 (19.0)	11 (2.3)	0	483

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-1-25. 年齢別、血圧（令和2年度事業対象者）

年齢	血圧（収縮期血圧、拡張期血圧）						計
	< 120 かつ < 80	120—139 かつ／または 80—89	140—159 かつ／または 90—99	160—179 かつ／または 100—109	≥ 180 かつ／または ≥ 110	不明	
30～40 歳未満	3 (15.0)	12 (60.0)	5 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6	26
40～50 歳未満	25 (16.6)	66 (43.7)	46 (30.5)	12 (7.9)	2 (1.3)	69	220
50～60 歳未満	16 (12.5)	52 (40.6)	47 (36.7)	11 (8.6)	2 (1.6)	44	172
60 歳以上	11 (22.9)	21 (43.8)	13 (27.1)	1 (2.1)	2 (4.2)	15	63
計	55 (15.9)	151 (43.5)	111 (32.0)	24 (6.9)	6 (1.7)	134	481

対象：30 歳以上

（ ）：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

表4-1-26. CD4値別、血圧（令和2年度事業対象者）

CD4 値	血圧（収縮期血圧、拡張期血圧）						計
	< 120 かつ < 80	120—139 かつ／または 80—89	140—159 かつ／または 90—99	160—179 かつ／または 100—109	≥ 180 かつ／または ≥ 110	不明	
～200 未満	7 (30.4)	7 (30.4)	9 (39.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	5	28
200～350 未満	12 (21.1)	27 (47.4)	16 (28.1)	2 (3.5)	0 (0.0)	18	75
350～500 未満	13 (13.4)	42 (43.3)	30 (30.9)	9 (9.3)	3 (3.1)	41	138
500 以上	23 (13.5)	75 (44.1)	56 (32.9)	13 (7.6)	3 (1.8)	71	241
不明	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	1	1
計	55 (15.9)	151 (43.5)	111 (32.0)	24 (6.9)	6 (1.7)	136	483

（ ）：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

表4-1-27. 年齢別、骨密度（令和2年度事業対象者）

年齢	骨密度（％）					計
	40～60 未満	60～80 未満	80～100 未満	100 以上	不明	
30～40 歳未満	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (100.0)	0 (0.0)	24	26
40～50 歳未満	1 (5.6)	4 (22.2)	11 (61.1)	2 (11.1)	202	220
50～60 歳未満	2 (8.3)	6 (25.0)	14 (58.3)	2 (8.3)	148	172
60 歳以上	0 (0.0)	1 (25.0)	3 (75.0)	0 (0.0)	59	63
計	3 (6.3)	11 (22.9)	30 (62.5)	4 (8.3)	433	481

対象：30 歳以上

（ ）：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

表4-1-28. CD4値別、骨密度（令和2年度事業対象者）

CD4 値	骨密度（％）					計
	40～60 未満	60～80 未満	80～100 未満	100 以上	不明	
～200 未満	0 —	0 —	0 —	0 —	28	28
200～350 未満	1 (11.1)	3 (33.3)	4 (44.4)	1 (11.1)	66	75
350～500 未満	0 (0.0)	3 (23.1)	10 (76.9)	0 (0.0)	125	138
500 以上	2 (7.7)	5 (19.2)	16 (61.5)	3 (11.5)	215	241
不明	0 —	0 —	0 —	0 —	1	1
計	3 (6.3)	11 (22.9)	30 (62.5)	4 (8.3)	435	483

（ ）：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

表4-1-29. 年齢別、疾患の有無（令和2年度事業対象者）

年齢	脳血管疾患						計
	あり	ありの内訳			なし	不明	
		脳出血	脳梗塞	その他の脳血管疾患			
30～40 歳未満	2 (7.7)	2 (7.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	24 (92.3)	0	26
40～50 歳未満	19 (8.7)	16 (7.3)	2 (0.9)	1 (0.5)	199 (91.3)	2	220
50～60 歳未満	14 (8.2)	10 (5.9)	2 (1.2)	2 (1.2)	156 (91.8)	2	172
60 歳以上	4 (6.3)	0 (0.0)	3 (4.8)	1 (1.6)	59 (93.7)	0	63
計	39 (8.2)	28 (5.9)	7 (1.5)	4 (0.8)	438 (91.8)	4	481

年齢	虚血性心疾患					計
	あり	ありの内訳		なし	不明	
		心筋梗塞	その他の虚血性心疾患			
30～40 歳未満	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	26 (100.0)	0	26
40～50 歳未満	2 (0.9)	1 (0.5)	1 (0.5)	216 (99.1)	2	220
50～60 歳未満	4 (2.4)	3 (1.8)	1 (0.6)	166 (97.6)	2	172
60 歳以上	4 (6.3)	1 (1.6)	3 (4.8)	59 (93.7)	0	63
計	10 (2.1)	5 (1.0)	5 (1.0)	467 (97.9)	4	481

年齢	肝以外の悪性新生物			計
	あり	なし	不明	
30～40 歳未満	0 (0.0)	26 (100.0)	0	26
40～50 歳未満	5 (2.3)	212 (97.7)	3	220
50～60 歳未満	7 (4.1)	162 (95.9)	3	172
60 歳以上	7 (11.1)	56 (88.9)	0	63
計	19 (4.0)	456 (96.0)	6	481

年齢	高血圧・糖尿病					計
	あり	ありの内訳		なし	不明	
		高血圧	糖尿病			
30～40 歳未満	4 (16.7)	2 (8.3)	2 (8.3)	20 (83.3)	2	26
40～50 歳未満	70 (32.4)	58 (26.9)	22 (10.2)	146 (67.6)	4	220
50～60 歳未満	80 (47.3)	74 (43.8)	17 (10.1)	89 (52.7)	3	172
60 歳以上	28 (44.4)	22 (34.9)	14 (22.2)	35 (55.6)	0	63
計	182 (38.6)	156 (33.1)	55 (11.7)	290 (61.4)	9	481

対象：30歳以上

()：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

2. 生活状況の現状

本節では、以下の表を示した。

表4-2-1.	居住地	(令和2年度事業対象者)
表4-2-2.	住居の種類	(令和2年度事業対象者)
表4-2-3.	世帯人員数	(令和2年度事業対象者)
表4-2-4.	同居人続柄	(令和2年度事業対象者)
表4-2-5.	就業状況	(令和2年度事業対象者)
表4-2-6.	就業者の就業日数・就業時間	(令和2年度事業対象者)
表4-2-7.	就業者の仕事の種類	(令和2年度事業対象者)
表4-2-8.	障害者雇用の利用	(令和2年度事業対象者)
表4-2-9.	障害者向け就労支援サービスの利用	(令和2年度事業対象者)
表4-2-10.	健康意識	(令和2年度事業対象者)
表4-2-11.	こころの状態	(令和2年度事業対象者)
表4-2-12.	自覚症状の有無と最も気になる症状	(令和2年度事業対象者)
表4-2-13.	自覚症状の各項目	(令和2年度事業対象者)
表4-2-14.	血友病・HIV関連を除く入院・通院の有無と最も気になる傷病	(令和2年度事業対象者)
表4-2-15.	血友病・HIV関連を除く入院・通院の各傷病	(令和2年度事業対象者)
表4-2-16.	現在の生活の状況	(令和2年度事業対象者)
表4-2-17.	日常生活の悩みやストレスの有無と最も気になる悩みやストレスの原因	(令和2年度事業対象者)
表4-2-18.	悩みやストレスの原因の各項目	(令和2年度事業対象者)
表4-2-19.	最も気になる悩みやストレスの相談	(令和2年度事業対象者)
表4-2-20.	悩みやストレスの相談の各項目	(令和2年度事業対象者)
表4-2-21.	障害者手帳の取得状況	(令和2年度事業対象者)
表4-2-22.	身体障害者手帳の等級	(令和2年度事業対象者)
表4-2-23.	身体障害者手帳の種別	(令和2年度事業対象者)
表4-2-24.	障害者手帳を取得していない理由	(令和2年度事業対象者)
表4-2-25.	障害者総合支援法に基づく障害支援区分の認定状況	(令和2年度事業対象者)
表4-2-26.	障害者総合支援法に基づく障害支援区分の認定を受けた区分	(令和2年度事業対象者)
表4-2-27.	障害福祉サービスの利用状況	(令和2年度事業対象者)
表4-2-28.	介護保険法に基づく要介護（支援）認定状況	(令和2年度事業対象者)
表4-2-29.	介護保険法に基づく要介護（支援）の認定区分	(令和2年度事業対象者)
表4-2-30.	介護サービスの利用の有無と利用している介護サービス	(令和2年度事業対象者)
表4-2-31.	生活意識	(令和2年度事業対象者)
表4-2-32.	所得金額	(令和2年度事業対象者)

表4-2-33.	公的年金の受給状況	(令和2年度事業対象者)
表4-2-34.	自由記載欄の記入の有無	(令和2年度事業対象者)
表4-2-35.	身長、体重とBMI	(令和2年度事業対象者)
表4-2-36.	CD4値別、就業状況	(令和2年度事業対象者)
表4-2-37.	CD4値別、健康意識	(令和2年度事業対象者)
表4-2-38.	CD4値別、こころの状態	(令和2年度事業対象者)
表4-2-39.	世帯人員数別、住居の種類	(令和2年度事業対象者)
表4-2-40.	就業状況別、所得金額	(令和2年度事業対象者)

表4-2-1. 居住地域（令和2年度事業対象者）

現在の住まい・地域ブロック別 (問1)	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
北海道	2 (7.1)	11 (5.0)	8 (4.7)	7 (11.1)	28 (5.9)
東北	3 (10.7)	11 (5.0)	20 (11.8)	4 (6.3)	38 (7.9)
関東甲信越（東京除く）	6 (21.4)	54 (24.8)	35 (20.7)	13 (20.6)	108 (22.6)
東京	2 (7.1)	28 (12.8)	33 (19.5)	10 (15.9)	73 (15.3)
東海	5 (17.9)	17 (7.8)	9 (5.3)	3 (4.8)	34 (7.1)
北陸	0 (0.0)	3 (1.4)	4 (2.4)	5 (7.9)	12 (2.5)
近畿	3 (10.7)	35 (16.1)	23 (13.6)	8 (12.7)	69 (14.4)
中国・四国	3 (10.7)	16 (7.3)	9 (5.3)	1 (1.6)	29 (6.1)
九州	4 (14.3)	43 (19.7)	28 (16.6)	12 (19.0)	87 (18.2)
不明	0 -	2 -	3 -	0 -	5 -
計	28	220	172	63	483

() : 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-2-2. 住居の種類（令和2年度事業対象者）

現在の住まい・住居の種類 (問1)	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
持ち家	19 (67.9)	150 (68.5)	133 (78.7)	55 (87.3)	357 (74.5)
賃貸	9 (32.1)	59 (26.9)	32 (18.9)	5 (7.9)	105 (21.9)
社宅等	0 (0.0)	4 (1.8)	1 (0.6)	0 (0.0)	5 (1.0)
病院・診療所に入院中	0 (0.0)	1 (0.5)	1 (0.6)	2 (3.2)	4 (0.8)
社会福祉施設等に入所中	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他	0 (0.0)	5 (2.3)	2 (1.2)	1 (1.6)	8 (1.7)
不明	0 -	1 -	3 -	0 -	4 -
計	28	220	172	63	483

() : 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-2-3. 世帯人員数（令和2年度事業対象者）

世帯人員数 (問2)	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
1 人	3 (10.7)	45 (20.5)	35 (20.6)	15 (23.8)	98 (20.4)
2 人	3 (10.7)	55 (25.1)	70 (41.2)	32 (50.8)	160 (33.3)
3 人	9 (32.1)	76 (34.7)	34 (20.0)	12 (19.0)	131 (27.3)
4 人	7 (25.0)	30 (13.7)	22 (12.9)	3 (4.8)	62 (12.9)
5 人	4 (14.3)	10 (4.6)	6 (3.5)	0 (0.0)	20 (4.2)
6 人	0 (0.0)	1 (0.5)	0 (0.0)	1 (1.6)	2 (0.4)
7 人	2 (7.1)	2 (0.9)	3 (1.8)	0 (0.0)	7 (1.5)
不明	0 -	1 -	2 -	0 -	3 -
計	28	220	172	63	483

() : 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-2-4. 同居人続柄（令和2年度事業対象者）

同居人続柄 (問2-1)	年齢				合計
	～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
配偶者	12 (42.9)	81 (37.0)	71 (41.8)	37 (58.7)	201 (41.9)
子供：未成年	10 (35.7)	48 (21.9)	23 (13.5)	3 (4.8)	84 (17.5)
子供：成人	0 (0.0)	5 (2.3)	15 (8.8)	7 (11.1)	27 (5.6)
父母	13 (46.4)	94 (42.9)	61 (35.9)	11 (17.5)	179 (37.3)
兄弟姉妹	7 (25.0)	22 (10.0)	18 (10.6)	3 (4.8)	50 (10.4)
その他	0 (0.0)	7 (3.2)	10 (5.9)	2 (3.2)	19 (4.0)
対象者数	28	219	170	63	480

() : 各列の対象者数を分母とする％
問2が不明の者以外が対象、複数回答

表4-2-5. 就業状況（令和2年度事業対象者）

過去1か月間の仕事の状況 (問3)	年齢				合計
	～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
仕事あり	17 (60.7)	161 (73.9)	116 (67.8)	22 (34.9)	316 (65.8)
主に仕事をしている	15 [53.6]	141 [64.7]	94 [55.0]	16 [25.4]	266 [55.4]
主に家事で仕事あり	1 [3.6]	9 [4.1]	11 [6.4]	0 [0.0]	21 [4.4]
主に通学で仕事あり	1 [3.6]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.2]
仕事あり（上記以外）	0 [0.0]	11 [5.0]	11 [6.4]	6 [9.5]	28 [5.8]
仕事なし	11 (39.3)	57 (26.1)	55 (32.2)	41 (65.1)	164 (34.2)
家事（専業）	4 [14.3]	13 [6.0]	15 [8.8]	11 [17.5]	43 [9.0]
就職希望あり	5 [17.9]	20 [9.2]	16 [9.4]	5 [7.9]	46 [9.6]
就職希望なし	2 [7.1]	24 [11.0]	24 [14.0]	25 [39.7]	75 [15.6]
不明	0 —	2 —	1 —	0 —	3 —
計	28	220	172	63	483

() , [] : 各列の計より不明を除いた数を分母とする％

表4-2-6. 就業者の就業日数・就業時間（令和2年度事業対象者）

過去1週間に仕事をした日数、 1日あたりの時間数（問3-1）	年齢				合計
	～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
過去1週間に実際に仕事をした日数					
0日	0 (0.0)	1 (0.6)	4 (3.6)	0 (0.0)	5 (1.6)
1日	1 (5.9)	1 (0.6)	2 (1.8)	2 (9.5)	6 (2.0)
2日	0 (0.0)	6 (3.8)	4 (3.6)	2 (9.5)	12 (3.9)
3日	0 (0.0)	7 (4.4)	5 (4.5)	0 (0.0)	12 (3.9)
4日	5 (29.4)	9 (5.7)	5 (4.5)	2 (9.5)	21 (6.8)
5日	8 (47.1)	107 (67.7)	72 (64.9)	13 (61.9)	200 (65.1)
6日	2 (11.8)	25 (15.8)	15 (13.5)	2 (9.5)	44 (14.3)
7日	1 (5.9)	2 (1.3)	4 (3.6)	0 (0.0)	7 (2.3)
不明	0 -	3 -	5 -	1 -	9 -
過去1週間に勤務した1日あたりの概ねの時間数					
5時間未満	0 (0.0)	16 (10.3)	7 (6.6)	1 (4.8)	24 (8.0)
5～8時間未満	4 (25.0)	30 (19.2)	21 (19.8)	10 (47.6)	65 (21.7)
8～9時間未満	6 (37.5)	69 (44.2)	57 (53.8)	7 (33.3)	139 (46.5)
9～13時間未満	6 (37.5)	39 (25.0)	21 (19.8)	3 (14.3)	69 (23.1)
13時間以上	0 (0.0)	2 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.7)
不明	1 -	5 -	10 -	1 -	17 -
計	17	161	116	22	316

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする％
問3で「仕事あり」の者が対象

表4-2-7. 就業者の仕事の種類（令和2年度事業対象者）

現在の主な仕事 （問3-2）	年齢				合計
	～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
勤め	15 (88.2)	133 (83.6)	97 (84.3)	15 (68.2)	260 (83.1)
自営	2 (11.8)	26 (16.4)	18 (15.7)	7 (31.8)	53 (16.9)
不明	0 -	2 -	1 -	0 -	3 -
計	17	161	116	22	316

勤め先での呼称 （問3-3）	年齢				合計
	～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
正規の職員・従業員	10 (66.7)	103 (77.4)	70 (72.2)	7 (46.7)	190 (73.1)
パート	2 (13.3)	9 (6.8)	10 (10.3)	3 (20.0)	24 (9.2)
アルバイト	2 (13.3)	7 (5.3)	4 (4.1)	0 (0.0)	13 (5.0)
労働者派遣事業所の派遣社員	0 (0.0)	2 (1.5)	2 (2.1)	1 (6.7)	5 (1.9)
契約社員	0 (0.0)	8 (6.0)	6 (6.2)	0 (0.0)	14 (5.4)
嘱託	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.1)	2 (13.3)	4 (1.5)
その他	1 (6.7)	4 (3.0)	3 (3.1)	2 (13.3)	10 (3.8)
不明	2 -	28 -	19 -	7 -	56 -
計	17	161	116	22	316

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする％
問3で「仕事あり」の者が対象

表4-2-8. 障害者雇用の利用（令和2年度事業対象者）

障害者雇用を知っているかとその利用 （問4）	年齢				合計
	～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
障害者雇用について					
知っている	21 (75.0)	179 (85.6)	149 (90.3)	60 (96.8)	409 (88.1)
知らない	7 (25.0)	30 (14.4)	16 (9.7)	2 (3.2)	55 (11.9)
不明	0 —	11 —	7 —	1 —	19 —
障害者雇用の利用について					
障害者雇用として働いている	2 (7.7)	41 (20.5)	28 (17.4)	7 (12.3)	78 (17.6)
障害者雇用を検討している	2 (7.7)	29 (14.5)	19 (11.8)	5 (8.8)	55 (12.4)
障害者雇用を検討しなかった ・検討していない	22 (84.6)	130 (65.0)	114 (70.8)	45 (78.9)	311 (70.0)
不明	2 —	20 —	11 —	6 —	39 —
計	28	220	172	63	483

（ ）：各列の計より不明を除いた数を分母とする％

表4-2-9. 障害者向け就労支援サービスの利用（令和2年度事業対象者）

障害者向け就労支援サービスを知っているかとその利用（問5）	年齢				合計
	～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
障害者向け就労支援サービスについて					
知っている	14 (50.0)	134 (62.3)	114 (68.3)	45 (72.6)	307 (65.0)
知らない	14 (50.0)	81 (37.7)	53 (31.7)	17 (27.4)	165 (35.0)
不明	0 —	5 —	5 —	1 —	11 —
障害者向け就労支援サービスの利用について					
利用した・現在利用している	2 (8.0)	19 (8.9)	14 (8.8)	2 (3.6)	37 (8.1)
利用を検討している	3 (12.0)	28 (13.1)	18 (11.3)	6 (10.7)	55 (12.1)
受けるつもりはない・なかった	20 (80.0)	166 (77.9)	128 (80.0)	48 (85.7)	362 (79.7)
不明	3 —	7 —	12 —	7 —	29 —
計	28	220	172	63	483

（ ）：各列の計より不明を除いた数を分母とする％

表4-2-10. 健康意識（令和2年度事業対象者）

現在の健康状態 （問6）	年齢				合計
	～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
よい	0 (0.0)	21 (9.5)	12 (7.2)	5 (7.9)	38 (8.0)
まあよい	5 (18.5)	44 (20.0)	25 (15.1)	7 (11.1)	81 (17.0)
ふつう	16 (59.3)	86 (39.1)	62 (37.3)	21 (33.3)	185 (38.9)
あまりよくない	5 (18.5)	62 (28.2)	60 (36.1)	24 (38.1)	151 (31.7)
よくない	1 (3.7)	7 (3.2)	7 (4.2)	6 (9.5)	21 (4.4)
不明	1 —	0 —	6 —	0 —	7 —
計	28	220	172	63	483

（ ）：各列の計より不明を除いた数を分母とする％

表4-2-11. こころの状態（令和2年度事業対象者）

こころの状態（K6の合計点数） （問7）	年齢				合計
	～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
0～4点	10 (35.7)	96 (44.7)	63 (37.7)	30 (50.0)	199 (42.3)
5～9点	9 (32.1)	51 (23.7)	50 (29.9)	17 (28.3)	127 (27.0)
10～14点	7 (25.0)	42 (19.5)	32 (19.2)	10 (16.7)	91 (19.4)
15点～	2 (7.1)	26 (12.1)	22 (13.2)	3 (5.0)	53 (11.3)
不明	0 —	5 —	5 —	3 —	13 —
計	28	220	172	63	483

（ ）：各列の計より不明を除いた数を分母とする％

表4-2-12. 自覚症状の有無と最も気になる症状（令和2年度事業対象者）

自覚症状 (問8、8-1)	年齢				合計
	～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
ある	17 (63.0)	146 (66.7)	124 (72.9)	43 (69.4)	330 (69.0)
最も気になる症状					
1 熱がある	0 [0.0]	1 [0.5]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.2]
2 体がだるい	2 [7.4]	11 [5.0]	6 [3.5]	6 [9.7]	25 [5.2]
3 眠れない	0 [0.0]	6 [2.7]	3 [1.8]	1 [1.6]	10 [2.1]
4 いろいろしやすい	1 [3.7]	2 [0.9]	0 [0.0]	0 [0.0]	3 [0.6]
5 ものを忘れる	0 [0.0]	0 [0.0]	2 [1.2]	0 [0.0]	2 [0.4]
6 頭痛	0 [0.0]	2 [0.9]	1 [0.6]	0 [0.0]	3 [0.6]
7 めまい	0 [0.0]	1 [0.5]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.2]
8 目のかすみ	0 [0.0]	1 [0.5]	1 [0.6]	0 [0.0]	2 [0.4]
9 物を見づらい	0 [0.0]	2 [0.9]	2 [1.2]	0 [0.0]	4 [0.8]
10 耳なりがする	0 [0.0]	2 [0.9]	1 [0.6]	1 [1.6]	4 [0.8]
11 きこえにくい	0 —	0 —	0 —	0 —	0 [0.0]
12 動悸	0 [0.0]	1 [0.5]	3 [1.8]	0 [0.0]	4 [0.8]
13 息切れ	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.6]	0 [0.0]	1 [0.2]
14 前胸部に痛みがある	0 [0.0]	3 [1.4]	0 [0.0]	0 [0.0]	3 [0.6]
15 せきやたんが出る	0 [0.0]	0 [0.0]	2 [1.2]	0 [0.0]	2 [0.4]
16 鼻がつまる・鼻汁が出る	0 [0.0]	3 [1.4]	2 [1.2]	0 [0.0]	5 [1.0]
17 ゼイゼイする	0 —	0 —	0 —	0 —	0 [0.0]
18 胃のもたれ・むねやけ	0 [0.0]	2 [0.9]	3 [1.8]	1 [1.6]	6 [1.3]
19 下痢	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.6]	1 [1.6]	2 [0.4]
20 便秘	1 [3.7]	3 [1.4]	2 [1.2]	0 [0.0]	6 [1.3]
21 食欲不振	0 —	0 —	0 —	0 —	0 [0.0]
22 腹痛・胃痛	0 [0.0]	2 [0.9]	0 [0.0]	1 [1.6]	3 [0.6]
23 痔による痛み・出血など	0 [0.0]	1 [0.5]	2 [1.2]	0 [0.0]	3 [0.6]
24 歯が痛い	0 [0.0]	1 [0.5]	3 [1.8]	0 [0.0]	4 [0.8]
25 歯ぐきのはれ・出血	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [1.6]	1 [0.2]
26 かみにくい	0 —	0 —	0 —	0 —	0 [0.0]
27 発疹（じんま疹・できものなど）	1 [3.7]	2 [0.9]	2 [1.2]	0 [0.0]	5 [1.0]
28 かゆみ（湿疹・水虫など）	1 [3.7]	4 [1.8]	4 [2.4]	1 [1.6]	10 [2.1]
29 肩こり	1 [3.7]	1 [0.5]	2 [1.2]	1 [1.6]	5 [1.0]
30 腰痛	0 [0.0]	8 [3.7]	11 [6.5]	3 [4.8]	22 [4.6]
31 手足の関節が痛む	7 [25.9]	48 [21.9]	37 [21.8]	13 [21.0]	105 [22.0]
32 手足の動きが悪い	1 [3.7]	11 [5.0]	12 [7.1]	4 [6.5]	28 [5.9]
33 手足のしびれ	0 [0.0]	3 [1.4]	5 [2.9]	1 [1.6]	9 [1.9]
34 手足が冷える	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.6]	1 [1.6]	2 [0.4]
35 足のむくみやだるさ	0 [0.0]	4 [1.8]	3 [1.8]	0 [0.0]	7 [1.5]
36 尿が出にくい・排尿時痛い	0 —	0 —	0 —	0 —	0 [0.0]
37 頻尿（尿の出る回数が多い）	1 [3.7]	1 [0.5]	0 [0.0]	1 [1.6]	3 [0.6]
38 尿失禁（尿がもれる）	0 [0.0]	2 [0.9]	0 [0.0]	0 [0.0]	2 [0.4]
39 月経不順・月経痛	0 —	0 —	0 —	0 —	0 [0.0]
40 骨折・ねんざ・脱きゅう	0 [0.0]	1 [0.5]	2 [1.2]	0 [0.0]	3 [0.6]
41 切り傷・やけどなどのけが	0 —	0 —	0 —	0 —	0 [0.0]
42 その他	0 [0.0]	4 [1.8]	2 [1.2]	2 [3.2]	8 [1.7]
最も気になる症状不明	1 [3.7]	13 [5.9]	8 [4.7]	4 [6.5]	26 [5.4]
ない	10 (37.0)	73 (33.3)	46 (27.1)	19 (30.6)	148 (31.0)
不明	1 —	1 —	2 —	1 —	5 —
計	28	220	172	63	483

() [] : 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-2-13. 自覚症状の各項目（令和2年度事業対象者）

自覚症状の各項目 ありの人数 (問8-1)	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
1 熱がある	0 (0.0)	8 (5.5)	2 (1.6)	1 (2.3)	11 (3.3)
2 体がだるい	8 (47.1)	57 (39.0)	36 (29.0)	16 (37.2)	117 (35.5)
3 眠れない	4 (23.5)	30 (20.5)	28 (22.6)	13 (30.2)	75 (22.7)
4 いらいらしやすい	5 (29.4)	29 (19.9)	25 (20.2)	5 (11.6)	64 (19.4)
5 もの忘れする	0 (0.0)	22 (15.1)	21 (16.9)	6 (14.0)	49 (14.8)
6 頭痛	2 (11.8)	28 (19.2)	17 (13.7)	1 (2.3)	48 (14.5)
7 めまい	0 (0.0)	12 (8.2)	8 (6.5)	0 (0.0)	20 (6.1)
8 目のかすみ	3 (17.6)	34 (23.3)	37 (29.8)	6 (14.0)	80 (24.2)
9 物を見づらい	2 (11.8)	33 (22.6)	27 (21.8)	12 (27.9)	74 (22.4)
10 耳なりがする	0 (0.0)	15 (10.3)	17 (13.7)	9 (20.9)	41 (12.4)
11 きこえにくい	0 (0.0)	12 (8.2)	13 (10.5)	4 (9.3)	29 (8.8)
12 動悸	2 (11.8)	21 (14.4)	13 (10.5)	9 (20.9)	45 (13.6)
13 息切れ	3 (17.6)	23 (15.8)	18 (14.5)	11 (25.6)	55 (16.7)
14 前胸部に痛みがある	0 (0.0)	10 (6.8)	3 (2.4)	5 (11.6)	18 (5.5)
15 せきやたんが出る	1 (5.9)	22 (15.1)	15 (12.1)	6 (14.0)	44 (13.3)
16 鼻がつまる・鼻汁が出る	4 (23.5)	42 (28.8)	31 (25.0)	7 (16.3)	84 (25.5)
17 ゼイゼイする	1 (5.9)	7 (4.8)	5 (4.0)	0 (0.0)	13 (3.9)
18 胃のもたれ・むねやけ	2 (11.8)	26 (17.8)	28 (22.6)	8 (18.6)	64 (19.4)
19 下痢	3 (17.6)	28 (19.2)	20 (16.1)	9 (20.9)	60 (18.2)
20 便秘	1 (5.9)	17 (11.6)	18 (14.5)	6 (14.0)	42 (12.7)
21 食欲不振	2 (11.8)	13 (8.9)	6 (4.8)	3 (7.0)	24 (7.3)
22 腹痛・胃痛	1 (5.9)	16 (11.0)	8 (6.5)	5 (11.6)	30 (9.1)
23 痔による痛み・出血など	0 (0.0)	18 (12.3)	12 (9.7)	4 (9.3)	34 (10.3)
24 歯が痛い	3 (17.6)	12 (8.2)	8 (6.5)	3 (7.0)	26 (7.9)
25 歯ぐきのはれ・出血	2 (11.8)	17 (11.6)	19 (15.3)	4 (9.3)	42 (12.7)
26 かみにくい	0 (0.0)	4 (2.7)	8 (6.5)	5 (11.6)	17 (5.2)
27 発疹（じんま疹・できものなど）	1 (5.9)	23 (15.8)	16 (12.9)	3 (7.0)	43 (13.0)
28 かゆみ（湿疹・水虫など）	6 (35.3)	33 (22.6)	37 (29.8)	17 (39.5)	93 (28.2)
29 肩こり	3 (17.6)	48 (32.9)	36 (29.0)	13 (30.2)	100 (30.3)
30 腰痛	4 (23.5)	59 (40.4)	42 (33.9)	14 (32.6)	119 (36.1)
31 手足の関節が痛む	10 (58.8)	92 (63.0)	80 (64.5)	31 (72.1)	213 (64.5)
32 手足の動きが悪い	5 (29.4)	57 (39.0)	63 (50.8)	21 (48.8)	146 (44.2)
33 手足のしびれ	3 (17.6)	34 (23.3)	32 (25.8)	16 (37.2)	85 (25.8)
34 手足が冷える	2 (11.8)	25 (17.1)	22 (17.7)	15 (34.9)	64 (19.4)
35 足のむくみやだるさ	4 (23.5)	28 (19.2)	20 (16.1)	10 (23.3)	62 (18.8)
36 尿が出にくい・排尿時痛い	0 (0.0)	9 (6.2)	6 (4.8)	1 (2.3)	16 (4.8)
37 頻尿（尿の出る回数が多い）	1 (5.9)	21 (14.4)	22 (17.7)	15 (34.9)	59 (17.9)
38 尿失禁（尿がもれる）	0 (0.0)	6 (4.1)	3 (2.4)	4 (9.3)	13 (3.9)
39 月経不順・月経痛	0 (0.0)	2 (1.4)	2 (1.6)	0 (0.0)	4 (1.2)
40 骨折・ねんざ・脱ぎゅう	1 (5.9)	9 (6.2)	10 (8.1)	3 (7.0)	23 (7.0)
41 切り傷・やけどなどのけが	2 (11.8)	17 (11.6)	9 (7.3)	1 (2.3)	29 (8.8)
42 その他	1 (5.9)	8 (5.5)	6 (4.8)	3 (7.0)	18 (5.5)
対象者数	17	146	124	43	330

() : 各列の対象者数を分母とする％
問8で「自覚症状がある」者が対象

表4-2-14. 血友病・HIV関連を除く入院・通院の有無と最も気になる傷病（令和2年度事業対象者）

血友病・HIV 関連を除く入院・通院の有無 （問9、9-1）	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
入院または通院している	9 (32.1)	126 (58.1)	107 (63.3)	45 (76.3)	287 (60.7)
最も気になる症状					
1 糖尿病	1 [3.6]	10 [4.6]	12 [7.1]	2 [3.4]	25 [5.3]
2 肥満症	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
3 脂質異常症（高コレステロール血症等）	0 [0.0]	1 [0.5]	1 [0.6]	2 [3.4]	4 [0.8]
4 甲状腺の病気	0 —	0 —	0 —	0 —	0 [0.0]
5 うつ病やその他のこころの病気	2 [7.1]	5 [2.3]	7 [4.1]	1 [1.7]	15 [3.2]
6 認知症	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
7 パーキンソン病	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
8 その他の神経の病気（神経痛・麻痺等）	1 [3.6]	2 [0.9]	0 [0.0]	0 [0.0]	3 [0.6]
9 眼の病気	0 [0.0]	2 [0.9]	2 [1.2]	3 [5.1]	7 [1.5]
10 耳の病気	0 [0.0]	1 [0.5]	1 [0.6]	0 [0.0]	2 [0.4]
11 高血圧症	2 [7.1]	8 [3.7]	8 [4.7]	3 [5.1]	21 [4.4]
12 脳卒中（脳出血、脳梗塞等）	0 [0.0]	1 [0.5]	2 [1.2]	1 [1.7]	4 [0.8]
13 狭心症・心筋梗塞	0 [0.0]	1 [0.5]	2 [1.2]	3 [5.1]	6 [1.3]
14 その他の循環器系の病気	0 [0.0]	1 [0.5]	0 [0.0]	3 [5.1]	4 [0.8]
15 急性鼻咽頭炎（かぜ）	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
16 アレルギー性鼻炎	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.6]	0 [0.0]	1 [0.2]
17 慢性閉塞性肺疾患（COPD）	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
18 喘息	0 [0.0]	1 [0.5]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.2]
19 その他の呼吸器系の病気	1 [3.6]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.2]
20 胃・十二指腸の病気	0 [0.0]	1 [0.5]	1 [0.6]	0 [0.0]	2 [0.4]
21 肝臓・胆のうの病気	1 [3.6]	15 [6.9]	9 [5.3]	2 [3.4]	27 [5.7]
22 その他の消化器系の病気	0 [0.0]	1 [0.5]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.2]
23 歯の病気	0 [0.0]	9 [4.1]	4 [2.4]	1 [1.7]	14 [3.0]
24 アトピー性皮膚炎	0 [0.0]	3 [1.4]	0 [0.0]	0 [0.0]	3 [0.6]
25 その他の皮膚の病気	0 [0.0]	4 [1.8]	2 [1.2]	0 [0.0]	6 [1.3]
26 痛風	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
27 関節リウマチ	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.6]	0 [0.0]	1 [0.2]
28 関節症	0 [0.0]	16 [7.4]	12 [7.1]	3 [5.1]	31 [6.6]
29 肩こり症	0 [0.0]	1 [0.5]	1 [0.6]	0 [0.0]	2 [0.4]
30 腰痛症	0 [0.0]	1 [0.5]	3 [1.8]	0 [0.0]	4 [0.8]
31 骨粗しょう症	0 [0.0]	0 [0.0]	2 [1.2]	0 [0.0]	2 [0.4]
32 腎臓の病気	0 [0.0]	4 [1.8]	5 [3.0]	7 [11.9]	16 [3.4]
33 前立腺肥大症	0 [0.0]	1 [0.5]	1 [0.6]	1 [1.7]	3 [0.6]
34 閉経期又は閉経後障害（更年期障害等）	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
35 骨折	0 [0.0]	0 [0.0]	2 [1.2]	0 [0.0]	2 [0.4]
36 骨折以外のけが・やけど	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
37 貧血・血液の病気	0 [0.0]	3 [1.4]	2 [1.2]	1 [1.7]	6 [1.3]
38 悪性新生物（がん）	0 [0.0]	3 [1.4]	5 [3.0]	1 [1.7]	9 [1.9]
39 妊娠・産褥（切迫流産、前置胎盤等）	1 [3.6]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.2]
40 不妊症	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
41 その他	0 [0.0]	5 [2.3]	2 [1.2]	2 [3.4]	9 [1.9]
42 不明	0 [0.0]	1 [0.5]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.2]
最も気になる傷病不明	0 [0.0]	25 [11.5]	19 [11.2]	9 [15.3]	53 [11.2]
入院も通院もしていない	19 (67.9)	91 (41.9)	62 (36.7)	14 (23.7)	186 (39.3)
不明	0 —	3 —	3 —	4 —	10 —
計	28	220	172	63	483

（ ）、[]：各列の計より不明を除いた数を分母とする％

表4-2-15. 血友病・HIV関連を除く入院・通院の各傷病（令和2年度事業対象者）

血友病・HIV 関連を除く入院・通院の各項目 ありの人数（問9-1）	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
1 糖尿病	2 (22.2)	20 (15.9)	19 (17.8)	14 (31.1)	55 (19.2)
2 肥満症	0 (0.0)	2 (1.6)	1 (0.9)	1 (2.2)	4 (1.4)
3 脂質異常症（高コレステロール血症等）	1 (11.1)	7 (5.6)	14 (13.1)	6 (13.3)	28 (9.8)
4 甲状腺の病気	1 (11.1)	2 (1.6)	5 (4.7)	1 (2.2)	9 (3.1)
5 うつ病やその他のこころの病気	4 (44.4)	14 (11.1)	14 (13.1)	3 (6.7)	35 (12.2)
6 認知症	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
7 パーキンソン病	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
8 その他の神経の病気（神経痛・麻痺等）	1 (11.1)	5 (4.0)	2 (1.9)	0 (0.0)	8 (2.8)
9 眼の病気	1 (11.1)	10 (7.9)	13 (12.1)	11 (24.4)	35 (12.2)
10 耳の病気	0 (0.0)	4 (3.2)	1 (0.9)	3 (6.7)	8 (2.8)
11 高血圧症	3 (33.3)	28 (22.2)	52 (48.6)	16 (35.6)	99 (34.5)
12 脳卒中（脳出血、脳梗塞等）	0 (0.0)	4 (3.2)	3 (2.8)	1 (2.2)	8 (2.8)
13 狭心症・心筋梗塞	0 (0.0)	2 (1.6)	3 (2.8)	4 (8.9)	9 (3.1)
14 その他の循環器系の病気	0 (0.0)	4 (3.2)	5 (4.7)	7 (15.6)	16 (5.6)
15 急性鼻咽頭炎（かぜ）	0 (0.0)	1 (0.8)	1 (0.9)	0 (0.0)	2 (0.7)
16 アレルギー性鼻炎	0 (0.0)	9 (7.1)	4 (3.7)	3 (6.7)	16 (5.6)
17 慢性閉塞性肺疾患（COPD）	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
18 喘息	0 (0.0)	3 (2.4)	3 (2.8)	0 (0.0)	6 (2.1)
19 その他の呼吸器系の病気	1 (11.1)	4 (3.2)	2 (1.9)	1 (2.2)	8 (2.8)
20 胃・十二指腸の病気	0 (0.0)	2 (1.6)	5 (4.7)	1 (2.2)	8 (2.8)
21 肝臓・胆のうの病気	2 (22.2)	38 (30.2)	35 (32.7)	11 (24.4)	86 (30.0)
22 その他の消化器系の病気	0 (0.0)	2 (1.6)	1 (0.9)	1 (2.2)	4 (1.4)
23 歯の病気	2 (22.2)	25 (19.8)	29 (27.1)	7 (15.6)	63 (22.0)
24 アトピー性皮膚炎	0 (0.0)	7 (5.6)	4 (3.7)	2 (4.4)	13 (4.5)
25 その他の皮膚の病気	0 (0.0)	11 (8.7)	9 (8.4)	0 (0.0)	20 (7.0)
26 痛風	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (4.7)	1 (2.2)	6 (2.1)
27 関節リウマチ	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.9)	0 (0.0)	1 (0.3)
28 関節症	1 (11.1)	26 (20.6)	25 (23.4)	13 (28.9)	65 (22.6)
29 肩こり症	0 (0.0)	3 (2.4)	3 (2.8)	0 (0.0)	6 (2.1)
30 腰痛症	1 (11.1)	4 (3.2)	5 (4.7)	7 (15.6)	17 (5.9)
31 骨粗しょう症	1 (11.1)	0 (0.0)	7 (6.5)	0 (0.0)	8 (2.8)
32 腎臓の病気	1 (11.1)	12 (9.5)	13 (12.1)	9 (20.0)	35 (12.2)
33 前立腺肥大症	0 (0.0)	2 (1.6)	3 (2.8)	4 (8.9)	9 (3.1)
34 閉経期又は閉経後障害（更年期障害等）	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
35 骨折	0 (0.0)	1 (0.8)	5 (4.7)	1 (2.2)	7 (2.4)
36 骨折以外のけが・やけど	0 (0.0)	2 (1.6)	2 (1.9)	1 (2.2)	5 (1.7)
37 貧血・血液の病気	1 (11.1)	6 (4.8)	5 (4.7)	5 (11.1)	17 (5.9)
38 悪性新生物（がん）	0 (0.0)	4 (3.2)	6 (5.6)	3 (6.7)	13 (4.5)
39 妊娠・産褥（切迫流産、前置胎盤等）	1 (11.1)	0 (0.0)	1 (0.9)	0 (0.0)	2 (0.7)
40 不妊症	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
41 その他	0 (0.0)	6 (4.8)	5 (4.7)	3 (6.7)	14 (4.9)
42 不明	0 (0.0)	1 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)
対象者数	9	126	107	45	287

（ ）：各列の対象者数を分母とする％
問9で「入院または通院している」者が対象

表4-2-16. 現在の生活の状況（令和2年度事業対象者）

現在の生活の状況 (問 10)	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
A. 障害等を有しない・または、何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する	26 (92.9)	200 (92.6)	153 (91.1)	47 (77.0)	426 (90.1)
1. 交通機関等を利用して外出	21 [75.0]	183 [84.7]	142 [84.5]	42 [68.9]	388 [82.0]
2. 隣近所へなら外出	5 [17.9]	15 [6.9]	11 [6.5]	5 [8.2]	36 [7.6]
B. 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出しない	2 (7.1)	12 (5.6)	9 (5.4)	7 (11.5)	30 (6.3)
3. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活	0 [0.0]	8 [3.7]	5 [3.0]	3 [4.9]	16 [3.4]
4. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている	2 [7.1]	4 [1.9]	4 [2.4]	3 [4.9]	13 [2.7]
C. 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ	0 (0.0)	4 (1.9)	3 (1.8)	5 (8.2)	12 (2.5)
5. 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う	0 [0.0]	3 [1.4]	1 [0.6]	4 [6.6]	8 [1.7]
6. 介助により車椅子に移乗する	0 [0.0]	1 [0.5]	2 [1.2]	1 [1.6]	4 [0.8]
D. 1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.8)	2 (3.3)	5 (1.1)
7. 自力で寝返りを打つ	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.6]	2 [3.3]	3 [0.6]
8. 自力では寝返りも打てない	0 [0.0]	0 [0.0]	2 [1.2]	0 [0.0]	2 [0.4]
不明	0 —	4 —	4 —	2 —	10 —
計	28	220	172	63	483

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

回答は、最初に A～B の 4 つから 1 つ選択して、次に対応する 2 つ（A なら 1 か 2）のどちらかを選択する方式

B と回答した中で 3 と 4 のどちらか不明が 1 人

表4-2-17. 日常生活の悩みやストレスの有無と最も気になる悩みやストレスの原因
(令和2年度事業対象者)

悩みやストレスの有無 (問 11、11-1)	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
ある	23 (82.1)	164 (74.5)	135 (79.4)	43 (70.5)	365 (76.2)
最も気になる悩みやストレスの原因					
1 家族との人間関係	0 [0.0]	9 [4.1]	4 [2.4]	1 [1.6]	14 [2.9]
2 家族以外との人間関係	0 [0.0]	7 [3.2]	3 [1.8]	1 [1.6]	11 [2.3]
3 恋愛・性に関すること	1 [3.6]	3 [1.4]	2 [1.2]	1 [1.6]	7 [1.5]
4 結婚	1 [3.6]	3 [1.4]	1 [0.6]	0 [0.0]	5 [1.0]
5 離婚	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]
6 いじめ、セクシュアル・ハラスメント	0 [0.0]	1 [0.5]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.2]
7 生きがいに関すること	3 [10.7]	10 [4.5]	5 [2.9]	4 [6.6]	22 [4.6]
8 自由にできる時間がないこと	0 [0.0]	3 [1.4]	2 [1.2]	0 [0.0]	5 [1.0]
9 収入・家計・借金等	3 [10.7]	24 [10.9]	28 [16.5]	4 [6.6]	59 [12.3]
10 自分の病気や介護	5 [17.9]	41 [18.6]	35 [20.6]	21 [34.4]	102 [21.3]
11 家族の病気や介護	1 [3.6]	10 [4.5]	19 [11.2]	4 [6.6]	34 [7.1]
12 妊娠・出産	1 [3.6]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.2]
13 育児	1 [3.6]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.2]
14 家事	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.6]	1 [1.6]	2 [0.4]
15 自分の学業・受験・進学	0 [0.0]	1 [0.5]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.2]
16 子どもの教育	2 [7.1]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	2 [0.4]
17 自分の仕事	2 [7.1]	35 [15.9]	19 [11.2]	2 [3.3]	58 [12.1]
18 家族の仕事	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.6]	0 [0.0]	1 [0.2]
19 住まいや生活環境 (公害、安全及び交通事情を含む)	0 [0.0]	3 [1.4]	4 [2.4]	1 [1.6]	8 [1.7]
20 その他	1 [3.6]	3 [1.4]	2 [1.2]	2 [3.3]	8 [1.7]
21 わからない	0 [0.0]	1 [0.5]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.2]
最も気になる悩みやストレスの原因 不明	2 [7.1]	10 [4.5]	9 [5.3]	1 [1.6]	22 [4.6]
ない	5 (17.9)	56 (25.5)	35 (20.6)	18 (29.5)	114 (23.8)
不明	0 —	0 —	2 —	2 —	4 —
計	28	220	172	63	483

()、[]: 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-2-18. 悩みやストレスの原因の各項目（令和2年度事業対象者）

悩みやストレスの原因の各項目 ありの人数（問 11-1）	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
1 家族との人間関係	3 (13.0)	31 (18.9)	32 (23.7)	8 (18.6)	74 (20.3)
2 家族以外との人間関係	1 (4.3)	36 (22.0)	23 (17.0)	6 (14.0)	66 (18.1)
3 恋愛・性に関すること	2 (8.7)	21 (12.8)	11 (8.1)	1 (2.3)	35 (9.6)
4 結婚	2 (8.7)	17 (10.4)	8 (5.9)	2 (4.7)	29 (7.9)
5 離婚	0 (0.0)	1 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)
6 いじめ、セクシュアル・ハラスメント	0 (0.0)	5 (3.0)	7 (5.2)	0 (0.0)	12 (3.3)
7 生きがいに関すること	6 (26.1)	42 (25.6)	31 (23.0)	12 (27.9)	91 (24.9)
8 自由にできる時間がないこと	1 (4.3)	12 (7.3)	12 (8.9)	4 (9.3)	29 (7.9)
9 収入・家計・借金等	11 (47.8)	65 (39.6)	68 (50.4)	10 (23.3)	154 (42.2)
10 自分の病気や介護	12 (52.2)	92 (56.1)	91 (67.4)	31 (72.1)	226 (61.9)
11 家族の病気や介護	4 (17.4)	41 (25.0)	52 (38.5)	12 (27.9)	109 (29.9)
12 妊娠・出産	3 (13.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (0.8)
13 育児	2 (8.7)	6 (3.7)	3 (2.2)	0 (0.0)	11 (3.0)
14 家事	1 (4.3)	10 (6.1)	12 (8.9)	5 (11.6)	28 (7.7)
15 自分の学業・受験・進学	1 (4.3)	5 (3.0)	1 (0.7)	0 (0.0)	7 (1.9)
16 子どもの教育	4 (17.4)	10 (6.1)	6 (4.4)	2 (4.7)	22 (6.0)
17 自分の仕事	7 (30.4)	85 (51.8)	63 (46.7)	10 (23.3)	165 (45.2)
18 家族の仕事	0 (0.0)	7 (4.3)	12 (8.9)	0 (0.0)	19 (5.2)
19 住まいや生活環境 （公害、安全及び交通事情を含む）	0 (0.0)	20 (12.2)	18 (13.3)	6 (14.0)	44 (12.1)
20 その他	1 (4.3)	6 (3.7)	6 (4.4)	3 (7.0)	16 (4.4)
21 わからない	0 (0.0)	1 (0.6)	1 (0.7)	0 (0.0)	2 (0.5)
対象者数	23	164	135	43	365

（ ）：各列の対象者数を分母とする％
問 11 で「悩みやストレスがある」者が対象

表4-2-19. 最も気になる悩みやストレスの相談（令和2年度事業対象者）

最も気になる悩みやストレスの相談 （問 11-2）	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
1 家族に相談している	11 (47.8)	56 (34.1)	39 (28.9)	16 (37.2)	122 (33.4)
2 友人・知人に相談している	2 (8.7)	21 (12.8)	18 (13.3)	5 (11.6)	46 (12.6)
3 職場の上司、学校の先生に相談している	1 (4.3)	14 (8.5)	2 (1.5)	0 (0.0)	17 (4.7)
4 公的な機関（保健所、福祉事務所、 精神保健福祉センター等）の相談窓口 （電話等での相談を含む）を利用している	0 (0.0)	3 (1.8)	3 (2.2)	0 (0.0)	6 (1.6)
5 患者団体の相談窓口 （電話等での相談を含む）を利用している	0 (0.0)	8 (4.9)	7 (5.2)	4 (9.3)	19 (5.2)
6 患者団体以外の民間の相談機関 （悩み相談所等）の相談窓口 （電話等での相談を含む）を利用している	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)
7 医療機関の医師に相談している	5 (21.7)	28 (17.1)	28 (20.7)	12 (27.9)	73 (20.0)
8 医療機関の看護師に相談している	1 (4.3)	14 (8.5)	6 (4.4)	6 (14.0)	27 (7.4)
9 医療機関の医療ソーシャルワーカーに 相談している	2 (8.7)	19 (11.6)	18 (13.3)	5 (11.6)	44 (12.1)
10 医療機関の臨床心理士・カウンセラー等に 相談している	3 (13.0)	13 (7.9)	12 (8.9)	3 (7.0)	31 (8.5)
11 テレビ、ラジオ、新聞等の 相談コーナーを利用している	0 (0.0)	1 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)
12 上記以外で相談している （職場の相談窓口等）	0 (0.0)	2 (1.2)	1 (0.7)	0 (0.0)	3 (0.8)
13 相談したいが誰にも相談できないでいる	2 (8.7)	16 (9.8)	23 (17.0)	4 (9.3)	45 (12.3)
14 相談したいが どこで相談したら良いかわからない	0 (0.0)	9 (5.5)	15 (11.1)	4 (9.3)	28 (7.7)
15 相談する必要はないので 誰にも相談していない	6 (26.1)	31 (18.9)	13 (9.6)	2 (4.7)	52 (14.2)
不明（未回答）	3 (13.0)	19 (11.6)	22 (16.3)	7 (16.3)	51 (14.0)
対象者数	23	164	135	43	365

（ ）：各列の対象者数を分母とする％

問11で「悩みやストレスがある」者が対象。2 つまで選択の複数回答

表4-2-20. 悩みやストレスの相談の各項目（令和2年度事業対象者）

悩みやストレスの相談の各項目 ありの人数（問 11-2）	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
1 家族に相談している	13 (56.5)	71 (43.3)	53 (39.3)	20 (46.5)	157 (43.0)
2 友人・知人に相談している	4 (17.4)	26 (15.9)	25 (18.5)	8 (18.6)	63 (17.3)
3 職場の上司、学校の先生に相談している	1 (4.3)	15 (9.1)	5 (3.7)	0 (0.0)	21 (5.8)
4 公的な機関（保健所、福祉事務所、 精神保健福祉センター等）の相談窓口 （電話等での相談を含む）を利用している	2 (8.7)	4 (2.4)	3 (2.2)	0 (0.0)	9 (2.5)
5 患者団体の相談窓口 （電話等での相談を含む）を利用している	1 (4.3)	15 (9.1)	19 (14.1)	6 (14.0)	41 (11.2)
6 患者団体以外の民間の相談機関 （悩み相談所等）の相談窓口 （電話等での相談を含む）を利用している	0 (0.0)	1 (0.6)	1 (0.7)	0 (0.0)	2 (0.5)
7 医療機関の医師に相談している	7 (30.4)	43 (26.2)	40 (29.6)	18 (41.9)	108 (29.6)
8 医療機関の看護師に相談している	3 (13.0)	29 (17.7)	20 (14.8)	14 (32.6)	66 (18.1)
9 医療機関の医療ソーシャルワーカーに 相談している	5 (21.7)	33 (20.1)	28 (20.7)	8 (18.6)	74 (20.3)
10 医療機関の臨床心理士・カウンセラー等に 相談している	3 (13.0)	28 (17.1)	19 (14.1)	7 (16.3)	57 (15.6)
11 テレビ、ラジオ、新聞等の 相談コーナーを利用している	1 (4.3)	2 (1.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (0.8)
12 上記以外で相談している （職場の相談窓口等）	0 (0.0)	2 (1.2)	2 (1.5)	0 (0.0)	4 (1.1)
13 相談したいが誰にも相談できないでいる	2 (8.7)	24 (14.6)	30 (22.2)	5 (11.6)	61 (16.7)
14 相談したいが どこで相談したら良いかわからない	0 (0.0)	12 (7.3)	17 (12.6)	5 (11.6)	34 (9.3)
15 相談する必要はないので 誰にも相談していない	6 (26.1)	40 (24.4)	26 (19.3)	5 (11.6)	77 (21.1)
対象者数	23	164	135	43	365

（ ）：各列の対象者数を分母とする％
問11で「悩みやストレスがある」者が対象

表4-2-21. 障害者手帳の取得状況（令和2年度事業対象者）

障害者手帳の取得状況 （問 12）	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
取得している	17 (60.7)	155 (70.5)	128 (76.2)	56 (88.9)	356 (74.3)
身体障害者手帳	16 [57.1]	153 [69.5]	128 [76.2]	56 [88.9]	353 [73.7]
療育手帳 （愛の手帳、愛護手帳、みどりの手帳）	1 [3.6]	3 [1.4]	0 [0.0]	0 [0.0]	4 [0.8]
精神障害者保健福祉手帳	0 [0.0]	2 [0.9]	2 [1.2]	0 [0.0]	4 [0.8]
取得していない	11 (39.3)	65 (29.5)	40 (23.8)	7 (11.1)	123 (25.7)
不明	0 —	0 —	4 —	0 —	4 —
計	28	220	172	63	483

（ ）、[]：各列の計より不明を除いた数を分母とする％
障害者手帳の種類は複数回答

表4-2-22. 身体障害者手帳の等級（令和2年度事業対象者）

身体障害者手帳の等級 (問 12 補問)	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
1 級	4 (25.0)	32 (20.9)	28 (22.0)	18 (33.3)	82 (23.4)
2 級	6 (37.5)	43 (28.1)	46 (36.2)	20 (37.0)	115 (32.9)
3 級	6 (37.5)	30 (19.6)	19 (15.0)	10 (18.5)	65 (18.6)
4 級	0 (0.0)	35 (22.9)	23 (18.1)	5 (9.3)	63 (18.0)
5 級	0 (0.0)	11 (7.2)	7 (5.5)	0 (0.0)	18 (5.1)
6 級	0 (0.0)	2 (1.3)	4 (3.1)	1 (1.9)	7 (2.0)
不明	1 —	2 —	1 —	2 —	6 —
計	17	155	128	56	356

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする％
問 12 で身体障害者手帳を取得していると回答した者が対象

表4-2-23. 身体障害者手帳の種別（令和2年度事業対象者）

身体障害者手帳の種別 (問 12 補問)	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
肢体不自由	3 (18.8)	79 (56.0)	95 (78.5)	39 (75.0)	216 (65.5)
免疫機能障害	14 (87.5)	89 (63.1)	49 (40.5)	19 (36.5)	171 (51.8)
その他	1 (6.3)	3 (2.1)	2 (1.7)	3 (5.8)	9 (2.7)
不明	1 —	14 —	7 —	4 —	26 —
対象者数	17	155	128	56	356

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする％
問 12 で障害者手帳を取得していると回答した者が対象、複数回答

表4-2-24. 障害者手帳を取得していない理由（令和2年度事業対象者）

障害者手帳を取得していない理由 (問 12-1)	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
障害の種類や程度が 手帳の基準に合致しない	2 (18.2)	13 (20.0)	7 (17.5)	1 (14.3)	23 (18.7)
手帳の制度や取得の手続きがわからない	1 (9.1)	8 (12.3)	9 (22.5)	1 (14.3)	19 (15.4)
とくに手帳がなくても困らない	7 (63.6)	30 (46.2)	26 (65.0)	4 (57.1)	67 (54.5)
手帳を持ちたくない	1 (9.1)	8 (12.3)	11 (27.5)	2 (28.6)	22 (17.9)
その他	1 (9.1)	12 (18.5)	4 (10.0)	1 (14.3)	18 (14.6)
不明	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
対象者数	11	65	40	7	123

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする％
問 12 で「取得していない」と回答した者が対象、複数回答

表4-2-25. 障害者総合支援法に基づく障害支援区分の認定状況（令和2年度事業対象者）

障害者総合支援法に基づく障害支援区分の認定状況（問 13）	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
認定を受けている	1 (3.6)	8 (3.7)	8 (4.8)	6 (10.7)	23 (4.9)
認定調査は受けたが、非該当だった	0 (0.0)	2 (0.9)	1 (0.6)	0 (0.0)	3 (0.6)
認定は受けていない	15 (53.6)	131 (60.6)	110 (65.9)	41 (73.2)	297 (63.6)
わからない	12 (42.9)	75 (34.7)	48 (28.7)	9 (16.1)	144 (30.8)
不明（未回答）	0 —	4 —	5 —	7 —	16 —
計	28	220	172	63	483

() : 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-2-26. 障害者総合支援法に基づく障害支援区分の認定を受けた区分（令和2年度事業対象者）

障害者総合支援法に基づく障害支援区分の認定を受けた区分（問 13 補問）	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
区分 1	0 (0.0)	1 (12.5)	2 (25.0)	1 (16.7)	4 (17.4)
区分 2	0 (0.0)	2 (25.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	3 (13.0)
区分 3	0 (0.0)	1 (12.5)	1 (12.5)	3 (50.0)	5 (21.7)
区分 4	1 (100.0)	1 (12.5)	1 (12.5)	0 (0.0)	3 (13.0)
区分 5	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (16.7)	1 (4.3)
区分 6	0 (0.0)	1 (12.5)	2 (25.0)	0 (0.0)	3 (13.0)
不明	0 (0.0)	2 (25.0)	1 (12.5)	1 (16.7)	4 (17.4)
計	1	8	8	6	23

() : 各列の計を分母とする%

問 13 で障害者支援区分の認定を受けていると回答した者が対象

表4-2-27. 障害福祉サービスの利用状況（令和2年度事業対象者）

障害福祉サービスの利用（問 14）	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
利用している	1 (3.6)	12 (5.5)	11 (6.5)	6 (9.7)	30 (6.3)
利用しているサービスの種類：					
訪問系サービス （居宅介護、重度訪問介護、 行動援護、重度障害者等包括支援）	1 [3.6]	7 [3.2]	6 [3.6]	5 [8.1]	19 [4.0]
就労支援系サービス	1 [3.6]	3 [1.4]	3 [1.8]	0 [0.0]	7 [1.5]
訓練系サービス	0 [0.0]	1 [0.5]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.2]
その他日中活動サービス	0 [0.0]	2 [0.9]	1 [0.6]	0 [0.0]	3 [0.6]
障害者のグループホーム・ケアホーム	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
入所施設	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
指定相談支援	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
その他	0 [0.0]	2 [0.9]	2 [1.2]	1 [1.6]	5 [1.1]
わからない	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.6]	0 [0.0]	0 [0.0]
利用しているサービスの種類 不明	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
利用していない	27 (96.4)	205 (94.5)	158 (93.5)	56 (90.3)	446 (93.7)
不明（未回答）	0 —	3 —	3 —	1 —	7 —
計	28	220	172	63	483

() , [] : 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

利用しているサービスの種類は複数回答

表4-2-28. 介護保険法に基づく要介護（支援）認定状況（令和2年度事業対象者）

介護保険法に基づく要介護（支援）認定状況 （問 15）	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
認定を受けている	0 (0.0)	4 (1.9)	7 (4.1)	7 (11.5)	18 (3.8)
認定調査は受けたが、非該当だった	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	0 (0.0)	1 (0.2)
認定は受けていない	23 (85.2)	180 (83.7)	143 (84.1)	52 (85.2)	398 (84.1)
わからない	4 (14.8)	31 (14.4)	19 (11.2)	2 (3.3)	56 (11.8)
不明（未回答）	1 —	5 —	2 —	2 —	10 —
計	28	220	172	63	483

（ ）：各列の計より不明を除いた数を分母とする％

表4-2-29. 介護保険法に基づく要介護（支援）の認定区分（令和2年度事業対象者）

介護保険法に基づく要介護（支援）の 認定を受けた区分（問 15 補問）	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
要支援 1	—	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (14.3)	1 (5.9)
要支援 2	—	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (42.9)	3 (17.6)
要介護 1	—	0 (0.0)	1 (16.7)	1 (14.3)	2 (11.8)
要介護 2	—	2 (50.0)	0 (0.0)	1 (14.3)	3 (17.6)
要介護 3	—	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.9)
要介護 4	—	0 —	0 —	0 —	0 —
要介護 5	—	0 (0.0)	3 (50.0)	1 (14.3)	4 (23.5)
わからない	—	1 (25.0)	2 (33.3)	0 (0.0)	3 (17.6)
不明（未回答）	—	0 —	1 —	0 —	1 —
計	0	4	7	7	18

（ ）：各列の計より不明を除いた数を分母とする％

問 15 で要介護（支援）認定を受けていると回答した者が対象

表4-2-30. 介護サービスの利用の有無と利用している介護サービス（令和2年度事業対象者）

介護サービスの利用の有無と 利用しているサービス（問 16、16-1）	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
利用している	0 (0.0)	7 (3.3)	12 (7.1)	7 (11.9)	26 (5.5)
利用している介護サービス：					
訪問系サービス ^{*1}	0 (0.0)	6 (2.8)	12 (7.1)	6 (10.2)	24 (5.1)
通所系サービス ^{*2}	0 (0.0)	4 (1.9)	2 (1.2)	1 (1.7)	7 (1.5)
短期入所サービス（ショートステイ）	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.6)	0 (0.0)	1 (0.2)
認知症グループホーム	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
有料老人ホーム、 サービス付き高齢者向け住宅	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
施設入所（特別養護老人ホーム、 介護老人保健施設）	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.7)	1 (0.2)
わからない	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
利用していない	28 (100.0)	208 (96.7)	157 (92.9)	52 (88.1)	445 (94.5)
不明（未回答）	0 —	5 —	3 —	4 —	12 —
計	28	220	172	63	483

（ ）：各列の計より不明を除いた数を分母とする％

*1：訪問看護（ホームヘルプ）、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション等
（各種介護予防サービスや介護予防・日常生活支援総合事業による訪問系サービスを含む）*2：通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション等
（各種介護予防サービスや介護予防・日常生活支援総合事業による通所系サービスを含む）

表4-2-31. 生活意識（令和2年度事業対象者）

現在の暮らしの状況 (問 17)	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
苦しい	12 (42.9)	90 (41.5)	89 (53.0)	25 (41.0)	216 (45.6)
大変苦しい	1 [3.6]	26 [12.0]	31 [18.5]	7 [11.5]	65 [13.7]
やや苦しい	11 [39.3]	64 [29.5]	58 [34.5]	18 [29.5]	151 [31.9]
普通	13 (46.4)	106 (48.8)	59 (35.1)	26 (42.6)	204 (43.0)
ゆとりがある	3 (10.7)	21 (9.7)	20 (11.9)	10 (16.4)	54 (11.4)
ややゆとりがある	3 [10.7]	17 [7.8]	18 [10.7]	9 [14.8]	47 [9.9]
大変ゆとりがある	0 [0.0]	4 [1.8]	2 [1.2]	1 [1.6]	7 [1.5]
不明	0 —	3 —	4 —	2 —	9 —
計	28	220	172	63	483

()、[] : 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-2-32. 所得金額（令和2年度事業対象者）

昨年のおおよその年間所得総額 (問 18)	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
200 万円未満	9 (37.5)	71 (34.3)	60 (38.2)	27 (49.1)	167 (37.7)
200～400 万円未満	6 (25.0)	60 (29.0)	49 (31.2)	19 (34.5)	134 (30.2)
400～600 万円未満	7 (29.2)	33 (15.9)	25 (15.9)	3 (5.5)	68 (15.3)
600～800 万円未満	1 (4.2)	25 (12.1)	7 (4.5)	3 (5.5)	36 (8.1)
800～1000 万円未満	0 (0.0)	11 (5.3)	11 (7.0)	1 (1.8)	23 (5.2)
1000 万円以上	1 (4.2)	7 (3.4)	5 (3.2)	2 (3.6)	15 (3.4)
わからない	3 —	10 —	3 —	1 —	17 —
不明（未回答）	1 —	3 —	12 —	7 —	23 —
計	28	220	172	63	483

() : 各列の計より不明と「わからない」を除いた数を分母とする%

表4-2-33. 公的年金の受給状況（令和2年度事業対象者）

公的年金の受給状況 (問 18-1)	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
障害基礎年金 1 級 または障害厚生年金 1 級を受給	3 (12.5)	24 (12.2)	24 (15.7)	20 (34.5)	71 (16.4)
障害基礎年金 2 級 または障害厚生年金 2 級を受給	6 (25.0)	72 (36.5)	62 (40.5)	12 (20.7)	152 (35.2)
障害厚生年金 3 級を受給	0 (0.0)	1 (0.5)	2 (1.3)	0 (0.0)	3 (0.7)
その他の公的年金 (国民年金、厚生年金)を受給	1 (4.2)	1 (0.5)	4 (2.6)	16 (27.6)	22 (5.1)
公的年金は受給していない	14 (58.3)	99 (50.3)	61 (39.9)	10 (17.2)	184 (42.6)
わからない	3 —	17 —	8 —	1 —	29 —
不明（未回答）	1 —	6 —	11 —	4 —	22 —
計	28	220	172	63	483

() : 各列の計より不明と「わからない」を除いた数を分母とする%

表4-2-34. 自由記載欄の記入の有無（令和2年度事業対象者）

自由記載欄の記入の有無 (問 19)	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
記載あり	12 (42.9)	119 (54.1)	103 (59.9)	37 (58.7)	271 (56.1)
健康、医療、福祉に関すること	9 [32.1]	105 [47.7]	92 [53.5]	30 [47.6]	236 [48.9]
日常生活、仕事、収入に関すること	11 [39.3]	102 [46.4]	83 [48.3]	25 [39.7]	221 [45.8]
その他のこと	5 [17.9]	61 [27.7]	54 [31.4]	17 [27.0]	137 [28.4]
記載なし	16 (57.1)	101 (45.9)	69 (40.1)	26 (41.3)	212 (43.9)
計	28	220	172	63	483

(), [] : 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-2-35. 身長、体重とBMI（令和2年度事業対象者）

身長 (cm)	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
150 未満	2 (7.1)	2 (0.9)	0 (0.0)	2 (3.2)	6 (1.2)
150～160 未満	2 (7.1)	12 (5.5)	11 (6.4)	13 (20.6)	38 (7.9)
160～170 未満	13 (46.4)	95 (43.2)	86 (50.0)	33 (52.4)	227 (47.0)
170～180 未満	10 (35.7)	97 (44.1)	66 (38.4)	13 (20.6)	186 (38.5)
180 以上	1 (3.6)	13 (5.9)	7 (4.1)	0 (0.0)	21 (4.3)
不明	0 (0.0)	1 (0.5)	2 (1.2)	2 (3.2)	5 (1.0)
計	28	220	172	63	483

体重 (kg)	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
40 未満	1 (3.6)	0 (0.0)	1 (0.6)	2 (3.2)	4 (0.8)
40～50 未満	2 (7.1)	10 (4.5)	12 (7.0)	12 (19.0)	36 (7.5)
50～60 未満	6 (21.4)	50 (22.7)	55 (32.0)	28 (44.4)	139 (28.8)
60～70 未満	14 (50.0)	84 (38.2)	68 (39.5)	15 (23.8)	181 (37.5)
70～80 未満	3 (10.7)	54 (24.5)	17 (9.9)	2 (3.2)	76 (15.7)
80 以上	2 (7.1)	20 (9.1)	13 (7.6)	2 (3.2)	37 (7.7)
不明	0 (0.0)	2 (0.9)	6 (3.5)	2 (3.2)	10 (2.1)
計	28	220	172	63	483

BMI (kg/m ²)	年齢				合計
	～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
16.0 未満	1 (3.6)	3 (1.4)	3 (1.7)	2 (3.2)	9 (1.9)
16.0～18.5 未満	4 (14.3)	12 (5.5)	26 (15.1)	12 (19.0)	54 (11.2)
18.5～25.0 未満	20 (71.4)	147 (66.8)	112 (65.1)	43 (68.3)	322 (66.7)
25.0～30.0 未満	2 (7.1)	47 (21.4)	20 (11.6)	2 (3.2)	71 (14.7)
30.0～35.0 未満	1 (3.6)	6 (2.7)	2 (1.2)	1 (1.6)	10 (2.1)
35.0 以上	0 (0.0)	3 (1.4)	3 (1.7)	0 (0.0)	6 (1.2)
不明	0 (0.0)	2 (0.9)	6 (3.5)	3 (4.8)	11 (2.3)
計	28	220	172	63	483

() : 各列の計を分母とする%

表4-2-36. CD4値別、就業状況（令和2年度事業対象者）

過去1か月間の仕事の状況 (問3)	CD4 値					合計
	～200未満	200～350未満	350～500未満	500以上	不明	
仕事あり	10 (37.0)	38 (50.7)	94 (69.1)	174 (72.2)	0 (0.0)	316 (65.8)
主に仕事をしている	5 [18.5]	33 [44.0]	85 [62.5]	143 [59.3]	0 [0.0]	266 (55.4)
主に家事で仕事あり	4 [14.8]	1 [1.3]	5 [3.7]	11 [4.6]	0 [0.0]	21 [4.4]
主に通学で仕事あり	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [0.4]	0 [0.0]	1 [0.2]
仕事あり（上記以外）	1 [3.7]	4 [5.3]	4 [2.9]	19 [7.9]	0 [0.0]	28 [5.8]
仕事なし	17 (63.0)	37 (49.3)	42 (30.9)	67 (27.8)	1 (100.0)	164 (34.2)
家事（専業）	3 [11.1]	11 [14.7]	16 [11.8]	12 [5.0]	1 [100.0]	43 [9.0]
就職希望あり	5 [18.5]	10 [13.3]	14 [10.3]	17 [7.1]	0 [0.0]	46 [9.6]
就職希望なし	9 [33.3]	16 [21.3]	12 [8.8]	38 [15.8]	0 [0.0]	75 [15.6]
不明	1 —	0 —	2 —	0 —	0 —	3 —
計	28	75	138	241	1	483

() : 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-2-37. CD4値別、健康意識（令和2年度事業対象者）

現在の健康状態 (問6)	CD4 値					合計
	～200未満	200～350未満	350～500未満	500以上	不明	
よい	0 (0.0)	5 (6.7)	10 (7.4)	23 (9.7)	0 (0.0)	38 (8.0)
まあよい	4 (15.4)	9 (12.0)	22 (16.2)	46 (19.3)	0 (0.0)	81 (17.0)
ふつう	7 (26.9)	29 (38.7)	61 (44.9)	87 (36.6)	1 (100.0)	185 (38.9)
あまりよくない	12 (46.2)	27 (36.0)	36 (26.5)	76 (31.9)	0 (0.0)	151 (31.7)
よくない	3 (11.5)	5 (6.7)	7 (5.1)	6 (2.5)	0 (0.0)	21 (4.4)
不明	2 —	0 —	2 —	3 —	0 —	7 —
計	28	75	138	241	1	483

() : 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-2-38. CD4値別、こころの状態（令和2年度事業対象者）

こころの状態（K6の合計点数） (問7)	CD4 値					合計
	～200未満	200～350未満	350～500未満	500以上	不明	
0～4点	12 (46.2)	24 (32.4)	62 (46.6)	101 (42.6)	0 —	199 (42.3)
5～9点	5 (19.2)	24 (32.4)	31 (23.3)	67 (28.3)	0 —	127 (27.0)
10～14点	4 (15.4)	15 (20.3)	29 (21.8)	43 (18.1)	0 —	91 (19.4)
15点～	5 (19.2)	11 (14.9)	11 (8.3)	26 (11.0)	0 —	53 (11.3)
不明	2 —	1 —	5 —	4 —	1 —	13 —
計	28	75	138	241	1	483

() : 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-2-39. 世帯人員数別、住居の種類（令和2年度事業対象者）

現在の住まい・住居の種類 （問1）	世帯人員数（問2）					合計
	1人	2人	3人	4人以上	不明	
持ち家	43 (44.3)	127 (79.4)	111 (86.0)	75 (82.4)	1 (50.0)	357 (74.5)
賃貸	51 (52.6)	30 (18.8)	11 (8.5)	12 (13.2)	1 (50.0)	105 (21.9)
社宅等	0 (0.0)	2 (1.3)	2 (1.6)	1 (1.1)	0 (0.0)	5 (1.0)
病院・診療所に入院中	2 (2.1)	1 (0.6)	1 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (0.8)
社会福祉施設等に入所中	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他	1 (1.0)	0 (0.0)	4 (3.1)	3 (3.3)	0 (0.0)	8 (1.7)
不明	1 —	0 —	2 —	0 —	1 —	4 —
計	98	160	131	91	3	483

（ ）：各列の計より不明を除いた数を分母とする％

表4-2-40. 就業状況別、所得金額（令和2年度事業対象者）

昨年のおおよその 年間所得総額 (問18)	過去 1 か月間の仕事の状況 (問3)						合計
	仕事あり	仕事なし	仕事なしの内訳			不明	
			家事 (専業)	就職希望あり	就職希望なし		
200 万円未満	56 (18.6)	109 (77.9)	27 (77.1)	33 (84.6)	49 (74.2)	2 (100.0)	167 (37.7)
200～400 万円未満	106 (35.2)	28 (20.0)	6 (17.1)	6 (15.4)	16 (24.2)	0 (0.0)	134 (30.2)
400～600 万円未満	67 (22.3)	1 (0.7)	1 (2.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	68 (15.3)
600～800 円未満	35 (11.6)	1 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.5)	0 (0.0)	36 (8.1)
800～1000 万円未満	22 (7.3)	1 (0.7)	1 (2.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	23 (5.2)
1000 万円以上	15 (5.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	15 (3.4)
わからない	3 —	14 —	5 —	4 —	5 —	0 —	17 —
不明 (未回答)	12 —	10 —	3 —	3 —	4 —	1 —	23 —
計	316	164	43	46	75	3	483

（ ）：各列の計より不明と「わからない」を除いた数を分母とする％

3. 健康状態の推移

本節では、以下の表を示した。

表4-3-1. CD4値の推移	(平成9年度第1期事業対象者)
表4-3-2. HIV-RNA量の推移	(平成9年度第1期事業対象者)
表4-3-3. 抗HIV薬の併用区分の推移	(平成9年度第1期事業対象者)
表4-3-4. 抗HIV薬の副作用の推移	(平成9年度第1期事業対象者)
表4-3-5. CD4値の推移	(平成19年度第1期事業対象者)
表4-3-6. HIV-RNA量の推移	(平成19年度第1期事業対象者)
表4-3-7. 抗HIV薬の併用区分の推移	(平成19年度第1期事業対象者)
表4-3-8. 抗HIV薬の副作用の推移	(平成19年度第1期事業対象者)
表4-3-9. 肝炎の状況の推移	(平成19年度第1期事業対象者)
表4-3-10. 観察当初のCD4値別、CD4値の推移	(平成19年度第1期事業対象者)
表4-3-11. 観察当初のHIV-RNA量別、HIV-RNA量の推移	(平成19年度第1期事業対象者)
表4-3-12. 観察当初の肝炎の状況別、肝炎の状況の推移	(平成19年度第1期事業対象者)
表4-3-13. 観察当初のHBs抗原の保有状況別、肝炎の状況の推移	(平成19年度第1期事業対象者)
表4-3-14. 観察当初のHCV抗体の保有状況別、肝炎の状況の推移	(平成19年度第1期事業対象者)
表4-3-15. 観察当初のCD4値別、エイズ発症・死亡の推移	(平成9年度第1期事業対象者)
表4-3-16. 観察当初のHIV-RNA量別、エイズ発症・死亡の推移	(平成9年度第1期事業対象者)
表4-3-17. 観察当初のCD4値別、エイズ発症・死亡の推移	(平成19年度第1期事業対象者)
表4-3-18. 観察当初のHIV-RNA量別、エイズ発症・死亡の推移	(平成19年度第1期事業対象者)

表4-3-1. CD4値の推移（平成9年度第1期事業対象者）

	C D 4 値							計	中央値	
	エイズ発症・ 死亡	～200未満	200～ 350未満	350～ 500未満	500以上	不明	エイズ発症・死亡			
							含 む		含まず	
平成9年度 第1期	4 (0.8)	133 (25.1)	144 (27.2)	134 (25.3)	114 (21.6)	76	605	328	330	
平成10年度 第1期	21 (3.9)	99 (18.3)	156 (28.8)	140 (25.9)	125 (23.1)	64	605	344	354	
平成11年度 第1期	33 (6.0)	73 (13.2)	152 (27.5)	156 (28.2)	139 (25.1)	52	605	370	383	
平成12年度 第1期	45 (8.1)	67 (12.1)	147 (26.4)	150 (27.0)	147 (26.4)	49	605	368	394	
平成13年度 第1期	59 (10.9)	60 (11.1)	130 (24.0)	148 (27.3)	145 (26.8)	63	605	369	395	
平成14年度 第1期	66 (12.0)	55 (10.0)	143 (26.0)	130 (23.6)	157 (28.5)	54	605	360	396	
平成15年度 第1期	81 (15.1)	58 (10.8)	125 (23.2)	137 (25.5)	137 (25.5)	67	605	356	404	
平成16年度 第1期	93 (16.5)	63 (11.2)	120 (21.3)	137 (24.3)	150 (26.6)	42	605	356	403	
平成17年度 第1期	111 (20.1)	46 (8.3)	123 (22.3)	121 (21.9)	151 (27.4)	53	605	345	406	
平成18年度 第1期	124 (21.9)	66 (11.7)	117 (20.7)	108 (19.1)	150 (26.5)	40	605	318	388	
平成19年度 第1期	136 (24.0)	56 (9.9)	135 (23.8)	107 (18.9)	133 (23.5)	38	605	305	375	
平成20年度 第1期	155 (27.3)	53 (9.3)	120 (21.2)	121 (21.3)	118 (20.8)	38	605	310	388	
平成21年度 第1期	165 (28.9)	37 (6.5)	105 (18.4)	100 (17.5)	164 (28.7)	34	605	324	431	
平成22年度 第1期	174 (30.3)	39 (6.8)	105 (18.3)	115 (20.0)	141 (24.6)	31	605	314	423	
平成23年度 第1期	186 (32.5)	32 (5.6)	93 (16.2)	120 (20.9)	142 (24.8)	32	605	319	437	
平成24年度 第1期	192 (33.4)	28 (4.9)	86 (15.0)	113 (19.7)	155 (27.0)	31	605	319	449	
平成25年度 第1期	197 (34.1)	26 (4.5)	91 (15.8)	95 (16.5)	168 (29.1)	28	605	317	464	
平成26年度 第1期	203 (35.5)	27 (4.7)	71 (12.4)	106 (18.5)	165 (28.8)	33	605	322	468	
平成27年度 第1期	209 (35.6)	29 (4.9)	71 (12.1)	92 (15.7)	186 (31.7)	18	605	328	495	
平成28年度	第1期	217 (37.2)	24 (4.1)	51 (8.7)	97 (16.6)	194 (33.3)	22	605	348	516
	第2期	217 (37.7)	25 (4.3)	55 (9.5)	88 (15.3)	191 (33.2)	29	605	335	515
	第3期	221 (37.8)	21 (3.6)	59 (10.1)	100 (17.1)	184 (31.5)	20	605	328	505
	第4期	221 (39.9)	30 (5.4)	46 (8.3)	89 (16.1)	168 (30.3)	51	605	314	503
平成29年度	第1期	224 (38.6)	22 (3.8)	50 (8.6)	101 (17.4)	184 (31.7)	24	605	334	505
	第2期	226 (38.8)	26 (4.5)	46 (7.9)	106 (18.2)	179 (30.7)	22	605	333	502
	第3期	229 (39.4)	22 (3.8)	59 (10.2)	85 (14.6)	186 (32.0)	24	605	323	516
	第4期	231 (41.7)	23 (4.2)	45 (8.1)	96 (17.3)	159 (28.7)	51	605	298	498
平成30年度	第1期	231 (39.4)	19 (3.2)	51 (8.7)	102 (17.4)	183 (31.2)	19	605	340	512
	第2期	231 (39.6)	21 (3.6)	53 (9.1)	91 (15.6)	188 (32.2)	21	605	324	510
	第3期	232 (39.6)	22 (3.8)	53 (9.0)	90 (15.4)	189 (32.3)	19	605	326	524
	第4期	234 (42.2)	22 (4.0)	54 (9.7)	92 (16.6)	153 (27.6)	50	605	270	486
令和元年度	第1期	234 (40.1)	21 (3.6)	48 (8.2)	99 (17.0)	182 (31.2)	21	605	321	507
	第2期	235 (40.1)	19 (3.2)	55 (9.4)	111 (18.9)	166 (28.3)	19	605	320	489
	第3期	238 (39.9)	22 (3.7)	51 (8.6)	108 (18.1)	177 (29.7)	9	605	317	493
	第4期	243 (44.0)	17 (3.1)	49 (8.9)	88 (15.9)	155 (28.1)	53	605	279	500
令和2年度	第1期	245 (43.8)	17 (3.0)	48 (8.6)	98 (17.5)	151 (27.0)	46	605	285	485
	第2期	245 (42.2)	20 (3.4)	57 (9.8)	99 (17.0)	160 (27.5)	24	605	300	489
	第3期	247 (41.7)	19 (3.2)	47 (7.9)	102 (17.2)	178 (30.0)	12	605	309	512
	第4期	247 (46.2)	17 (3.2)	53 (9.9)	82 (15.3)	136 (25.4)	70	605	221	491

() : 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-3-2. HIV-RNA量の推移（平成9年度第1期事業対象者）

	HIV-RNA量							中央値	
	～400未満	400～ 1000未満	1000～ 10000未満	10000以上	エイズ発症・ 死亡	不明	計	エイズ発症・死亡	
								含 む	含まず
平成9年度 第1期	108 (29.9)	30 (8.3)	109 (30.2)	110 (30.5)	4 (1.1)	244	605	2600	2400
平成10年度 第1期	184 (36.5)	63 (12.5)	140 (27.8)	96 (19.0)	21 (4.2)	101	605	1200	940
平成11年度 第1期	247 (46.1)	42 (7.8)	136 (25.4)	78 (14.6)	33 (6.2)	69	605	585	430
平成12年度 第1期	276 (50.6)	37 (6.8)	115 (21.1)	72 (13.2)	45 (8.3)	60	605	400 未満	400 未満
平成13年度 第1期	282 (52.6)	35 (6.5)	95 (17.7)	65 (12.1)	59 (11.0)	69	605	400 未満	400 未満
平成14年度 第1期	286 (52.8)	39 (7.2)	88 (16.2)	63 (11.6)	66 (12.2)	63	605	400 未満	400 未満
平成15年度 第1期	288 (53.9)	28 (5.2)	70 (13.1)	67 (12.5)	81 (15.2)	71	605	400 未満	400 未満
平成16年度 第1期	305 (54.5)	30 (5.4)	67 (12.0)	65 (11.6)	93 (16.6)	45	605	400 未満	400 未満
平成17年度 第1期	307 (56.2)	20 (3.7)	51 (9.3)	57 (10.4)	111 (20.3)	59	605	400 未満	400 未満
平成18年度 第1期	328 (58.6)	23 (4.1)	50 (8.9)	35 (6.3)	124 (22.1)	45	605	400 未満	400 未満
平成19年度 第1期	332 (58.9)	21 (3.7)	38 (6.7)	37 (6.6)	136 (24.1)	41	605	400 未満	400 未満
平成20年度 第1期	327 (58.0)	25 (4.4)	34 (6.0)	23 (4.1)	155 (27.5)	41	605	400 未満	400 未満
平成21年度 第1期	343 (60.6)	10 (1.8)	24 (4.2)	24 (4.2)	165 (29.2)	39	605	400 未満	400 未満
平成22年度 第1期	363 (63.8)	5 (0.9)	20 (3.5)	7 (1.2)	174 (30.6)	36	605	400 未満	400 未満
平成23年度 第1期	356 (62.0)	8 (1.4)	15 (2.6)	9 (1.6)	186 (32.4)	31	605	400 未満	400 未満
平成24年度 第1期	359 (62.2)	8 (1.4)	10 (1.7)	8 (1.4)	192 (33.3)	28	605	400 未満	400 未満
平成25年度 第1期	360 (62.5)	8 (1.4)	7 (1.2)	4 (0.7)	197 (34.2)	29	605	400 未満	400 未満
平成26年度 第1期	356 (62.3)	3 (0.5)	8 (1.4)	1 (0.2)	203 (35.6)	34	605	400 未満	400 未満
平成27年度 第1期	368 (62.5)	1 (0.2)	8 (1.4)	3 (0.5)	209 (35.5)	16	605	400 未満	400 未満
平成28年度	第1期	365 (62.4)	0 (0.0)	2 (0.3)	1 (0.2)	217 (37.1)	20	605	400 未満
	第2期	358 (61.7)	3 (0.5)	2 (0.3)	0 (0.0)	217 (37.4)	25	605	400 未満
	第3期	360 (61.2)	2 (0.3)	4 (0.7)	1 (0.2)	221 (37.6)	17	605	400 未満
	第4期	328 (59.1)	1 (0.2)	4 (0.7)	1 (0.2)	221 (39.8)	50	605	400 未満
平成29年度	第1期	355 (60.7)	5 (0.9)	1 (0.2)	0 (0.0)	224 (38.3)	20	605	400 未満
	第2期	350 (59.8)	3 (0.5)	3 (0.5)	3 (0.5)	226 (38.6)	20	605	400 未満
	第3期	349 (59.5)	2 (0.3)	5 (0.9)	2 (0.3)	229 (39.0)	18	605	400 未満
	第4期	321 (57.6)	2 (0.4)	3 (0.5)	0 (0.0)	231 (41.5)	48	605	400 未満
平成30年度	第1期	350 (59.8)	1 (0.2)	2 (0.3)	1 (0.2)	231 (39.5)	20	605	400 未満
	第2期	349 (59.6)	2 (0.3)	1 (0.2)	3 (0.5)	231 (39.4)	19	605	400 未満
	第3期	351 (59.8)	2 (0.3)	2 (0.3)	0 (0.0)	232 (39.5)	18	605	400 未満
	第4期	319 (57.3)	1 (0.2)	2 (0.4)	1 (0.2)	234 (42.0)	48	605	400 未満
令和元年度	第1期	345 (59.2)	1 (0.2)	2 (0.3)	1 (0.2)	234 (40.1)	22	605	400 未満
	第2期	346 (58.9)	1 (0.2)	4 (0.7)	1 (0.2)	235 (40.0)	18	605	400 未満
	第3期	351 (59.2)	0 (0.0)	4 (0.7)	0 (0.0)	238 (40.1)	12	605	400 未満
	第4期	303 (55.3)	1 (0.2)	0 (0.0)	1 (0.2)	243 (44.3)	57	605	400 未満
令和2年度	第1期	312 (55.8)	0 (0.0)	2 (0.4)	0 (0.0)	245 (43.8)	46	605	400 未満
	第2期	331 (57.1)	2 (0.3)	1 (0.2)	1 (0.2)	245 (42.2)	25	605	400 未満
	第3期	344 (58.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	247 (41.8)	14	605	400 未満
	第4期	289 (53.8)	1 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	247 (46.0)	68	605	400 未満

() : 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-3-3. 抗HIV薬の併用区分の推移（平成9年度第1期事業対象者）

	抗 HIV 薬の併用区分											計	
	投与なし (投与歴なし)	投与なし (投与歴あり)	NRTI 1 剤	NRTI 2 剤	NRTI 2 剤+ PI 1・2 剤	NRTI 2 剤+ NNRTI	NRTI 2 剤+ INSTI	その他 (INSTI 含む)	その他 (INSTI 含まず)	エイズ 発症・ 死亡	不明		
平成9年度 第1期	124(22.9)	20 (3.7)	58(10.7)	214(39.5)	91(16.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	35 (6.5)	4	59	605	
平成10年度 第1期	105(19.4)	31 (5.7)	21 (3.9)	153(28.3)	204(37.7)	2 (0.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	25 (4.6)	21	43	605	
平成11年度 第1期	96(18.0)	30 (5.6)	15 (2.8)	110(20.6)	260(48.8)	4 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	18 (3.4)	33	39	605	
平成12年度 第1期	92(17.6)	36 (6.9)	11 (2.1)	86(16.4)	235(44.8)	28 (5.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	36 (6.9)	45	36	605	
平成13年度 第1期	74(14.8)	28 (5.6)	9 (1.8)	73(14.6)	230(46.1)	50(10.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	35 (7.0)	59	47	605	
平成14年度 第1期	80(15.7)	45 (8.8)	5 (1.0)	66(12.9)	204(40.0)	71(13.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	39 (7.6)	66	29	605	
平成15年度 第1期	66(13.7)	52(10.8)	3 (0.6)	58(12.0)	180(37.3)	78(16.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	45 (9.3)	81	42	605	
平成16年度 第1期	70(13.9)	58(11.6)	4 (0.8)	49 (9.8)	195(38.8)	89(17.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	37 (7.4)	93	10	605	
平成17年度 第1期	61(12.7)	54(11.3)	3 (0.6)	45 (9.4)	182(37.9)	92(19.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	43 (9.0)	111	14	605	
平成18年度 第1期	56(12.0)	52(11.2)	5 (1.1)	33 (7.1)	192(41.2)	91(19.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	37 (7.9)	124	15	605	
平成19年度 第1期	46(10.1)	41 (9.0)	3 (0.7)	27 (5.9)	213(46.7)	92(20.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	34 (7.5)	136	13	605	
平成20年度 第1期	41 (9.3)	30 (6.8)	2 (0.5)	25 (5.7)	211(47.7)	88(19.9)	0 (0.0)	5 (1.1)	40 (9.0)	155	8	605	
平成21年度 第1期	41 (9.4)	24 (5.5)	1 (0.2)	20 (4.6)	185(42.6)	85(19.6)	17 (3.9)	24 (5.5)	37 (8.5)	165	6	605	
平成22年度 第1期	35 (8.2)	22 (5.2)	1 (0.2)	15 (3.5)	162(38.0)	83(19.5)	40 (9.4)	38 (8.9)	30 (7.0)	174	5	605	
平成23年度 第1期	28 (6.7)	19 (4.6)	1 (0.2)	12 (2.9)	142(34.1)	74(17.8)	71(17.1)	45 (10.8)	24 (5.8)	186	3	605	
平成24年度 第1期	22 (5.4)	12 (3.0)	0 (0.0)	11 (2.7)	121(29.9)	68(16.8)	85(21.0)	58 (14.3)	28 (6.9)	192	8	605	
平成25年度 第1期	17 (4.2)	11 (2.7)	0 (0.0)	8 (2.0)	97(24.2)	68(17.0)	101(25.2)	69 (17.2)	30 (7.5)	197	7	605	
平成26年度 第1期	15 (3.8)	9 (2.3)	0 (0.0)	7 (1.8)	91(23.0)	61(15.4)	121(30.6)	70 (17.7)	22 (5.6)	203	6	605	
平成27年度 第1期	14 (3.6)	10 (2.6)	0 (0.0)	6 (1.5)	51(13.0)	46(11.7)	171(43.6)	70 (17.9)	24 (6.1)	209	4	605	
平成28年度	第1期	9 (2.3)	5 (1.3)	0 (0.0)	5 (1.3)	40(10.4)	39(10.1)	191(49.6)	78 (20.3)	18 (4.7)	217	3	605
	第2期	9 (2.3)	6 (1.6)	0 (0.0)	5 (1.3)	37 (9.6)	38 (9.9)	197(51.2)	76 (19.7)	17 (4.4)	217	3	605
	第3期	8 (2.1)	4 (1.0)	0 (0.0)	5 (1.3)	36 (9.4)	38(10.0)	197(51.7)	76 (19.9)	17 (4.5)	221	3	605
	第4期	8 (2.1)	5 (1.3)	0 (0.0)	5 (1.3)	36 (9.5)	35 (9.3)	198(52.5)	74 (19.6)	16 (4.2)	221	7	605
平成29年度	第1期	8 (2.1)	7 (1.9)	0 (0.0)	7 (1.9)	30 (8.0)	30 (8.0)	203(53.8)	79 (21.0)	13 (3.4)	224	4	605
	第2期	8 (2.1)	5 (1.3)	0 (0.0)	5 (1.3)	27 (7.2)	31 (8.2)	218(58.0)	71 (18.9)	11 (2.9)	226	3	605
	第3期	7 (1.9)	5 (1.3)	0 (0.0)	5 (1.3)	26 (7.0)	31 (8.3)	220(58.8)	69 (18.4)	11 (2.9)	229	2	605
	第4期	7 (1.9)	5 (1.4)	0 (0.0)	5 (1.4)	26 (7.1)	30 (8.2)	215(58.9)	67 (18.4)	10 (2.7)	231	9	605
平成30年度	第1期	7 (1.9)	6 (1.6)	0 (0.0)	4 (1.1)	23 (6.2)	27 (7.3)	230(61.8)	67 (18.0)	8 (2.2)	231	2	605
	第2期	7 (1.9)	5 (1.3)	0 (0.0)	3 (0.8)	23 (6.2)	26 (7.0)	229(61.6)	71 (19.1)	8 (2.2)	231	2	605
	第3期	6 (1.6)	6 (1.6)	0 (0.0)	3 (0.8)	22 (5.9)	25 (6.7)	230(61.8)	72 (19.4)	8 (2.2)	232	1	605
	第4期	6 (1.6)	7 (1.9)	0 (0.0)	3 (0.8)	22 (6.0)	26 (7.1)	226(61.9)	66 (18.1)	9 (2.5)	234	6	605
令和元年度	第1期	6 (1.6)	5 (1.4)	0 (0.0)	2 (0.5)	19 (5.1)	27 (7.3)	233(63.0)	70 (18.9)	8 (2.2)	234	1	605
	第2期	6 (1.6)	7 (1.9)	0 (0.0)	2 (0.5)	16 (4.3)	26 (7.1)	234(63.6)	71 (19.3)	6 (1.6)	235	2	605
	第3期	6 (1.6)	6 (1.6)	0 (0.0)	1 (0.3)	14 (3.8)	22 (6.0)	239(65.5)	72 (19.7)	5 (1.4)	238	2	605
	第4期	6 (1.7)	7 (2.0)	0 (0.0)	1 (0.3)	13 (3.7)	21 (6.0)	225(64.7)	70 (20.1)	5 (1.4)	243	14	605
令和2年度	第1期	5 (1.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.3)	13 (3.6)	25 (7.0)	232(64.6)	76 (21.2)	7 (1.9)	245	1	605
	第2期	5 (1.4)	1 (0.3)	0 (0.0)	1 (0.3)	13 (3.6)	24 (6.7)	233(64.9)	76 (21.2)	6 (1.7)	245	1	605
	第3期	5(1.4)	2 (0.6)	0 (0.0)	1 (0.3)	14 (3.9)	24 (6.7)	230(64.4)	76 (21.3)	5 (1.4)	247	1	605
	第4期	5 (1.4)	3 (0.9)	0 (0.0)	1 (0.3)	14 (4.1)	23 (6.7)	221(64.1)	74 (21.4)	4 (1.2)	247	13	605

() : 各行の計より不明とエイズ発症・死亡を除いた数を分母とする%

表4-3-4. 抗HIV薬の副作用の推移（平成9年度第1期事業対象者）

	副作用			抗HIV薬 投与あり	副作用（項目別）				
	あり	なし	不明		嘔気	下痢	口内炎	貧血	
平成9年度 第1期	92 (23.1)	－	－	398	41 (10.3)	16 (4.0)	9 (2.3)	12 (3.0)	
平成10年度 第1期	115 (28.4)	－	－	405	41 (10.1)	45 (11.1)	6 (1.5)	5 (1.2)	
平成11年度 第1期	125 (30.7)	－	－	407	31 (7.6)	75 (18.4)	5 (1.2)	9 (2.2)	
平成12年度 第1期	116 (29.3)	－	－	396	22 (5.6)	72 (18.2)	9 (2.3)	5 (1.3)	
平成13年度 第1期	119 (30.0)	－	－	397	21 (5.3)	68 (17.1)	5 (1.3)	3 (0.8)	
平成14年度 第1期	122 (31.7)	－	－	385	22 (5.7)	62 (16.1)	3 (0.8)	6 (1.6)	
平成15年度 第1期	125 (34.3)	－	－	364	20 (5.5)	50 (13.7)	3 (0.8)	4 (1.1)	
平成16年度 第1期	150 (40.1)	216 (57.8)	8 (2.1)	374	24 (6.4)	56 (15.0)	5 (1.3)	11 (2.9)	
平成17年度 第1期	140 (38.4)	213 (58.4)	12 (3.3)	365	21 (5.8)	46 (12.6)	4 (1.1)	10 (2.7)	
平成18年度 第1期	136 (38.0)	202 (56.4)	20 (5.6)	358	16 (4.5)	49 (13.7)	7 (2.0)	10 (2.8)	
平成19年度 第1期	108 (29.3)	222 (60.2)	39 (10.6)	369	16 (4.3)	26 (7.0)	4 (1.1)	8 (2.2)	
平成20年度 第1期	120 (32.3)	236 (63.6)	15 (4.0)	371	16 (4.3)	23 (6.2)	4 (1.1)	8 (2.2)	
平成21年度 第1期	105 (28.5)	248 (67.2)	16 (4.3)	369	8 (2.2)	18 (4.9)	3 (0.8)	8 (2.2)	
平成22年度 第1期	104 (28.2)	255 (69.1)	10 (2.7)	369	8 (2.2)	16 (4.3)	1 (0.3)	5 (1.4)	
平成23年度 第1期	104 (28.2)	250 (67.8)	15 (4.1)	369	12 (3.3)	13 (3.5)	2 (0.5)	4 (1.1)	
平成24年度 第1期	91 (24.5)	272 (73.3)	8 (2.2)	371	9 (2.4)	12 (3.2)	4 (1.1)	7 (1.9)	
平成25年度 第1期	84 (22.5)	281 (75.3)	8 (2.1)	373	6 (1.6)	14 (3.8)	1 (0.3)	5 (1.3)	
平成26年度 第1期	61 (16.4)	298 (80.1)	13 (3.5)	372	5 (1.3)	8 (2.2)	2 (0.5)	2 (0.5)	
平成27年度 第1期	52 (14.1)	309 (84.0)	7 (1.9)	368	7 (1.9)	7 (1.9)	3 (0.8)	2 (0.5)	
平成28年度	第1期	51 (13.7)	313 (84.4)	7 (1.9)	371	5 (1.3)	4 (1.1)	2 (0.5)	4 (1.1)
	第2期	50 (13.5)	314 (84.9)	6 (1.6)	370	6 (1.6)	7 (1.9)	2 (0.5)	3 (0.8)
	第3期	48 (13.0)	315 (85.4)	6 (1.6)	369	5 (1.4)	3 (0.8)	2 (0.5)	2 (0.5)
	第4期	48 (13.2)	309 (84.9)	7 (1.9)	364	5 (1.4)	5 (1.4)	2 (0.5)	2 (0.5)
平成29年度	第1期	48 (13.3)	307 (84.8)	7 (1.9)	362	3 (0.8)	7 (1.9)	2 (0.6)	2 (0.6)
	第2期	47 (12.9)	309 (85.1)	7 (1.9)	363	3 (0.8)	7 (1.9)	1 (0.3)	2 (0.6)
	第3期	50 (13.8)	304 (84.0)	8 (2.2)	362	5 (1.4)	6 (1.7)	2 (0.6)	2 (0.6)
	第4期	48 (13.6)	296 (83.9)	9 (2.5)	354	3 (0.8)	6 (1.7)	2 (0.6)	2 (0.6)
平成30年度	第1期	48 (13.4)	299 (83.3)	12 (3.3)	362	3 (0.8)	6 (1.7)	2 (0.6)	1 (0.3)
	第2期	50 (13.9)	297 (82.5)	13 (3.6)	363	2 (0.6)	6 (1.7)	1 (0.3)	1 (0.3)
	第3期	49 (13.6)	297 (82.5)	14 (3.9)	362	3 (0.8)	6 (1.7)	1 (0.3)	2 (0.6)
	第4期	49 (13.9)	291 (82.7)	12 (3.4)	354	2 (0.6)	6 (1.7)	1 (0.3)	1 (0.3)
令和元年度	第1期	44 (12.3)	293 (81.6)	22 (6.1)	359	6 (1.7)	4 (1.1)	1 (0.3)	1 (0.3)
	第2期	45 (12.7)	287 (80.8)	23 (6.5)	355	5 (1.4)	4 (1.1)	1 (0.3)	1 (0.3)
	第3期	42 (11.9)	288 (81.6)	23 (6.5)	353	4 (1.1)	4 (1.1)	1 (0.3)	1 (0.3)
	第4期	39 (11.6)	273 (81.5)	23 (6.9)	335	4 (1.2)	3 (0.9)	1 (0.3)	0 (0.0)
令和2年度	第1期	36 (10.2)	302 (85.3)	16 (4.5)	354	4 (1.1)	3 (0.8)	1 (0.3)	0 (0.0)
	第2期	36 (10.2)	300 (85.0)	17 (4.8)	353	4 (1.1)	3 (0.8)	1 (0.3)	0 (0.0)
	第3期	37 (10.6)	297 (84.9)	16 (4.6)	350	4 (1.1)	3 (0.9)	1 (0.3)	0 (0.0)
	第4期	37 (11.0)	283 (84.0)	17 (5.0)	337	4 (1.2)	2 (0.6)	1 (0.3)	0 (0.0)

(): 抗HIV薬投与ありに占める%

表4-3-4 (続き). 抗HIV薬の副作用の推移 (平成9年度第1期事業対象者)

	副作用 (項目別)							
	血尿	しびれ	皮疹	頭痛	中枢神経症状	リボスτροφイー	黄疸	その他
平成9年度 第1期	9 (2.3)	9 (2.3)	9 (2.3)	5 (1.3)	—	—	—	20 (5.0)
平成10年度 第1期	10 (2.5)	10 (2.5)	13 (3.2)	11 (2.7)	—	—	—	26 (6.4)
平成11年度 第1期	2 (0.5)	13 (3.2)	7 (1.7)	6 (1.5)	—	—	—	21 (5.2)
平成12年度 第1期	2 (0.5)	9 (2.3)	6 (1.5)	8 (2.0)	—	—	—	22 (5.6)
平成13年度 第1期	2 (0.5)	10 (2.5)	7 (1.8)	7 (1.8)	—	—	—	28 (7.1)
平成14年度 第1期	2 (0.5)	13 (3.4)	7 (1.8)	2 (0.5)	16 (4.2)	17 (4.4)	—	18 (4.7)
平成15年度 第1期	2 (0.5)	14 (3.8)	4 (1.1)	6 (1.6)	21 (5.8)	45 (12.4)	—	17 (4.7)
平成16年度 第1期	2 (0.5)	15 (4.0)	8 (2.1)	7 (1.9)	19 (5.1)	47 (12.6)	—	29 (7.8)
平成17年度 第1期	2 (0.5)	16 (4.4)	4 (1.1)	9 (2.5)	27 (7.4)	36 (9.9)	—	31 (8.5)
平成18年度 第1期	1 (0.3)	11 (3.1)	10 (2.8)	7 (2.0)	16 (4.5)	39 (10.9)	19 (5.3)	24 (6.7)
平成19年度 第1期	2 (0.5)	6 (1.6)	8 (2.2)	4 (1.1)	15 (4.1)	31 (8.4)	19 (5.1)	17 (4.6)
平成20年度 第1期	2 (0.5)	6 (1.6)	4 (1.1)	7 (1.9)	13 (3.5)	39 (10.5)	20 (5.4)	24 (6.5)
平成21年度 第1期	0 (0.0)	5 (1.4)	7 (1.9)	8 (2.2)	8 (2.2)	36 (9.8)	19 (5.1)	22 (6.0)
平成22年度 第1期	1 (0.3)	4 (1.1)	5 (1.4)	6 (1.6)	9 (2.4)	44 (11.9)	23 (6.2)	18 (4.9)
平成23年度 第1期	2 (0.5)	9 (2.4)	7 (1.9)	7 (1.9)	13 (3.5)	42 (11.4)	18 (4.9)	15 (4.1)
平成24年度 第1期	2 (0.5)	7 (1.9)	5 (1.3)	6 (1.6)	12 (3.2)	35 (9.4)	13 (3.5)	15 (4.0)
平成25年度 第1期	2 (0.5)	6 (1.6)	5 (1.3)	4 (1.1)	7 (1.9)	38 (10.2)	12 (3.2)	14 (3.8)
平成26年度 第1期	4 (1.1)	6 (1.6)	2 (0.5)	2 (0.5)	10 (2.7)	26 (7.0)	7 (1.9)	13 (3.5)
平成27年度 第1期	3 (0.8)	6 (1.6)	4 (1.1)	3 (0.8)	7 (1.9)	28 (7.6)	3 (0.8)	10 (2.7)
平成28年度 第1期	2 (0.5)	5 (1.3)	5 (1.3)	2 (0.5)	6 (1.6)	29 (7.8)	3 (0.8)	4 (1.1)
平成28年度 第2期	2 (0.5)	4 (1.1)	5 (1.4)	3 (0.8)	5 (1.4)	29 (7.8)	1 (0.3)	4 (1.1)
平成28年度 第3期	2 (0.5)	5 (1.4)	4 (1.1)	2 (0.5)	5 (1.4)	29 (7.9)	1 (0.3)	5 (1.4)
平成28年度 第4期	2 (0.5)	4 (1.1)	3 (0.8)	2 (0.5)	5 (1.4)	28 (7.7)	1 (0.3)	5 (1.4)
平成29年度 第1期	2 (0.6)	3 (0.8)	3 (0.8)	4 (1.1)	3 (0.8)	23 (6.4)	2 (0.6)	8 (2.2)
平成29年度 第2期	2 (0.6)	3 (0.8)	3 (0.8)	5 (1.4)	4 (1.1)	24 (6.6)	1 (0.3)	6 (1.7)
平成29年度 第3期	1 (0.3)	3 (0.8)	3 (0.8)	5 (1.4)	5 (1.4)	24 (6.6)	1 (0.3)	9 (2.5)
平成29年度 第4期	2 (0.6)	4 (1.1)	3 (0.8)	6 (1.7)	4 (1.1)	24 (6.8)	1 (0.3)	7 (2.0)
平成30年度 第1期	2 (0.6)	5 (1.4)	4 (1.1)	3 (0.8)	5 (1.4)	24 (6.7)	0 (0.0)	11 (3.1)
平成30年度 第2期	2 (0.6)	5 (1.4)	4 (1.1)	3 (0.8)	6 (1.7)	24 (6.7)	0 (0.0)	13 (3.6)
平成30年度 第3期	2 (0.6)	6 (1.7)	5 (1.4)	5 (1.4)	6 (1.7)	24 (6.7)	0 (0.0)	11 (3.1)
平成30年度 第4期	3 (0.9)	5 (1.4)	4 (1.1)	3 (0.9)	6 (1.7)	24 (6.8)	0 (0.0)	11 (3.1)
令和元年度 第1期	3 (0.8)	6 (1.7)	3 (0.8)	3 (0.8)	4 (1.1)	21 (5.8)	0 (0.0)	8 (2.2)
令和元年度 第2期	3 (0.8)	6 (1.7)	3 (0.8)	3 (0.8)	4 (1.1)	21 (5.9)	0 (0.0)	10 (2.8)
令和元年度 第3期	4 (1.1)	6 (1.7)	3 (0.8)	3 (0.8)	6 (1.7)	20 (5.7)	0 (0.0)	6 (1.7)
令和元年度 第4期	2 (0.6)	6 (1.8)	3 (0.9)	3 (0.9)	4 (1.2)	19 (5.7)	0 (0.0)	7 (2.1)
令和2年度 第1期	2 (0.6)	6 (1.7)	2 (0.6)	1 (0.3)	5 (1.4)	17 (4.8)	0 (0.0)	8 (2.3)
令和2年度 第2期	2 (0.6)	6 (1.7)	2 (0.6)	1 (0.3)	6 (1.7)	17 (4.8)	0 (0.0)	6 (1.7)
令和2年度 第3期	2 (0.6)	7 (2.0)	2 (0.6)	1 (0.3)	6 (1.7)	17 (4.9)	0 (0.0)	7 (2.0)
令和2年度 第4期	2 (0.6)	7 (2.1)	2 (0.6)	1 (0.3)	7 (2.1)	16 (4.7)	0 (0.0)	7 (2.1)

(): 抗HIV薬投与ありに占める%

表4-3-5. CD4値の推移（平成19年度第1期事業対象者）

	C D 4 値							計	中央値	
	エイズ発症・死亡	～200未満	200～350未満	350～500未満	500以上	不明	エイズ発症・死亡			
							含む		含まず	
平成19年度 第1期	3 (0.5)	67 (12.2)	171 (31.2)	136 (24.8)	171 (31.2)	54	602	381	381	
平成20年度 第1期	26 (4.7)	66 (12.0)	150 (27.2)	153 (27.7)	157 (28.4)	50	602	386	396	
平成21年度 第1期	39 (6.9)	50 (8.9)	140 (24.9)	125 (22.2)	208 (37.0)	40	602	404	431	
平成22年度 第1期	49 (8.6)	53 (9.3)	131 (23.0)	153 (26.9)	183 (32.2)	33	602	400	435	
平成23年度 第1期	62 (11.0)	47 (8.3)	115 (20.4)	149 (26.5)	190 (33.7)	39	602	414	442	
平成24年度 第1期	71 (12.6)	37 (6.6)	105 (18.6)	147 (26.1)	204 (36.2)	38	602	421	458	
平成25年度 第1期	78 (13.7)	34 (6.0)	114 (20.1)	119 (21.0)	223 (39.3)	34	602	417	469	
平成26年度 第1期	88 (15.5)	35 (6.2)	88 (15.5)	129 (22.8)	227 (40.0)	35	602	429	484	
平成27年度 第1期	94 (16.3)	38 (6.6)	84 (14.6)	117 (20.3)	244 (42.3)	25	602	448	506	
平成28年度	第1期	102 (17.8)	30 (5.2)	62 (10.8)	128 (22.4)	250 (43.7)	30	602	455	517
	第2期	103 (18.2)	29 (5.1)	69 (12.2)	114 (20.2)	250 (44.2)	37	602	458	518
	第3期	107 (18.5)	26 (4.5)	74 (12.8)	129 (22.3)	243 (42.0)	23	602	456	511
	第4期	107 (20.1)	34 (6.4)	55 (10.3)	116 (21.8)	220 (41.4)	70	602	437	513
平成29年度	第1期	111 (19.3)	28 (4.9)	65 (11.3)	127 (22.1)	243 (42.3)	28	602	452	510
	第2期	113 (19.7)	32 (5.6)	61 (10.6)	131 (22.8)	238 (41.4)	27	602	454	508
	第3期	116 (20.2)	28 (4.9)	71 (12.4)	111 (19.4)	247 (43.1)	29	602	462	518
	第4期	119 (22.2)	27 (5.0)	58 (10.8)	122 (22.7)	211 (39.3)	65	602	425	503
平成30年度	第1期	120 (20.9)	25 (4.3)	65 (11.3)	120 (20.9)	245 (42.6)	27	602	461	520
	第2期	121 (21.1)	24 (4.2)	63 (11.0)	120 (20.9)	245 (42.8)	29	602	448	518
	第3期	123 (21.2)	26 (4.5)	66 (11.4)	115 (19.9)	249 (43.0)	23	602	438	529
	第4期	125 (23.3)	25 (4.7)	64 (11.9)	121 (22.5)	202 (37.6)	65	602	418	494
令和元年度	第1期	125 (21.8)	26 (4.5)	54 (9.4)	126 (22.0)	242 (42.2)	29	602	445	520
	第2期	126 (22.1)	23 (4.0)	67 (11.7)	134 (23.5)	221 (38.7)	31	602	440	499
	第3期	129 (21.9)	26 (4.4)	64 (10.9)	137 (23.3)	233 (39.6)	13	602	431	505
	第4期	136 (25.2)	21 (3.9)	60 (11.1)	116 (21.5)	206 (38.2)	63	602	425	506
令和2年度	第1期	138 (25.1)	22 (4.0)	58 (10.6)	126 (23.0)	205 (37.3)	53	602	433	498
	第2期	139 (24.0)	25 (4.3)	66 (11.4)	128 (22.1)	220 (38.1)	24	602	436	500
	第3期	142 (24.3)	24 (4.1)	60 (10.3)	121 (20.7)	238 (40.7)	17	602	440	515
	第4期	142 (27.4)	19 (3.7)	67 (12.9)	106 (20.5)	184 (35.5)	84	602	391	495

() : 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-3-6. HIV-RNA量の推移（平成19年度第1期事業対象者）

	HIV-RNA量									中央値	
	検出せず	50未満	50～ 400未満	400～ 1000未満	1000～ 10000未満	10000以上	エイズ発症・ 死亡	不明	計	エイズ発症・死亡	
										含む	含まず
平成19年度 第1期	*	304 (55.9)	110 (20.2)	27 (5.0)	50 (9.2)	50 (9.2)	3 (0.6)	58	602	50 未満	50 未満
平成20年度 第1期	126 (23.0)	164 (30.0)	118 (21.6)	35 (6.4)	44 (8.0)	34 (6.2)	26 (4.8)	55	602	50 未満	50 未満
平成21年度 第1期	233 (41.9)	95 (17.1)	111 (20.0)	16 (2.9)	31 (5.6)	31 (5.6)	39 (7.0)	46	602	40 未満	40 未満
平成22年度 第1期	284 (50.9)	105 (18.8)	71 (12.7)	7 (1.3)	31 (5.6)	11 (2.0)	49 (8.8)	44	602	検出せず	検出せず
平成23年度 第1期	291 (52.1)	100 (17.9)	58 (10.4)	13 (2.3)	22 (3.9)	13 (2.3)	62 (11.1)	43	602	検出せず	検出せず
平成24年度 第1期	246 (43.7)	147 (26.1)	58 (10.3)	10 (1.8)	18 (3.2)	13 (2.3)	71 (12.6)	39	602	40 未満	検出せず
平成25年度 第1期	239 (42.1)	198 (34.9)	27 (4.8)	8 (1.4)	11 (1.9)	7 (1.2)	78 (13.7)	34	602	40 未満	40 未満
平成26年度 第1期	265 (47.2)	174 (31.0)	16 (2.9)	4 (0.7)	12 (2.1)	2 (0.4)	88 (15.7)	41	602	40 未満	検出せず
平成27年度 第1期	249 (43.2)	202 (35.0)	16 (2.8)	1 (0.2)	12 (2.1)	3 (0.5)	94 (16.3)	25	602	40 未満	検出せず
平成28年度 第1期 第2期 第3期 第4期	292 (51.0)	161 (28.1)	10 (1.7)	1 (0.2)	5 (0.9)	2 (0.3)	102 (17.8)	29	602	検出せず	検出せず
	285 (50.2)	159 (28.0)	10 (1.8)	4 (0.7)	5 (0.9)	2 (0.4)	103 (18.1)	34	602	検出せず	検出せず
	295 (50.8)	150 (25.8)	15 (2.6)	4 (0.7)	6 (1.0)	4 (0.7)	107 (18.4)	21	602	検出せず	検出せず
	255 (47.8)	151 (28.3)	9 (1.7)	2 (0.4)	7 (1.3)	2 (0.4)	107 (20.1)	69	602	40 未満	検出せず
平成29年度 第1期 第2期 第3期 第4期	309 (53.5)	132 (22.8)	15 (2.6)	5 (0.9)	4 (0.7)	2 (0.3)	111 (19.2)	24	602	検出せず	検出せず
	309 (53.6)	122 (21.1)	20 (3.5)	3 (0.5)	4 (0.7)	6 (1.0)	113 (19.6)	25	602	検出せず	検出せず
	306 (52.6)	125 (21.5)	24 (4.1)	2 (0.3)	5 (0.9)	4 (0.7)	116 (19.9)	20	602	検出せず	検出せず
	281 (52.2)	118 (21.9)	13 (2.4)	2 (0.4)	4 (0.7)	1 (0.2)	119 (22.1)	64	602	検出せず	検出せず
平成30年度 第1期 第2期 第3期 第4期	320 (55.5)	116 (20.1)	15 (2.6)	1 (0.2)	2 (0.3)	3 (0.5)	120 (20.8)	25	602	検出せず	検出せず
	323 (56.1)	116 (20.1)	8 (1.4)	2 (0.3)	1 (0.2)	5 (0.9)	121 (21.0)	26	602	検出せず	検出せず
	318 (54.6)	127 (21.8)	8 (1.4)	2 (0.3)	2 (0.3)	2 (0.3)	123 (21.1)	20	602	検出せず	検出せず
	300 (55.8)	100 (18.6)	7 (1.3)	1 (0.2)	3 (0.6)	2 (0.4)	125 (23.2)	64	602	検出せず	検出せず
令和元年度 第1期 第2期 第3期 第4期	318 (55.6)	116 (20.3)	7 (1.2)	1 (0.2)	2 (0.3)	3 (0.5)	125 (21.9)	30	602	検出せず	検出せず
	307 (53.4)	127 (22.1)	8 (1.4)	1 (0.2)	4 (0.7)	2 (0.3)	126 (21.9)	27	602	検出せず	検出せず
	323 (55.1)	118 (20.1)	10 (1.7)	0 (0.0)	4 (0.7)	2 (0.3)	129 (22.0)	16	602	検出せず	検出せず
	278 (52.3)	105 (19.7)	9 (1.7)	1 (0.2)	0 (0.0)	3 (0.6)	136 (25.6)	70	602	検出せず	検出せず
令和2年度 第1期 第2期 第3期 第4期	295 (53.7)	101 (18.4)	11 (2.0)	0 (0.0)	2 (0.4)	2 (0.4)	138 (25.1)	53	602	検出せず	検出せず
	324 (56.3)	97 (16.9)	9 (1.6)	2 (0.3)	1 (0.2)	3 (0.5)	139 (24.2)	27	602	検出せず	検出せず
	318 (54.7)	112 (19.3)	8 (1.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.2)	142 (24.4)	21	602	検出せず	検出せず
	274 (52.8)	94 (18.1)	8 (1.5)	1 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	142 (27.4)	83	602	検出せず	検出せず

() : 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

* : 平成 19 年度は調査票に「検出せず」の項目なし

表4-3-7. 抗HIV薬の併用区分の推移（平成19年度第1期事業対象者）

	抗 HIV 薬の併用区分										計
	投与なし (投与歴なし)	投与なし (投与歴あり)	NRTI 2 剤	NRTI 2 剤+ PI 1・2 剤	NRTI 2 剤+ NNRTI	NRTI 2 剤+ INSTI	その他 (INSTI 含む)	その他 (INSTI 含まず)	エイズ 発症・ 死亡	不明	
平成19年度 第1期	74 (12.8)	45 (7.8)	31 (5.3)	267 (46.0)	113 (19.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	50 (8.6)	3	19	602
平成20年度 第1期	67 (11.9)	33 (5.9)	29 (5.1)	269 (47.7)	109 (19.3)	0 (0.0)	5 (0.9)	52 (9.2)	26	12	602
平成21年度 第1期	62 (11.2)	28 (5.0)	22 (4.0)	241 (43.3)	110 (19.8)	21 (3.8)	24 (4.3)	48 (8.6)	39	7	602
平成22年度 第1期	53 (9.7)	26 (4.8)	17 (3.1)	211 (38.6)	107 (19.6)	51 (9.3)	40 (7.3)	41 (7.5)	49	7	602
平成23年度 第1期	45 (8.4)	26 (4.8)	14 (2.6)	185 (34.5)	97 (18.1)	87 (16.2)	50 (9.3)	33 (6.1)	62	3	602
平成24年度 第1期	37 (7.1)	16 (3.1)	13 (2.5)	162 (31.1)	86 (16.5)	108 (20.7)	65 (12.5)	34 (6.5)	71	10	602
平成25年度 第1期	29 (5.6)	12 (2.3)	9 (1.7)	127 (24.6)	89 (17.2)	133 (25.7)	77 (14.9)	41 (7.9)	78	7	602
平成26年度 第1期	23 (4.5)	10 (2.0)	8 (1.6)	116 (22.8)	81 (15.9)	162 (31.9)	79 (15.6)	29 (5.7)	88	6	602
平成27年度 第1期	21 (4.2)	10 (2.0)	7 (1.4)	68 (13.5)	63 (12.5)	224 (44.4)	81 (16.1)	30 (6.0)	94	4	602
平成28年度 第1期	15 (3.0)	6 (1.2)	6 (1.2)	56 (11.3)	54 (10.9)	246 (49.5)	91 (18.3)	23 (4.6)	102	3	602
第2期	15 (3.0)	7 (1.4)	6 (1.2)	50 (10.1)	53 (10.7)	254 (51.2)	88 (17.7)	23 (4.6)	103	3	602
第3期	14 (2.8)	5 (1.0)	6 (1.2)	51 (10.4)	52 (10.6)	254 (51.6)	88 (17.9)	22 (4.5)	107	3	602
第4期	14 (2.9)	5 (1.0)	6 (1.2)	48 (9.8)	49 (10.0)	257 (52.7)	88 (18.0)	21 (4.3)	107	7	602
平成29年度 第1期	14 (2.9)	7 (1.4)	7 (1.4)	39 (8.0)	43 (8.8)	264 (54.2)	93 (19.1)	20 (4.1)	111	4	602
第2期	13 (2.7)	5 (1.0)	5 (1.0)	36 (7.4)	45 (9.3)	280 (57.6)	85 (17.5)	17 (3.5)	113	3	602
第3期	12 (2.5)	5 (1.0)	6 (1.2)	34 (7.0)	45 (9.3)	283 (58.5)	82 (16.9)	17 (3.5)	116	2	602
第4期	12 (2.5)	5 (1.1)	6 (1.3)	34 (7.2)	44 (9.3)	280 (59.2)	79 (16.7)	13 (2.7)	119	10	602
平成30年度 第1期	12 (2.5)	8 (1.7)	4 (0.8)	30 (6.3)	39 (8.1)	293 (61.2)	80 (16.7)	13 (2.7)	120	3	602
第2期	12 (2.5)	5 (1.0)	3 (0.6)	30 (6.3)	38 (7.9)	290 (60.7)	87 (18.2)	13 (2.7)	121	3	602
第3期	11 (2.3)	6 (1.3)	3 (0.6)	27 (5.6)	37 (7.7)	295 (61.7)	86 (18.0)	13 (2.7)	123	1	602
第4期	11 (2.3)	7 (1.5)	3 (0.6)	27 (5.8)	39 (8.3)	290 (61.8)	79 (16.8)	13 (2.8)	125	8	602
令和元年度 第1期	11 (2.3)	5 (1.1)	2 (0.4)	26 (5.5)	39 (8.2)	299 (63.2)	79 (16.7)	12 (2.5)	125	4	602
第2期	11 (2.3)	7 (1.5)	2 (0.4)	23 (4.9)	39 (8.2)	300 (63.4)	82 (17.3)	9 (1.9)	126	3	602
第3期	11 (2.3)	6 (1.3)	1 (0.2)	21 (4.5)	34 (7.2)	305 (65.0)	84 (17.9)	7 (1.5)	129	4	602
第4期	10 (2.2)	7 (1.6)	1 (0.2)	19 (4.2)	33 (7.3)	291 (64.8)	81 (18.0)	7 (1.6)	136	17	602
令和2年度 第1期	9 (1.9)	1 (0.2)	1 (0.2)	18 (3.9)	37 (8.0)	300 (64.8)	88 (19.0)	9 (1.9)	138	1	602
第2期	9 (2.0)	2 (0.4)	1 (0.2)	18 (3.9)	36 (7.8)	299 (64.9)	88 (19.1)	8 (1.7)	139	2	602
第3期	8 (1.8)	3 (0.7)	1 (0.2)	18 (3.9)	36 (7.9)	295 (64.6)	89 (19.5)	7 (1.5)	142	3	602
第4期	8 (1.8)	7 (1.6)	1 (0.2)	15 (3.4)	34 (7.7)	282 (63.9)	88 (20.0)	6 (1.4)	142	19	602

(): 各行の計よりエイズ発症・死亡と不明を除いた数を分母とする%

表4-3-8. 抗HIV薬の副作用の推移（平成19年度第1期事業対象者）

	副作用			抗HIV薬 投与あり	副作用（項目別）			
	あり	なし	不明		嘔気	下痢	口内炎	貧血
平成19年度 第1期	139 (30.2)	273 (59.2)	49 (10.6)	461	21 (4.6)	38 (8.2)	5 (1.1)	9 (2.0)
平成20年度 第1期	145 (31.3)	301 (64.9)	18 (3.9)	464	20 (4.3)	31 (6.7)	5 (1.1)	9 (1.9)
平成21年度 第1期	128 (27.5)	321 (68.9)	17 (3.6)	466	11 (2.4)	27 (5.8)	3 (0.6)	9 (1.9)
平成22年度 第1期	129 (27.6)	328 (70.2)	10 (2.1)	467	14 (3.0)	25 (5.4)	1 (0.2)	7 (1.5)
平成23年度 第1期	124 (26.6)	325 (69.7)	17 (3.6)	466	14 (3.0)	18 (3.9)	2 (0.4)	4 (0.9)
平成24年度 第1期	110 (23.5)	347 (74.1)	11 (2.4)	468	12 (2.6)	17 (3.6)	4 (0.9)	9 (1.9)
平成25年度 第1期	103 (21.6)	364 (76.5)	9 (1.9)	476	8 (1.7)	17 (3.6)	1 (0.2)	6 (1.3)
平成26年度 第1期	75 (15.8)	385 (81.1)	15 (3.2)	475	7 (1.5)	13 (2.7)	2 (0.4)	2 (0.4)
平成27年度 第1期	67 (14.2)	399 (84.4)	7 (1.5)	473	9 (1.9)	11 (2.3)	3 (0.6)	4 (0.8)
平成28年度 第1期	61 (12.8)	405 (85.1)	10 (2.1)	476	6 (1.3)	5 (1.1)	2 (0.4)	4 (0.8)
第2期	60 (12.7)	406 (85.7)	8 (1.7)	474	7 (1.5)	8 (1.7)	2 (0.4)	3 (0.6)
第3期	57 (12.1)	408 (86.3)	8 (1.7)	473	6 (1.3)	4 (0.8)	2 (0.4)	2 (0.4)
第4期	57 (12.2)	401 (85.5)	11 (2.3)	469	7 (1.5)	6 (1.3)	3 (0.6)	2 (0.4)
平成29年度 第1期	55 (11.8)	402 (86.3)	9 (1.9)	466	4 (0.9)	9 (1.9)	2 (0.4)	3 (0.6)
第2期	54 (11.5)	405 (86.5)	9 (1.9)	468	4 (0.9)	9 (1.9)	1 (0.2)	3 (0.6)
第3期	59 (12.6)	398 (85.2)	10 (2.1)	467	8 (1.7)	8 (1.7)	2 (0.4)	3 (0.6)
第4期	55 (12.1)	390 (85.5)	11 (2.4)	456	5 (1.1)	7 (1.5)	2 (0.4)	3 (0.7)
平成30年度 第1期	53 (11.5)	390 (85.0)	16 (3.5)	459	4 (0.9)	7 (1.5)	2 (0.4)	2 (0.4)
第2期	55 (11.9)	389 (84.4)	17 (3.7)	461	3 (0.7)	7 (1.5)	1 (0.2)	2 (0.4)
第3期	55 (11.9)	388 (84.2)	18 (3.9)	461	4 (0.9)	7 (1.5)	1 (0.2)	3 (0.7)
第4期	54 (12.0)	381 (84.5)	16 (3.5)	451	3 (0.7)	7 (1.6)	1 (0.2)	2 (0.4)
令和元年度 第1期	52 (11.4)	376 (82.3)	29 (6.3)	457	8 (1.8)	5 (1.1)	1 (0.2)	2 (0.4)
第2期	52 (11.4)	373 (82.0)	30 (6.6)	455	6 (1.3)	5 (1.1)	1 (0.2)	2 (0.4)
第3期	49 (10.8)	373 (82.5)	30 (6.6)	452	5 (1.1)	5 (1.1)	1 (0.2)	2 (0.4)
第4期	46 (10.6)	356 (82.4)	30 (6.9)	432	5 (1.2)	4 (0.9)	1 (0.2)	1 (0.2)
令和2年度 第1期	42 (9.3)	386 (85.2)	25 (5.5)	453	4 (0.9)	4 (0.9)	1 (0.2)	1 (0.2)
第2期	42 (9.3)	383 (85.1)	25 (5.6)	450	4 (0.9)	4 (0.9)	1 (0.2)	1 (0.2)
第3期	42 (9.4)	380 (85.2)	24 (5.4)	446	4 (0.9)	3 (0.7)	1 (0.2)	1 (0.2)
第4期	41 (9.6)	361 (84.7)	24 (5.6)	426	4 (0.9)	2 (0.5)	1 (0.2)	1 (0.2)

() : 抗HIV薬投与ありにしめる%

表4-3-8 (続き). 抗HIV薬の副作用の推移 (平成19年度第1期事業対象者)

	副作用 (項目別)							
	血尿	しびれ	皮疹	頭痛	中枢神経症状	リボスτροφイー	黄疸	その他
平成19年度 第1期	3 (0.7)	7 (1.5)	11 (2.4)	8 (1.7)	22 (4.8)	35 (7.6)	26 (5.6)	23 (5.0)
平成20年度 第1期	2 (0.4)	7 (1.5)	6 (1.3)	8 (1.7)	20 (4.3)	43 (9.3)	28 (6.0)	30 (6.5)
平成21年度 第1期	0 (0.0)	5 (1.1)	9 (1.9)	10 (2.1)	12 (2.6)	40 (8.6)	27 (5.8)	25 (5.4)
平成22年度 第1期	1 (0.2)	5 (1.1)	7 (1.5)	8 (1.7)	14 (3.0)	49 (10.5)	28 (6.0)	20 (4.3)
平成23年度 第1期	2 (0.4)	9 (1.9)	10 (2.1)	9 (1.9)	17 (3.6)	45 (9.7)	24 (5.2)	18 (3.9)
平成24年度 第1期	2 (0.4)	7 (1.5)	6 (1.3)	7 (1.5)	15 (3.2)	39 (8.3)	15 (3.2)	20 (4.3)
平成25年度 第1期	2 (0.4)	6 (1.3)	6 (1.3)	5 (1.1)	12 (2.5)	43 (9.0)	17 (3.6)	17 (3.6)
平成26年度 第1期	4 (0.8)	6 (1.3)	3 (0.6)	4 (0.8)	13 (2.7)	32 (6.7)	8 (1.7)	14 (2.9)
平成27年度 第1期	3 (0.6)	6 (1.3)	6 (1.3)	5 (1.1)	13 (2.7)	33 (7.0)	4 (0.8)	13 (2.7)
平成28年度 第1期	2 (0.4)	5 (1.1)	6 (1.3)	2 (0.4)	9 (1.9)	32 (6.7)	3 (0.6)	6 (1.3)
第2期	2 (0.4)	4 (0.8)	6 (1.3)	3 (0.6)	8 (1.7)	31 (6.5)	1 (0.2)	6 (1.3)
第3期	2 (0.4)	5 (1.1)	5 (1.1)	2 (0.4)	7 (1.5)	31 (6.6)	1 (0.2)	7 (1.5)
第4期	2 (0.4)	4 (0.9)	3 (0.6)	2 (0.4)	7 (1.5)	30 (6.4)	1 (0.2)	7 (1.5)
平成29年度 第1期	2 (0.4)	3 (0.6)	5 (1.1)	5 (1.1)	4 (0.9)	24 (5.2)	3 (0.6)	10 (2.1)
第2期	2 (0.4)	3 (0.6)	4 (0.9)	6 (1.3)	4 (0.9)	25 (5.3)	2 (0.4)	9 (1.9)
第3期	1 (0.2)	3 (0.6)	5 (1.1)	6 (1.3)	5 (1.1)	25 (5.4)	2 (0.4)	12 (2.6)
第4期	2 (0.4)	4 (0.9)	4 (0.9)	7 (1.5)	5 (1.1)	25 (5.5)	2 (0.4)	8 (1.8)
平成30年度 第1期	2 (0.4)	5 (1.1)	4 (0.9)	4 (0.9)	6 (1.3)	25 (5.4)	0 (0.0)	13 (2.8)
第2期	2 (0.4)	5 (1.1)	4 (0.9)	4 (0.9)	7 (1.5)	25 (5.4)	0 (0.0)	15 (3.3)
第3期	3 (0.7)	6 (1.3)	5 (1.1)	6 (1.3)	7 (1.5)	25 (5.4)	0 (0.0)	13 (2.8)
第4期	3 (0.7)	5 (1.1)	4 (0.9)	4 (0.9)	7 (1.6)	25 (5.5)	0 (0.0)	13 (2.9)
令和元年度 第1期	3 (0.7)	6 (1.3)	3 (0.7)	4 (0.9)	4 (0.9)	23 (5.0)	0 (0.0)	13 (2.8)
第2期	3 (0.7)	6 (1.3)	3 (0.7)	4 (0.9)	4 (0.9)	23 (5.1)	0 (0.0)	14 (3.1)
第3期	4 (0.9)	6 (1.3)	3 (0.7)	4 (0.9)	6 (1.3)	22 (4.9)	0 (0.0)	10 (2.2)
第4期	2 (0.5)	6 (1.4)	3 (0.7)	4 (0.9)	4 (0.9)	21 (4.9)	0 (0.0)	10 (2.3)
令和2年度 第1期	2 (0.4)	6 (1.3)	2 (0.4)	2 (0.4)	5 (1.1)	19 (4.2)	0 (0.0)	11 (2.4)
第2期	2 (0.4)	6 (1.3)	2 (0.4)	2 (0.4)	6 (1.3)	19 (4.2)	0 (0.0)	9 (2.0)
第3期	2 (0.4)	7 (1.6)	2 (0.4)	2 (0.4)	6 (1.3)	19 (4.3)	0 (0.0)	10 (2.2)
第4期	2 (0.5)	7 (1.6)	2 (0.5)	2 (0.5)	7 (1.6)	18 (4.2)	0 (0.0)	9 (2.1)

() : 抗HIV薬投与ありにしめる%

表4-3-9. 肝炎の状況の推移（平成19年度第1期事業対象者）

年度	肝炎の状況							計
	肝がんあり	肝硬変あり	慢性肝炎あり	いずれもなし	不明	エイズ発症	死亡	
平成19年度	4 (0.7)	43 (7.4)	396 (68.0)	139 (23.9)	20	—	—	602
平成20年度	8 (1.4)	48 (8.1)	360 (61.1)	155 (26.3)	13	4 (0.7)	14 (2.4)	602
平成21年度	8 (1.4)	49 (8.4)	341 (58.5)	147 (25.2)	19	11 (1.9)	27 (4.6)	602
平成22年度	6 (1.0)	57 (9.6)	334 (56.5)	148 (25.0)	11	11 (1.9)	35 (5.9)	602
平成23年度	6 (1.0)	57 (9.6)	323 (54.5)	146 (24.6)	9	15 (2.5)	46 (7.8)	602
平成24年度	5 (0.9)	58 (9.9)	315 (53.7)	141 (24.0)	15	16 (2.7)	52 (8.9)	602
平成25年度	11 (1.9)	65 (11.0)	270 (45.8)	167 (28.3)	12	18 (3.1)	59 (10.0)	602
平成26年度	10 (1.7)	60 (10.1)	272 (45.9)	165 (27.8)	9	18 (3.0)	68 (11.5)	602
平成27年度	11 (1.8)	67 (11.2)	249 (41.8)	176 (29.5)	6	18 (3.0)	75 (12.6)	602
平成28年度	11 (1.9)	62 (10.5)	234 (39.5)	186 (31.4)	9	19 (3.2)	81 (13.7)	602
平成29年度	19 (3.2)	61 (10.3)	212 (35.6)	196 (32.9)	7	22 (3.7)	85 (14.3)	602
平成30年度	16 (2.7)	55 (9.3)	213 (35.9)	190 (32.0)	9	28 (4.7)	91 (15.3)	602
令和元年度	14 (2.4)	58 (9.8)	214 (36.2)	180 (30.5)	11	28 (4.7)	97 (16.4)	602
令和2年度	17 (2.9)	50 (8.4)	216 (36.5)	173 (29.2)	10	31 (5.2)	105 (17.7)	602

（ ）：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

表4-3-10. 観察当初のCD4値別、CD4値の推移（平成19年度第1期事業対象者）

A. 平成19年度第1期のCD4値＝～200未満

	C D 4 値						計	中央値		
	エイズ発症・死亡	～200未満	200～350未満	350～500未満	500以上	不明		エイズ発症・死亡		
								含 む	含まず	
平成19年度 第1期	－	67 (100.0)	－	－	－	－	67	147	147	
平成20年度 第1期	7 (11.5)	34 (55.7)	17 (27.9)	1 (1.6)	2 (3.3)	6	67	156	166	
平成21年度 第1期	11 (16.9)	25 (38.5)	23 (35.4)	3 (4.6)	3 (4.6)	2	67	170	203	
平成22年度 第1期	13 (20.0)	24 (36.9)	20 (30.8)	4 (6.2)	4 (6.2)	2	67	186	209	
平成23年度 第1期	16 (25.4)	19 (30.2)	18 (28.6)	5 (7.9)	5 (7.9)	4	67	162	224	
平成24年度 第1期	16 (26.7)	17 (28.3)	18 (30.0)	3 (5.0)	6 (10.0)	7	67	168	225	
平成25年度 第1期	18 (28.6)	16 (25.4)	16 (25.4)	5 (7.9)	8 (12.7)	4	67	184	262	
平成26年度 第1期	19 (29.7)	16 (25.0)	16 (25.0)	6 (9.4)	7 (10.9)	3	67	170	265	
平成27年度 第1期	20 (30.8)	19 (29.2)	13 (20.0)	6 (9.2)	7 (10.8)	2	67	134	223	
平成28年度	第1期	22 (33.3)	13 (19.7)	13 (19.7)	8 (12.1)	10 (15.2)	1	67	165	333
	第2期	23 (35.4)	12 (18.5)	13 (20.0)	9 (13.8)	8 (12.3)	2	67	164	305
	第3期	23 (34.8)	11 (16.7)	14 (21.2)	11 (16.7)	7 (10.6)	1	67	191	312
	第4期	23 (39.0)	11 (18.6)	7 (11.9)	9 (15.3)	9 (15.3)	8	67	155	341
平成29年度	第1期	24 (36.9)	13 (20.0)	10 (15.4)	8 (12.3)	10 (15.4)	2	67	160	302
	第2期	24 (36.9)	15 (23.1)	13 (20.0)	7 (10.8)	6 (9.2)	2	67	136	296
	第3期	25 (39.1)	12 (18.8)	11 (17.2)	5 (7.8)	11 (17.2)	3	67	146	328
	第4期	25 (41.7)	12 (20.0)	7 (11.7)	10 (16.7)	6 (10.0)	7	67	94	294
平成30年度	第1期	25 (39.1)	11 (17.2)	9 (14.1)	10 (15.6)	9 (14.1)	3	67	131	349
	第2期	26 (40.6)	11 (17.2)	10 (15.6)	11 (17.2)	6 (9.4)	3	67	131	317
	第3期	26 (39.4)	12 (18.2)	9 (13.6)	8 (12.1)	11 (16.7)	1	67	135	337
	第4期	27 (42.2)	11 (17.2)	8 (12.5)	7 (10.9)	11 (17.2)	3	67	161	346
令和元年度	第1期	27 (41.5)	10 (15.4)	13 (20.0)	5 (7.7)	10 (15.4)	2	67	134	311
	第2期	27 (40.9)	8 (12.1)	13 (19.7)	9 (13.6)	9 (13.6)	1	67	122	318
	第3期	28 (41.8)	9 (13.4)	8 (11.9)	13 (19.4)	9 (13.4)	0	67	134	383
	第4期	28 (45.2)	8 (12.9)	9 (14.5)	5 (8.1)	12 (19.4)	5	67	119	352
令和元年度	第1期	29 (44.6)	8 (12.3)	10 (15.4)	7 (10.8)	11 (16.9)	2	67	135	345
	第2期	29 (44.6)	8 (12.3)	8 (12.3)	9 (13.8)	11 (16.9)	2	67	124	377
	第3期	31 (48.4)	9 (14.1)	8 (12.5)	7 (10.9)	9 (14.1)	3	67	116	345
	第4期	31 (50.0)	6 (9.7)	9 (14.5)	10 (16.1)	6 (9.7)	5	67	*	358

() : 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

* : データがある者の中でエイズ発症・死亡が半数以上のため、中央値の算定不可

表4-3-10 (続き). 観察当初のCD4値別、CD4値の推移 (平成19年度第1期事業対象者)

B. 平成19年度第1期のCD4値=200～350未満

	C D 4 値						計	中央値		
	エイズ発症・死亡	～200未満	200～350未満	350～500未満	500以上	不明		エイズ発症・死亡		
								含 む	含まず	
平成19年度 第1期	－	－	171 (100.0)	－	－	－	171	282	282	
平成20年度 第1期	6 (3.7)	23 (14.0)	84 (51.2)	42 (25.6)	9 (5.5)	7	171	305	310	
平成21年度 第1期	11 (6.7)	17 (10.4)	62 (38.0)	52 (31.9)	21 (12.9)	8	171	328	341	
平成22年度 第1期	11 (6.7)	20 (12.2)	64 (39.0)	44 (26.8)	25 (15.2)	7	171	324	333	
平成23年度 第1期	18 (11.0)	18 (11.0)	53 (32.3)	53 (32.3)	22 (13.4)	7	171	323	351	
平成24年度 第1期	23 (13.8)	12 (7.2)	55 (32.9)	46 (27.5)	31 (18.6)	4	171	318	365	
平成25年度 第1期	25 (15.4)	11 (6.8)	52 (32.1)	39 (24.1)	35 (21.6)	9	171	334	376	
平成26年度 第1期	28 (17.1)	13 (7.9)	38 (23.2)	41 (25.0)	44 (26.8)	7	171	361	421	
平成27年度 第1期	31 (18.5)	12 (7.1)	34 (20.2)	45 (26.8)	46 (27.4)	3	171	371	416	
平成28年度	第1期	33 (20.4)	10 (6.2)	25 (15.4)	50 (30.9)	44 (27.2)	9	171	391	429
	第2期	33 (20.4)	9 (5.6)	28 (17.3)	38 (23.5)	54 (33.3)	9	171	391	437
	第3期	34 (20.5)	10 (6.0)	31 (18.7)	50 (30.1)	41 (24.7)	5	171	391	438
	第4期	34 (22.1)	13 (8.4)	25 (16.2)	39 (25.3)	43 (27.9)	17	171	370	418
平成29年度	第1期	34 (20.9)	11 (6.7)	25 (15.3)	49 (30.1)	44 (27.0)	8	171	383	441
	第2期	34 (20.7)	12 (7.3)	25 (15.2)	46 (28.0)	47 (28.7)	7	171	376	446
	第3期	34 (20.5)	11 (6.6)	31 (18.7)	37 (22.3)	53 (31.9)	5	171	382	466
	第4期	36 (22.5)	10 (6.3)	28 (17.5)	40 (25.0)	46 (28.8)	11	171	365	417
平成30年度	第1期	36 (21.7)	10 (6.0)	28 (16.9)	44 (26.5)	48 (28.9)	5	171	390	440
	第2期	36 (21.8)	10 (6.1)	23 (13.9)	46 (27.9)	50 (30.3)	6	171	387	441
	第3期	37 (22.2)	9 (5.4)	25 (15.0)	47 (28.1)	49 (29.3)	4	171	375	436
	第4期	37 (23.7)	11 (7.1)	26 (16.7)	51 (32.7)	31 (19.9)	15	171	366	407
令和元年度	第1期	37 (22.3)	8 (4.8)	24 (14.5)	47 (28.3)	50 (30.1)	5	171	403	446
	第2期	37 (22.2)	10 (6.0)	23 (13.8)	50 (29.9)	47 (28.1)	4	171	388	459
	第3期	37 (21.9)	11 (6.5)	24 (14.2)	51 (30.2)	46 (27.2)	2	171	389	450
	第4期	40 (25.2)	10 (6.3)	23 (14.5)	43 (27.0)	43 (27.0)	12	171	377	451
令和2年度	第1期	41 (26.8)	10 (6.5)	25 (16.3)	38 (24.8)	39 (25.5)	18	171	350	435
	第2期	41 (25.0)	10 (6.1)	27 (16.5)	45 (27.4)	41 (25.0)	7	171	362	431
	第3期	42 (25.1)	11 (6.6)	20 (12.0)	46 (27.5)	48 (28.7)	4	171	382	444
	第4期	42 (28.2)	8 (5.4)	31 (20.8)	35 (23.5)	33 (22.1)	22	171	329	416

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-3-10 (続き). 観察当初のCD4値別、CD4値の推移 (平成19年度第1期事業対象者)

C. 平成19年度第1期のCD4値 = 350～500未満

	C D 4 値							計	中央値	
	エイズ発症・死亡	～200未満	200～350未満	350～500未満	500以上	不明	エイズ発症・死亡			
							含 む		含まず	
平成19年度 第1期	—	—	—	136 (100.0)	—	—	136	415	415	
平成20年度 第1期	2 (1.5)	5 (3.8)	29 (22.3)	71 (54.6)	23 (17.7)	6	136	429	433	
平成21年度 第1期	2 (1.6)	2 (1.6)	34 (27.2)	46 (36.8)	41 (32.8)	11	136	436	437	
平成22年度 第1期	6 (4.6)	4 (3.1)	21 (16.0)	60 (45.8)	40 (30.5)	5	136	438	446	
平成23年度 第1期	8 (6.4)	4 (3.2)	21 (16.8)	55 (44.0)	37 (29.6)	11	136	419	437	
平成24年度 第1期	9 (7.1)	4 (3.2)	19 (15.1)	54 (42.9)	40 (31.7)	10	136	444	454	
平成25年度 第1期	10 (7.8)	4 (3.1)	24 (18.8)	42 (32.8)	48 (37.5)	8	136	441	464	
平成26年度 第1期	14 (11.1)	3 (2.4)	18 (14.3)	41 (32.5)	50 (39.7)	10	136	443	480	
平成27年度 第1期	15 (11.4)	4 (3.0)	20 (15.2)	38 (28.8)	55 (41.7)	4	136	463	486	
平成28年度	第1期	17 (13.3)	3 (2.3)	13 (10.2)	33 (25.8)	62 (48.4)	8	136	494	522
	第2期	17 (13.2)	4 (3.1)	17 (13.2)	26 (20.2)	65 (50.4)	7	136	502	525
	第3期	18 (13.6)	2 (1.5)	15 (11.4)	34 (25.8)	63 (47.7)	4	136	491	523
	第4期	18 (14.5)	5 (4.0)	13 (10.5)	35 (28.2)	53 (42.7)	12	136	464	500
平成29年度	第1期	19 (14.3)	2 (1.5)	12 (9.0)	38 (28.6)	62 (46.6)	3	136	487	519
	第2期	19 (14.1)	4 (3.0)	10 (7.4)	41 (30.4)	61 (45.2)	1	136	481	506
	第3期	20 (15.5)	4 (3.1)	12 (9.3)	35 (27.1)	58 (45.0)	7	136	467	523
	第4期	20 (16.9)	3 (2.5)	8 (6.8)	34 (28.8)	53 (44.9)	18	136	474	538
平成30年度	第1期	21 (15.9)	3 (2.3)	14 (10.6)	28 (21.2)	66 (50.0)	4	136	501	542
	第2期	21 (16.3)	2 (1.6)	17 (13.2)	28 (21.7)	61 (47.3)	7	136	487	513
	第3期	22 (16.8)	3 (2.3)	17 (13.0)	32 (24.4)	57 (43.5)	5	136	458	513
	第4期	23 (20.0)	2 (1.7)	13 (11.3)	33 (28.7)	44 (38.3)	21	136	446	489
令和元年度	第1期	23 (17.7)	4 (3.1)	8 (6.2)	37 (28.5)	58 (44.6)	6	136	467	515
	第2期	23 (18.1)	3 (2.4)	15 (11.8)	36 (28.3)	50 (39.4)	9	136	448	495
	第3期	23 (17.2)	3 (2.2)	17 (12.7)	31 (23.1)	60 (44.8)	2	136	463	508
	第4期	23 (19.3)	2 (1.7)	15 (12.6)	33 (27.7)	46 (38.7)	17	136	426	488
令和2年度	第1期	23 (18.5)	2 (1.6)	9 (7.3)	44 (35.5)	46 (37.1)	12	136	464	489
	第2期	23 (17.3)	3 (2.3)	19 (14.3)	38 (28.6)	50 (37.6)	3	136	463	486
	第3期	23 (17.4)	3 (2.3)	15 (11.4)	33 (25.0)	58 (43.9)	4	136	472	503
	第4期	23 (20.0)	1 (0.9)	15 (13.0)	34 (29.6)	42 (36.5)	21	136	443	493

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-3-10 (続き) 観察当初のCD4値別、CD4値の推移(平成19年度第1期事業対象者)

D. 平成19年度第1期のCD4値=500以上

	C D 4 値							計	中央値	
	エイズ発症・死亡	～200未満	200～350未満	350～500未満	500以上	不明	エイズ発症・死亡			
							含 む		含まず	
平成19年度 第1期	－	－	－	－	171 (100.0)	－	171	651	651	
平成20年度 第1期	1 (0.6)	1 (0.6)	10 (6.3)	29 (18.2)	118 (74.2)	12	171	628	629	
平成21年度 第1期	2 (1.2)	3 (1.8)	9 (5.5)	16 (9.8)	134 (81.7)	7	171	636	639	
平成22年度 第1期	5 (3.0)	1 (0.6)	13 (7.9)	38 (23.0)	108 (65.5)	6	171	606	619	
平成23年度 第1期	5 (3.0)	2 (1.2)	11 (6.7)	30 (18.3)	116 (70.7)	7	171	634	642	
平成24年度 第1期	7 (4.2)	2 (1.2)	6 (3.6)	33 (20.0)	117 (70.9)	6	171	645	653	
平成25年度 第1期	8 (4.9)	0 (0.0)	11 (6.8)	25 (15.4)	118 (72.8)	9	171	616	636	
平成26年度 第1期	9 (5.5)	0 (0.0)	11 (6.7)	31 (19.0)	112 (68.7)	8	171	621	636	
平成27年度 第1期	10 (6.1)	1 (0.6)	10 (6.1)	21 (12.7)	123 (74.5)	6	171	635	672	
平成28年度	第1期	11 (6.6)	2 (1.2)	3 (1.8)	30 (18.0)	121 (72.5)	4	171	653	679
	第2期	11 (6.8)	1 (0.6)	5 (3.1)	30 (18.6)	114 (70.8)	10	171	637	660
	第3期	11 (6.6)	2 (1.2)	5 (3.0)	27 (16.3)	121 (72.9)	5	171	627	650
	第4期	11 (7.4)	2 (1.4)	4 (2.7)	27 (18.2)	104 (70.3)	23	171	621	645
平成29年度	第1期	12 (7.4)	1 (0.6)	9 (5.6)	24 (14.8)	116 (71.6)	9	171	662	682
	第2期	14 (8.8)	0 (0.0)	4 (2.5)	29 (18.2)	112 (70.4)	12	171	630	661
	第3期	15 (9.3)	0 (0.0)	9 (5.6)	29 (17.9)	109 (67.3)	9	171	614	635
	第4期	16 (10.7)	0 (0.0)	9 (6.0)	30 (20.1)	94 (63.1)	22	171	576	615
平成30年度	第1期	16 (9.9)	0 (0.0)	6 (3.7)	33 (20.5)	106 (65.8)	10	171	592	629
	第2期	16 (10.0)	0 (0.0)	4 (2.5)	30 (18.8)	110 (68.8)	11	171	609	648
	第3期	16 (9.8)	1 (0.6)	10 (6.1)	19 (11.6)	118 (72.0)	7	171	667	698
	第4期	16 (10.7)	0 (0.0)	11 (7.4)	23 (15.4)	99 (66.4)	22	171	639	659
令和元年度	第1期	16 (10.0)	2 (1.3)	7 (4.4)	26 (16.3)	109 (68.1)	11	171	602	640
	第2期	16 (10.2)	1 (0.6)	10 (6.4)	31 (19.7)	99 (63.1)	14	171	576	616
	第3期	18 (10.9)	2 (1.2)	9 (5.5)	34 (20.6)	102 (61.8)	6	171	573	604
	第4期	20 (13.3)	1 (0.7)	9 (6.0)	26 (17.3)	94 (62.7)	21	171	582	626
令和2年度	第1期	20 (12.9)	2 (1.3)	8 (5.2)	29 (18.7)	96 (61.9)	16	171	596	633
	第2期	20 (12.2)	4 (2.4)	9 (5.5)	26 (15.9)	105 (64.0)	7	171	595	640
	第3期	20 (12.0)	1 (0.6)	10 (6.0)	30 (18.1)	105 (63.3)	5	171	588	613
	第4期	20 (14.5)	4 (2.9)	7 (5.1)	16 (11.6)	91 (65.9)	33	171	619	653

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-3-11. 観察当初のHIV-RNA量別、HIV-RNA量の推移（平成19年度第1期事業対象者）

A. 平成19年度第1期のHIV-RNA量＝50未満

	HIV-RNA量								計	中 央 値	
	検出せず	50未満	50～ 400未満	400～ 1000未満	1000～ 10000未満	10000以上	エイズ発症・ 死亡	不 明		エイズ発症・死亡 含 む	含 まず
平成19年度 第1期	*	304(100.0)	—	—	—	—	—	—	304	50 未満	50 未満
平成20年度 第1期	104(35.6)	119(40.8)	54(18.5)	3(1.0)	3(1.0)	0(0.0)	9(3.1)	12	304	40 未満	40 未満
平成21年度 第1期	159(55.8)	55(19.3)	50(17.5)	4(1.4)	2(0.7)	3(1.1)	12(4.2)	19	304	検出せず	検出せず
平成22年度 第1期	179(62.6)	66(23.1)	20(7.0)	1(0.3)	1(0.3)	1(0.3)	18(6.3)	18	304	検出せず	検出せず
平成23年度 第1期	176(61.5)	61(21.3)	21(7.3)	2(0.7)	2(0.7)	1(0.3)	23(8.0)	18	304	検出せず	検出せず
平成24年度 第1期	145(50.2)	91(31.5)	21(7.3)	2(0.7)	1(0.3)	0(0.0)	29(10.0)	15	304	検出せず	検出せず
平成25年度 第1期	137(48.1)	101(35.4)	13(4.6)	0(0.0)	1(0.4)	0(0.0)	33(11.6)	19	304	40 未満	検出せず
平成26年度 第1期	143(49.7)	99(34.4)	1(0.3)	1(0.3)	3(1.0)	0(0.0)	41(14.2)	16	304	40 未満	検出せず
平成27年度 第1期	137(45.8)	111(37.1)	3(1.0)	0(0.0)	4(1.3)	1(0.3)	43(14.4)	5	304	40 未満	検出せず
平成28年度 第1期	151(51.4)	90(30.6)	4(1.4)	0(0.0)	1(0.3)	0(0.0)	48(16.3)	10	304	検出せず	検出せず
第2期	156(52.3)	88(29.5)	2(0.7)	2(0.7)	0(0.0)	1(0.3)	49(16.4)	6	304	検出せず	検出せず
第3期	157(52.5)	81(27.1)	6(2.0)	1(0.3)	2(0.7)	1(0.3)	51(17.1)	5	304	検出せず	検出せず
第4期	136(48.7)	83(29.7)	3(1.1)	1(0.4)	4(1.4)	1(0.4)	51(18.3)	25	304	40 未満	検出せず
平成29年度 第1期	170(58.0)	63(21.5)	5(1.7)	2(0.7)	0(0.0)	0(0.0)	53(18.1)	11	304	検出せず	検出せず
第2期	175(59.5)	55(18.7)	6(2.0)	1(0.3)	1(0.3)	1(0.3)	55(18.7)	10	304	検出せず	検出せず
第3期	167(56.6)	60(20.3)	8(2.7)	2(0.7)	1(0.3)	0(0.0)	57(19.3)	9	304	検出せず	検出せず
第4期	162(57.0)	59(20.8)	2(0.7)	1(0.4)	2(0.7)	0(0.0)	58(20.4)	20	304	検出せず	検出せず
平成30年度 第1期	176(59.7)	54(18.3)	4(1.4)	1(0.3)	1(0.3)	0(0.0)	59(20.0)	9	304	検出せず	検出せず
第2期	173(59.2)	55(18.8)	2(0.7)	1(0.3)	1(0.3)	0(0.0)	60(20.5)	12	304	検出せず	検出せず
第3期	167(56.6)	64(21.7)	1(0.3)	1(0.3)	2(0.7)	0(0.0)	60(20.3)	9	304	検出せず	検出せず
第4期	156(56.7)	54(19.6)	3(1.1)	0(0.0)	2(0.7)	0(0.0)	60(21.8)	29	304	検出せず	検出せず
令和元年度 第1期	173(59.5)	52(17.9)	3(1.0)	1(0.3)	2(0.7)	0(0.0)	60(20.6)	13	304	検出せず	検出せず
第2期	170(58.8)	52(18.0)	2(0.7)	0(0.0)	3(1.0)	1(0.3)	61(21.1)	15	304	検出せず	検出せず
第3期	176(59.3)	54(18.2)	1(0.3)	0(0.0)	3(1.0)	0(0.0)	63(21.2)	7	304	検出せず	検出せず
第4期	150(55.4)	50(18.5)	3(1.1)	1(0.4)	0(0.0)	1(0.4)	66(24.4)	33	304	検出せず	検出せず
令和2年度 第1期	167(59.2)	42(14.9)	5(1.8)	0(0.0)	1(0.4)	0(0.0)	67(23.8)	22	304	検出せず	検出せず
第2期	179(60.9)	45(15.3)	1(0.3)	1(0.3)	1(0.3)	0(0.0)	67(22.8)	10	304	検出せず	検出せず
第3期	170(57.4)	55(18.6)	2(0.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	69(23.3)	8	304	検出せず	検出せず
第4期	146(55.7)	42(16.0)	4(1.5)	1(0.4)	0(0.0)	0(0.0)	69(26.3)	42	304	検出せず	検出せず

() : 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

* : 平成19年度は調査票に「検出せず」の項目なし

表4-3-11 (続き). 観察当初のHIV-RNA量別、HIV-RNA量の推移(平成19年度第1期事業対象者)

B. 平成19年度第1期のHIV-RNA量=50~400未満

	HIV-RNA量								計	中央値	
	検出せず	50未満	50～ 400未満	400～ 1000未満	1000～ 10000未満	10000以上	エイズ発症・ 死亡	不明		エイズ発症・死亡	
										含む	含まず
平成19年度 第1期	*	—	110 (100.0)	—	—	—	—	—	110	170	170
平成20年度 第1期	13 (12.7)	23 (22.5)	46 (45.1)	11 (10.8)	5 (4.9)	1 (1.0)	3 (2.9)	8	110	100	100
平成21年度 第1期	35 (33.7)	20 (19.2)	34 (32.7)	3 (2.9)	6 (5.8)	1 (1.0)	5 (4.8)	6	110	50 未満	50 未満
平成22年度 第1期	52 (51.0)	14 (13.7)	24 (23.5)	2 (2.0)	4 (3.9)	0 (0.0)	6 (5.9)	8	110	検出せず	検出せず
平成23年度 第1期	49 (49.0)	14 (14.0)	19 (19.0)	3 (3.0)	5 (5.0)	0 (0.0)	10 (10.0)	10	110	検出せず	検出せず
平成24年度 第1期	47 (45.2)	17 (16.3)	18 (17.3)	4 (3.8)	5 (4.8)	1 (1.0)	12 (11.5)	6	110	40 未満	検出せず
平成25年度 第1期	44 (42.3)	36 (34.6)	7 (6.7)	3 (2.9)	2 (1.9)	0 (0.0)	12 (11.5)	6	110	40 未満	40 未満
平成26年度 第1期	49 (48.0)	30 (29.4)	5 (4.9)	2 (2.0)	2 (2.0)	1 (1.0)	13 (12.7)	8	110	40 未満	検出せず
平成27年度 第1期	45 (42.5)	37 (34.9)	6 (5.7)	1 (0.9)	1 (0.9)	0 (0.0)	16 (15.1)	4	110	40 未満	検出せず
平成28年度 第1期 第2期 第3期 第4期	61 (58.1)	22 (21.0)	3 (2.9)	1 (1.0)	1 (1.0)	0 (0.0)	17 (16.2)	5	110	検出せず	検出せず
	57 (55.9)	20 (19.6)	5 (4.9)	1 (1.0)	2 (2.0)	0 (0.0)	17 (16.7)	8	110	検出せず	検出せず
	62 (57.4)	21 (19.4)	4 (3.7)	2 (1.9)	1 (0.9)	1 (0.9)	17 (15.7)	2	110	検出せず	検出せず
	51 (54.3)	19 (20.2)	4 (4.3)	0 (0.0)	3 (3.2)	0 (0.0)	17 (18.1)	16	110	検出せず	検出せず
平成29年度 第1期 第2期 第3期 第4期	49 (46.7)	31 (29.5)	4 (3.8)	1 (1.0)	2 (1.9)	0 (0.0)	18 (17.1)	5	110	40 未満	検出せず
	50 (46.3)	31 (28.7)	6 (5.6)	1 (0.9)	2 (1.9)	0 (0.0)	18 (16.7)	2	110	40 未満	検出せず
	53 (49.5)	27 (25.2)	4 (3.7)	0 (0.0)	3 (2.8)	1 (0.9)	19 (17.8)	3	110	40 未満	検出せず
	47 (49.0)	23 (24.0)	5 (5.2)	0 (0.0)	1 (1.0)	0 (0.0)	20 (20.8)	14	110	40 未満	検出せず
平成30年度 第1期 第2期 第3期 第4期	63 (60.0)	16 (15.2)	6 (5.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	20 (19.0)	5	110	検出せず	検出せず
	59 (56.2)	22 (21.0)	4 (3.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	20 (19.0)	5	110	検出せず	検出せず
	63 (58.3)	19 (17.6)	3 (2.8)	1 (0.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	22 (20.4)	2	110	検出せず	検出せず
	58 (58.0)	17 (17.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	23 (23.0)	10	110	検出せず	検出せず
令和元年度 第1期 第2期 第3期 第4期	56 (53.8)	23 (22.1)	2 (1.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	23 (22.1)	6	110	検出せず	検出せず
	56 (52.8)	24 (22.6)	2 (1.9)	1 (0.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	23 (21.7)	4	110	検出せず	検出せず
	59 (55.7)	21 (19.8)	3 (2.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	23 (21.7)	4	110	検出せず	検出せず
	52 (54.7)	17 (17.9)	2 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	24 (25.3)	15	110	検出せず	検出せず
令和2年度 第1期 第2期 第3期 第4期	54 (54.0)	21 (21.0)	1 (1.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	24 (24.0)	10	110	検出せず	検出せず
	61 (58.1)	17 (16.2)	2 (1.9)	1 (1.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	24 (22.9)	5	110	検出せず	検出せず
	60 (58.3)	17 (16.5)	2 (1.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	24 (23.3)	7	110	検出せず	検出せず
	53 (57.0)	15 (16.1)	1 (1.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	24 (25.8)	17	110	検出せず	検出せず

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

*: 平成19年度は調査票に「検出せず」の項目なし

表4-3-11 (続き). 観察当初のHIV-RNA量別、HIV-RNA量の推移 (平成19年度第1期事業対象者)

C. 平成19年度第1期のHIV-RNA量 = 400以上

	HIV-RNA量								計	中 央 値	
	検出せず	50未満	50～ 400未満	400～ 1000未満	1000～ 10000未満	10000以上	エイズ発症・ 死亡	不 明		エイズ発症・死亡 含 む	含 まず
平成19年度 第1期	*	—	—	27 (21.3)	50 (39.4)	50 (39.4)	—	—	127	4900	4900
平成20年度 第1期	7 (6.0)	15 (12.9)	12 (10.3)	16 (13.8)	31 (26.7)	31 (26.7)	4 (3.4)	11	127	1950	1555
平成21年度 第1期	27 (22.5)	15 (12.5)	22 (18.3)	7 (5.8)	17 (14.2)	23 (19.2)	9 (7.5)	7	127	240	200
平成22年度 第1期	40 (32.3)	21 (16.9)	20 (16.1)	3 (2.4)	22 (17.7)	7 (5.6)	11 (8.9)	3	127	70	40 未満
平成23年度 第1期	50 (40.3)	22 (17.7)	12 (9.7)	7 (5.6)	10 (8.1)	9 (7.3)	14 (11.3)	3	127	40 未満	40 未満
平成24年度 第1期	36 (29.8)	33 (27.3)	15 (12.4)	2 (1.7)	10 (8.3)	10 (8.3)	15 (12.4)	6	127	40 未満	40 未満
平成25年度 第1期	40 (32.5)	47 (38.2)	5 (4.1)	2 (1.6)	6 (4.9)	6 (4.9)	17 (13.8)	4	127	40 未満	40 未満
平成26年度 第1期	50 (42.4)	36 (30.5)	9 (7.6)	0 (0.0)	5 (4.2)	1 (0.8)	17 (14.4)	9	127	40 未満	40 未満
平成27年度 第1期	51 (41.5)	45 (36.6)	3 (2.4)	0 (0.0)	4 (3.3)	2 (1.6)	18 (14.6)	4	127	40 未満	40 未満
平成28年度 第1期	61 (49.6)	39 (31.7)	1 (0.8)	0 (0.0)	2 (1.6)	2 (1.6)	18 (14.6)	4	127	40 未満	検出せず
第2期	56 (47.1)	40 (33.6)	2 (1.7)	0 (0.0)	2 (1.7)	1 (0.8)	18 (15.1)	8	127	40 未満	検出せず
第3期	57 (46.3)	40 (32.5)	4 (3.3)	1 (0.8)	1 (0.8)	2 (1.6)	18 (14.6)	4	127	40 未満	検出せず
第4期	49 (45.0)	39 (35.8)	1 (0.9)	1 (0.9)	0 (0.0)	1 (0.9)	18 (16.5)	18	127	40 未満	検出せず
平成29年度 第1期	66 (52.4)	31 (24.6)	5 (4.0)	2 (1.6)	2 (1.6)	2 (1.6)	18 (14.3)	1	127	検出せず	検出せず
第2期	64 (52.5)	27 (22.1)	6 (4.9)	1 (0.8)	1 (0.8)	5 (4.1)	18 (14.8)	5	127	検出せず	検出せず
第3期	67 (54.0)	26 (21.0)	10 (8.1)	0 (0.0)	1 (0.8)	2 (1.6)	18 (14.5)	3	127	検出せず	検出せず
第4期	53 (49.5)	28 (26.2)	4 (3.7)	1 (0.9)	1 (0.9)	1 (0.9)	19 (17.8)	20	127	40 未満	検出せず
平成30年度 第1期	62 (50.4)	34 (27.6)	5 (4.1)	0 (0.0)	1 (0.8)	2 (1.6)	19 (15.4)	4	127	検出せず	検出せず
第2期	65 (52.8)	34 (27.6)	2 (1.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (2.4)	19 (15.4)	4	127	検出せず	検出せず
第3期	66 (52.8)	35 (28.0)	3 (2.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.6)	19 (15.2)	2	127	検出せず	検出せず
第4期	61 (56.0)	22 (20.2)	3 (2.8)	0 (0.0)	1 (0.9)	2 (1.8)	20 (18.3)	18	127	検出せず	検出せず
令和元年度 第1期	66 (54.1)	31 (25.4)	2 (1.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (2.5)	20 (16.4)	5	127	検出せず	検出せず
第2期	58 (47.5)	39 (32.0)	4 (3.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.8)	20 (16.4)	5	127	検出せず	検出せず
第3期	67 (53.6)	30 (24.0)	6 (4.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.6)	20 (16.0)	2	127	検出せず	検出せず
第4期	60 (52.6)	27 (23.7)	4 (3.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.8)	21 (18.4)	13	127	検出せず	検出せず
令和2年度 第1期	60 (53.6)	23 (20.5)	4 (3.6)	0 (0.0)	1 (0.9)	2 (1.8)	22 (19.6)	15	127	検出せず	検出せず
第2期	64 (53.3)	27 (22.5)	5 (4.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.7)	22 (18.3)	7	127	検出せず	検出せず
第3期	67 (54.5)	28 (22.8)	4 (3.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.8)	23 (18.7)	4	127	検出せず	検出せず
第4期	57 (51.8)	28 (25.5)	2 (1.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	23 (20.9)	17	127	検出せず	検出せず

() : 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

* : 平成19年度は調査票に「検出せず」の項目なし

表4-3-12. 観察当初の肝炎の状況別、肝炎の状況の推移（平成19年度第1期事業対象者）

年度	肝炎の状況： 平成19年度＝肝がんあり の対象者							計
	肝がんあり	肝硬変あり	慢性肝炎あり	いずれもなし	不明	エイズ発症	死亡	
平成19年度	4 (100.0)	—	—	—	—	—	—	4
平成20年度	3 (75.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0 (0.0)	1 (25.0)	4
平成21年度	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0 (0.0)	3 (75.0)	4
平成22年度	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0 (0.0)	3 (75.0)	4
平成23年度	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0 (0.0)	3 (75.0)	4
平成24年度	0 (0.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0 (0.0)	3 (75.0)	4
平成25年度	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0 (0.0)	3 (75.0)	4
平成26年度	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0 (0.0)	3 (75.0)	4
平成27年度	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0 (0.0)	3 (75.0)	4
平成28年度	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0 (0.0)	3 (75.0)	4
平成29年度	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0 (0.0)	3 (75.0)	4
平成30年度	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0 (0.0)	3 (75.0)	4
令和元年度	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0 (0.0)	4 (100.0)	4
令和2年度	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0 (0.0)	4 (100.0)	4

年度	肝炎の状況： 平成19年度＝肝硬変あり の対象者							計
	肝がんあり	肝硬変あり	慢性肝炎あり	いずれもなし	不明	エイズ発症	死亡	
平成19年度	—	43 (100.0)	—	—	—	—	—	43
平成20年度	2 (4.7)	28 (65.1)	8 (18.6)	0 (0.0)	0	1 (2.3)	4 (9.3)	43
平成21年度	3 (7.1)	28 (66.7)	5 (11.9)	0 (0.0)	1	2 (4.8)	4 (9.5)	43
平成22年度	2 (4.8)	26 (61.9)	6 (14.3)	0 (0.0)	1	2 (4.8)	6 (14.3)	43
平成23年度	2 (4.7)	25 (58.1)	5 (11.6)	0 (0.0)	0	2 (4.7)	9 (20.9)	43
平成24年度	3 (7.3)	21 (51.2)	4 (9.8)	1 (2.4)	2	2 (4.9)	10 (24.4)	43
平成25年度	4 (9.5)	20 (47.6)	3 (7.1)	1 (2.4)	1	2 (4.8)	12 (28.6)	43
平成26年度	2 (4.7)	18 (41.9)	6 (14.0)	0 (0.0)	0	2 (4.7)	15 (34.9)	43
平成27年度	2 (4.7)	18 (41.9)	3 (7.0)	2 (4.7)	0	2 (4.7)	16 (37.2)	43
平成28年度	3 (7.1)	15 (35.7)	4 (9.5)	2 (4.8)	1	2 (4.8)	16 (38.1)	43
平成29年度	3 (7.0)	16 (37.2)	2 (4.7)	1 (2.3)	0	3 (7.0)	18 (41.9)	43
平成30年度	5 (11.6)	14 (32.6)	2 (4.7)	1 (2.3)	0	3 (7.0)	18 (41.9)	43
令和元年度	2 (4.7)	15 (34.9)	2 (4.7)	2 (4.7)	0	3 (7.0)	19 (44.2)	43
令和2年度	4 (9.3)	10 (23.3)	4 (9.3)	2 (4.7)	0	3 (7.0)	20 (46.5)	43

年度	肝炎の状況： 平成19年度＝慢性肝炎あり の対象者							計
	肝がんあり	肝硬変あり	慢性肝炎あり	いずれもなし	不明	エイズ発症	死亡	
平成19年度	—	—	396 (100.0)	—	—	—	—	396
平成20年度	3 (0.8)	18 (4.6)	331 (85.1)	33 (8.5)	7	1 (0.3)	3 (0.8)	396
平成21年度	4 (1.0)	18 (4.7)	313 (81.1)	32 (8.3)	10	6 (1.6)	13 (3.4)	396
平成22年度	3 (0.8)	28 (7.1)	295 (75.3)	41 (10.5)	4	6 (1.5)	19 (4.8)	396
平成23年度	3 (0.8)	29 (7.4)	286 (73.1)	39 (10.0)	5	9 (2.3)	25 (6.4)	396
平成24年度	2 (0.5)	31 (7.9)	274 (70.1)	44 (11.3)	5	10 (2.6)	30 (7.7)	396
平成25年度	6 (1.5)	39 (10.0)	236 (60.7)	63 (16.2)	7	12 (3.1)	33 (8.5)	396
平成26年度	7 (1.8)	36 (9.2)	237 (60.8)	60 (15.4)	6	12 (3.1)	38 (9.7)	396
平成27年度	8 (2.0)	42 (10.7)	221 (56.2)	69 (17.6)	3	12 (3.1)	41 (10.4)	396
平成28年度	7 (1.8)	40 (10.2)	204 (52.2)	80 (20.5)	5	13 (3.3)	47 (12.0)	396
平成29年度	14 (3.6)	39 (9.9)	182 (46.4)	94 (24.0)	4	14 (3.6)	49 (12.5)	396
平成30年度	10 (2.6)	35 (9.0)	184 (47.3)	87 (22.4)	7	19 (4.9)	54 (13.9)	396
令和元年度	11 (2.8)	37 (9.5)	180 (46.2)	86 (22.1)	6	19 (4.9)	57 (14.6)	396
令和2年度	12 (3.1)	34 (8.7)	184 (47.1)	78 (19.9)	5	20 (5.1)	63 (16.1)	396

()：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

表4-3-12 (続き). 観察当初の肝炎の状況別、肝炎の状況の推移 (平成19年度第1期事業対象者)

年度	肝炎の状況： 平成19年度=いずれもなし の対象者							計
	肝がんあり	肝硬変あり	慢性肝炎あり	いずれもなし	不明	エイズ発症	死亡	
平成19年度	—	—	—	139 (100.0)	—	—	—	139
平成20年度	0 (0.0)	2 (1.5)	13 (9.5)	119 (86.9)	2	1 (0.7)	2 (1.5)	139
平成21年度	0 (0.0)	3 (2.3)	15 (11.3)	110 (82.7)	6	2 (1.5)	3 (2.3)	139
平成22年度	0 (0.0)	3 (2.2)	24 (17.8)	103 (76.3)	4	2 (1.5)	3 (2.2)	139
平成23年度	0 (0.0)	3 (2.2)	23 (16.7)	104 (75.4)	1	3 (2.2)	5 (3.6)	139
平成24年度	0 (0.0)	5 (3.7)	29 (21.6)	92 (68.7)	5	3 (2.2)	5 (3.7)	139
平成25年度	0 (0.0)	6 (4.3)	24 (17.4)	98 (71.0)	1	3 (2.2)	7 (5.1)	139
平成26年度	0 (0.0)	6 (4.4)	21 (15.3)	99 (72.3)	2	3 (2.2)	8 (5.8)	139
平成27年度	0 (0.0)	6 (4.3)	18 (13.0)	100 (72.5)	1	3 (2.2)	11 (8.0)	139
平成28年度	0 (0.0)	6 (4.3)	21 (15.2)	97 (70.3)	1	3 (2.2)	11 (8.0)	139
平成29年度	1 (0.7)	5 (3.6)	22 (16.1)	94 (68.6)	2	4 (2.9)	11 (8.0)	139
平成30年度	0 (0.0)	5 (3.6)	22 (15.9)	94 (68.1)	1	5 (3.6)	12 (8.7)	139
令和元年度	1 (0.7)	5 (3.7)	26 (19.1)	87 (64.0)	3	5 (3.7)	12 (8.8)	139
令和2年度	1 (0.7)	5 (3.7)	22 (16.2)	88 (64.7)	3	7 (5.1)	13 (9.6)	139

年度	肝炎の状況： 平成19年度=不明 の対象者							計
	肝がんあり	肝硬変あり	慢性肝炎あり	いずれもなし	不明	エイズ発症	死亡	
平成19年度	—	—	—	—	20	—	—	20
平成20年度	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (50.0)	3 (18.8)	4	1 (6.3)	4 (25.0)	20
平成21年度	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (44.4)	5 (27.8)	2	1 (5.6)	4 (22.2)	20
平成22年度	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (50.0)	4 (22.2)	2	1 (5.6)	4 (22.2)	20
平成23年度	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (52.9)	3 (17.6)	3	1 (5.9)	4 (23.5)	20
平成24年度	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (47.1)	4 (23.5)	3	1 (5.9)	4 (23.5)	20
平成25年度	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (41.2)	5 (29.4)	3	1 (5.9)	4 (23.5)	20
平成26年度	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (42.1)	6 (31.6)	1	1 (5.3)	4 (21.1)	20
平成27年度	0 (0.0)	1 (5.6)	7 (38.9)	5 (27.8)	2	1 (5.6)	4 (22.2)	20
平成28年度	0 (0.0)	1 (5.6)	5 (27.8)	7 (38.9)	2	1 (5.6)	4 (22.2)	20
平成29年度	0 (0.0)	1 (5.3)	6 (31.6)	7 (36.8)	1	1 (5.3)	4 (21.1)	20
平成30年度	0 (0.0)	1 (5.3)	5 (26.3)	8 (42.1)	1	1 (5.3)	4 (21.1)	20
令和元年度	0 (0.0)	1 (5.6)	6 (33.3)	5 (27.8)	2	1 (5.6)	5 (27.8)	20
令和2年度	0 (0.0)	1 (5.6)	6 (33.3)	5 (27.8)	2	1 (5.6)	5 (27.8)	20

() : 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-3-13. 観察当初のHBs抗原の保有状況別、肝炎の状況の推移（平成19年度第1期事業対象者）

年度	HBs抗原の保有状況：平成19年度＝陽性 の対象者							計
	肝がんあり	肝硬変あり	慢性肝炎あり	いずれもなし	不明	エイズ発症	死亡	
平成19年度	1 (4.3)	1 (4.3)	17 (73.9)	4 (17.4)	2	—	—	25
平成20年度	1 (4.0)	0 (0.0)	16 (64.0)	7 (28.0)	0	0 (0.0)	1 (4.0)	25
平成21年度	1 (4.2)	0 (0.0)	17 (70.8)	5 (20.8)	1	0 (0.0)	1 (4.2)	25
平成22年度	1 (4.2)	0 (0.0)	16 (66.7)	6 (25.0)	1	0 (0.0)	1 (4.2)	25
平成23年度	0 (0.0)	1 (4.0)	17 (68.0)	5 (20.0)	0	0 (0.0)	2 (8.0)	25
平成24年度	1 (4.2)	0 (0.0)	15 (62.5)	6 (25.0)	1	0 (0.0)	2 (8.3)	25
平成25年度	1 (4.0)	1 (4.0)	13 (52.0)	8 (32.0)	0	0 (0.0)	2 (8.0)	25
平成26年度	0 (0.0)	0 (0.0)	15 (60.0)	7 (28.0)	0	0 (0.0)	3 (12.0)	25
平成27年度	1 (4.2)	0 (0.0)	12 (50.0)	7 (29.2)	1	0 (0.0)	4 (16.7)	25
平成28年度	1 (4.0)	0 (0.0)	12 (48.0)	8 (32.0)	0	0 (0.0)	4 (16.0)	25
平成29年度	1 (4.0)	0 (0.0)	11 (44.0)	8 (32.0)	0	1 (4.0)	4 (16.0)	25
平成30年度	1 (4.0)	0 (0.0)	12 (48.0)	7 (28.0)	0	1 (4.0)	4 (16.0)	25
令和元年度	1 (4.0)	0 (0.0)	12 (48.0)	6 (24.0)	0	1 (4.0)	5 (20.0)	25
令和2年度	1 (4.2)	0 (0.0)	12 (50.0)	5 (20.8)	1	1 (4.2)	5 (20.8)	25

年度	HBs抗原の保有状況：平成19年度＝陰性 の対象者							計
	肝がんあり	肝硬変あり	慢性肝炎あり	いずれもなし	不明	エイズ発症	死亡	
平成19年度	3 (0.6)	37 (7.6)	328 (67.2)	120 (24.6)	9	—	—	497
平成20年度	6 (1.2)	42 (8.6)	305 (62.5)	125 (25.6)	9	2 (0.4)	8 (1.6)	497
平成21年度	4 (0.8)	46 (9.5)	281 (58.2)	124 (25.7)	14	9 (1.9)	19 (3.9)	497
平成22年度	3 (0.6)	51 (10.4)	276 (56.4)	124 (25.4)	8	9 (1.8)	26 (5.3)	497
平成23年度	5 (1.0)	50 (10.2)	267 (54.4)	120 (24.4)	6	13 (2.6)	36 (7.3)	497
平成24年度	2 (0.4)	52 (10.7)	256 (52.8)	119 (24.5)	12	14 (2.9)	42 (8.7)	497
平成25年度	7 (1.4)	57 (11.7)	221 (45.3)	139 (28.5)	9	16 (3.3)	48 (9.8)	497
平成26年度	7 (1.4)	53 (10.8)	226 (46.0)	133 (27.1)	6	16 (3.3)	56 (11.4)	497
平成27年度	7 (1.4)	56 (11.3)	211 (42.7)	143 (28.9)	3	16 (3.2)	61 (12.3)	497
平成28年度	7 (1.4)	52 (10.6)	195 (39.6)	154 (31.3)	5	17 (3.5)	67 (13.6)	497
平成29年度	14 (2.9)	51 (10.4)	177 (36.0)	162 (33.0)	6	18 (3.7)	69 (14.1)	497
平成30年度	12 (2.5)	46 (9.4)	173 (35.4)	162 (33.1)	8	21 (4.3)	75 (15.3)	497
令和元年度	10 (2.0)	49 (10.0)	175 (35.8)	154 (31.5)	8	21 (4.3)	80 (16.4)	497
令和2年度	13 (2.7)	41 (8.4)	176 (35.9)	150 (30.6)	7	23 (4.7)	87 (17.8)	497

()：各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表4-3-14. 観察当初のHCV抗体の保有状況別、肝炎の状況の推移（平成19年度第1期事業対象者）

年度	HCV抗体の保有状況：平成19年度＝陽性 の対象者							計
	肝がんあり	肝硬変あり	慢性肝炎あり	いずれもなし	不明	エイズ発症	死亡	
平成19年度	3 (0.6)	40 (7.9)	367 (72.7)	95 (18.8)	10	—	—	515
平成20年度	7 (1.4)	45 (8.9)	328 (64.8)	116 (22.9)	9	1 (0.2)	9 (1.8)	515
平成21年度	8 (1.6)	45 (9.0)	309 (61.7)	112 (22.4)	14	7 (1.4)	20 (4.0)	515
平成22年度	6 (1.2)	53 (10.4)	300 (59.1)	114 (22.4)	7	7 (1.4)	28 (5.5)	515
平成23年度	6 (1.2)	54 (10.6)	286 (56.2)	113 (22.2)	6	11 (2.2)	39 (7.7)	515
平成24年度	5 (1.0)	54 (10.7)	284 (56.1)	106 (20.9)	9	12 (2.4)	45 (8.9)	515
平成25年度	11 (2.2)	59 (11.7)	243 (48.1)	127 (25.1)	10	14 (2.8)	51 (10.1)	515
平成26年度	10 (2.0)	55 (10.8)	247 (48.5)	123 (24.2)	6	14 (2.8)	60 (11.8)	515
平成27年度	11 (2.2)	60 (11.8)	226 (44.3)	135 (26.5)	5	14 (2.7)	64 (12.5)	515
平成28年度	11 (2.2)	56 (11.0)	210 (41.4)	145 (28.6)	8	15 (3.0)	70 (13.8)	515
平成29年度	19 (3.7)	55 (10.8)	192 (37.7)	151 (29.7)	6	18 (3.5)	74 (14.5)	515
平成30年度	16 (3.2)	48 (9.5)	191 (37.7)	148 (29.2)	8	24 (4.7)	80 (15.8)	515
令和元年度	13 (2.6)	52 (10.3)	192 (38.0)	139 (27.5)	10	24 (4.8)	85 (16.8)	515
令和2年度	17 (3.4)	45 (8.9)	194 (38.3)	134 (26.4)	8	27 (5.3)	90 (17.8)	515

年度	HCV抗体の保有状況：平成19年度＝陰性 の対象者							計
	肝がんあり	肝硬変あり	慢性肝炎あり	いずれもなし	不明	エイズ発症	死亡	
平成19年度	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (17.1)	34 (82.9)	0	—	—	41
平成20年度	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (15.0)	32 (80.0)	1	1 (2.5)	1 (2.5)	41
平成21年度	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (17.5)	29 (72.5)	1	2 (5.0)	2 (5.0)	41
平成22年度	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (15.4)	29 (74.4)	2	2 (5.1)	2 (5.1)	41
平成23年度	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (17.5)	29 (72.5)	1	2 (5.0)	2 (5.0)	41
平成24年度	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (12.8)	30 (76.9)	2	2 (5.1)	2 (5.1)	41
平成25年度	0 (0.0)	1 (2.4)	4 (9.8)	32 (78.0)	0	2 (4.9)	2 (4.9)	41
平成26年度	0 (0.0)	2 (5.1)	3 (7.7)	30 (76.9)	2	2 (5.1)	2 (5.1)	41
平成27年度	0 (0.0)	1 (2.4)	3 (7.3)	31 (75.6)	0	2 (4.9)	4 (9.8)	41
平成28年度	0 (0.0)	1 (2.4)	3 (7.3)	31 (75.6)	0	2 (4.9)	4 (9.8)	41
平成29年度	0 (0.0)	1 (2.4)	3 (7.3)	31 (75.6)	0	2 (4.9)	4 (9.8)	41
平成30年度	0 (0.0)	1 (2.4)	3 (7.3)	31 (75.6)	0	2 (4.9)	4 (9.8)	41
令和元年度	0 (0.0)	1 (2.4)	4 (9.8)	30 (73.2)	0	2 (4.9)	4 (9.8)	41
令和2年度	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (7.3)	31 (75.6)	0	2 (4.9)	5 (12.2)	41

()：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

表4-3-15. 観察当初のCD4値別、エイズ発症・死亡の推移（平成9年度第1期事業対象者）

	観察当初のCD4値											
	～200未満		200～350未満		350～500未満		500以上		不明		年度別合計	
	対象者数 133		対象者数 144		対象者数 134		対象者数 114		対象者数 76		対象者数 601	
	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数
平成9年度	1	0	1	0	0	0	0	0	2	10	4	10
平成10年度	3	1	1	3	1	1	0	2	1	0	6	7
平成11年度	4	1	0	0	1	0	0	1	0	0	5	2
平成12年度	6	5	0	1	0	3	0	2	0	1	6	12
平成13年度	1	4	0	0	1	1	0	0	1	1	3	6
平成14年度	1	4	2	3	0	3	0	1	0	0	3	11
平成15年度	0	3	2	5	0	1	0	1	1	1	3	11
平成16年度	1	1	2	2	0	2	0	4	0	2	3	11
平成17年度	0	3	0	3	1	5	0	1	1	0	2	12
平成18年度	0	1	2	1	0	1	0	3	0	4	2	10
平成19年度	0	2	1	2	0	2	0	3	1	3	2	12
平成20年度	1	4	3	1	0	2	3	3	0	1	7	11
平成21年度	0	2	0	1	0	2	0	1	0	0	0	6
平成22年度	0	4	2	4	1	1	1	0	0	1	4	10
平成23年度	0	0	0	2	0	1	0	2	1	1	1	6
平成24年度	1	0	0	0	1	2	0	1	0	0	2	3
平成25年度	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	4
平成26年度	0	2	0	1	0	3	0	1	0	0	0	7
平成27年度	1	0	0	1	0	3	0	2	0	0	1	6
平成28年度 第1期	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0		
第2期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
第3期	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0		
第4期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
平成29年度 第1期	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0		
第2期	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0		
第3期	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0		
第4期	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6	4
平成30年度 第1期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
第2期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
第3期	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
第4期	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
令和元年度 第1期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
第2期	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
第3期	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0		
第4期	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	2	7
令和2年度 第1期	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0		
第2期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
第3期	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1		
第4期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4

* 平成9年度第1期のエイズ発症・死亡者4人（エイズ発症3人、死亡1人）を除く
平成9年度～平成27年度：発症・死亡者数は各年度1年間の人数

表4-3-16. 観察当初のHIV-RNA量別、エイズ発症・死亡の推移（平成9年度第1期事業対象者）

	観察当初の HIV-RNA 量													
	400 未満		400～ 1000 未満		1000～ 5000 未満		50000～ 10000 未満		10000～ 50000 未満		50000 以上		不明	
	対象者数 108		対象者数 30		対象者数 71		対象者数 38		対象者数 60		対象者数 50		対象者数 244	
	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数
平成9年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	10
平成10年度	1	2	0	0	0	1	0	0	1	3	2	0	2	1
平成11年度	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	1	2	0
平成12年度	1	3	0	1	0	2	0	2	1	1	1	1	3	2
平成13年度	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	2	2
平成14年度	0	2	0	2	0	0	1	0	0	1	0	1	2	5
平成15年度	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	8
平成16年度	0	1	0	2	0	2	1	0	1	1	1	1	0	4
平成17年度	0	3	0	2	1	1	0	1	0	1	0	2	1	2
平成18年度	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	6
平成19年度	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	10
平成20年度	1	3	1	0	1	0	0	0	2	1	0	2	2	5
平成21年度	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3
平成22年度	2	0	0	0	0	1	0	1	1	2	0	1	1	5
平成23年度	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3
平成24年度	0	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
平成25年度	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
平成26年度	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	3
平成27年度	0	1	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	1	1
平成28年度 第1期	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
平成28年度 第2期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成28年度 第3期	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0
平成28年度 第4期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成29年度 第1期	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
平成29年度 第2期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
平成29年度 第3期	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
平成29年度 第4期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
平成30年度 第1期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成30年度 第2期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成30年度 第3期	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
平成30年度 第4期	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
令和元年度 第1期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和元年度 第2期	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
令和元年度 第3期	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
令和元年度 第4期	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
令和2年度 第1期	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
令和2年度 第2期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度 第3期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
令和2年度 第4期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*平成9年度第1期のエイズ発症・死亡者4人（エイズ発症3人、死亡1人）を除く
平成9年度～平成27年度：発症・死亡者数は各年度1年間の人数

表4-3-17. 観察当初のCD4値別、エイズ発症・死亡の推移（平成19年度第1期事業対象者）

	観察当初のCD4値										年度別合計	
	～200未満		200～350未満		350～500未満		500以上		不明			
	対象者数 67		対象者数 171		対象者数 136		対象者数 171		対象者数 54		対象者数 599	
	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数
平成19年度	2	2	0	2	1	0	0	1	1	6	4	11
平成20年度	2	5	4	5	0	1	0	0	1	2	7	13
平成21年度	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	8
平成22年度	2	3	2	5	0	2	0	0	0	1	4	11
平成23年度	0	0	1	2	0	1	0	2	0	1	1	6
平成24年度	1	0	0	4	0	1	1	0	0	2	2	7
平成25年度	0	1	0	3	0	3	0	1	0	1	0	9
平成26年度	0	2	0	3	0	1	0	1	0	0	0	7
平成27年度	0	1	0	1	1	2	0	1	0	1	1	6
平成28年度 第1期	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
第2期	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
第3期	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1		
第4期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4
平成29年度 第1期	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0		
第2期	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0		
第3期	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0		
第4期	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	6	6
平成30年度 第1期	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
第2期	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
第3期	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0		
第4期	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6
令和元年度 第1期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
第2期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
第3期	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0		
第4期	0	0	3	0	0	0	0	2	0	2	3	8
令和2年度 第1期	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0		
第2期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
第3期	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0		
第4期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5

* 平成19年度第1期の死亡者3人を除く

平成19年度～平成27年度：エイズ発症・死亡者数は各年度1年間の人数

表4-3-18. 観察当初のHIV-RNA量別、エイズ発症・死亡の推移（平成19年度第1期事業対象者）

	観察当初の HIV-RNA 量											
	50 未満		50～ 400 未満		400～ 1000 未満		1000～ 10000 未満		10000 以上		不明	
	対象者数 304		対象者数 110		対象者数 27		対象者数 50		対象者数 50		対象者数 58	
	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数	エイズ 発症者数	死亡者数
平成19年度	3	2	0	0	0	0	0	1	0	2	1	6
平成20年度	3	3	1	4	0	0	1	0	1	4	1	2
平成21年度	0	6	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
平成22年度	1	5	1	3	0	2	1	0	1	0	0	1
平成23年度	1	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
平成24年度	1	4	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1
平成25年度	0	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
平成26年度	0	3	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0
平成27年度	1	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
平成28年度 第1期 第2期 第3期 第4期	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成29年度 第1期 第2期 第3期 第4期	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
平成30年度 第1期 第2期 第3期 第4期	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
令和元年度 第1期 第2期 第3期 第4期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
令和2年度 第1期 第2期 第3期 第4期	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

* 平成19年度第1期の死亡者3人を除く

平成19年度～平成27年度：エイズ発症・死亡者数は各年度1年間の人数

4. 生活状況の推移

本節では、以下の表を示した。

表4-4-1. 就業状況の推移 (平成19年度第1期事業対象者)

表4-4-2. こころの状態の推移 (平成19年度第1期事業対象者)

表4-4-3. 健康意識の推移 (平成19年度第1期事業対象者)

表4-4-4. 生活意識の推移 (平成19年度第1期事業対象者)

表4-4-1. 就業状況の推移（平成19年度第1期事業対象者）

	過去 1 か月間の仕事の状況								エイズ発症・死亡	計
	仕事あり	仕事ありの内訳		仕事なし	仕事なしの内訳			不明		
		主に仕事を している	主に家事・ 通学・その他		家事 (専業)	就職希望 あり	就職希望 なし			
平成 27 年度	249 (51.9)	205 [42.7]	44 [9.2]	131 (27.3)	－	－	－	122	100 (20.8)	602
平成 28 年度	320 (53.5)	264 [44.1]	56 [9.4]	171 (28.6)	－	－	－	4	107 (17.9)	602
平成 29 年度	313 (52.3)	264 [44.1]	49 [8.2]	167 (27.9)	－	－	－	3	119 (19.9)	602
平成 30 年度	305 (51.1)	256 [42.9]	49 [8.2]	167 (28.0)	49 [8.2]	55 [9.2]	63 [10.6]	5	125 (20.9)	602
令和 元 年 度	302 (50.6)	250 [41.9]	52 [8.7]	159 (26.6)	47 [7.9]	48 [8.0]	64 [10.7]	5	136 (22.8)	602
令和 2 年 度	305 (50.8)	256 [42.7]	49 [8.2]	153 (25.5)	41 [6.8]	42 [7.0]	70 [11.7]	2	142 (23.7)	602

()、[]：各行の対象者数より不明を除いた数を分母とする％

表4-4-2. こころの状態の推移（平成19年度第1期事業対象者）

	こころの状態（K6の合計点数）					エイズ発症・死亡	計
	0～4点	5～9点	10～14点	15点～	不明		
平成27年度	160 (33.8)	97 (20.5)	69 (14.6)	48 (10.1)	128	100 (21.1)	602
平成28年度	189 (32.5)	126 (21.7)	86 (14.8)	73 (12.6)	21	107 (18.4)	602
平成29年度	183 (31.4)	120 (20.6)	103 (17.7)	58 (9.9)	19	119 (20.4)	602
平成30年度	194 (32.9)	127 (21.6)	91 (15.4)	52 (8.8)	13	125 (21.2)	602
令和元年度	180 (30.4)	137 (23.1)	78 (13.2)	62 (10.5)	9	136 (22.9)	602
令和2年度	193 (32.5)	121 (20.4)	87 (14.6)	51 (8.6)	8	142 (23.9)	602

()：各行の対象者数より不明を除いた数を分母とする％

表4-4-3. 健康意識の推移（平成19年度第1期事業対象者）

	現在の健康状態						エイズ発症・死亡	計
	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	不明		
平成27年度	33 (6.9)	63 (13.3)	137 (28.8)	123 (25.9)	19 (4.0)	127	100 (21.1)	602
平成28年度	31 (5.2)	86 (14.5)	193 (32.5)	152 (25.6)	24 (4.0)	9	107 (18.0)	602
平成29年度	38 (6.4)	88 (14.8)	188 (31.6)	140 (23.5)	22 (3.7)	7	119 (20.0)	602
平成30年度	44 (7.3)	83 (13.9)	170 (28.4)	145 (24.2)	32 (5.3)	3	125 (20.9)	602
令和元年度	43 (7.2)	86 (14.4)	175 (29.3)	139 (23.2)	19 (3.2)	4	136 (22.7)	602
令和2年度	36 (6.0)	80 (13.4)	175 (29.3)	146 (24.5)	18 (3.0)	5	142 (23.8)	602

()：各行の対象者数より不明を除いた数を分母とする％

表4-4-4. 生活意識の推移（平成19年度第1期事業対象者）

	現在の暮らしの状況								エイズ 発症・ 死亡	計
	苦しい	苦しいの内訳		普通	ゆとりが ある	ゆとりがあるの内訳		不明		
		大変 苦しい	やや 苦しい			ややゆと りがある	大変ゆと りがある			
平成 27 年度	183 (38.3)	54 [11.3]	129 [27.0]	170 (35.6)	25 (5.2)	17 [3.6]	8 [1.7]	124	100 (20.9)	602
平成 28 年度	229 (38.4)	69 [11.6]	160 [26.8]	232 (38.9)	28 (4.7)	20 [3.4]	8 [1.3]	6	107 (18.0)	602
平成 29 年度	230 (38.8)	77 [13.0]	153 [25.8]	206 (34.7)	38 (6.4)	31 [5.2]	7 [1.2]	9	119 (20.1)	602
平成 30 年度	222 (37.0)	70 [11.7]	152 [25.3]	213 (35.5)	40 (6.7)	32 [5.3]	8 [1.3]	2	125 (20.8)	602
令和 元 年 度	219 (36.7)	78 [13.1]	141 [23.6]	191 (32.0)	51 (8.5)	44 [7.4]	7 [1.2]	5	136 (22.8)	602
令和 2 年 度	208 (34.9)	63 [10.6]	145 [24.3]	194 (32.6)	52 (8.7)	45 [7.6]	7 [1.2]	6	142 (23.8)	602

()、[]：各行の対象者数より不明を除いた数を分母とする％

第Ⅲ部 エイズ発症者調査

第5章 目的、結果の概要

第6章 集計方法

第7章 結果表

1. 健康状態の現状
2. 生活状況の現状
3. 健康状態の推移
4. 生活状況の推移

第5章 目的、結果の概要

抗HIV治療が長期に渡ることに伴って、エイズ発症予防に資するための調査研究として、エイズ未発症のHIV感染者とともに、エイズ発症者の健康状態と生活状況の把握がより重要性が大きくなってきている。そのために、平成27年度から令和2年度まで、血液製剤によるHIV感染のエイズ発症者を対象として「エイズ発症者調査」が実施されている。

本集計の目的としては、同調査から得られた情報に基づいて、血液製剤によるHIV感染のエイズ発症者において、健康状態（治療を含む）と生活状況の現状と推移を明らかにすることにある。集計方法と結果表は、エイズ未発症のHIV感染者のそれに準じている（第6章と第7章を参照）。

以下、令和2年度「エイズ発症者調査」の集計結果から、いくつかの事項を示す。健康状態の現状をみると、CD4値は500／ μ l以上が38%、350～500未満が34%、200～350未満が20%、200未満が8%であった。HIV-RNA量は検出せずと50未満が99%であり、10000以上が1%であった。抗HIV薬の併用区分は「NRTI2剤+INSTI」が53%、「その他（INSTI含む）」が33%と多かった。「NRTI2剤+PI1・2剤」が5%、「NRTI2剤+NNRTI」が6%、「その他（INSTI含まず）」が4%であった。

生活状況の現状をみると、就業状況は仕事ありが48%、就職希望ありが7%であった。健康意識は「現在の健康状態はいかがですか」に対して、回答が「あまりよくない」と「よくない」の割合は39%であった。こころの状態はK6（うつ病・不安障害等のスクリーニング尺度）の15点以上（問題の可能性あり）の割合は13%であった。自覚症状は「あなたはここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところ（自覚症状）がありますか」に対して、回答が「ある」の割合は71%であった。

以上の結果からみると、エイズ発症者では、適切な抗HIV治療を受け、CD4値とHIV-RNA量が良好に管理されている者が比較的多い傾向であった。一方、生活状況の面で、問題を有する者が少なくない傾向であった。今後、詳細な分析を行うとともに、エイズ発症者の健康状態と生活状況を継続的に把握することが重要と考えられる。

第6章 集計方法

「エイズ発症者調査」は平成27～令和2年度に実施されている。調査対象期間、調査対象者と回収状況を表6-1に示す。調査対象期間は平成27年4月以降、毎年度の9月末までの1年間である。調査対象者は当該年度の発症者健康管理手当を受給したエイズ発症者であり、また、回収者は本調査協力に同意の得られた者である。令和2年度では、調査対象者120人に対して、回収者は健康状態報告書が80人（67%）、生活状況報告書が95人（79%）であった。

調査方法としては、調査対象期間末の頃に、調査票（「健康状態報告書（エイズ発症者調査）」と「生活状況報告書（エイズ発症者調査）」）を配布・回収した。「健康状態報告書（エイズ発症者調査）」はエイズ未発症のHIV感染者に対する「健康状態報告書」と同様に、過去1年間の四半期ごとの臨床・治療状況を医師が記載し、調査内容も同様である。「生活状況報告書（エイズ発症者調査）」は「生活状況報告書」と同様に、調査対象者本人が記載し、調査内容も同様である。両調査票を「第Ⅳ部 資料」に添付した。

集計としては、健康状態と生活状況の現状と推移の4つに大別される。いずれもエイズ未発症のHIV感染者の集計に準じて実施した（「第Ⅱ部 集計方法、結果表」を参照）。健康状態の現状、および、生活状況の現状の集計では、集計対象者は令和2年度エイズ発症者調査の回収者とした。基礎資料は同年度の「健康状態報告書（エイズ発症者調査）」と「生活状況報告書（エイズ発症者調査）」から得た。集計方法と結果表はいずれも、エイズ未発症のHIV感染者のそれと同様とした。一方、健康状態の推移、および、生活状況の推移の集計では、集計対象者は平成27～令和2年度エイズ発症者調査の各回収者とした。集計対象項目は、健康状態の推移ではCD4値、HIV-RNA量、抗HIV薬の併用区分、抗HIV薬の副作用と肝炎の状況とし、生活状況の推移では就業状況、こころの状態、健康意識と生活意識とした。各調査項目について、各年度の回答分布を示した。

表6-1. 調査対象期間、調査対象者と回収状況（エイズ発症者調査）

	調査対象期間	調査対象者	回収者	
			健康状態報告書	生活状況報告書
平成27年度	平成27年4月～9月	109	81 (74.3)	83 (76.1)
平成28年度	平成27年10月～28年9月	110	72 (65.5)	72 (65.5)
平成29年度	平成28年10月～29年9月	119	71 (59.7)	72 (60.5)
平成30年度	平成29年10月～30年9月	119	79 (66.4)	80 (67.2)
令和元年度	平成30年10月～令和元年9月	119	77 (64.7)	88 (73.9)
令和2年度	令和元年10月～2年9月	120	80 (66.7)	95 (79.2)

人（調査対象者に対する割合：％）

第7章 結果表

1. 健康状態の現状

本節では、以下の表を示した。

表7-1-1.	基礎疾患	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-2.	性、年齢、CD4値、CD4/CD8比とHIV-RNA量の分布	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-3.	年齢別、CD4値	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-4.	年齢別、HIV-RNA量	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-5.	CD4値別、HIV-RNA量	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-6.	CD4値とHIV-RNA量別、抗HIV薬の併用区分	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-7.	抗HIV薬の併用区分別、服用状況	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-8.	抗HIV薬の併用区分別、副作用	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-9.	抗HIV薬の併用薬剤	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-10.	抗HIV薬別、服用状況	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-11.	抗HIV薬別、副作用	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-12.	HBs抗原の保有状況別、肝炎の状況	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-13.	HCV抗体の保有状況別、肝炎の状況	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-14.	HBs抗原の保有状況別、HCV抗体の保有状況	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-15.	肝炎の状況別、腹部画像検査	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-16.	肝炎の状況別、HCV-RNA量	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-17.	肝炎の状況別、HCV-RNAセロタイプとゲノタイプ	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-18.	肝炎の状況別、血小板数、ALT、総ビリルビン、アルブミン、プロトロンビン	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-19.	肝炎の状況別、PIVKA II、AFP、クレアチニン、eGFR、シスタチンC	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-20.	肝炎の状況別、C型肝炎治療歴と肝移植歴	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-21.	肝炎の状況別、C型肝炎治療薬の投与状況	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-22.	肝炎の状況別、CD4値	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-23.	肝炎の状況別、HIV-RNA量	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-24.	肝炎の状況別、抗HIV薬の併用区分	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-25.	年齢別、血圧	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-26.	CD4値別、血圧	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-1-27.	年齢別、骨密度	(令和2年度エイズ発症者調査)

表7-1-28. CD4値別、骨密度

(令和2年度エイズ発症者調査)

表7-1-29. 年齢別、疾患の有無

(令和2年度エイズ発症者調査)

表7-1-1. 基礎疾患（令和2年度エイズ発症者調査）

基礎疾患	人数	(%)
血友病 A	61	(76.3)
血友病 B	11	(13.8)
von Willebrand 病	1	(1.3)
二次感染	7	(8.8)
三次感染	0	(0.0)
その他	0	(0.0)
計	80	(100.0)

表7-1-2. 性、年齢、CD4値、CD4/CD8比とHIV-RNA量の分布（令和2年度エイズ発症者調査）

		人数	(%)			人数	(%)
性別	男	72	(90.0)	CD4/CD8 比	～0.10 未満	1	(1.4)
	女	8	(10.0)		0.10～0.50 未満	9	(12.2)
	計	80			0.50～1.00 未満	37	(50.0)
年齢	0～10 歳未満	0	(0.0)		1.00～1.50 未満	20	(27.0)
	10～20 歳未満	0	(0.0)		1.50 以上	7	(9.5)
	20～30 歳未満	0	(0.0)	不明	6	—	
	30～40 歳未満	2	(2.5)	計	80		
	40～50 歳未満	23	(28.8)	平均値 0.886 (標準偏差 0.462)			
	50～60 歳未満	34	(42.5)	中央値 0.800			
	60～70 歳未満	16	(20.0)	HIV-RNA 量	検出せず	56	(71.8)
	70 歳以上	5	(6.3)		50 未満*	21	(26.9)
	計	80			50～400 未満	0	(0.0)
平均値 54.4 歳 (標準偏差 10.2 歳)			400～1000 未満		0	(0.0)	
中央値 54.0 歳			1000～5000 未満		0	(0.0)	
CD4 値	～200 未満	6	(7.6)		5000～10000 未満	0	(0.0)
	200～350 未満	16	(20.3)		10000～50000 未満	1	(1.3)
	350～500 未満	27	(34.2)		50000 以上	0	(0.0)
	500 以上	30	(38.0)		不明	2	—
	不明	1	—		計	80	
	計	80		中央値 検出せず			
	平均値 491.8 (標準偏差 259.4)						
中央値 447.0							

() : 計より不明を除いた数を分母とする%

* : 検出限界未満（検出限界値 50 以下、不明）を含む

表7-1-3. 年齢別、CD4値（令和2年度エイズ発症者調査）

年齢	CD4 値					計
	～200未満	200～350未満	350～500未満	500以上	不明	
30～50歳未満	1 (4.2)	6 (25.0)	6 (25.0)	11 (45.8)	1	25
50～60歳未満	0 (0.0)	5 (14.7)	15 (44.1)	14 (41.2)	0	34
60歳以上	5 (23.8)	5 (23.8)	6 (28.6)	5 (23.8)	0	21
計	6 (7.6)	16 (20.3)	27 (34.2)	30 (38.0)	1	80

対象：30歳以上

()：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

表7-1-4. 年齢別、HIV-RNA量（令和2年度エイズ発症者調査）

年齢	HIV-RNA 量						計
	50未満*	50～400未満	400～1000未満	1000～10000未満	10000以上	不明	
30～50歳未満	23 (95.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.2)	1	25
50～60歳未満	34 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	34
60歳以上	20 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1	21
計	77 (98.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.3)	2	80

対象：30歳以上

()：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

*：検出せず、および、検出限界未満（検出限界値 50 以下または不明）を含む

表7-1-5. CD4値別、HIV-RNA量（令和2年度エイズ発症者調査）

CD4値	HIV-RNA 量						計
	50未満*	50～400未満	400～1000未満	1000～10000未満	10000以上	不明	
～200未満	5 (83.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (16.7)	0	6
200～350未満	16 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	16
350～500未満	27 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	27
500以上	29 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1	30
不明	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	1	1
計	77 (98.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.3)	2	80

()：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

*：検出せず、および、検出限界未満（検出限界値 50 以下）を含む

表7-1-6. CD4値とHIV-RNA量別、抗HIV薬の併用区分（令和2年度エイズ発症者調査）

CD4値	HIV-RNA量	抗HIV薬の併用区分							計
		投与なし	NRTI 2剤+ PI 1・2剤	NRTI 2剤+ NNRTI	NRTI 2剤+ INSTI	その他 (INSTI含む)	その他 (INSTI含まず)	不明	
～200未満	50 未満*	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (20.0)	3 (60.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	0	5
	50～400 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	400～1000 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	1000～10000 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	10000 以上	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
	不明	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	計	0 (0.0)	1 (16.7)	1 (16.7)	3 (50.0)	1 (16.7)	0 (0.0)	0	6
200 ～350未満	50 未満*	0 (0.0)	2 (12.5)	1 (6.3)	7 (43.8)	5 (31.3)	1 (6.3)	0	16
	50～400 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	400～1000 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	1000～10000 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	10000 以上	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	不明	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	計	0 (0.0)	2 (12.5)	1 (6.3)	7 (43.8)	5 (31.3)	1 (6.3)	0	16
350 ～500未満	50 未満*	0 (0.0)	1 (3.7)	1 (3.7)	17 (63.0)	7 (25.9)	1 (3.7)	0	27
	50～400 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	400～1000 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	1000～10000 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	10000 以上	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	不明	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	計	0 (0.0)	1 (3.7)	1 (3.7)	17 (63.0)	7 (25.9)	1 (3.7)	0	27
500以上	50 未満*	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.4)	14 (48.3)	13 (44.8)	1 (3.4)	0	29
	50～400 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	400～1000 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	1000～10000 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	10000 以上	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	不明	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
	計	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (6.7)	14 (46.7)	13 (43.3)	1 (3.3)	0	30
不明	50 未満*	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	50～400 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	400～1000 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	1000～10000 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	10000 以上	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
	計	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
計	50 未満*	0 (0.0)	3 (3.9)	4 (5.2)	41 (53.2)	26 (33.8)	3 (3.9)	0	77
	50～400 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	400～1000 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	1000～10000 未満	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0	0
	10000 以上	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
	不明	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	2
	計	0 (0.0)	4 (5.0)	5 (6.3)	42 (52.5)	26 (32.5)	3 (3.8)	0	80

() : 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

* : 検出限界未満（検出限界値 50 以下、不明）を含む

表7-1-7. 抗HIV薬の併用区分別、服用状況（令和2年度エイズ発症者調査）

抗HIV薬の併用区分	服用状況						投与者数
	全部服用	殆ど服用	半分服用	少し服用	服用せず	不明	
NRTI 2剤+PI 1・2剤	3 (75.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0	4
NRTI 2剤+NNRTI	5 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	5
NRTI 2剤+INSTI	41 (97.6)	1 (2.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	42
その他（INSTI含む）	25 (96.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.8)	0	26
その他（INSTI含まず）	3 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	3
計	77 (96.3)	1 (1.3)	0 (0.0)	1 (1.3)	1 (1.3)	0	80

(): 各行の投与者数より不明を除いた数を分母とする%

表7-1-8. 抗HIV薬の併用区分別、副作用（令和2年度エイズ発症者調査）

抗HIV薬の併用区分	副作用			投与者数
	あり	なし	不明	
NRTI 2剤+PI 1・2剤	0 (0.0)	4 (100.0)	0	4
NRTI 2剤+NNRTI	1 (20.0)	4 (80.0)	0	5
NRTI 2剤+INSTI	2 (4.8)	40 (95.2)	0	42
その他（INSTI含む）	4 (15.4)	22 (84.6)	0	26
その他（INSTI含まず）	1 (33.3)	2 (66.7)	0	3
計	8 (10.0)	72 (90.0)	0	80

抗HIV薬の併用区分	副作用（項目別）					
	嘔気	下痢	口内炎	貧血	血尿	しびれ
NRTI 2剤+PI 1・2剤	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
NRTI 2剤+NNRTI	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
NRTI 2剤+INSTI	1 (2.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他（INSTI含む）	1 (3.8)	1 (3.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他（INSTI含まず）	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
計	2 (2.5)	1 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

抗HIV薬の併用区分	副作用（項目別）					
	皮疹	頭痛	中枢神経症状	リボスτροφイー	黄疸	その他
NRTI 2剤+PI 1・2剤	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
NRTI 2剤+NNRTI	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
NRTI 2剤+INSTI	0 (0.0)	1 (2.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他（INSTI含む）	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.8)	3 (11.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他（INSTI含まず）	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (33.3)
計	0 (0.0)	1 (1.3)	1 (1.3)	4 (5.1)	0 (0.0)	1 (1.3)

(): 投与者数より不明を除いた数にしめる%

表7-1-9. 抗HIV薬の併用薬剤（令和2年度エイズ発症者調査）

NRTI 2 剤 + PI 1・2 剤	件数 (%)	その他 (INSTI 含む)	件数 (%)
3TC+ABC +RTV+DRV (エブジコム服用 2 例)	2 (50.0)	RPV +DTG (ジアルカ服用 5 例)	6 (23.1)
3TC+ABC +DRV +COBI (エブジコム+プレジコビックス服用 1 例)	1 (25.0)	3TC+ABC +ETR +RAL (エブジコム服用 2 例)	2 (7.7)
TAF+FTC +DRV +COBI (デシコビ+プレジコビックス服用 1 例)	1 (25.0)	ABC +EFV +RAL	2 (7.7)
計 (3 通り)	4 (100.0)	DOR +DTG	2 (7.7)
NRTI 2 剤 + NNRTI	件数 (%)	3TC+ABC +RAL+DTG (エブジコム、トリメク服用 1 例)	1 (3.8)
3TC+ABC +EFV (エブジコム服用 1 例)	1 (20.0)	3TC+ABC +RPV +RAL (エブジコム服用 1 例)	1 (3.8)
3TC+ABC +NVP (エブジコム服用 1 例)	1 (20.0)	ABC +RPV +DTG	1 (3.8)
AZT+3TC +EFV	1 (20.0)	DOR +RAL	1 (3.8)
TAF+FTC +EFV (デシコビ服用 1 例)	1 (20.0)	DRV +ETR +RAL+COBI (プレジコビックス服用 1 例)	1 (3.8)
TAF+FTC +ETR (デシコビ服用 1 例)	1 (20.0)	ETR +RAL	1 (3.8)
計 (5 通り)	5 (100.0)	RTV+DRV +ETR +DTG	1 (3.8)
NRTI 2 剤 + INSTI	件数 (%)	RTV+DRV +ETR +RAL	1 (3.8)
3TC+ABC +DTG (エブジコム服用 4 例、 トリメク服用 8 例)	13 (31.0)	RTV+DRV +RAL +MVC	1 (3.8)
TAF+FTC +BIC (ビクタルビ服用 9 例)	9 (21.4)	RTV+DRV +RPV +RAL	1 (3.8)
TAF+FTC +DTG (デシコビ服用 7 例)	7 (16.7)	RTV+LPV +RAL	1 (3.8)
3TC+ABC +RAL (エブジコム服用 3 例)	6 (14.3)	TAF+FTC +DRV +COBI+DTG (デシコビ+プレジコビックス服用 1 例)	1 (3.8)
TAF+FTC +RAL (デシコビ服用 4 例)	4 (9.5)	TAF+FTC +DRV +RAL+COBI (デシコビ+プレジコビックス服用 1 例)	1 (3.8)
TAF+FTC +EVG+COBI (ゲンボイヤ服用 3 例)	3 (8.5)	TAF+FTC +DTG +MVC (デシコビ服用 1 例)	1 (3.8)
計 (6 通り)	42 (100.0)	計 (18 通り)	26 (100.0)
		その他 (INSTI 含まず)	件数 (%)
		AZT+TAF+FTC +RTV+DRV (デシコビ服用 1 例)	1 (33.3)
		RPV+DOR	1 (33.3)
		TAF+FTC +ETR +MVC (デシコビ服用 1 例)	1 (33.3)
		計 (3 通り)	3 (100.0)

(): 各併用区分の計を分母とする%

表7-1-10. 抗HIV薬別、服用状況（令和2年度エイズ発症者調査）

抗HIV薬	服用状況						投与者数
	全部服用	殆ど服用	半分服用	少し服用	服用せず	不明	
AZT	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	2
3TC	5 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	5
ABC	7 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	7
3TC/ABC	16 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	16
TAF/FTC (DVY)	17 (89.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.3)	1 (5.3)	0	19
RTV	7 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	7
LPV	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
DRV	7 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	7
NVP	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	1
EFV	5 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	5
ETR	8 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	8
RPV	5 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	5
DOR	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	4
RAL	24 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	24
DTG	18 (94.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.3)	0	19
MVC	2 (66.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (33.3)	0	3
DTG/ABC/3TC (TRI)	9 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	9
EVG/COBI/FTC/TAF (GEN)	3 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	3
DRV/COBI (PCX)	4 (80.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	0	5
RPV/DTG	5 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	5
BIC/TAF/FTC (BVY)	8 (88.9)	1 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	9

(): 各行の投与者数より不明を除いた数を分母とする%

表7-1-11. 抗HIV薬別、副作用（令和2年度エイズ発症者調査）

抗HIV薬	副作用			投与者数	副作用（項目別）			
	あり	なし	不明		嘔気	下痢	口内炎	貧血
AZT	0 (0.0)	2 (100.0)	0	2	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
3TC	0 (0.0)	5 (100.0)	0	5	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
ABC	0 (0.0)	7 (100.0)	0	7	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
3TC/ABC	1 (6.3)	15 (93.8)	0	16	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
TAF/FTC (DVY)	2 (10.5)	17 (89.5)	0	19	0 (0.0)	1 (5.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
RTV	2 (28.6)	5 (71.4)	0	7	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
LPV	0 (0.0)	1 (100.0)	0	1	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
DRV	2 (28.6)	5 (71.4)	0	7	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
NVP	0 (0.0)	1 (100.0)	0	1	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
EFV	1 (20.0)	4 (80.0)	0	5	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
ETR	3 (37.5)	5 (62.5)	0	8	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
RPV	1 (20.0)	4 (80.0)	0	5	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
DOR	0 (0.0)	4 (100.0)	0	4	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
RAL	3 (12.5)	21 (87.5)	0	24	1 (4.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
DTG	1 (5.3)	18 (94.7)	0	19	0 (0.0)	1 (5.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
MVC	2 (66.7)	1 (33.3)	0	3	0 (0.0)	1 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
DTG/ABC/3TC (TRI)	2 (22.2)	7 (77.8)	0	9	1 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
EVG/COBI/FTC/TAF (GEN)	0 (0.0)	3 (100.0)	0	3	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
DRV/COBI (PCX)	0 (0.0)	5 (100.0)	0	5	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
RPV/DTG	0 (0.0)	5 (100.0)	0	5	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
BIC/TAF/FTC (BVY)	0 (0.0)	9 (100.0)	0	9	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

抗HIV薬	副作用（項目別）							
	血尿	しびれ	皮疹	頭痛	中枢神経症状	リボスτροφイー	黄疸	その他
AZT	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
3TC	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
ABC	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
3TC/ABC	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (6.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
TAF/FTC (DVY)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.3)
RTV	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (28.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
LPV	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
DRV	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (28.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
NVP	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
EFV	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
ETR	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	1 (12.5)
RPV	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
DOR	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
RAL	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
DTG	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
MVC	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (33.3)
DTG/ABC/3TC (TRI)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
EVG/COBI/FTC/TAF (GEN)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
DRV/COBI (PCX)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
RPV/DTG	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
BIC/TAF/FTC (BVY)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

() : 投与者数より不明を除いた数を分母とする%

表7-1-12. HBs抗原の保有状況別、肝炎の状況（令和2年度エイズ発症者調査）

HBs抗原の保有状況	肝炎の状況					計
	肝がんあり	肝硬変あり	慢性肝炎あり	いずれもなし	不明	
陽性	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0	1
陰性	4 (6.0)	11 (16.4)	27 (40.3)	25 (37.3)	1	68
不明	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (72.7)	3 (27.3)	0	11
計	4 (5.1)	11 (13.9)	35 (44.3)	29 (36.7)	1	80

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-1-13. HCV抗体の保有状況別、肝炎の状況（令和2年度エイズ発症者調査）

HCV抗体の保有状況	肝炎の状況					計
	肝がんあり	肝硬変あり	慢性肝炎あり	いずれもなし	不明	
陽性	4 (5.9)	11 (16.2)	34 (50.0)	19 (27.9)	1	69
陰性	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (100.0)	0	6
不明	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (20.0)	4 (80.0)	0	5
計	4 (5.1)	11 (13.9)	35 (44.3)	29 (36.7)	1	80

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-1-14. HBs抗原の保有状況別、HCV抗体の保有状況（令和2年度エイズ発症者調査）

HBs抗原の保有状況	HCV抗体の保有状況			計
	陽性	陰性	不明	
陽性	1 (100.0)	0 (0.0)	0	1
陰性	60 (90.9)	6 (9.1)	2	68
不明	8 (100.0)	0 (0.0)	3	11
計	69 (92.0)	6 (8.0)	5	80

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-1-15. 肝炎の状況別、腹部画像検査（令和2年度エイズ発症者調査）

肝炎の状況	腹部画像検査の有無			計
	有	無*	不明	
肝がんあり	3 (100.0)	0 (0.0)	1	4
肝硬変あり	10 (100.0)	0 (0.0)	1	11
慢性肝炎あり	27 (90.0)	3 (10.0)	5	35
いずれもなし	10 (45.5)	12 (54.5)	7	29
不明	0 —	0 —	1	1
計	50 (76.9)	15 (23.1)	15	80

(): 各行の計より未検査と不明を除いた数を分母とする%

* 「無」と「未検査」の合計

表7-1-16. 肝炎の状況別、HCV-RNA量（令和2年度エイズ発症者調査）

肝炎の状況	HCV-RNA 量（TaqMan 法）（LogIU/ml）						計
	検出せず	～3.7 未満	3.7～6.0 未満	6.0～6.7 未満	6.7 以上	不明	
肝がんあり	3 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1	4
肝硬変あり	9 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2	11
慢性肝炎あり	24 (92.3)	1 (3.8)	1 (3.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	9	35
いずれもなし	16 (94.1)	1 (5.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	12	29
不明	1 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	1
計	53 (94.6)	2 (3.6)	1 (1.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	24	80

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-1-17. 肝炎の状況別、HCV-RNAセロタイプとゲノタイプ（令和2年度エイズ発症者調査）

肝炎の状況	セロタイプ				計
	1 グループ	2 グループ	該当なし	不明	
肝がんあり	0 —	0 —	0 —	4	4
肝硬変あり	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	10	11
慢性肝炎あり	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	34	35
いずれもなし	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	28	29
不明	0 —	0 —	0 —	1	1
計	1 (33.3)	0 (0.0)	2 (66.7)	77	80

肝炎の状況	ゲノタイプ							計
	1a	1b	2a	2b	3a	その他	不明	
肝がんあり	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	4	4
肝硬変あり	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (33.3)	1 (33.3)	1 (33.3)	0 (0.0)	8	11
慢性肝炎あり	3 (30.0)	4 (40.0)	0 (0.0)	1 (10.0)	2 (20.0)	0 (0.0)	25	35
いずれもなし	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	28	29
不明	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	1	1
計	4 (28.6)	4 (28.6)	1 (7.1)	2 (14.3)	3 (21.4)	0 (0.0)	66	80

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-1-18. 肝炎の状況別、血小板数、ALT、総ビリルビン、アルブミン、プロトロンビン
(令和2年度エイズ発症者調査)

肝炎の状況	血小板数 (×10 ⁴ /mm ³)					計
	～15 未満	15～20 未満	20～25 未満	25 以上～	不明	
肝がんあり	1 (25.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0	4
肝硬変あり	6 (54.5)	3 (27.3)	2 (18.2)	0 (0.0)	0	11
慢性肝炎あり	7 (20.6)	11 (32.4)	14 (41.2)	2 (5.9)	1	35
いずれもなし	4 (13.8)	7 (24.1)	9 (31.0)	9 (31.0)	0	29
不明	0 —	1 —	0 —	0 —	0	1
計	18 (22.8)	24 (30.4)	26 (32.9)	11 (13.9)	1	80

肝炎の状況	ALT(GPT) (IU/L)					計
	～40 未満	40～80 未満	80～120 未満	120 以上～	不明	
肝がんあり	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	4
肝硬変あり	9 (81.8)	2 (18.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	11
慢性肝炎あり	31 (91.2)	3 (8.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	1	35
いずれもなし	22 (75.9)	7 (24.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	29
不明	1 —	0 —	0 —	0 —	0	1
計	67 (84.8)	12 (15.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	1	80

肝炎の状況	総ビリルビン (mg/dl)					計
	～0.7 未満	0.7～1.3 未満	1.3～1.6 未満	1.6 以上～	不明	
肝がんあり	3 (75.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0	4
肝硬変あり	6 (60.0)	3 (30.0)	0 (0.0)	1 (10.0)	1	11
慢性肝炎あり	17 (53.1)	15 (46.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	3	35
いずれもなし	16 (61.5)	7 (26.9)	3 (11.5)	0 (0.0)	3	29
不明	0 —	0 —	0 —	0 —	1	1
計	42 (58.3)	25 (34.7)	4 (5.6)	1 (1.4)	8	80

肝炎の状況	アルブミン (g/dL)					計
	～3.0 未満	3.0～3.5 未満	3.5～4.0 未満	4.0 以上～	不明	
肝がんあり	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (50.0)	2 (50.0)	0	4
肝硬変あり	1 (9.1)	1 (9.1)	2 (18.2)	7 (63.6)	0	11
慢性肝炎あり	0 (0.0)	1 (3.1)	2 (6.3)	29 (90.6)	3	35
いずれもなし	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (16.0)	21 (84.0)	4	29
不明	0 —	0 —	0 —	1 —	0	1
計	1 (1.4)	2 (2.7)	10 (13.7)	60 (82.2)	7	80

肝炎の状況	プロトロンビン PT活性% (%)					計
	～50 未満	50～70 未満	70～100 未満	100 以上～	不明	
肝がんあり	1 (25.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	2 (50.0)	0	4
肝硬変あり	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (88.9)	1 (11.1)	2	11
慢性肝炎あり	1 (4.8)	0 (0.0)	10 (47.6)	10 (47.6)	14	35
いずれもなし	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (33.3)	8 (66.7)	17	29
不明	0 —	0 —	1 —	0 —	0	1
計	2 (4.3)	0 (0.0)	24 (51.1)	21 (44.7)	33	80

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-1-19. 肝炎の状況別、PIVKA II、AFP、クレアチニン、eGFR、シスタチンC
(令和2年度エイズ発症者調査)

肝炎の状況	PIVKA II (mAU/mL)					計
	～20 未満	20～30 未満	30～40 未満	40 以上～	不明	
肝がんあり	0 (0.0)	2 (50.0)	2 (50.0)	0 (0.0)	0	4
肝硬変あり	1 (14.3)	4 (57.1)	1 (14.3)	1 (14.3)	4	11
慢性肝炎あり	5 (27.8)	10 (55.6)	3 (16.7)	0 (0.0)	17	35
いずれもなし	3 (37.5)	4 (50.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	21	29
不明	0 -	0 -	0 -	0 -	1	1
計	9 (24.3)	20 (54.1)	7 (18.9)	1 (2.7)	43	80

肝炎の状況	AFP (ng/mL)					計
	～3 未満	3～6 未満	6～20 未満	20 以上～	不明	
肝がんあり	1 (25.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0	4
肝硬変あり	3 (37.5)	3 (37.5)	2 (25.0)	0 (0.0)	3	11
慢性肝炎あり	14 (66.7)	7 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	14	35
いずれもなし	2 (22.2)	5 (55.6)	2 (22.2)	0 (0.0)	20	29
不明	0 -	0 -	0 -	0 -	1	1
計	20 (47.6)	17 (40.5)	5 (11.9)	0 (0.0)	38	80

肝炎の状況	クレアチニン (mg/dL)					計
	～0.6 未満	0.6～1.2 未満	1.2～1.8 未満	1.8 以上～	不明	
肝がんあり	0 (0.0)	2 (50.0)	0 (0.0)	2 (50.0)	0	4
肝硬変あり	1 (9.1)	8 (72.7)	0 (0.0)	2 (18.2)	0	11
慢性肝炎あり	2 (6.1)	27 (81.8)	2 (6.1)	2 (6.1)	2	35
いずれもなし	2 (6.9)	22 (75.9)	5 (17.2)	0 (0.0)	0	29
不明	0 -	1 -	0 -	0 -	0	1
計	5 (6.4)	60 (76.9)	7 (9.0)	6 (7.7)	2	80

肝炎の状況	eGFR (mL/分/1.73m ²)							計
	～15 未満	15～30 未満	30～45 未満	45～60 未満	60～90 未満	90 以上～	不明	
肝がんあり	1 (25.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (50.0)	0 (0.0)	0	4
肝硬変あり	1 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (11.1)	5 (55.6)	2 (22.2)	2	11
慢性肝炎あり	1 (3.1)	1 (3.1)	0 (0.0)	4 (12.5)	19 (59.4)	7 (21.9)	3	35
いずれもなし	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (13.0)	2 (8.7)	16 (69.6)	2 (8.7)	6	29
不明	0 -	0 -	0 -	0 -	1 -	0 -	0	1
計	3 (4.3)	2 (2.9)	3 (4.3)	7 (10.1)	43 (62.3)	11 (15.9)	11	80

肝炎の状況	シスタチンC (mg/L)					計
	～0.63 未満	0.63～0.95 未満	0.95～1.20 未満	1.20 以上～	不明	
肝がんあり	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	2	4
肝硬変あり	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	10	11
慢性肝炎あり	0 (0.0)	1 (33.3)	2 (66.7)	0 (0.0)	32	35
いずれもなし	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (50.0)	2 (50.0)	25	29
不明	0 -	0 -	0 -	0 -	1	1
計	1 (10.0)	1 (10.0)	5 (50.0)	4 (40.0)	70	80

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする％

表7-1-20. 肝炎の状況別、C型肝炎治療歴と肝移植歴（令和2年度エイズ発症者調査）

肝炎の状況	C型肝炎治療歴			肝移植歴			計
	あり	なし	不明	あり	なし	不明	
肝がんあり	3 (75.0)	1 (25.0)	0	0 (0.0)	4 (100.0)	0	4
肝硬変あり	10 (90.9)	1 (9.1)	0	1 (9.1)	10 (90.9)	0	11
慢性肝炎あり	27 (79.4)	7 (20.6)	1	0 (0.0)	34 (100.0)	1	35
いずれもなし	6 (20.7)	23 (79.3)	0	0 (0.0)	29 (100.0)	0	29
不明	1 —	0 —	0	0 —	1 —	0	1
計	47 (59.5)	32 (40.5)	1	1 (1.3)	78 (98.7)	1	80

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-1-21. 肝炎の状況別、C型肝炎治療薬の投与状況（令和2年度エイズ発症者調査）

肝炎の状況	C型肝炎治療薬の投与			計
	あり	なし	不明	
肝がんあり	0 (0.0)	4 (100.0)	0	4
肝硬変あり	0 (0.0)	11 (100.0)	0	11
慢性肝炎あり	0 (0.0)	35 (100.0)	0	35
いずれもなし	0 (0.0)	29 (100.0)	0	29
不明	0 —	1 —	0	1
計	0 (0.0)	80 (100.0)	0	80

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-1-22. 肝炎の状況別、CD4値（令和2年度エイズ発症者調査）

肝炎の状況	CD4 値					計
	～200 未満	200～350 未満	350～500 未満	500 以上	不明	
肝がんあり	1 (25.0)	2 (50.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	0	4
肝硬変あり	0 (0.0)	3 (27.3)	4 (36.4)	4 (36.4)	0	11
慢性肝炎あり	3 (8.8)	8 (23.5)	13 (38.2)	10 (29.4)	1	35
いずれもなし	2 (6.9)	2 (6.9)	10 (34.5)	15 (51.7)	0	29
不明	0 —	1 —	0 —	0 —	0	1
計	6 (7.6)	16 (20.3)	27 (34.2)	30 (38.0)	1	80

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-1-23. 肝炎の状況別、HIV-RNA量（令和2年度エイズ発症者調査）

肝炎の状況	HIV-RNA 量						計
	50未満*	50～ 400未満	400～ 1000未満	1000～ 10000未満	10000以上	不明	
肝がんあり	4 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	4
肝硬変あり	11 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0	11
慢性肝炎あり	33 (97.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (2.9)	1	35
いずれもなし	28 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1	29
不明	1 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0	1
計	77 (98.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.3)	2	80

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

*: 検出限界未満（検出限界値 50 以下、不明）を含む

表7-1-24. 肝炎の状況別、抗HIV薬の併用区分（令和2年度エイズ発症者調査）

肝炎の状況	抗HIV薬の併用区分							計
	投与なし	NRTI 2剤+ PI 1・2剤	NRTI 2剤+ NNRTI	NRTI 2剤+ INSTI	その他 (INSTI含む)	その他 (INSTI含まず)	不明	
肝がんあり	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (75.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	0	4
肝硬変あり	0 (0.0)	1 (9.1)	1 (9.1)	4 (36.4)	4 (36.4)	1 (9.1)	0	11
慢性肝炎あり	0 (0.0)	1 (2.9)	2 (5.7)	20 (57.1)	12 (34.3)	0 (0.0)	0	35
いずれもなし	0 (0.0)	2 (6.9)	2 (6.9)	15 (51.7)	9 (31.0)	1 (3.4)	0	29
不明	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	1 —	0	1
計	0 (0.0)	4 (5.0)	5 (6.3)	42 (52.5)	26 (32.5)	3 (3.8)	0	80

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-1-25. 年齢別、血圧（令和2年度エイズ発症者調査）

年齢	血圧（収縮期血圧、拡張期血圧）（mmHg）						計
	< 120 かつ < 80	120—139 かつ／または 80—89	140—159 かつ／または 90—99	160—179 かつ／または 100—109	≥ 180 かつ／または ≥ 110	不明	
30～50 歳未満	7 (36.8)	7 (36.8)	4 (21.1)	0 (0.0)	1 (5.3)	6	25
50～60 歳未満	4 (18.2)	12 (54.5)	5 (22.7)	1 (4.5)	0 (0.0)	12	34
60 歳以上	3 (21.4)	6 (42.9)	4 (28.6)	1 (7.1)	0 (0.0)	7	21
計	14 (25.5)	25 (45.5)	13 (23.6)	2 (3.6)	1 (1.8)	25	80

対象：30 歳以上

()：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

表7-1-26. CD4値別、血圧（令和2年度エイズ発症者調査）

CD4 値	血圧（収縮期血圧、拡張期血圧）（mmHg）						計
	< 120 かつ < 80	120—139 かつ／または 80—89	140—159 かつ／または 90—99	160—179 かつ／または 100—109	≥ 180 かつ／または ≥ 110	不明	
～200 未満	1 (20.0)	2 (40.0)	2 (40.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1	6
200～350 未満	3 (27.3)	6 (54.5)	1 (9.1)	1 (9.1)	0 (0.0)	5	16
350～500 未満	6 (35.3)	7 (41.2)	4 (23.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	10	27
500 以上	4 (18.2)	10 (45.5)	6 (27.3)	1 (4.5)	1 (4.5)	8	30
不明	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	1	1
計	14 (25.5)	25 (45.5)	13 (23.6)	2 (3.6)	1 (1.8)	25	80

()：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

表7-1-27. 年齢別、骨密度（令和2年度エイズ発症者調査）

年齢	骨密度（％）					計
	40～60 未満	60～80 未満	80～100 未満	100 以上	不明	
30～50 歳未満	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	24	25
50～60 歳未満	0 (0.0)	3 (75.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	30	34
60 歳以上	0 (0.0)	2 (66.7)	0 (0.0)	1 (33.3)	18	21
計	0 (0.0)	5 (62.5)	0 (0.0)	3 (37.5)	72	80

対象：30 歳以上

()：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

表7-1-28. CD4値別、骨密度（令和2年度エイズ発症者調査）

CD4 値	骨密度（％）					計
	40～60 未満	60～80 未満	80～100 未満	100 以上	不明	
～200 未満	0 —	0 —	0 —	0 —	6	6
200～350 未満	0 (0.0)	2 (66.7)	0 (0.0)	1 (33.3)	13	16
350～500 未満	0 (0.0)	1 (33.3)	0 (0.0)	2 (66.7)	24	27
500 以上	0 (0.0)	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	28	30
不明	0 —	0 —	0 —	0 —	1	1
計	0 (0.0)	5 (62.5)	0 (0.0)	3 (37.5)	72	80

()：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

表7-1-29. 年齢別、疾患の有無（令和2年度エイズ発症者調査）

年齢	脳血管疾患						計
	あり	ありの内訳			なし	不明	
		脳出血	脳梗塞	その他の脳血管疾患			
30～50 歳未満	1 (4.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.0)	24 (96.0)	0	25
50～60 歳未満	8 (23.5)	6 (17.6)	0 (0.0)	2 (5.9)	26 (76.5)	0	34
60 歳以上	3 (14.3)	2 (9.5)	0 (0.0)	1 (4.8)	18 (85.7)	0	21
計	12 (15.0)	8 (10.0)	0 (0.0)	4 (5.0)	68 (85.0)	0	80

年齢	虚血性心疾患					計
	あり	ありの内訳		なし	不明	
		心筋梗塞	その他の虚血性心疾患			
30～50 歳未満	1 (4.0)	0 (0.0)	1 (4.0)	24 (96.0)	0	25
50～60 歳未満	2 (5.9)	0 (0.0)	2 (5.9)	32 (94.1)	0	34
60 歳以上	2 (9.5)	0 (0.0)	2 (9.5)	19 (90.5)	0	21
計	5 (6.3)	0 (0.0)	5 (6.3)	75 (93.8)	0	80

年齢	肝以外の悪性新生物			計
	あり	なし	不明	
30～50 歳未満	3 (12.5)	21 (87.5)	1	25
50～60 歳未満	1 (2.9)	33 (97.1)	0	34
60 歳以上	3 (14.3)	18 (85.7)	0	21
計	7 (8.9)	72 (91.1)	1	80

年齢	高血圧・糖尿病					計
	あり	ありの内訳		なし	不明	
		高血圧	糖尿病			
30～50 歳未満	6 (24.0)	5 (20.0)	2 (8.0)	19 (76.0)	0	25
50～60 歳未満	15 (44.1)	14 (41.2)	1 (2.9)	19 (55.9)	0	34
60 歳以上	12 (57.1)	12 (57.1)	4 (19.0)	9 (42.9)	0	21
計	33 (41.3)	31 (38.8)	7 (8.8)	47 (58.8)	0	80

対象：30歳以上

()：各行の計より不明を除いた数を分母とする％

2. 生活状況の現状

本節では、以下の表を示した。

表7-2-1.	居住地域	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-2.	住居の種類	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-3.	世帯人員数	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-4.	同居人続柄	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-5.	就業状況	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-6.	就業者の就業日数・就業時間	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-7.	就業者の仕事の種類	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-8.	障害者雇用の利用	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-9.	障害者向け就労支援サービスの利用	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-10.	健康意識	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-11.	こころの状態	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-12.	自覚症状の有無と最も気になる症状	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-13.	自覚症状の各項目	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-14.	血友病・HIV関連を除く入院・通院の有無と最も気になる傷病	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-15.	血友病・HIV関連を除く入院・通院の各傷病	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-16.	現在の生活の状況	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-17.	日常生活の悩みやストレスの有無と最も気になる悩みやストレスの原因	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-18.	悩みやストレスの原因の各項目	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-19.	最も気になる悩みやストレスの相談	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-20.	悩みやストレスの相談の各項目	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-21.	障害者手帳の取得状況	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-22.	身体障害者手帳の等級	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-23.	身体障害者手帳の種別	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-24.	障害者手帳を取得していない理由	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-25.	障害者総合支援法に基づく障害支援区分の認定状況	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-26.	障害者総合支援法に基づく障害支援区分の認定を受けた区分	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-27.	障害福祉サービスの利用状況	(令和2年度エイズ発症者調査)
表7-2-28.	介護保険法に基づく要介護（支援）認定状況	(令和2年度エイズ発症者調査)

表7-2-29.	介護保険法に基づく要介護（支援）の認定区分	（令和2年度エイズ発症者調査）
表7-2-30.	介護サービスの利用の有無と利用している介護サービス	（令和2年度エイズ発症者調査）
表7-2-31.	生活意識	（令和2年度エイズ発症者調査）
表7-2-32.	所得金額	（令和2年度エイズ発症者調査）
表7-2-33.	公的年金の受給状況	（令和2年度エイズ発症者調査）
表7-2-34.	自由記載欄の記入の有無	（令和2年度エイズ発症者調査）
表7-2-35.	身長、体重とBMI	（令和2年度エイズ発症者調査）
表7-2-36.	CD4値別、就業状況	（令和2年度エイズ発症者調査）
表7-2-37.	CD4値別、健康意識	（令和2年度エイズ発症者調査）
表7-2-38.	CD4値別、こころの状態	（令和2年度エイズ発症者調査）
表7-2-39.	世帯人員数別、住居の種類	（令和2年度エイズ発症者調査）
表7-2-40.	就業状況別、所得金額	（令和2年度エイズ発症者調査）

表7-2-1. 居住地域（令和2年度エイズ発症者調査）

現在の住まい・地域ブロック別 (問1)	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
北海道	1 (3.1)	2 (4.8)	1 (4.8)	4 (4.2)
東北	2 (6.3)	3 (7.1)	3 (14.3)	8 (8.4)
関東甲信越 (東京除く)	11 (34.4)	14 (33.3)	6 (28.6)	31 (32.6)
東京	7 (21.9)	7 (16.7)	6 (28.6)	20 (21.1)
東海	2 (6.3)	5 (11.9)	0 (0.0)	7 (7.4)
北陸	2 (6.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.1)
近畿	2 (6.3)	5 (11.9)	1 (4.8)	8 (8.4)
中国・四国	1 (3.1)	3 (7.1)	1 (4.8)	5 (5.3)
九州	4 (12.5)	3 (7.1)	3 (14.3)	10 (10.5)
不明	0 -	0 -	0 -	0 -
計	32	42	21	95

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-2-2. 住居の種類（令和2年度エイズ発症者調査）

現在の住まい・住居の種類 (問1)	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
持ち家	22 (71.0)	29 (69.0)	16 (76.2)	67 (71.3)
賃貸	8 (25.8)	12 (28.6)	4 (19.0)	24 (25.5)
社宅等	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
病院・診療所に入院中	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
社会福祉施設等に入所中	0 (0.0)	1 (2.4)	1 (4.8)	2 (2.1)
その他	1 (3.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.1)
不明	1 -	0 -	0 -	1 -
計	32	42	21	95

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-2-3. 世帯人員数（令和2年度エイズ発症者調査）

世帯人員数 (問2)	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
1 人	10 (31.3)	12 (30.0)	8 (40.0)	30 (32.6)
2 人	10 (31.3)	18 (45.0)	10 (50.0)	38 (41.3)
3 人	5 (15.6)	7 (17.5)	2 (10.0)	14 (15.2)
4 人	3 (9.4)	3 (7.5)	0 (0.0)	6 (6.5)
5 人	2 (6.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.2)
6 人	1 (3.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.1)
7 人	1 (3.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.1)
不明	0 -	2 -	1 -	3 -
計	32	42	21	95

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-2-4. 同居人続柄（令和2年度エイズ発症者調査）

同居人続柄 (問2-1)	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
配偶者	10 (31.3)	13 (32.5)	7 (35.0)	30 (32.6)
子供：未成年	4 (12.5)	1 (2.5)	0 (0.0)	5 (5.4)
子供：成人	1 (3.1)	3 (7.5)	3 (15.0)	7 (7.6)
父母	11 (34.4)	14 (35.0)	2 (10.0)	27 (29.3)
兄弟姉妹	5 (15.6)	3 (7.5)	1 (5.0)	9 (9.8)
その他	1 (3.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.1)
対象者数	32	40	20	92

() : 各列の対象者数を分母とする％
問2が不明の者以外が対象、複数回答

表7-2-5. 就業状況（令和2年度エイズ発症者調査）

過去1か月間の仕事の状況 (問3)	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
仕事あり	20 (62.5)	19 (45.2)	6 (30.0)	45 (47.9)
主に仕事をしている	19 [59.4]	18 [42.9]	5 [25.0]	42 [44.7]
主に家事で仕事あり	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [5.0]	1 [1.1]
主に通学で仕事あり	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]
仕事あり（上記以外）	1 [3.1]	1 [2.4]	0 [0.0]	2 [2.1]
仕事なし	12 (37.5)	23 (54.8)	14 (70.0)	49 (52.1)
家事（専業）	1 [3.1]	6 [14.3]	3 [15.0]	10 [10.6]
仕事なし・就職希望あり	2 [6.3]	4 [9.5]	1 [5.0]	7 [7.4]
仕事なし・就職希望なし	9 [28.1]	13 [31.0]	10 [50.0]	32 [34.0]
不明	0 —	0 —	1 —	1 —
計	32	42	21	95

() , [] : 各列の計より不明を除いた数を分母とする％

表7-2-6. 就業者の就業日数・就業時間（令和２年度エイズ発症者調査）

過去１週間に仕事をした日数、 １日あたりの時間数（問３-１）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
過去１週間に実際に仕事をした日数				
０日	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
１日	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
２日	0 (0.0)	1 (5.3)	0 (0.0)	1 (2.2)
３日	1 (5.0)	2 (10.5)	1 (16.7)	4 (8.9)
４日	1 (5.0)	1 (5.3)	1 (16.7)	3 (6.7)
５日	15 (75.0)	11 (57.9)	4 (66.7)	30 (66.7)
６日	2 (10.0)	4 (21.1)	0 (0.0)	6 (13.3)
７日	1 (5.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (2.2)
不明	0 —	0 —	0 —	0 —
過去１週間に勤務した１日あたりの概ねの時間数				
５時間未満	0 (0.0)	2 (10.5)	0 (0.0)	2 (4.4)
５～８時間未満	10 (50.0)	4 (21.1)	4 (66.7)	18 (40.0)
８～９時間未満	9 (45.0)	10 (52.6)	1 (16.7)	20 (44.4)
９時間以上	1 (5.0)	3 (15.8)	1 (16.7)	5 (11.1)
不明	0 —	0 —	0 —	0 —
計	20	19	6	45

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする％
問３で「仕事あり」の者が対象

表7-2-7. 就業者の仕事の種類（令和２年度エイズ発症者調査）

現在の主な仕事 （問３-２）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
勤め	15 (75.0)	14 (73.7)	5 (83.3)	34 (75.6)
自営	5 (25.0)	5 (26.3)	1 (16.7)	11 (24.4)
不明	0 —	0 —	0 —	0 —
計	20	19	6	45

勤め先での呼称 （問３-３）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
正規の職員・従業員	9 (64.3)	9 (64.3)	3 (60.0)	21 (63.6)
パート	2 (14.3)	2 (14.3)	1 (20.0)	5 (15.2)
アルバイト	0 (0.0)	2 (14.3)	0 (0.0)	2 (6.1)
労働者派遣事業所の派遣社員	1 (7.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.0)
契約社員	1 (7.1)	1 (7.1)	0 (0.0)	2 (6.1)
嘱託	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (20.0)	1 (3.0)
その他	1 (7.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.0)
不明	6 —	5 —	1 —	12 —
計	20	19	6	45

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする％
問３で「仕事あり」の者が対象

表7-2-8. 障害者雇用の利用（令和2年度エイズ発症者調査）

障害者雇用を知っているかとその利用 (問4)	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
障害者雇用について				
知っている	29 (90.6)	33 (86.8)	18 (94.7)	80 (89.9)
知らない	3 (9.4)	5 (13.2)	1 (5.3)	9 (10.1)
不明	0 -	4 -	2 -	6 -
障害者雇用の利用について				
障害者雇用として働いている	9 (29.0)	5 (13.2)	3 (17.6)	17 (19.8)
障害者雇用を検討している	6 (19.4)	5 (13.2)	0 (0.0)	11 (12.8)
障害者雇用を検討しなかった ・検討していない	16 (51.6)	28 (73.7)	14 (82.4)	58 (67.4)
不明	1 -	4 -	4 -	9 -
計	32	42	21	95

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-2-9. 障害者向け就労支援サービスの利用（令和2年度エイズ発症者調査）

障害者向け就労支援サービスを 知っているかとその利用（問5）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
障害者向け就労支援サービスについて				
知っている	23 (71.9)	33 (80.5)	14 (77.8)	70 (76.9)
知らない	9 (28.1)	8 (19.5)	4 (22.2)	21 (23.1)
不明	0 -	1 -	3 -	4 -
障害者向け就労支援サービスの利用について				
利用した・現在利用している	5 (16.7)	4 (10.0)	0 (0.0)	9 (10.2)
利用を検討している	6 (20.0)	5 (12.5)	0 (0.0)	11 (12.5)
受けるつもりはない・なかった	19 (63.3)	31 (77.5)	18 (100.0)	68 (77.3)
不明	2 -	2 -	3 -	7 -
計	32	42	21	95

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-2-10. 健康意識（令和2年度エイズ発症者調査）

現在の健康状態 (問6)	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
よい	4 (12.5)	1 (2.4)	0 (0.0)	5 (5.3)
まあよい	5 (15.6)	11 (26.2)	4 (19.0)	20 (21.1)
ふつう	12 (37.5)	16 (38.1)	5 (23.8)	33 (34.7)
あまりよくない	8 (25.0)	10 (23.8)	11 (52.4)	29 (30.5)
よくない	3 (9.4)	4 (9.5)	1 (4.8)	8 (8.4)
不明	0 -	0 -	0 -	0 -
計	32	42	21	95

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-2-11. こころの状態（令和2年度エイズ発症者調査）

こころの状態（K6の合計点数） （問7）	年齢			合計
	30～49歳	50～59歳	60歳以上	
0～4点	10 (31.3)	12 (30.0)	7 (36.8)	29 (31.9)
5～9点	9 (28.1)	15 (37.5)	5 (26.3)	29 (31.9)
10～14点	7 (21.9)	8 (20.0)	6 (31.6)	21 (23.1)
15点～	6 (18.8)	5 (12.5)	1 (5.3)	12 (13.2)
不明	0 —	2 —	2 —	4 —
計	32	42	21	95

（ ）：各列の計より不明を除いた数を分母とする％

表7-2-12. 自覚症状の有無と最も気になる症状（令和2年度エイズ発症者調査）

自覚症状 （問8、8-1）	年齢			合計
	30～49歳	50～59歳	60歳以上	
ある	23 (71.9)	26 (65.0)	16 (80.0)	65 (70.7)
最も気になる症状				
2 体がだるい	2 [6.3]	1 [2.5]	1 [5.0]	4 [4.3]
4 いろいろしやすい	1 [3.1]	2 [5.0]	0 [0.0]	3 [3.3]
5 ものを忘れる	0 [0.0]	1 [2.5]	0 [0.0]	1 [1.1]
6 頭痛	1 [3.1]	1 [2.5]	0 [0.0]	2 [2.2]
8 目のかすみ	0 [0.0]	1 [2.5]	0 [0.0]	1 [1.1]
9 物を見づらい	0 [0.0]	1 [2.5]	1 [5.0]	2 [2.2]
12 動悸	1 [3.1]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [1.1]
13 息切れ	0 [0.0]	1 [2.5]	1 [5.0]	2 [2.2]
14 前胸部に痛みがある	1 [3.1]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [1.1]
18 胃のもたれ・むねやけ	1 [3.1]	1 [2.5]	0 [0.0]	2 [2.2]
19 下痢	1 [3.1]	1 [2.5]	0 [0.0]	2 [2.2]
20 便秘	0 [0.0]	1 [2.5]	1 [5.0]	2 [2.2]
21 食欲不振	0 [0.0]	1 [2.5]	0 [0.0]	1 [1.1]
28 かゆみ（湿疹・水虫など）	0 [0.0]	1 [2.5]	1 [5.0]	2 [2.2]
29 肩こり	0 [0.0]	1 [2.5]	0 [0.0]	1 [1.1]
30 腰痛	1 [3.1]	1 [2.5]	2 [10.0]	4 [4.3]
31 手足の関節が痛む	7 [21.9]	5 [12.5]	3 [15.0]	15 [16.3]
32 手足の動きが悪い	0 [0.0]	2 [5.0]	0 [0.0]	2 [2.2]
33 手足のしびれ	0 [0.0]	1 [2.5]	2 [10.0]	3 [3.3]
34 手足が冷える	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [5.0]	1 [1.1]
35 足のむくみやだるさ	0 [0.0]	1 [2.5]	1 [5.0]	2 [2.2]
36 尿が出にくい・排尿時痛い	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [5.0]	1 [1.1]
37 頻尿（尿の出る回数が多い）	0 [0.0]	1 [2.5]	0 [0.0]	1 [1.1]
40 骨折・ねんざ・脱臼	1 [3.1]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [1.1]
42 その他	2 [6.3]	0 [0.0]	0 [0.0]	2 [2.2]
最も気になる症状不明	4 [12.5]	1 [2.5]	1 [5.0]	6 [6.5]
ない	9 (28.1)	14 (35.0)	4 (20.0)	27 (29.3)
不明	0 —	2 —	1 —	3 —
計	32	42	21	95

（ ）、[]：各列の計より不明を除いた数を分母とする％

表7-2-13. 自覚症状の各項目（令和2年度エイズ発症者調査）

自覚症状の各項目 ありの人数 (問8-1)	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
1 熱がある	1 (4.3)	2 (7.7)	0 (0.0)	3 (4.6)
2 体がだるい	10 (43.5)	12 (46.2)	6 (37.5)	28 (43.1)
3 眠れない	3 (13.0)	5 (19.2)	6 (37.5)	14 (21.5)
4 いらいらしやすい	4 (17.4)	7 (26.9)	1 (6.3)	12 (18.5)
5 ものを忘れする	2 (8.7)	6 (23.1)	3 (18.8)	11 (16.9)
6 頭痛	8 (34.8)	5 (19.2)	2 (12.5)	15 (23.1)
7 めまい	3 (13.0)	2 (7.7)	0 (0.0)	5 (7.7)
8 目のかすみ	5 (21.7)	10 (38.5)	3 (18.8)	18 (27.7)
9 物を見づらい	1 (4.3)	8 (30.8)	7 (43.8)	16 (24.6)
10 耳なりがする	1 (4.3)	7 (26.9)	3 (18.8)	11 (16.9)
11 きこえにくい	1 (4.3)	2 (7.7)	6 (37.5)	9 (13.8)
12 動悸	5 (21.7)	2 (7.7)	2 (12.5)	9 (13.8)
13 息切れ	4 (17.4)	4 (15.4)	3 (18.8)	11 (16.9)
14 前胸部に痛みがある	4 (17.4)	1 (3.8)	1 (6.3)	6 (9.2)
15 せきやたんが出る	2 (8.7)	2 (7.7)	3 (18.8)	7 (10.8)
16 鼻がつまる・鼻汁が出る	0 (0.0)	4 (15.4)	3 (18.8)	7 (10.8)
17 ゼイゼイする	1 (4.3)	2 (7.7)	0 (0.0)	3 (4.6)
18 胃のもたれ・むねやけ	1 (4.3)	5 (19.2)	5 (31.3)	11 (16.9)
19 下痢	7 (30.4)	5 (19.2)	4 (25.0)	16 (24.6)
20 便秘	1 (4.3)	8 (30.8)	6 (37.5)	15 (23.1)
21 食欲不振	1 (4.3)	3 (11.5)	2 (12.5)	6 (9.2)
22 腹痛・胃痛	4 (17.4)	4 (15.4)	3 (18.8)	11 (16.9)
23 痔による痛み・出血など	1 (4.3)	3 (11.5)	2 (12.5)	6 (9.2)
24 歯が痛い	2 (8.7)	2 (7.7)	0 (0.0)	4 (6.2)
25 歯ぐきのはれ・出血	3 (13.0)	6 (23.1)	4 (25.0)	13 (20.0)
26 かみにくい	0 (0.0)	3 (11.5)	4 (25.0)	7 (10.8)
27 発疹（じんま疹・できものなど）	2 (8.7)	2 (7.7)	1 (6.3)	5 (7.7)
28 かゆみ（湿疹・水虫など）	4 (17.4)	5 (19.2)	9 (56.3)	18 (27.7)
29 肩こり	6 (26.1)	8 (30.8)	9 (56.3)	23 (35.4)
30 腰痛	5 (21.7)	7 (26.9)	7 (43.8)	19 (29.2)
31 手足の関節が痛む	16 (69.6)	15 (57.7)	8 (50.0)	39 (60.0)
32 手足の動きが悪い	5 (21.7)	11 (42.3)	9 (56.3)	25 (38.5)
33 手足のしびれ	5 (21.7)	7 (26.9)	8 (50.0)	20 (30.8)
34 手足が冷える	0 (0.0)	3 (11.5)	3 (18.8)	6 (9.2)
35 足のむくみやだるさ	3 (13.0)	7 (26.9)	4 (25.0)	14 (21.5)
36 尿が出にくい・排尿時痛い	0 (0.0)	2 (7.7)	3 (18.8)	5 (7.7)
37 頻尿（尿の出る回数が多い）	2 (8.7)	5 (19.2)	6 (37.5)	13 (20.0)
38 尿失禁（尿がもれる）	0 (0.0)	1 (3.8)	2 (12.5)	3 (4.6)
39 月経不順・月経痛	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
40 骨折・ねんざ・脱きゅう	2 (8.7)	2 (7.7)	1 (6.3)	5 (7.7)
41 切り傷・やけどなどのけが	0 (0.0)	2 (7.7)	1 (6.3)	3 (4.6)
42 その他	2 (8.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (3.1)
対象者数	23	26	16	65

() : 各列の対象者数を分母とする％
問8で「自覚症状がある」者が対象

表7-2-14. 血友病・HIV関連を除く入院・通院の有無と最も気になる傷病
(令和2年度エイズ発症者調査)

血友病・HIV 関連を除く入院・通院の有無 (問9、9-1)	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
入院または通院している	19 (59.4)	27 (64.3)	17 (85.0)	63 (67.0)
最も気になる傷病				
1 糖尿病	1 [3.1]	0 [0.0]	1 [5.0]	2 [2.1]
3 脂質異常症（高コレステロール血症等）	1 [3.1]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [1.1]
5 うつ病やその他のこころの病気	1 [3.1]	0 [0.0]	1 [5.0]	2 [2.1]
9 眼の病気	0 [0.0]	1 [2.4]	1 [5.0]	2 [2.1]
10 耳の病気	1 [3.1]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [1.1]
11 高血圧症	0 [0.0]	2 [4.8]	0 [0.0]	2 [2.1]
12 脳卒中（脳出血、脳梗塞等）	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [5.0]	1 [1.1]
14 その他の循環器系の病気	0 [0.0]	0 [0.0]	2 [10.0]	2 [2.1]
19 その他の呼吸器系の病気	0 [0.0]	1 [2.4]	0 [0.0]	1 [1.1]
21 肝臓・胆のうの病気	1 [3.1]	1 [2.4]	2 [10.0]	4 [4.3]
22 その他の消化器系の病気	0 [0.0]	1 [2.4]	0 [0.0]	1 [1.1]
23 歯の病気	2 [6.3]	3 [7.1]	1 [5.0]	6 [6.4]
24 アトピー性皮膚炎	0 [0.0]	1 [2.4]	0 [0.0]	1 [1.1]
28 関節症	3 [9.4]	4 [9.5]	1 [5.0]	8 [8.5]
30 腰痛症	1 [3.1]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [1.1]
32 腎臓の病気	2 [6.3]	1 [2.4]	2 [10.0]	5 [5.3]
33 前立腺肥大症	0 [0.0]	1 [2.4]	0 [0.0]	1 [1.1]
34 閉経期又は閉経後障害（更年期障害等）	1 [3.1]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [1.1]
37 貧血・血液の病気	0 [0.0]	2 [4.8]	2 [10.0]	4 [4.3]
38 悪性新生物（がん）	0 [0.0]	1 [2.4]	0 [0.0]	1 [1.1]
41 その他	1 [3.1]	1 [2.4]	0 [0.0]	2 [2.1]
最も気になる傷病不明	4 [12.5]	7 [16.7]	3 [15.0]	14 [14.9]
入院も通院もしていない	13 (40.6)	15 (35.7)	3 (15.0)	31 (33.0)
不明	0 —	0 —	1 —	1 —
計	32	42	21	95

(), [] : 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-2-15. 血友病・HIV関連を除く入院・通院の各傷病（令和2年度エイズ発症者調査）

血友病・HIV 関連を除く入院・通院の各項目 ありの人数（問9-1）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
1 糖尿病	2 (10.5)	2 (7.4)	3 (17.6)	7 (11.1)
2 肥満症	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
3 脂質異常症（高コレステロール血症等）	3 (15.8)	5 (18.5)	3 (17.6)	11 (17.5)
4 甲状腺の病気	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.9)	1 (1.6)
5 うつ病やその他のこころの病気	3 (15.8)	2 (7.4)	2 (11.8)	7 (11.1)
6 認知症	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
7 パーキンソン病	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
8 その他の神経の病気（神経痛・麻痺等）	0 (0.0)	2 (7.4)	0 (0.0)	2 (3.2)
9 眼の病気	1 (5.3)	3 (11.1)	3 (17.6)	7 (11.1)
10 耳の病気	1 (5.3)	0 (0.0)	1 (5.9)	2 (3.2)
11 高血圧症	2 (10.5)	11 (40.7)	9 (52.9)	22 (34.9)
12 脳卒中（脳出血、脳梗塞等）	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.9)	1 (1.6)
13 狭心症・心筋梗塞	2 (10.5)	3 (11.1)	1 (5.9)	6 (9.5)
14 その他の循環器系の病気	1 (5.3)	2 (7.4)	3 (17.6)	6 (9.5)
15 急性鼻咽頭炎（かぜ）	0 (0.0)	1 (3.7)	0 (0.0)	1 (1.6)
16 アレルギー性鼻炎	1 (5.3)	1 (3.7)	1 (5.9)	3 (4.8)
17 慢性閉塞性肺疾患（COPD）	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
18 喘息	2 (10.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (3.2)
19 その他の呼吸器系の病気	0 (0.0)	1 (3.7)	0 (0.0)	1 (1.6)
20 胃・十二指腸の病気	0 (0.0)	1 (3.7)	0 (0.0)	1 (1.6)
21 肝臓・胆のうの病気	3 (15.8)	7 (25.9)	6 (35.3)	16 (25.4)
22 その他の消化器系の病気	0 (0.0)	1 (3.7)	3 (17.6)	4 (6.3)
23 歯の病気	4 (21.1)	11 (40.7)	2 (11.8)	17 (27.0)
24 アトピー性皮膚炎	0 (0.0)	2 (7.4)	0 (0.0)	2 (3.2)
25 その他の皮膚の病気	1 (5.3)	3 (11.1)	4 (23.5)	8 (12.7)
26 痛風	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.9)	1 (1.6)
27 関節リウマチ	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
28 関節症	6 (31.6)	9 (33.3)	3 (17.6)	18 (28.6)
29 肩こり症	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
30 腰痛症	1 (5.3)	1 (3.7)	2 (11.8)	4 (6.3)
31 骨粗しょう症	0 (0.0)	3 (11.1)	1 (5.9)	4 (6.3)
32 腎臓の病気	2 (10.5)	1 (3.7)	4 (23.5)	7 (11.1)
33 前立腺肥大症	0 (0.0)	2 (7.4)	1 (5.9)	3 (4.8)
34 閉経期又は閉経後障害（更年期障害等）	1 (5.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.6)
35 骨折	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.9)	1 (1.6)
36 骨折以外のけが・やけど	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
37 貧血・血液の病気	1 (5.3)	3 (11.1)	4 (23.5)	8 (12.7)
38 悪性新生物（がん）	0 (0.0)	1 (3.7)	0 (0.0)	1 (1.6)
39 妊娠・産褥（切迫流産、前置胎盤等）	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
40 不妊症	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
41 その他	2 (10.5)	2 (7.4)	1 (5.9)	5 (7.9)
42 不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
対象者数	19	27	17	63

（ ）：各列の対象者数を分母とする％
問9で「入院または通院している」者が対象

表7-2-16. 現在の生活の状況（令和2年度エイズ発症者調査）

現在の生活の状況 (問 10)	年齢			合計
	39～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
A. 障害等を有しない・または、何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており 独力で外出する	29 (93.5)	36 (85.7)	14 (66.7)	79 (84.0)
1. 交通機関等を利用して外出	25 [80.6]	33 [78.6]	14 [66.7]	72 [76.6]
2. 隣近所へなら外出	2 [6.5]	3 [7.1]	0 [0.0]	5 [5.3]
B. 屋内での生活はおおむね自立しているが、 介助なしには外出しない	2 (6.5)	0 (0.0)	5 (23.8)	7 (7.4)
3. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから 離れて生活	1 [3.2]	0 [0.0]	3 [14.3]	4 [4.3]
4. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの 生活をしている	1 [3.2]	0 [0.0]	2 [9.5]	3 [3.2]
C. 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッ ド上での生活が主体であるが、座位を保つ	0 (0.0)	4 (9.5)	2 (9.5)	6 (6.4)
5. 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから 離れて行う	0 [0.0]	1 [2.4]	1 [4.8]	2 [2.1]
6. 介助により車椅子に移乗する	0 [0.0]	2 [4.8]	1 [4.8]	3 [3.2]
D. 1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えに おいて介助を要する	0 (0.0)	2 (4.8)	0 (0.0)	2 (2.1)
7. 自力で寝返りを打つ	0 [0.0]	1 [2.4]	0 [0.0]	1 [1.1]
8. 自力では寝返りも打てない	0 [0.0]	1 [2.4]	0 [0.0]	1 [1.1]
不明	1 —	0 —	0 —	1 —
計	32	42	21	95

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-2-17. 日常生活の悩みやストレスの有無と最も気になる悩みやストレスの原因
(令和2年度エイズ発症者調査)

悩みやストレスの有無 (問 11、11-1)	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
ある	28 (87.5)	35 (83.3)	16 (80.0)	79 (84.0)
最も気になる悩みやストレスの原因				
1 家族との人間関係	3 [9.4]	3 [7.1]	0 [0.0]	6 [6.4]
2 家族以外との人間関係	1 [3.1]	1 [2.4]	0 [0.0]	2 [2.1]
3 恋愛・性に関すること	1 [3.1]	1 [2.4]	0 [0.0]	2 [2.1]
5 離婚	0 [0.0]	1 [2.4]	0 [0.0]	1 [1.1]
7 生きがいに関すること	1 [3.1]	3 [7.1]	2 [10.0]	6 [6.4]
8 自由にできる時間がないこと	0 [0.0]	2 [4.8]	0 [0.0]	2 [2.1]
9 収入・家計・借金等	6 [18.8]	4 [9.5]	0 [0.0]	10 [10.6]
10 自分の病気や介護	4 [12.5]	6 [14.3]	8 [40.0]	18 [19.1]
11 家族の病気や介護	1 [3.1]	2 [4.8]	1 [5.0]	4 [4.3]
16 子どもの教育	2 [6.3]	0 [0.0]	0 [0.0]	2 [2.1]
17 自分の仕事	3 [9.4]	3 [7.1]	0 [0.0]	6 [6.4]
19 住まいや生活環境 (公害、安全及び交通事情を含む)	1 [3.1]	1 [2.4]	0 [0.0]	2 [2.1]
20 その他	2 [6.3]	1 [2.4]	0 [0.0]	3 [3.2]
最も気になる悩みやストレスの原因 不明	3 [9.4]	7 [16.7]	5 [25.0]	15 [16.0]
ない	4 (12.5)	7 (16.7)	4 (20.0)	15 (16.0)
不明	0 —	0 —	1 —	1 —
計	32	42	21	95

(), [] : 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-2-18. 悩みやストレスの原因の各項目（令和2年度エイズ発症者調査）

悩みやストレスの原因の各項目 ありの人数（問 11-1）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
1 家族との人間関係	7 (25.0)	8 (22.9)	3 (18.8)	18 (22.8)
2 家族以外との人間関係	10 (35.7)	4 (11.4)	3 (18.8)	17 (21.5)
3 恋愛・性に関すること	7 (25.0)	5 (14.3)	0 (0.0)	12 (15.2)
4 結婚	2 (7.1)	3 (8.6)	0 (0.0)	5 (6.3)
5 離婚	1 (3.6)	1 (2.9)	0 (0.0)	2 (2.5)
6 いじめ、セクシュアル・ハラスメント	1 (3.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.3)
7 生きがいに関すること	5 (17.9)	13 (37.1)	5 (31.3)	23 (29.1)
8 自由にできる時間がないこと	2 (7.1)	5 (14.3)	0 (0.0)	7 (8.9)
9 収入・家計・借金等	13 (46.4)	12 (34.3)	1 (6.3)	26 (32.9)
10 自分の病気や介護	16 (57.1)	21 (60.0)	13 (81.3)	50 (63.3)
11 家族の病気や介護	6 (21.4)	9 (25.7)	5 (31.3)	20 (25.3)
12 妊娠・出産	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
13 育児	1 (3.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.3)
14 家事	1 (3.6)	2 (5.7)	3 (18.8)	6 (7.6)
15 自分の学業・受験・進学	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
16 子どもの教育	3 (10.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (3.8)
17 自分の仕事	10 (35.7)	9 (25.7)	1 (6.3)	20 (25.3)
18 家族の仕事	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
19 住まいや生活環境 （公害、安全及び交通事情を含む）	3 (10.7)	4 (11.4)	3 (18.8)	10 (12.7)
20 その他	2 (7.1)	3 (8.6)	1 (6.3)	6 (7.6)
21 わからない	0 (0.0)	2 (5.7)	0 (0.0)	2 (2.5)
対象者数	28	35	16	79

（ ）：各列の対象者数を分母とする％
問 11 で「悩みやストレスがある」者が対象

表7-2-19. 最も気になる悩みやストレスの相談（令和2年度エイズ発症者調査）

最も気になる悩みやストレスの相談 (問 11-2)	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
1 家族に相談している	8 (28.6)	6 (17.1)	2 (12.5)	16 (20.3)
2 友人・知人に相談している	4 (14.3)	3 (8.6)	0 (0.0)	7 (8.9)
3 職場の上司、学校の先生に相談している	1 (3.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.3)
4 公的な機関（保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等）の相談窓口（電話等での相談を含む）を利用している	1 (3.6)	1 (2.9)	0 (0.0)	2 (2.5)
5 患者団体の相談窓口（電話等での相談を含む）を利用している	2 (7.1)	3 (8.6)	1 (6.3)	6 (7.6)
6 患者団体以外の民間の相談機関（悩み相談所等）の相談窓口（電話等での相談を含む）を利用している	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
7 医療機関の医師に相談している	7 (25.0)	4 (11.4)	10 (62.5)	21 (26.6)
8 医療機関の看護師に相談している	3 (10.7)	5 (14.3)	4 (25.0)	12 (15.2)
9 医療機関の医療ソーシャルワーカーに相談している	4 (14.3)	4 (11.4)	1 (6.3)	9 (11.4)
10 医療機関の臨床心理士・カウンセラー等に相談している	2 (7.1)	3 (8.6)	0 (0.0)	5 (6.3)
11 テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
12 1～11以外で相談している（職場の相談窓口等）	1 (3.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.3)
13 相談したいが誰にも相談できないでいる	3 (10.7)	5 (14.3)	1 (6.3)	9 (11.4)
14 相談したいがどこで相談したら良いかわからない	1 (3.6)	3 (8.6)	0 (0.0)	4 (5.1)
15 相談する必要はないので誰にも相談していない	3 (10.7)	4 (11.4)	2 (12.5)	9 (11.4)
不明（未回答）	3 (10.7)	8 (22.9)	4 (25.0)	15 (19.0)
対象者数	28	35	16	79

(): 各列の対象者数を分母とする%

問 11 で「悩みやストレスがある」者が対象。2 つまで選択の複数回答

表7-2-20. 悩みやストレスの相談の各項目（令和2年度エイズ発症者調査）

悩みやストレスの相談の各項目 ありの人数（問 11-2）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
1 家族に相談している	8 (28.6)	7 (20.0)	8 (50.0)	23 (29.1)
2 友人・知人に相談している	8 (28.6)	9 (25.7)	7 (43.8)	24 (30.4)
3 職場の上司、学校の先生に相談している	2 (7.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.5)
4 公的な機関（保健所、福祉事務所、 精神保健福祉センター等）の相談窓口 （電話等での相談を含む）を利用している	2 (7.1)	2 (5.7)	0 (0.0)	4 (5.1)
5 患者団体の相談窓口 （電話等での相談を含む）を利用している	3 (10.7)	6 (17.1)	2 (12.5)	11 (13.9)
6 患者団体以外の民間の相談機関 （悩み相談所等）の相談窓口 （電話等での相談を含む）を利用している	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
7 医療機関の医師に相談している	8 (28.6)	7 (20.0)	12 (75.0)	27 (34.2)
8 医療機関の看護師に相談している	4 (14.3)	11 (31.4)	7 (43.8)	22 (27.8)
9 医療機関の医療ソーシャルワーカーに 相談している	7 (25.0)	5 (14.3)	4 (25.0)	16 (20.3)
10 医療機関の臨床心理士・カウンセラー等に 相談している	3 (10.7)	7 (20.0)	1 (6.3)	11 (13.9)
11 テレビ、ラジオ、新聞等の 相談コーナーを利用している	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
12 1～11 以外で相談している （職場の相談窓口等）	1 (3.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.3)
13 相談したいが誰にも相談できないでいる	2 (7.1)	8 (22.9)	1 (6.3)	11 (13.9)
14 相談したいが どこで相談したら良いかわからない	2 (7.1)	5 (14.3)	0 (0.0)	7 (8.9)
15 相談する必要はないので 誰にも相談していない	5 (17.9)	7 (20.0)	1 (6.3)	13 (16.5)
対象者数	28	35	16	79

() : 各列の対象者数を分母とする％
問 11 で「悩みやストレスがある」者が対象

表7-2-21. 障害者手帳の取得状況（令和2年度エイズ発症者調査）

障害者手帳の取得状況 （問 12）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
取得している	31 (96.9)	40 (95.2)	18 (90.0)	89 (94.7)
身体障害者手帳	31 [96.9]	40 [95.2]	18 [90.0]	89 [94.7]
療育手帳 （愛の手帳、愛護手帳、みどりの手帳）	1 [3.1]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [1.1]
精神障害者保健福祉手帳	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]
取得していない	1 (3.1)	2 (4.8)	2 (10.0)	5 (5.3)
不明	0 —	0 —	1 —	1 —
計	32	42	21	95

() , [] : 各列の計より不明を除いた数を分母とする％
障害者手帳の種類は複数回答

表7-2-22. 身体障害者手帳の等級（令和2年度エイズ発症者調査）

身体障害者手帳の等級 (問 12 補問)	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
1 級	15 (48.4)	16 (41.0)	9 (50.0)	40 (45.5)
2 級	13 (41.9)	17 (43.6)	6 (33.3)	36 (40.9)
3 級	1 (3.2)	5 (12.8)	1 (5.6)	7 (8.0)
4 級	0 (0.0)	1 (2.6)	1 (5.6)	2 (2.3)
5 級	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.6)	1 (1.1)
6 級	2 (6.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.3)
不明	0 —	1 —	0 —	1 —
計	31	40	18	89

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする％
問 12 で身体障害者手帳を取得していると回答した者が対象

表7-2-23. 身体障害者手帳の種別（令和2年度エイズ発症者調査）

身体障害者手帳の種別 (問 12 補問)	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
肢体不自由	8 (30.8)	22 (59.5)	13 (76.5)	43 (53.8)
免疫機能障害	25 (96.2)	27 (73.0)	11 (64.7)	63 (78.8)
その他	0 (0.0)	2 (5.4)	1 (5.9)	3 (3.8)
不明	5 —	3 —	1 —	9 —
対象者数	31	40	18	89

(): 各列の対象者数より不明を除いた数を分母とする％
問 12 で身体障害者手帳を取得していると回答した者が対象、複数回答

表7-2-24. 障害者手帳を取得していない理由（令和2年度エイズ発症者調査）

障害者手帳を取得していない理由 (問 12-1)	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
障害の種類や程度が手帳の基準に合致しない	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
手帳の制度や取得の手続きがわからない	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
とくに手帳がなくても困らない	0 (0.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	2 (40.0)
手帳を持ちたくない	0 (0.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	2 (40.0)
その他	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (20.0)
不明	0 —	0 —	0 —	0 —
対象者数	1	2	2	5

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする％
問 12 で「取得していない」と回答した者が対象、複数回答

表7-2-25. 障害者総合支援法に基づく障害支援区分の認定状況（令和2年度エイズ発症者調査）

障害者総合支援法に基づく障害支援区分の 認定状況（問 13）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
認定を受けている	3 (9.4)	8 (19.5)	2 (10.5)	13 (14.1)
認定調査は受けたが、非該当だった	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
認定は受けていない	14 (43.8)	16 (39.0)	12 (63.2)	42 (45.7)
わからない	15 (46.9)	17 (41.5)	5 (26.3)	37 (40.2)
不明（未回答）	0 —	1 —	2 —	3 —
計	32	42	21	95

() : 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-2-26. 障害者総合支援法に基づく障害支援区分の認定を受けた区分
（令和2年度エイズ発症者調査）

障害者総合支援法に基づく障害支援区分の 認定を受けた区分（問 13 補問）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
区分 1	1 (33.3)	4 (50.0)	0 (0.0)	5 (38.5)
区分 2	1 (33.3)	1 (12.5)	1 (50.0)	3 (23.1)
区分 3	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	1 (7.7)
区分 4	1 (33.3)	2 (25.0)	0 (0.0)	3 (23.1)
区分 5	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
区分 6	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
不明	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	1 (7.7)
計	3	8	2	13

() : 各列の計を分母とする%

問 13 で障害者支援区分の認定を受けていると回答した者が対象

表7-2-27. 障害福祉サービスの利用状況（令和2年度エイズ発症者調査）

障害福祉サービスの利用 （問 14）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
利用している	2 (6.3)	8 (19.5)	5 (25.0)	15 (16.1)
利用しているサービスの種類				
訪問系サービス （居宅介護、重度訪問介護、 行動援護、重度障害者等包括支援）	1 [3.1]	5 [12.2]	4 [20.0]	10 [10.8]
就労支援系サービス	1 [3.1]	1 [2.4]	0 [0.0]	2 [2.2]
訓練系サービス	0 [0.0]	1 [2.4]	0 [0.0]	1 [1.1]
その他日中活動サービス	2 [6.3]	0 [0.0]	0 [0.0]	2 [2.2]
障害者のグループホーム・ケアホーム	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]
入所施設	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [5.0]	1 [1.1]
指定相談支援	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]
その他	0 [0.0]	2 [4.9]	0 [0.0]	2 [2.2]
わからない	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]
利用していない	30 (93.8)	33 (80.5)	15 (75.0)	78 (83.9)
不明（未回答）	0 —	1 —	1 —	2 —
計	32	42	21	95

()、[] : 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

利用しているサービスの種類は複数回答

表7-2-28. 介護保険法に基づく要介護（支援）認定状況（令和2年度エイズ発症者調査）

介護保険法に基づく要介護（支援）認定状況 （問 15）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
認定を受けている	1 (3.1)	4 (9.5)	4 (20.0)	9 (9.6)
認定調査は受けたが、非該当だった	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
認定は受けていない	26 (81.3)	34 (81.0)	13 (65.0)	73 (77.7)
わからない	5 (15.6)	4 (9.5)	3 (15.0)	12 (12.8)
不明（未回答）	0 —	0 —	1 —	1 —
計	32	42	21	95

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-2-29. 介護保険法に基づく要介護（支援）の認定区分（令和2年度エイズ発症者調査）

介護保険法に基づく要介護（支援）の 認定を受けた区分（問 15 補問）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
要支援 1	0 (0.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	1 (11.1)
要支援 2	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	1 (11.1)
要介護 1	1 (100.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	3 (33.3)
要介護 2	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (25.0)	1 (11.1)
要介護 3	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
要介護 4	0 (0.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	2 (22.2)
要介護 5	0 (0.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	1 (11.1)
わからない	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
不明（未回答）	0 —	0 —	0 —	0 —
計	1	4	4	9

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

問 15 で要介護（支援）認定を受けていると回答した者が対象

表7-2-30. 介護サービスの利用の有無と利用している介護サービス
（令和2年度エイズ発症者調査）

介護サービスの利用の有無と 利用しているサービス（問 16、16-1）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
利用している	2 (6.3)	7 (17.1)	5 (23.8)	14 (14.9)
利用している介護サービス				
訪問系サービス ^{*1}	2 (6.3)	6 (14.6)	3 (14.3)	11 (11.7)
通所系サービス ^{*2}	0 (0.0)	1 (2.4)	1 (4.8)	2 (2.1)
短期入所サービス（ショートステイ）	0 (0.0)	2 (4.9)	0 (0.0)	2 (2.1)
認知症グループホーム	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.8)	1 (1.1)
有料老人ホーム、 サービス付き高齢者向け住宅	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
施設入所（特別養護老人ホーム、 介護老人保健施設）	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
わからない	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
利用していない	30 (93.8)	34 (82.9)	16 (76.2)	80 (85.1)
不明（未回答）	0 —	1 —	0 —	1 —
計	32	42	21	95

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

*1：訪問看護（ホームヘルプ）、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション等
（各種介護予防サービスや介護予防・日常生活支援総合事業による訪問系サービスを含む）

*2：通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション等
（各種介護予防サービスや介護予防・日常生活支援総合事業による通所系サービスを含む）

表7-2-31. 生活意識（令和2年度エイズ発症者調査）

現在の暮らしの状況 (問 17)	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
苦しい	15 (46.9)	21 (51.2)	6 (30.0)	42 (45.2)
大変苦しい	3 [9.4]	6 [14.6]	1 [5.0]	10 [10.8]
やや苦しい	12 [37.5]	15 [36.6]	5 [25.0]	32 [34.4]
普通	12 (37.5)	17 (41.5)	12 (60.0)	41 (44.1)
ゆとりがある	5 (15.6)	3 (7.3)	2 (10.0)	10 (10.8)
ややゆとりがある	3 [9.4]	2 [4.9]	1 [5.0]	6 [6.5]
大変ゆとりがある	2 [6.3]	1 [2.4]	1 [5.0]	4 [4.3]
不明	0 —	1 —	1 —	2 —
計	32	42	21	95

(), [] : 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-2-32. 所得金額（令和2年度エイズ発症者調査）

昨年のおおよその年間所得総額 (問 18)	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
200万円未満	10 (35.7)	10 (25.6)	5 (25.0)	25 (28.7)
200～400万円未満	9 (32.1)	22 (56.4)	11 (55.0)	42 (48.3)
400～600万円未満	7 (25.0)	2 (5.1)	2 (10.0)	11 (12.6)
600～800万円未満	1 (3.6)	2 (5.1)	1 (5.0)	4 (4.6)
800～1000万円未満	1 (3.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.1)
1000万円以上	0 (0.0)	3 (7.7)	1 (5.0)	4 (4.6)
わからない	2 —	2 —	0 —	4 —
不明（未回答）	2 —	1 —	1 —	4 —
計	32	42	21	95

() : 各列の計より不明と「わからない」を除いた数を分母とする%

表7-2-33. 公的年金の受給状況（令和2年度エイズ発症者調査）

公的年金の受給状況 (問 18-1)	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
障害基礎年金1級 または障害厚生年金1級を受給	6 (20.0)	12 (32.4)	4 (20.0)	22 (25.3)
障害基礎年金2級 または障害厚生年金2級を受給	18 (60.0)	13 (35.1)	4 (20.0)	35 (40.2)
障害厚生年金3級を受給	0 (0.0)	2 (5.4)	1 (5.0)	3 (3.4)
その他の公的年金 (国民年金、厚生年金)を受給	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (40.0)	8 (9.2)
公的年金は受給していない	6 (20.0)	10 (27.0)	3 (15.0)	19 (21.8)
わからない	1 —	3 —	1 —	5 —
不明（未回答）	1 —	2 —	0 —	3 —
計	32	42	21	95

() : 各列の計より不明と「わからない」を除いた数を分母とする%

表7-2-34. 自由記載欄の記入の有無（令和2年度エイズ発症者調査）

自由記載欄の記入の有無（問 19）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
記載あり	17 (53.1)	17 (40.5)	16 (76.2)	50 (52.6)
健康、医療、福祉に関すること	14 [43.8]	14 [33.3]	12 [57.1]	40 [42.1]
日常生活、仕事、収入に関すること	13 [40.6]	16 [38.1]	7 [33.3]	36 [37.9]
その他のこと	6 [18.8]	13 [31.0]	6 [28.6]	25 [26.3]
記載なし	15 (46.9)	22 (52.4)	8 (38.1)	45 (47.4)
計	32	42	21	95

（ ）、[]：各列の計より不明を除いた数を分母とする％

表7-2-35. 身長、体重とBMI（令和2年度エイズ発症者調査）

身長（cm）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
150 未満	0 (0.0)	1 (2.4)	1 (4.8)	2 (2.1)
150～160 未満	2 (6.3)	2 (4.8)	9 (42.9)	13 (13.7)
160～170 未満	15 (46.9)	21 (50.0)	9 (42.9)	45 (47.4)
170～180 未満	13 (40.6)	15 (35.7)	2 (9.5)	30 (31.6)
180 以上	2 (6.3)	1 (2.4)	0 (0.0)	3 (3.2)
不明	0 (0.0)	2 (4.8)	0 (0.0)	2 (2.1)
合計	32	42	21	95

体重（kg）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
40 未満	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.8)	1 (1.1)
40～50 未満	4 (12.5)	6 (14.3)	6 (28.6)	16 (16.8)
50～60 未満	6 (18.8)	13 (31.0)	11 (52.4)	30 (31.6)
60～70 未満	17 (53.1)	15 (35.7)	2 (9.5)	34 (35.8)
70～80 未満	3 (9.4)	4 (9.5)	1 (4.8)	8 (8.4)
80 以上	2 (6.3)	3 (7.1)	0 (0.0)	5 (5.3)
不明	0 (0.0)	1 (2.4)	0 (0.0)	1 (1.1)
合計	32	42	21	95

BMI（kg/m ² ）	年齢			合計
	30～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	
16.0 未満	0 (0.0)	4 (9.5)	1 (4.8)	5 (5.3)
16.0～18.5 未満	4 (12.5)	7 (16.7)	4 (19.0)	15 (15.8)
18.5～25.0 未満	25 (78.1)	20 (47.6)	15 (71.4)	60 (63.2)
25.0～30.0 未満	1 (3.1)	9 (21.4)	1 (4.8)	11 (11.6)
30.0～35.0 未満	2 (6.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.1)
35.0 以上	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
不明	0 (0.0)	2 (4.8)	0 (0.0)	2 (2.1)
合計	32	42	21	95

（ ）：各列の計より不明を除いた数を分母とする％

表7-2-36. CD4値別、就業状況（令和2年度エイズ発症者調査）

過去1か月間の仕事の状況 (問3)	CD4 値					合計
	～200未満	200～350未満	350～500未満	500以上	不明	
仕事あり	0 (0.0)	10 (62.5)	10 (41.7)	17 (56.7)	8 (44.4)	45 (47.9)
主に仕事をしている	0 [0.0]	10 [62.5]	10 [41.7]	15 [50.0]	7 [38.9]	42 [44.7]
主に家事で仕事あり	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [3.3]	0 [0.0]	1 [1.1]
主に通学で仕事あり	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]
仕事あり（上記以外）	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [3.3]	1 [5.6]	2 [2.1]
仕事なし	6 (100.0)	6 (37.5)	14 (58.3)	13 (43.3)	10 (55.6)	49 (52.1)
家事（専業）	1 [16.7]	2 [12.5]	2 [8.3]	3 [10.0]	2 [11.1]	10 [10.6]
就職希望あり	0 [0.0]	1 [6.3]	3 [12.5]	3 [10.0]	0 [0.0]	7 [7.4]
就職希望なし	5 [83.3]	3 [18.8]	9 [37.5]	7 [23.3]	8 [44.4]	32 [34.0]
不明	0 —	0 —	1 —	0 —	0 —	1 —
計	6	16	25	30	18	95

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-2-37. CD4値別、健康意識（令和2年度エイズ発症者調査）

現在の健康状態 (問6)	CD4 値					合計
	～200未満	200～350未満	350～500未満	500以上	不明	
よい	0 (0.0)	2 (12.5)	2 (8.0)	0 (0.0)	1 (5.6)	5 (5.3)
まあよい	1 (16.7)	3 (18.8)	4 (16.0)	9 (30.0)	3 (16.7)	20 (21.1)
ふつう	3 (50.0)	4 (25.0)	8 (32.0)	10 (33.3)	8 (44.4)	33 (34.7)
あまりよくない	1 (16.7)	7 (43.8)	9 (36.0)	7 (23.3)	5 (27.8)	29 (30.5)
よくない	1 (16.7)	0 (0.0)	2 (8.0)	4 (13.3)	1 (5.6)	8 (8.4)
不明	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
計	6	16	25	30	18	95

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-2-38. CD4値別、こころの状態（令和2年度エイズ発症者調査）

こころの状態（K6の合計点数） (問7)	CD4 値					合計
	～200未満	200～350未満	350～500未満	500以上	不明	
0～4点	2 (33.3)	6 (40.0)	7 (28.0)	9 (31.0)	5 (29.4)	29 (31.5)
5～9点	1 (16.7)	3 (20.0)	10 (40.0)	7 (24.1)	8 (47.1)	29 (31.5)
10～14点	2 (33.3)	2 (13.3)	6 (24.0)	7 (24.1)	4 (23.5)	21 (22.8)
15点～	0 (0.0)	4 (26.7)	2 (8.0)	6 (20.7)	0 (0.0)	12 (13.0)
不明	0 —	1 —	0 —	1 —	1 —	3 —
計	6	16	25	30	18	95

(): 各列の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-2-39. 世帯人員数別、住居の種類（令和2年度エイズ発症者調査）

現在の住まい・住居の種類 （問1）	世帯人員数（問2）					合計
	1人	2人	3人	4人以上	不明	
持ち家	12 (40.0)	30 (81.1)	13 (92.9)	10 (100.0)	2 (66.7)	67 (71.3)
賃貸	16 (53.3)	7 (18.9)	1 (7.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	24 (25.5)
社宅等	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
病院・診療所に入院中	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
社会福祉施設等に入所中	1 (3.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (33.3)	2 (2.1)
その他	1 (3.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.1)
不明	0 —	1 —	0 —	0 —	0 —	1 —
計	30	38	14	10	3	95

（ ）：各列の計より不明を除いた数を分母とする％

表7-2-40. 就業状況別、所得金額（令和2年度エイズ発症者調査）

昨年のおおよその 年間所得総額 (問18)	過去1か月間の仕事の状況(問3)						合計
	仕事あり	仕事なし	仕事なしの内訳			不明	
			家事(専業)	就職希望あり	就職希望なし		
200万円未満	8 (19.0)	16 (36.4)	3 (30.0)	4 (66.7)	9 (39.1)	1 -	25 (28.7)
200~400万円未満	16 (38.1)	26 (59.1)	7 (70.0)	2 (33.3)	17 (73.9)	0 -	42 (48.3)
400~600万円未満	10 (23.8)	1 (2.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.3)	0 -	11 (12.6)
600~800万円未満	3 (7.1)	1 (2.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.3)	0 -	4 (4.6)
800~1000万円未満	1 (2.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 -	1 (1.1)
1000万円以上	4 (9.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 -	4 (4.6)
わからない	0 -	4 -	0 -	1 -	3 -	0 -	4 -
不明(未回答)	3 -	1 -	0 -	0 -	1 -	0 -	4 -
計	45	49	10	7	27	1	95

（ ）：各列の計より不明と「わからない」を除いた数を分母とする％

]

3. 健康状態の推移

本節では、以下の表を示した。

表7-3-1. CD4値の推移 (平成27～令和2年度エイズ発症者調査)

表7-3-2. HIV-RNA量の推移 (平成27～令和2年度エイズ発症者調査)

表7-3-3. 抗HIV薬の併用区分の推移 (平成27～令和2年度エイズ発症者調査)

表7-3-4. 抗HIV薬の副作用の推移 (平成27～令和2年度エイズ発症者調査)

表7-3-5. 肝炎の状況の推移 (平成27～令和2年度エイズ発症者調査)

表7-3-1. CD4値の推移（平成27～令和2年度エイズ発症者調査）

		CD4 値						中央値
		～200 未満	200～ 350 未満	350～ 500 未満	500 以上	不明	計	
平成27年度	第1期	8 (10.8)	16 (21.6)	20 (27.0)	30 (40.5)	7	81	419.7
	第2期	6 (10.8)	16 (23.9)	18 (26.9)	27 (40.3)	14	81	449.0
	第3期	6 (10.8)	11 (15.9)	23 (33.3)	29 (42.0)	3	72	434.0
	第4期	9 (10.8)	10 (14.3)	20 (28.6)	31 (44.3)	2	72	468.0
平成28年度	第1期	8 (10.8)	9 (13.4)	24 (35.8)	26 (38.8)	5	72	436.0
	第2期	3 (10.8)	13 (24.5)	8 (15.1)	29 (54.7)	19	72	527.0
	第3期	6 (9.0)	8 (11.9)	18 (26.9)	35 (52.2)	4	71	521.0
	第4期	7 (10.8)	10 (15.4)	17 (26.2)	31 (47.7)	6	71	491.0
平成29年度	第1期	8 (12.3)	9 (13.8)	16 (24.6)	32 (49.2)	6	71	492.0
	第2期	7 (13.0)	10 (18.5)	14 (25.9)	23 (42.6)	17	71	452.7
	第3期	7 (9.3)	17 (22.7)	21 (28.0)	30 (40.0)	4	79	457.0
	第4期	12 (16.0)	14 (18.7)	23 (30.7)	26 (34.7)	4	79	437.0
平成30年度	第1期	6 (8.3)	15 (20.8)	24 (33.3)	27 (37.5)	7	79	445.0
	第2期	5 (8.9)	15 (26.8)	13 (23.2)	23 (41.1)	23	79	425.5
	第3期	5 (7.1)	13 (18.6)	25 (35.7)	27 (38.6)	7	77	426.5
	第4期	6 (8.2)	19 (26.0)	23 (31.5)	25 (34.2)	4	77	414.0
令和元年度	第1期	6 (8.3)	22 (30.6)	20 (27.8)	24 (33.3)	5	77	397.5
	第2期	10 (17.2)	15 (25.9)	18 (31.0)	15 (25.9)	19	77	403.5
	第3期	7 (9.5)	20 (27.0)	21 (28.4)	26 (35.1)	6	80	407.5
	第4期	6 (7.9)	20 (26.3)	20 (26.3)	30 (39.5)	4	80	447.0
令和2年度	第1期	7 (10.1)	17 (24.6)	17 (24.6)	28 (40.6)	11	80	436.0
	第2期	6 (9.4)	13 (20.3)	23 (35.9)	22 (34.4)	16	80	430.5

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-3-2. HIV-RNA量の推移（平成27～令和2年度エイズ発症者調査）

		HIV-RNA 量							計	中央値
		検出せず	50 未満	50～ 400 未満	400～ 1000 未満	1000～ 10000 未満	10000 以上	不明		
平成27年度	第1期	44 (58.7)	29 (38.7)	1 (1.3)	0 (0.0)	1 (1.3)	0 (0.0)	6	81	検出せず
	第2期	32 (50.0)	30 (46.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (3.1)	17	81	検出せず
	第3期	40 (58.0)	28 (40.6)	1 (1.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3	72	検出せず
	第4期	39 (55.7)	28 (40.0)	2 (2.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.4)	2	72	検出せず
平成28年度	第1期	42 (60.9)	24 (34.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.4)	2 (2.9)	3	72	検出せず
	第2期	31 (54.4)	26 (45.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	15	72	検出せず
	第3期	37 (56.9)	22 (33.8)	3 (4.6)	0 (0.0)	1 (1.5)	2 (3.1)	6	71	検出せず
	第4期	40 (60.6)	24 (36.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.5)	1 (1.5)	5	71	検出せず
平成29年度	第1期	41 (62.1)	24 (36.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.5)	5	71	検出せず
	第2期	31 (58.5)	20 (37.7)	1 (1.9)	0 (0.0)	1 (1.9)	0 (0.0)	18	71	検出せず
	第3期	52 (69.3)	19 (25.3)	3 (4.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.3)	4	79	検出せず
	第4期	52 (70.3)	16 (21.6)	3 (4.1)	0 (0.0)	1 (1.4)	2 (2.7)	5	79	検出せず
平成30年度	第1期	50 (70.4)	17 (23.9)	0 (0.0)	2 (2.8)	0 (0.0)	2 (2.8)	8	79	検出せず
	第2期	40 (69.0)	14 (24.1)	1 (1.7)	1 (1.7)	1 (1.7)	1 (1.7)	21	79	検出せず
	第3期	48 (68.6)	20 (28.6)	1 (1.4)	0 (0.0)	1 (1.4)	0 (0.0)	7	77	検出せず
	第4期	48 (65.8)	23 (31.5)	0 (0.0)	1 (1.4)	1 (1.4)	0 (0.0)	4	77	検出せず
令和元年度	第1期	52 (71.2)	18 (24.7)	1 (1.4)	1 (1.4)	0 (0.0)	1 (1.4)	4	77	検出せず
	第2期	38 (67.9)	17 (30.4)	1 (1.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	21	77	検出せず
	第3期	53 (72.6)	17 (23.3)	2 (2.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.4)	7	80	検出せず
	第4期	50 (65.8)	23 (30.3)	2 (2.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.3)	4	80	検出せず
令和2年度	第1期	52 (74.3)	17 (24.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.4)	10	80	検出せず
	第2期	48 (73.8)	16 (24.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.5)	15	80	検出せず

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

表7-3-3. 抗HIV薬の併用区分の推移（平成27～令和2年度エイズ発症者調査）

		抗HIV薬の併用区分							計
		投与なし	NRTI 2 剤 + PI 1・2 剤	NRTI 2 剤 + NNRTI	NRTI 2 剤 + INSTI	その他 (INSTI 含む)	その他 (INSTI 含まず)	不明	
平成27年度	第1期	1 (1.3)	15 (18.8)	7 (8.8)	19 (23.8)	17 (21.3)	22 (27.5)	1	81
	第2期	0 (0.0)	10 (13.5)	5 (6.8)	20 (27.0)	16 (21.6)	25 (33.8)	7	81
	第3期	1 (1.4)	8 (11.3)	6 (8.5)	29 (40.8)	26 (36.6)	2 (2.8)	1	72
	第4期	0 (0.0)	8 (11.1)	5 (6.9)	31 (43.1)	26 (36.1)	2 (2.8)	0	72
平成28年度	第1期	1 (1.4)	8 (11.4)	5 (7.1)	30 (42.9)	25 (35.7)	1 (1.4)	2	72
	第2期	1 (1.4)	7 (10.4)	5 (7.5)	28 (41.8)	24 (35.8)	2 (3.0)	5	72
	第3期	0 (0.0)	8 (11.4)	3 (4.3)	31 (44.3)	26 (37.1)	2 (2.9)	1	71
	第4期	1 (1.4)	5 (7.1)	3 (4.3)	31 (44.3)	28 (40.0)	2 (2.9)	1	71
平成29年度	第1期	1 (1.5)	5 (7.4)	3 (4.4)	29 (42.6)	28 (41.2)	2 (2.9)	3	71
	第2期	2 (2.9)	4 (5.9)	2 (2.9)	31 (45.6)	28 (41.2)	1 (1.5)	3	71
	第3期	1 (1.3)	4 (5.1)	4 (5.1)	39 (50.0)	28 (35.9)	2 (2.6)	1	79
	第4期	2 (2.6)	3 (3.9)	4 (5.2)	38 (49.4)	28 (36.4)	2 (2.6)	2	79
平成30年度	第1期	1 (1.3)	3 (3.8)	4 (5.1)	39 (50.0)	29 (37.2)	2 (2.6)	1	79
	第2期	2 (2.7)	3 (4.1)	4 (5.5)	37 (50.7)	25 (34.2)	2 (2.7)	6	79
	第3期	1 (1.3)	3 (3.9)	6 (7.8)	40 (51.9)	25 (32.5)	2 (2.6)	0	77
	第4期	1 (1.3)	3 (3.9)	6 (7.8)	39 (50.6)	26 (33.8)	2 (2.6)	0	77
令和元年度	第1期	1 (1.3)	4 (5.2)	6 (7.8)	38 (49.4)	26 (33.8)	2 (2.6)	0	77
	第2期	3 (4.0)	3 (4.0)	6 (8.0)	34 (45.3)	27 (36.0)	2 (2.7)	2	77
	第3期	0 (0.0)	3 (3.8)	5 (6.3)	41 (51.3)	29 (36.3)	2 (2.5)	0	80
	第4期	0 (0.0)	3 (3.8)	5 (6.3)	42 (52.5)	28 (35.0)	2 (2.5)	0	80
令和2年度	第1期	0 (0.0)	4 (5.0)	5 (6.3)	42 (52.5)	26 (32.5)	3 (3.8)	0	80
	第2期	0 (0.0)	4 (5.1)	5 (6.4)	41 (52.6)	25 (32.1)	3 (3.8)	2	80

(): 各行の計よりエイズ発症・死亡と不明を除いた数を分母とする%

表7-3-4. 抗HIV薬の副作用の推移（平成27～令和2年度エイズ発症者調査）

	副作用			抗HIV薬 投与あり	副作用（項目別）			
	あり	なし	不明		嘔気	下痢	口内炎	貧血
平成27年度 第1期	17 (21.3)	57 (71.3)	6 (7.5)	80	2 (2.5)	3 (3.8)	2 (2.5)	2 (2.5)
第2期	15 (19.7)	54 (71.1)	7 (9.2)	76	2 (2.6)	2 (2.6)	2 (2.6)	1 (1.3)
第3期	12 (16.9)	54 (76.1)	5 (7.0)	71	4 (5.6)	2 (2.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
第4期	13 (18.1)	54 (75.0)	5 (6.9)	72	4 (5.6)	2 (2.8)	0 (0.0)	1 (1.4)
平成28年度 第1期	12 (17.4)	53 (76.8)	4 (5.8)	69	4 (5.8)	2 (2.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
第2期	12 (18.2)	49 (74.2)	5 (7.6)	66	4 (6.1)	2 (3.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
第3期	10 (14.3)	57 (81.4)	3 (4.3)	70	3 (4.3)	1 (1.4)	1 (1.4)	0 (0.0)
第4期	9 (13.0)	57 (82.6)	3 (4.3)	69	3 (4.3)	1 (1.4)	0 (0.0)	0 (0.0)
平成29年度 第1期	9 (13.4)	55 (82.1)	3 (4.5)	67	3 (4.5)	1 (1.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
第2期	8 (12.1)	55 (83.3)	3 (4.5)	66	3 (4.5)	1 (1.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
第3期	9 (11.7)	66 (85.7)	2 (2.6)	77	2 (2.6)	1 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
第4期	7 (9.3)	66 (88.0)	2 (2.7)	75	2 (2.7)	1 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
平成30年度 第1期	7 (9.1)	67 (87.0)	3 (3.9)	77	2 (2.6)	1 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
第2期	6 (8.5)	62 (87.3)	3 (4.2)	71	2 (2.8)	1 (1.4)	0 (0.0)	0 (0.0)
第3期	11 (14.5)	64 (84.2)	1 (1.3)	76	3 (3.9)	1 (1.3)	1 (1.3)	0 (0.0)
第4期	12 (15.8)	63 (82.9)	1 (1.3)	76	3 (3.9)	1 (1.3)	1 (1.3)	0 (0.0)
令和元年度 第1期	11 (14.5)	64 (84.2)	1 (1.3)	76	3 (3.9)	1 (1.3)	1 (1.3)	0 (0.0)
第2期	12 (16.7)	57 (79.2)	3 (4.2)	72	3 (4.2)	1 (1.4)	1 (1.4)	1 (1.4)
第3期	9 (11.3)	71 (88.8)	0 (0.0)	80	2 (2.5)	1 (1.3)	0 (0.0)	1 (1.3)
第4期	8 (10.0)	72 (90.0)	0 (0.0)	80	2 (2.5)	1 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
令和2年度 第1期	8 (10.0)	72 (90.0)	0 (0.0)	80	2 (2.5)	1 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
第2期	8 (10.3)	70 (89.7)	0 (0.0)	78	2 (2.6)	1 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)

(): 抗HIV薬投与ありにしめる%

表7-3-4 (続き). 抗HIV薬の副作用の推移 (平成27～令和2年度エイズ発症者調査)

	副作用 (項目別)							
	血尿	しびれ	皮疹	頭痛	中枢神経症状	リボスτροφイー	黄疸	その他
平成27年度 第1期	1 (1.3)	3 (3.8)	4 (5.0)	4 (5.0)	5 (6.3)	11 (13.8)	0 (0.0)	1 (1.3)
第2期	1 (1.3)	2 (2.6)	2 (2.6)	3 (3.9)	4 (5.3)	8 (10.5)	0 (0.0)	1 (1.3)
第3期	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.4)	0 (0.0)	6 (8.5)	0 (0.0)	1 (1.4)
第4期	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.4)	0 (0.0)	6 (8.3)	0 (0.0)	1 (1.4)
平成28年度 第1期	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.4)	1 (1.4)	6 (8.7)	0 (0.0)	1 (1.4)
第2期	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.5)	0 (0.0)	6 (9.1)	0 (0.0)	1 (1.5)
第3期	1 (1.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.4)	2 (2.9)	5 (7.1)	0 (0.0)	1 (1.4)
第4期	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.4)	2 (2.9)	5 (7.2)	0 (0.0)	1 (1.4)
平成29年度 第1期	1 (1.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (3.0)	2 (3.0)	4 (6.0)	0 (0.0)	1 (1.5)
第2期	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.5)	2 (3.0)	4 (6.1)	0 (0.0)	1 (1.5)
第3期	1 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.3)	2 (2.6)	4 (5.2)	0 (0.0)	2 (2.6)
第4期	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.3)	1 (1.3)	4 (5.3)	0 (0.0)	2 (2.7)
平成30年度 第1期	1 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.6)	1 (1.3)	4 (5.2)	0 (0.0)	1 (1.3)
第2期	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.4)	1 (1.4)	4 (5.6)	0 (0.0)	1 (1.4)
第3期	0 (0.0)	1 (1.3)	0 (0.0)	1 (1.3)	1 (1.3)	6 (7.9)	0 (0.0)	1 (1.3)
第4期	0 (0.0)	2 (2.6)	0 (0.0)	1 (1.3)	1 (1.3)	6 (7.9)	0 (0.0)	1 (1.3)
令和元年度 第1期	0 (0.0)	1 (1.3)	0 (0.0)	1 (1.3)	1 (1.3)	6 (7.9)	0 (0.0)	1 (1.3)
第2期	0 (0.0)	1 (1.4)	0 (0.0)	1 (1.4)	1 (1.4)	6 (8.3)	0 (0.0)	1 (1.4)
第3期	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.5)	1 (1.3)	4 (5.0)	0 (0.0)	2 (2.5)
第4期	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.3)	1 (1.3)	4 (5.0)	0 (0.0)	1 (1.3)
令和2年度 第1期	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.3)	1 (1.3)	4 (5.0)	0 (0.0)	1 (1.3)
第2期	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.3)	1 (1.3)	4 (5.1)	0 (0.0)	2 (2.6)

(): 抗HIV薬投与ありに占める%

表7-3-5. 肝炎の状況の推移 (平成27～令和2年度エイズ発症者調査)

年度	肝炎の状況					計
	肝がんあり	肝硬変あり	慢性肝炎あり	いずれもなし	不明	
平成27年度	2 (2.5)	11 (13.6)	42 (51.9)	26 (32.1)	0	81
平成28年度	3 (4.1)	11 (14.9)	33 (44.6)	27 (36.5)	0	74
平成29年度	3 (4.3)	11 (15.7)	31 (44.3)	25 (35.7)	1	71
平成30年度	4 (5.1)	9 (11.4)	36 (45.6)	30 (38.0)	0	79
令和元年度	4 (5.2)	9 (11.7)	34 (44.2)	30 (39.0)	0	77
令和2年度	4 (5.1)	11 (13.9)	35 (44.3)	29 (36.7)	1	80

(): 各行の計より不明を除いた数を分母とする%

4. 生活状況の推移

本節では、以下の表を示した。

表7-4-1. 就業状況の推移 (平成27～令和2年度エイズ発症者調査)

表7-4-2. こころの状態の推移 (平成27～令和2年度エイズ発症者調査)

表7-4-3. 健康意識の推移 (平成27～令和2年度エイズ発症者調査)

表7-4-4. 生活意識の推移 (平成27～令和2年度エイズ発症者調査)

表7-4-1. 就業状況の推移（平成27～令和2年度エイズ発症者調査）

	過去 1 か月間の仕事の状況								対象者数
	仕事あり	仕事ありの内訳		仕事なし	仕事なしの内訳			不明	
		主に仕事をしている	主に家事・通学・その他		家事（専業）	就職希望あり	就職希望なし		
平成 27 年度	40 (48.2)	31 [37.3]	9 [10.8]	43 (51.8)	－	－	－	0	83
平成 28 年度	31 (43.7)	21 [29.6]	10 [14.1]	40 (56.3)	－	－	－	0	71
平成 29 年度	35 (50.0)	27 [38.6]	8 [11.4]	35 (50.0)	－	－	－	2	72
平成 30 年度	42 (52.5)	33 [41.3]	9 [11.3]	38 (47.5)	14 [17.5]	5 [6.3]	19 [23.8]	0	80
令和 元 年 度	42 (47.7)	35 [39.8]	7 [8.0]	45 (51.1)	14 [15.9]	4 [4.5]	27 [30.7]	0	88
令和 2 年 度	45 (47.9)	42 [44.7]	3 [3.2]	49 (52.1)	10 [10.6]	7 [7.4]	32 [34.0]	1	95

(), []: 各行の対象者数より不明を除いた数を分母とする%

表7-4-2. こころの状態の推移（平成27～令和2年度エイズ発症者調査）

	こころの状態 (K6の合計点数)					対象者数
	0～4点	5～9点	10～14点	15点～	不明	
平成27年度	26 (32.5)	24 (30.0)	17 (21.3)	13 (16.3)	3	83
平成28年度	19 (27.9)	20 (29.4)	14 (20.6)	15 (22.1)	3	71
平成29年度	21 (30.0)	20 (28.6)	17 (24.3)	12 (17.1)	2	72
平成30年度	20 (27.0)	25 (33.8)	16 (21.6)	13 (17.6)	6	80
令和元年度	28 (33.3)	26 (31.0)	16 (19.0)	14 (16.7)	4	88
令和2年度	29 (31.9)	29 (31.9)	21 (23.1)	12 (13.2)	4	95

(): 各行の対象者数より不明を除いた数を分母とする%

表7-4-3. 健康意識の推移（平成27～令和2年度エイズ発症者調査）

	現在の健康状態						対象者数
	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	不明	
平成27年度	3 (3.8)	11 (13.8)	26 (32.5)	32 (40.0)	8 (10.0)	3	83
平成28年度	1 (1.4)	8 (11.6)	29 (42.0)	20 (29.0)	11 (15.9)	2	71
平成29年度	3 (4.2)	7 (9.7)	26 (36.1)	30 (41.7)	6 (8.3)	0	72
平成30年度	5 (6.3)	12 (15.0)	24 (30.0)	29 (36.3)	10 (12.5)	0	80
令和元年度	6 (7.0)	9 (10.5)	29 (33.7)	33 (38.4)	9 (10.5)	2	88
令和2年度	5 (5.3)	20 (21.1)	33 (34.7)	29 (30.5)	8 (8.4)	0	95

(): 各行の対象者数より不明を除いた数を分母とする%

表7-4-4. 生活意識の推移（平成27～令和2年度エイズ発症者調査）

	現在の暮らしの状況								対象者数
	苦しい	苦しいの内訳		普通	ゆとりがある	ゆとりがあるの内訳		不明	
		大変苦しい	やや苦しい			ややゆとりがある	大変ゆとりがある		
平成 27 年度	51 (62.2)	16 [19.5]	35 [42.7]	27 (32.9)	4 (4.9)	3 [3.7]	1 [1.2]	1	83
平成 28 年度	40 (56.3)	15 [21.1]	25 [35.2]	29 (40.8)	2 (2.8)	2 [2.8]	0 [0.0]	0	71
平成 29 年度	33 (46.5)	12 [16.9]	21 [29.6]	33 (46.5)	5 (7.0)	3 [4.2]	2 [2.8]	1	72
平成 30 年度	42 (52.5)	10 [12.5]	32 [40.0]	32 (40.0)	6 (7.5)	4 [5.0]	2 [2.5]	0	80
令和 元 年度	40 (46.5)	13 [15.1]	27 [31.4]	41 (47.7)	5 (5.8)	5 [5.8]	0 [0.0]	2	88
令和 2 年度	42 (45.2)	10 [10.8]	32 [34.4]	41 (44.1)	10 (10.8)	6 [6.5]	4 [4.3]	2	95

(), []: 各行の対象者数より不明を除いた数を分母とする%

第Ⅳ部 資料

1. 健康状態報告書
2. 生活状況報告書
3. 健康状態報告書（エイズ発症者調査）
4. 生活状況報告書（エイズ発症者調査）

2020年

様式3

健康状態報告書

(医師記入用)

記入要領

1. この報告書は、健康管理費用の受給者が担当医師に当該年度の健康状態を記入していただき、**本人記入の生活状況報告書（様式4）**とともに3月1日から10日までの間に提出してください。受診日等のご事情により、期限内に提出できない場合は、受診後速やかにご提出ください。次年度事業は報告書が提出された場合のみ継続認定されることになっています。
2. 発症などにより年度途中で事業が終了となった場合には、該当期のみ記入していただき、その時点での提出をお願いいたします。
3. 当該年度の健康状態を担当医師が4期分〔Ⅰ期（4～6月）、Ⅱ期（7～9月）、Ⅲ期（10～12月）、Ⅳ期（1～3月）〕記入してください。
4. 各項目のあてはまる全ての□にチェック（√）を入れ、（ ）には該当する事項を記入してください。
5. その他参考になることがあれば、備考欄に記入してください。
6. 通院がなかった、或いは検査未実施等の事情により、4期分すべての健康状態を記入できない場合は、可能な範囲の記入で結構です。但し、その旨を備考欄に記入してください。
7. 当事業（本報告書の基礎疾患）における二次感染・三次感染は以下のとおりです。
 - ・二次感染者：配偶者その他これに準ずる者
 - ・三次感染者：母子感染した子

患者の氏名		男・女	生年月日	年	月	日
医療機関の名称 住 所（〒 - ） 電話番号 （ - - ） 医師氏名 （診療科名 印 ）						
備 考						

[1/4]

A. 基礎疾患と肝炎等の状況					
基 礎 疾 患	☐ 血友病A ☐ 血友病B ☐ von Willebrand病		血 圧	/ mmHg	
	☐ 二次感染 ☐ 三次感染 ☐ その他 ()				
肝炎等の有無	☐ 無し ☐ 慢性肝炎 ☐ 肝硬変 ☐ 肝臓 ☐ その他 ()				
	腹部画像検査の有無		☐ 有 ☐ 無 ☐ 未検査		
H B s - 抗 原	☐ + ☐ - ☐ 不明		H C V - 抗体	☐ + ☐ - ☐ 不明	
H C V - R N A	☐ TaqMan法 [() Log IU/mL ☐ 検出せず] ☐ 未検査				
	HCV-RNAの型 (検査実施の場合)	セロタイプ	☐ 1グループ ☐ 2グループ ☐ 該当なし ☐ 未検査		
		ゲノタイプ	☐ 1a ☐ 1b ☐ 2a ☐ 2b ☐ 3a ☐ その他 () ☐ 未検査		
血 小 板 数	() × 10 ⁴ /mm ³ ☐ 未検査		PIVKA-II	() mAU/mL ☐ 未検査	
ALT (GPT)	() IU/L ☐ 未検査		A F P	() ng/mL ☐ 未検査	
T.bil	() mg/dL ☐ 未検査		C型肝炎の治療歴	☐ 有 ☐ 無	
アルブミン	() g/dL ☐ 未検査		肝 移 植 歴	☐ 有 ☐ 無	
プロトロンビン	PT活性% () % ☐ 未検査		クレアチニン	() mg/dL ☐ 未検査	
骨密度	測定部位 ()		e G F R	() mL/分/1.73m ² ☐ 未検査	
	YAM () % ☐ 未検査		シスタチンC	() mg/L ☐ 未検査	
脳 血 管 疾 患 の 有 無	☐ 無し ☐ 脳出血 ☐ 脳梗塞 ☐ その他の脳血管疾患				
虚 血 性 心 疾 患 の 有 無	☐ 無し ☐ 心筋梗塞 ☐ その他の虚血性心疾患				
悪性新生物(肝以外)の有無	☐ 無し ☐ 肝臓以外の悪性新生物 (部位 :)				
そ の 他 の 疾 患 の 有 無	☐ 無し ☐ 高血圧 ☐ 糖尿病 ☐ その他 ()				

C型肝炎の治療歴と肝移植歴以外は、本年度の状況を記入してください。血圧は左に上(収縮期)を、右に下(拡張期)を記入してください。

HCV-RNA定量・血小板数・ALT (GPT)・T.bil値・アルブミン値・プロトロンビン値・骨密度値・PIVKA-II値・AFP値・クレアチニン値・eGFR値・シスタチンC値については、**単位にご注意のうえ** () に測定値を記入してください。

B. 検査の実施状況	I 期 (4 ~ 6 月)	II 期 (7 ~ 9 月)	III 期 (10 ~ 12 月)	IV 期 (1 ~ 3 月)
検査実施年月日	(2020/ /)	(2020/ /)	(2020/ /)	(2021/ /)
期間中の診察の有無	☐ 無	☐ 無	☐ 無	☐ 無
期間中のCD4値検査の有無	☐ 未検査	☐ 未検査	☐ 未検査	☐ 未検査
CD4値 (/μL)	()	()	()	()
CD4/CD8比	()	()	()	()
期間中のHIV-RNA量検査の有無	☐ 未検査	☐ 未検査	☐ 未検査	☐ 未検査
HIV-RNA量の検査法	☐ TaqMan法	☐ TaqMan法	☐ TaqMan法	☐ TaqMan法
HIV-RNA量	()	()	()	()
*単位は「コピー/mL」でご記入下さい(例:4.3×10 ³ →4300コピー/mL)。	コピー/mL	コピー/mL	コピー/mL	コピー/mL
☐ 検出限界未満	☐ 検出限界未満	☐ 検出限界未満	☐ 検出限界未満	☐ 検出限界未満
() コピー/mL未満	() コピー/mL未満	() コピー/mL未満	() コピー/mL未満	() コピー/mL未満
*検査結果が検出限界未満の場合には、その検出限界値も併せてご記入下さい。	☐ 検出せず	☐ 検出せず	☐ 検出せず	☐ 検出せず

各期ごとに、検査の実施状況等を記入してください。

[2/4]

C. 抗HIV薬投与と服薬状況		I期（4～6月）	Ⅱ期（7～9月）	Ⅲ期（10～12月）	Ⅳ期（1～3月）
0. 投与なし		☐	☐	☐	☐
1. 投与あり 下記抗HIV薬 一覧表の番号 を記入	投与薬剤1（ ）	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)
	投与薬剤2（ ）	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)
	投与薬剤3（ ）	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)
	投与薬剤4（ ）	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)
	投与薬剤5（ ）	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)
	投与薬剤6（ ）	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)

I期～Ⅳ期の1年間に投与した抗HIV薬を薬剤一覧表から全て選び、その番号を投与薬剤1～6に一つずつ記入してください。

各期ごとに投与した薬剤の□にチェック（✓）し、記入例のように服薬状況を5段階から選択してください。

当該期に抗HIV薬の投与がなかった場合は、「0. 投与なし」にチェックしてください。

1～34以外の抗HIV薬を投与した場合は、その他の欄の91番～93番に薬剤名を記入し、その番号を投与薬剤欄に記入してください。

記入例

投与あり ☒	全部服用している (1)	半服用している (②)	全く服用していない (3)	(4)	(5)
---	-------------------	------------------	--------------------	-------	-------

抗HIV薬 一覧表：一般名〔略号〕（主な商品名）

核酸系逆転写酵素阻害剤 (NRTI) (合剤を含む)	プロテアーゼ阻害剤 (PI) (合剤を含む)
1. ジドブジン [AZT] [ZDV] (レトロビル)	16. リトナビル [RTV] (ノービア)
2. ラミブジン [3TC] (エビビル)	17. ネルフィナビル [NFV] (ピラセプト)
3. ジドブジン・ラミブジン配合剤 [AZT・3TC] (コンビビル)	18. ロビナビル・リトナビル配合剤 [LPV・RTV] (カレトラ)
4. アバカビル [ABC] (ザイアジェン)	19. アタザナビル [ATV] (レイアタッツ)
5. テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩 [TDF] (ビリアード)	20. ホスアンブレナビル [FPV] (レクシヴァ)
6. アバカビル・ラミブジン配合剤 [ABC・3TC] (エブジコム)	21. ダルナビル [DRV] (プリジスタ/プリジスタナード)
7. エムトリシタビン [FTC] (エムトリバ)	22. ダルナビル・コビスタット [DRV・COBI] (プレジコビックス)
8. テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩・エムトリシタビン 配合剤 [TDF・FTC] (ツルバダ)	30. ダルナビル・コビスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩配合剤 [DRV・COBI・FTC・TAF] (シムツーザ)
9. テノホビル アラフェナミドフマル酸塩 11.2mg・エムトリシ タビン配合剤 [TAF・FTC] (デシコビ配合錠 LT)	インテグラーゼ阻害剤 (INSTI) (合剤を含む)
10. テノホビル アラフェナミドフマル酸塩 28mg・エムトリシ タビン配合剤 [TAF・FTC] (デシコビ配合錠 HT)	23. ラルテグラビル [RAL] (アイセントレス)
非核酸系逆転写酵素阻害剤 (NNRTI) (合剤を含む)	24. エルビテグラビル・コビスタット・テノホビル ジソプロキシルフマル酸 塩・エムトリシタビン配合剤 [EVG・COBI・TDF・FTC] (スタリビルド)
11. ネビラピン [NVP] (ビラミューン)	25. エルビテグラビル・コビスタット・テノホビル アラフェナミドフマル酸 塩・エムトリシタビン配合剤 [EVG・COBI・TAF・FTC] (ゲンボイヤ)
12. エファビレンツ [EFV] (ストックリン)	26. ドルテグラビル [DTG] (テビケイ)
13. エトラピリン [ETR] (インテレンス)	27. ドルテグラビル・アバカビル・ラミブジン配合剤 [DTG・ABC・3TC] (トリメク)
14. リルピビル [RPV] (エジュラント)	31. ドルテグラビル・リルピビル配合剤 [RPV・DTG] (ジャルカ)
15. リルピビル・テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩・ エムトリシタビン配合剤 [RPV・TDF・FTC] (コムブレラ)	32. ビクテグラビル・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩配合剤 [BVY] (ビクトルビ)
29. リルピビル塩酸塩・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩・ エムトリシタビン配合剤 [RPV・TAF・FTC] (オデフシイ)	33. ドルテグラビル・ラミブジン配合剤 [DTG・3TC] (ドウベイト)
34. ドラビリン [DOR] (ビフェルトロ)	
その他	91. 一般名 商品名 ()
28. マラビロク [MVC] (シーエルセントリ)	92. 一般名 商品名 ()
	93. 一般名 商品名 ()

[3/4]

D. C型肝炎治療薬の投与状況 一般名（主な商品名）	I期（4～6月）	II期（7～9月）	III期（10～12月）	IV期（1～3月）
0. 投与なし	☐	☐	☐	☐
1. ソホスブビル／レジパスビル配合剤 （ハーボニー）	☐	☐	☐	☐
2. オムビクスビル／パリタプレビル／リトナビル配合剤 （ヴィキラックス）	☐	☐	☐	☐
3. ダクラタスビル塩酸塩／アスナプレビル／ ベクラブビル塩酸塩配合剤（ジメンシー）	☐	☐	☐	☐
4. ソホスブビル／リバビリン併用 （ソバルディ）	☐	☐	☐	☐
5. グラゾプレビル水和物／エルバスビル併用 （グラジナ／エレルサ）	☐	☐	☐	☐
6. リバビリン （コベガス／レベトール）	☐	☐	☐	☐
7. グレカプレビル水和物・ビブレンタスビル配合剤 （マヴィレット）	☐	☐	☐	☐
その他（一般名： （商品名：）	☐	☐	☐	☐

各期ごとに、投与したC型肝炎治療薬の□にチェック（√）してください。C型肝炎治療薬の投与がない場合は「0. 投与なし」にチェックしてください。また、それ以外の薬剤を投与した場合は、その他の（ ）に薬剤名を記入してください。

E. 副作用の発現状況	I期（4～6月）	II期（7～9月）	III期（10～12月）	IV期（1～3月）
0. なし	☐	☐	☐	☐
1. 嘔気	☐	☐	☐	☐
2. 下痢	☐	☐	☐	☐
3. 口内炎	☐	☐	☐	☐
4. 貧血	☐	☐	☐	☐
5. 血尿	☐	☐	☐	☐
6. しびれ	☐	☐	☐	☐
7. 皮疹	☐	☐	☐	☐
8. 頭痛	☐	☐	☐	☐
9. 中枢神経症状（ふらつき、めまい、不眠など）	☐	☐	☐	☐
10. リボジストロフィー	☐	☐	☐	☐
11. 黄疸	☐	☐	☐	☐
その他（ ）	☐	☐	☐	☐

各期ごとに、発現した副作用の□をチェック（√）してください。副作用の発現がない場合は、「0. なし」にチェックしてください。また、それ以外の副作用が発現していた場合には、その他の（ ）に副作用名を記入してください。

様式4

2020年

生活状況報告書

(本人記入用)

氏 名		個人番号	- 0
記入者	本人・代筆（続柄）	記入日	年 月 日現在
身 長	cm	体 重	kg

記入要領

1. この報告書は、健康管理費用の受給者が提出時の日常生活の状態を記入し、医師記入の健康状態報告書（様式3）とともに3月1日から10日までの間に提出してください。受診日等のご事情により、期限内に提出できない場合は、受診後は速やかにご提出ください。次年度事業は報告書が提出された場合のみ継続認定されることになっています。
2. 発症などにより年度途中で事業終了となった場合には、その時点での提出をお願いします。
3. 記入者欄に、報告書記入者の本人・代筆の別を○で囲んでください。代筆の場合は本人との続柄をカッコ内に記入してください。
4. あなたの日常生活の状態について、問1～問19の回答方法に応じて、最も良く当てはまると思われる状態の数字を○で囲むか、あるいは、あてはまる数字や文字をご記入ください。

問1 あなたの現在のお住まいはどこですか。都道府県名をご記入いただき、あてはまる番号1つに○をつけてください。

都・道・府・県

- | | |
|--------|----------------|
| 1. 持ち家 | 4. 病院・診療所に入院中 |
| 2. 賃貸 | 5. 社会福祉施設等に入所中 |
| 3. 社宅等 | 6. その他 |

問2 あなたの世帯で、普段一緒にお住まいで、生計を共にしている方（世帯員）は、あなたを含めて何人ですか。（一時的に不在の方を含みます。）

人

2人以上 と答えた方に伺います。

問2-1 あなたから見て、同居している方の続柄はどれですか。
あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------|------------|---------|
| 1. 配偶者 | 3. 子ども（成人） | 5. 兄弟姉妹 |
| 2. 子ども（未成年） | 4. 父母 | 6. その他 |

問3 あなたの過去1か月間の仕事の状況について、**あてはまる番号1つ**に○をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 主に仕事をしている | 5. 仕事なし・家事（専業） |
| 2. 主に家事で仕事あり | 6. 仕事なし・就職希望あり |
| 3. 主に通学で仕事あり | 7. 仕事なし・就職希望なし |
| 4. 仕事あり（1～3以外） | |

5～7（仕事なし）と回答した方

問4へ

※ 収入を伴う仕事を少しでもした方は1～4（仕事あり）、まったく仕事をしなかった方は5～7（仕事なし）の中からお答えください。無給で自家営業の手伝いをした場合や、育児休業や介護休業のため、一時的に仕事を休んでいる場合も1～4（仕事あり）とします。PTA役員やボランティアなど無報酬の活動は5～7（仕事なし）とします。なお、家事には、育児、介護を含めます。

1～4（仕事あり）と回答した方に伺います。

問3-1 あなたの過去1週間に実際に仕事をした日数、勤務した1日あたりの概ねの時間数をお答えください。
なお、複数の仕事をした場合は、全ての合計をお答えください。

1週間に 日
1日あたり 時間

問3-2 現在の主な仕事について、**あてはまる番号1つ**に○をつけてください。

- | | |
|-------|-------------------|
| 1. 勤め | 2. 自営（会社などの役員を含む） |
|-------|-------------------|

問4へ

1. 勤め と答えた方に伺います。

問3-3 あなたの勤め先での呼称について**あてはまる番号1つ**に○をつけてください。

- | | | |
|--------------|------------------|--------|
| 1. 正規の職員・従業員 | 4. 労働者派遣事業所の派遣社員 | 7. その他 |
| 2. パート | 5. 契約社員 | |
| 3. アルバイト | 6. 嘱託 | |

「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づく事業所に雇用され、そこから派遣されている人をいいます。

問4 障害者雇用について、**あてはまる番号1つ**に○をつけてください。

障害者雇用促進法により企業等の事業主には一定割合以上障害者を雇用する義務が課せられています。ここでいう障害者雇用とは、障害者であることを明らかにして雇用される場合を指します。

問4-1 障害者雇用について

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問4-2 障害者雇用の利用について

- | |
|--------------------------|
| 1. 障害者雇用として働いている |
| 2. 障害者雇用を検討している |
| 3. 障害者雇用を検討しなかった・検討していない |

問5 障害者向け就労支援サービスについて、**あてはまる番号1つ**に○をつけてください。

ここでいう障害者向けの就労支援サービスとは、障害者就労移行支援や障害者就労継続支援の他、ハローワークや障害者職業センター等で障害者手帳を提示した上で受けられる就労支援全般を指します。

問5-1 障害者向け就労支援サービスについて

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問5-2 障害者向け就労支援サービスの利用について

- | |
|------------------------------|
| 1. サービスを就職時に利用した・現在利用している |
| 2. サービスの利用を検討している |
| 3. 障害者としてサービスを受けるつもりはない・なかった |

問6 あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. よくない

問7 次の(ア)から(カ)の質問について、過去1か月の間はどのようであったか、6つの項目それぞれのあてはまる番号1つに○をつけてください。

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったく ない
(ア) 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
(イ) 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
(ウ) そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
(エ) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
(オ) 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
(カ) 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問8 あなたはここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところ（自覚症状）がありますか。

1. ある 2. ない → 問9へ

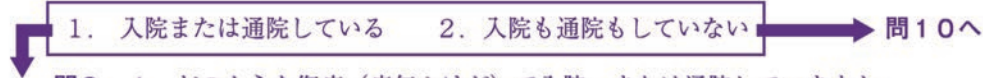
問8-1 それは、どのような症状ですか。あてはまるすべての症状名の番号に○をつけてください。
その中で最も気になる症状名の番号を番号記入欄に記入してください。

全身症状	1. 熱がある	呼吸器系	15. せきやたんが出る	筋骨格系	29. 肩こり
	2. 体がだるい		16. 鼻がつまる・ 鼻汁が出る		30. 腰痛
	3. 眠れない		17. ゼイゼイする		31. 手足の関節が痛む
	4. いらいらしやすい		18. 胃のもたれ・むねやけ		32. 手足の動きが悪い
眼	5. ものを忘れする	消化器系	19. 下痢	手足	33. 手足のしびれ
	6. 頭痛		20. 便秘		34. 手足が冷える
	7. めまい		21. 食欲不振		35. 足のむくみやだるさ
	8. 目のかすみ		22. 腹痛・胃痛		尿路生殖器系
耳	9. 物を見づらい	23. 痔による痛み・ 出血など	37. 頻尿(尿の出る回数が多い)		
	10. 耳なりがする	歯	24. 歯が痛い	38. 尿失禁(尿がもれる)	
胸部	11. きこえにくい		25. 歯ぐきのはれ・出血	損傷	
	12. 動悸	26. かみにくい	40. 骨折・ねんざ・脱きゅう		
	13. 息切れ	27. 発疹 (じんま疹・できものなど)	41. 切り傷・やけどなどの けが		
	14. 前胸部に痛みが ある	28. かゆみ(湿疹・水虫など)	42. その他		

最も気になる症状の番号記入欄 → 番

問9 血友病・HIV関連を除く入院・通院についてお尋ねします。

あなたは**現在、血友病・HIV関連以外の傷病（病気やけが）**で、病院や診療所（医院、歯科医院）、あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）に入院、または通院していますか。
（**往診、訪問診療、問8の症状で通っているものを含む**）



問9-1 どのような傷病（病気やけが）で入院、または通院していますか。
あてはまる**すべての傷病名の番号**に○をつけてください。
その中で**最も気になる傷病名の番号**を番号記入欄に記入してください。

内分泌・代謝障害	1. 糖尿病	呼吸器系	15. 急性鼻咽頭炎（かぜ）	尿路生殖泌尿系	32. 腎臓の病気	
	2. 肥満症		16. アレルギー性鼻炎		33. 前立腺肥大症	
	3. 脂質異常症 （高コレステロール血症等）		17. 慢性閉塞性肺疾患 （COPD）		34. 閉経期又は閉経後 障害（更年期障害等）	
	4. 甲状腺の病気		18. 喘息		損傷	35. 骨折
精神・神経	5. うつ病やその他の こころの病気	19. その他の呼吸器系の 病気	36. 骨折以外のけが・ やけど			
	6. 認知症	消化器系	20. 胃・十二指腸の病気	37. 貧血・血液の病気		
	7. パーキンソン病		21. 肝臓・胆のうの病気	38. 悪性新生物（がん）		
	8. その他の神経の病気 （神経痛・麻痺等）		22. その他の消化器系の病気	39. 妊娠・産褥（切迫 流産、前褥胎盤等）		
9. 眼の病気	23. 歯の病気		40. 不妊症			
循環器系	10. 耳の病気	皮膚	24. アトピー性皮膚炎	41. その他		
	11. 高血圧症		25. その他の皮膚の病気	42. 不明		
	12. 脳卒中 （脳出血、脳梗塞等）		筋骨格系	26. 痛風	最も気になる傷病の 番号記入欄	番
	13. 狭心症・心筋梗塞			27. 関節リウマチ		
	14. その他の循環器系の 病気			28. 関節症		
	29. 肩こり症					
	30. 腰痛症					
	31. 骨粗しょう症					

問10 あなたの**現在の生活の状況**はいかがですか。
まず、次のA～Dの中から、**最も近いもの**に○をつけてください。
次に、右側の2つからより**当てはまる方**に○をつけてください。

A. 障害等を有しない・または、 何らかの障害等を有するが、 日常生活はほぼ自立しており 独力で外出する	Aと 答えた方	1. 交通機関等（自家用車を含む）を 利用して外出する 2. 隣近所へなら外出する
B. 屋内での生活はおおむね自立 しているが、 介助なしには外出しない	Bと 答えた方	3. 介助により外出し、 日中はほとんどベッドから離れて生活する 4. 外出の頻度が少なく、 日中も寝たり起きたりの生活をしている
C. 屋内での生活は何らかの介助を 要し、日中もベッド上での 生活が主体であるが、 座位を保つ	Cと 答えた方	5. 車いすに移乗し、 食事、排泄はベッドから離れて行く 6. 介助により車いすに移乗する
D. 1日中ベッド上で過ごし、 排泄、食事、着替えにおいて 介助を要する	Dと 答えた方	7. 自力で寝返りをうつ 8. 自力では寝返りもうてない

問 1 1 あなたは**現在**、日常生活で悩みやストレスがありますか。

1. ある	2. ない	問 1 2 へ
-------	-------	---------

問 1 1-1 それは、どのような原因ですか。**あてはまるすべての原因の番号に○をつけてください。**

その中で**最も気になる原因の番号**を番号記入欄に記入してください。

- | | |
|----------------------|----------------------------------|
| 1. 家族との人間関係 | 12. 妊娠・出産 |
| 2. 家族以外との人間関係 | 13. 育児 |
| 3. 恋愛・性に関すること | 14. 家事 |
| 4. 結婚 | 15. 自分の学業・受験・進学 |
| 5. 離婚 | 16. 子どもの教育 |
| 6. いじめ、セクシュアル・ハラスメント | 17. 自分の仕事 |
| 7. 生きがいに関すること | 18. 家族の仕事 |
| 8. 自由にできる時間がないこと | 19. 住まいや生活環境
(公害、安全及び交通事情を含む) |
| 9. 収入・家計・借金等 | 20. その他 |
| 10. 自分の病気や介護 | 21. わからない |
| 11. 家族の病気や介護 | |

最も気になる悩みやストレスの番号記入欄 → 番

問 1 1-2 悩みやストレスを、どのように相談していますか。**あてはまるすべての番号に○をつけてください。**

また、最も気になる悩みやストレスについてどのように相談していますか。

あてはまる番号の主なものを2つまで番号記入欄に記入してください。

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1. 家族に相談している | 9. 医療機関の医療ソーシャルワーカーに相談している |
| 2. 友人・知人に相談している | 10. 医療機関の臨床心理士・カウンセラー等に相談している |
| 3. 職場の上司、学校の先生に相談している | 11. テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している |
| 4. 公的な機関（保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等）の相談窓口（電話等での相談を含む）を利用している | 12. 1～11以外で相談している
(職場の相談窓口等) |
| 5. 患者団体の相談窓口（電話等での相談を含む）を利用している | 13. 相談したいが誰にも相談できないでいる |
| 6. 患者団体以外の民間の相談機関（悩み相談所等）の相談窓口（電話等での相談を含む）を利用している | 14. 相談したいがどこで相談したら良いかわからない |
| 7. 医療機関の医師に相談している | 15. 相談する必要はないので誰にも相談していない |
| 8. 医療機関の看護師に相談している | |

最も気になる悩みやストレスの相談状況の番号記入欄 → 番

問 1 2 あなたは障害者手帳を取得していますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1. 身体障害者手帳 2. 療育手帳（愛の手帳、愛護手帳、みどりの手帳） 3. 精神障害者保健福祉手帳 4. 取得していない	等級に○をつけてください。 ア. 1級 エ. 4級 イ. 2級 オ. 5級 ウ. 3級 カ. 6級
	種別に○をつけてください。 ア. 肢体不自由 イ. 免疫機能障害 ウ. その他

4. 取得していない と答えた方に伺います。

問 1 2－1 手帳を取得していない理由はどれですか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1. 障害の種類や程度が手帳の基準に合致しない 2. 手帳の制度や取得の手続きがわからない 3. とくに手帳がなくても困らない 4. 手帳を持ちたくない 5. その他

問 1 3 あなたは障害者総合支援法に基づく障害支援区分の認定を受けていますか＊。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 認定を受けている 2. 認定調査は受けたが、非該当だった 3. 認定は受けていない 4. わからない	区分に○をつけてください。 ア. 区分 1 エ. 区分 4 イ. 区分 2 オ. 区分 5 ウ. 区分 3 カ. 区分 6
--	---

※障害者（身体障害者手帳をお持ちの方等）は、市町村への申請により「障害福祉サービス受給者証」が交付され、その区分に応じた障害福祉サービスを受けることができます。

問 1 4 あなたは現在、障害福祉サービスを利用していますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用している 2. 利用していない	問 1 5 へ
-------------------------	---------

1. 利用している と答えた方に伺います。

問 1 4－1 利用している障害福祉サービスはどれですか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1. 訪問系サービス （居宅介護、重度訪問介護、 行動援護、重度障害者等包括支援） 2. 就労支援系サービス 3. 訓練系サービス 4. その他日中活動サービス	5. 障害者のグループホーム・ケアホーム 6. 入所施設 7. 指定相談支援 8. その他 9. わからない
---	--

問15 あなたは介護保険法に基づく要介護（要支援）認定を受けていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 認定を受けている
2. 認定調査は受けたが、非該当だった
3. 認定は受けていない
4. わからない

区分に○をつけてください。

- ア. 要支援1 ウ. 要介護1 カ. 要介護4
 イ. 要支援2 エ. 要介護2 キ. 要介護5
 オ. 要介護3 ク. わからない

問16 あなたは現在、介護サービスを利用していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している
2. 利用していない

問17へ

1. 利用している と答えた方に伺います。

問16-1 利用している介護サービスはどれですか。
あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1. 訪問系サービス
（訪問介護（ホームヘルプ）、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション等（各種介護予防サービスや介護予防・日常生活支援総合事業による訪問系サービスを含む））
2. 通所系サービス
（通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション等（各種介護予防サービスや介護予防・日常生活支援総合事業による通所系サービスを含む））
3. 短期入所サービス（ショートステイ）
4. 認知症グループホーム
5. 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅
6. 施設入所（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設）
7. その他
8. わからない

問17 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. 普通 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

問18 差し支えなければ、あなたの昨年のおおよその年間収入総額について、あてはまる番号1つに○をつけてください。
なお、年間収入総額には、就労による賃金等収入（税込み）のほか、公的年金や健康管理費用も含めてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 200万円未満 | 5. 800～1000万円未満 |
| 2. 200～400万円未満 | 6. 1000万円以上 |
| 3. 400～600万円未満 | 7. わからない |
| 4. 600～800万円未満 | |

問18-1 年間収入総額に関し、あなたの公的年金の受給状況を教えてください。

1. 障害基礎年金1級 または 障害厚生年金1級を受給している
2. 障害基礎年金2級 または 障害厚生年金2級を受給している
3. 障害厚生年金3級を受給している
4. その他の公的年金（国民年金、厚生年金）を受給している
5. 公的年金は受給していない
6. わからない

問19 あなたは、現在生活をしている中でどのようなことにお困りですか。また、将来に対してどのような不安をお持ちですか。それに対して、どのような支援を受けたいですか。
以下の項目に分けて、自由にお書きください。

あなたの健康、医療、福祉に関すること

日常生活、仕事、収入に関すること

その他のこと

日中の連絡先（報告書の内容等について昼間連絡させていただく場合がございます）

固定電話 TEL - - 携帯電話 TEL - -

※転居などにより、住所・電話番号等に変更があった場合には変更届（様式第6号）を速やかに提出してくださるようお願いいたします。

質問はこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

[8/8]

2020年一健1

健康状態報告書

(医師記入用)

記入要領

- この報告書は、発症者健康管理手当の受給者が担当医師に前年度から今年度にかけての健康状態を記入していただき、本人記入の生活状況報告書とともに8月1日から31日までの間に提出してください。受診日等のご事情により、期限内に提出できない場合は、受診後速やかにご提出ください。
- 現況届(様式第3号)のご提出があれば、本人記入の生活状況報告書と医師記入の健康状態報告書を提出しなかった場合でも発症者健康管理手当は支給されます。しかしながら、治療の長期化に伴う皆様をめぐる生活面での課題を把握し、今後の支援策の検討につなげるために皆様の生活状況の調査をするという本調査の趣旨にかんがみ、ぜひとも回答にご協力くださるようお願いいたします。
- 担当医師が以下の4期分の調査対象期間の健康状態を記入してください。
2019年度調査対象期間〔Ⅲ期(10～12月/2019)、Ⅳ期(1～3月/2020)〕
2020年度調査対象期間〔Ⅰ期(4～6月/2020)、Ⅱ期(7～9月/2020)〕
- 各項目のあてはまる全ての□にチェック(√)を入れ、()には該当する事項を記入してください。
- その他参考になることがあれば、備考欄に記入してください。
- 通院がなかった、あるいは検査未実施等の事情により、4期分すべての健康状態を記入できない場合は、可能な範囲の記入で結構です。但し、その旨を備考欄に記入してください。
- 当事業(本報告書の基礎疾患)における二次感染・三次感染は以下のとおりです。
・二次感染者：配偶者その他これに準ずる者
・三次感染者：母子感染した子

患者の氏名		男・女	生年月日	年	月	日
医療機関の名称						
住 所 (〒 -)						
電話番号 (- -)						
医師氏名 (診療科名)						印 ()
備 考						

[1/4]

A. 基礎疾患と肝炎等の状況									
基 礎 疾 患	☐ 血友病A ☐ 血友病B ☐ von Willebrand病			血 圧	/ mmHg				
	☐ 二次感染 ☐ 三次感染 ☐ その他 ()								
肝炎等の有無	☐ 無し ☐ 慢性肝炎 ☐ 肝硬変 ☐ 肝癌 ☐ その他 ()								
	腹部画像検査の有無			☐ 有 ☐ 無 ☐ 未検査					
H B s - 抗 原	☐ + ☐ - ☐ 不明			H C V - 抗体	☐ + ☐ - ☐ 不明				
H C V - R N A	☐ TaqMan法 [() Log IU/mL ☐ 検出せず] ☐ 未検査								
	HCV-RNAの型 (検査実施の場合)	セロタイプ	☐ 1グループ ☐ 2グループ ☐ 該当なし ☐ 未検査						
		ゲノタイプ	☐ 1a ☐ 1b ☐ 2a ☐ 2b ☐ 3a ☐ その他 () ☐ 未検査						
血 小 板 数	() × 10 ⁴ /mm ³ ☐ 未検査			P I V K A - II	() mAU/mL ☐ 未検査				
ALT (GPT)	() IU/L ☐ 未検査			A F P	() ng/mL ☐ 未検査				
T.bil	() mg/dL ☐ 未検査			C型肝炎の治療歴	☐ 有 ☐ 無				
アルブミン	() g/dL ☐ 未検査			肝 移 植 歴	☐ 有 ☐ 無				
プロトロンビン	PT活性% () % ☐ 未検査			クレアチニン	() mg/dL ☐ 未検査				
骨密度	測定部位 ()			e G F R	() mL/分/1.73m ² ☐ 未検査				
	YAM () % ☐ 未検査			シスタチンC	() mg/L ☐ 未検査				
脳 血 管 疾 患 の 有 無	☐ 無し ☐ 脳出血 ☐ 脳梗塞 ☐ その他の脳血管疾患								
虚 血 性 心 疾 患 の 有 無	☐ 無し ☐ 心筋梗塞 ☐ その他の虚血性心疾患								
悪性新生物(肝以外)の有無	☐ 無し ☐ 肝癌以外の悪性新生物 (部位 :)								
そ の 他 の 疾 患 の 有 無	☐ 無し ☐ 高血圧 ☐ 糖尿病 ☐ その他 ()								

C型肝炎の治療歴と肝移植歴以外は、本年度の状況を記入してください。血圧は左に上(収縮期)を、右に下(拡張期)を記入してください。

HCV-RNA定量・血小板数・ALT (GPT)・T.bil値・アルブミン値・プロトロンビン値・骨密度値・PIVKA-II値・AFP値・クレアチニン値・eGFR値・シスタチンC値については、**単位にご注意のうえ** () に測定値を記入してください。

B. 検査の実施状況	2019 年度		2020 年度	
	Ⅲ期 (10～12月)	Ⅳ期 (1～3月)	Ⅰ期 (4～6月)	Ⅱ期 (7～9月)
検査実施年月日	(2019/ /)	(2020/ /)	(2020/ /)	(2020/ /)
期間中の診察の有無	☐ 無	☐ 無	☐ 無	☐ 無
期間中のCD4値検査の有無	☐ 未検査	☐ 未検査	☐ 未検査	☐ 未検査
CD4値 (/μL)	()	()	()	()
CD4/CD8比	()	()	()	()
期間中のHIV-RNA量検査の有無	☐ 未検査	☐ 未検査	☐ 未検査	☐ 未検査
HIV-RNA量の検査法	☐ TaqMan法	☐ TaqMan法	☐ TaqMan法	☐ TaqMan法
HIV-RNA量	() コピー/mL	() コピー/mL	() コピー/mL	() コピー/mL
* 単位は「コピー/mL」でご記入ください。(例: 4.3×10 ³ →4300コピー/mL)。	☐ 検出限界未満 ()コピー/mL未満	☐ 検出限界未満 ()コピー/mL未満	☐ 検出限界未満 ()コピー/mL未満	☐ 検出限界未満 ()コピー/mL未満
* 検査結果が検出限界未満の場合には、その検出限界値も併せてご記入ください。	☐ 検出せず	☐ 検出せず	☐ 検出せず	☐ 検出せず

各期ごとに、検査の実施状況等を記入してください。

[2/4]

C. 抗HIV薬投与と服薬状況		2019年度		2020年度	
		Ⅲ期 (10～12月)	Ⅳ期 (1～3月)	Ⅰ期 (4～6月)	Ⅱ期 (7～9月)
0. 投与なし		☐	☐	☐	☐
1. 投与あり 下記抗HIV薬 一覧表の番号 を記入	投与薬剤1 ()	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)
	投与薬剤2 ()	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)
	投与薬剤3 ()	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)
	投与薬剤4 ()	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)
	投与薬剤5 ()	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)
	投与薬剤6 ()	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)	☐ (1・2・3・4・5)

Ⅲ期～Ⅱ期の1年間に投与した抗HIV薬を薬剤一覧表から全て選び、その番号を投与薬剤1～6に一つずつ記入してください。

各期ごとに投与した薬剤の□にチェック(✓)し、記入例のように服薬状況を5段階から選択してください。

当該期に抗HIV薬の投与がなかった場合は、「0. 投与なし」にチェックしてください。

1～34以外の抗HIV薬を投与した場合は、その他の欄の91番～93番に薬剤名を記入し、その番号を投与薬剤欄に記入してください。

記入例

投与あり	全部服用している	半分服用している	全く服用していない
☒	(1)	(②)	(3)
			(4)
			(5)

抗HIV薬 一覧表：一般名〔略号〕（主な商品名）

核酸系逆転写酵素阻害剤 (NRTI) (合剤を含む)	プロテアーゼ阻害剤 (PI) (合剤を含む)
1. ジドブジン [AZT] [ZDV] (レトロビル)	16. リトナビル [RTV] (ノービア)
2. ラミブジン [3TC] (エビビル)	17. ネルフィナビル [NFV] (ピラセプト)
3. ジドブジン・ラミブジン配合剤 [AZT・3TC] (コンビビル)	18. ロビナビル・リトナビル配合剤 [LPV・RTV] (カレトラ)
4. アバカビル [ABC] (ザイアジェン)	19. アタザナビル [ATV] (レイアタツツ)
5. テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩 [TDF] (ビリアド)	20. ホスアンブレナビル [FPV] (レクシヴァ)
6. アバカビル・ラミブジン配合剤 [ABC・3TC] (エブジコム)	21. ダルナビル [DRV] (プリジスタ/プリジスタナード)
7. エムトリシタビン [FTC] (エムトリバ)	22. ダルナビル・コビスタット [DRV・COBI] (プレジコビックス)
8. テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩・エムトリシタビン 配合剤 [TDF・FTC] (ツルバダ)	30. ダルナビル・コビスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩配合剤 [DRV・COBI・FTC・TAF] (シムツーザ)
9. テノホビル アラフェナミドフマル酸塩 11.2mg・エムトリシ タビン配合剤 [TAF・FTC] (デシコビ配合錠 LT)	インテグラーゼ阻害剤 (INSTI) (合剤を含む)
10. テノホビル アラフェナミドフマル酸塩 28mg・エムトリシ タビン配合剤 [TAF・FTC] (デシコビ配合錠 HT)	23. ラルテグラビル [RAL] (アイセントレス)
非核酸系逆転写酵素阻害剤 (NNRTI) (合剤を含む)	24. エルビテグラビル・コビスタット・テノホビル ジソプロキシルフマル酸 塩・エムトリシタビン配合剤 [EVG・COBI・TDF・FTC] (スタリビルド)
11. ネビラピン [NVP] (ピラミューン)	25. エルビテグラビル・コビスタット・テノホビル アラフェナミドフマル酸 塩・エムトリシタビン配合剤 [EVG・COBI・TAF・FTC] (ゲンボイヤ)
12. エファビレンツ [EFV] (ストックリン)	26. ドルテグラビル [DTG] (テビケイ)
13. エトラビルン [ETR] (インテレンス)	27. ドルテグラビル・アバカビル・ラミブジン配合剤 [DTG・ABC・3TC] (トリメク)
14. リルビリン [RPV] (エジュラント)	31. ドルテグラビル・リルビリン配合剤 [RPV・DTG] (ジャルカ)
15. リルビリン・テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩・ エムトリシタビン配合剤 [RPV・TDF・FTC] (コムブレラ)	32. ビクテグラビル・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩配合剤 [BVY] (ビクトルビ)
29. リルビリン塩酸塩・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩・ エムトリシタビン配合剤 [RPV・TAF・FTC] (オデフシイ)	33. ドルテグラビル・ラミブジン配合剤 [DTG・3TC] (ドウベイト)
34. ドラビリン [DOR] (ピフェルトロ)	
その他	91. 一般名 商品名 ()
28. マラビロク [MVC] (シーエルセントリ)	92. 一般名 商品名 ()
	93. 一般名 商品名 ()

[3/4]

D. C型肝炎治療薬の投与状況 一般名（主な商品名）	2019 年度		2020 年度	
	Ⅲ期（10～12月）	Ⅳ期（1～3月）	I期（4～6月）	Ⅱ期（7～9月）
0. 投与なし	☐	☐	☐	☐
1. ソホスブビル / レジバシル配合剤 （ハーボニー）	☐	☐	☐	☐
2. オムビタスビル / パリタプレビル / リトナビル配合剤 （ヴィキラックス）	☐	☐	☐	☐
3. ダクラタスビル塩酸塩 / アスナプレビル / ベクラブビル塩酸塩配合剤（ジメンシー）	☐	☐	☐	☐
4. ソホスブビル / リバビリン併用 （ソバルディ）	☐	☐	☐	☐
5. グラソプレビル水和物 / エルバスビル併用 （グラジナ / エレルサ）	☐	☐	☐	☐
6. リバビリン （コベガス / レベトール）	☐	☐	☐	☐
7. グレカプレビル水和物・ビブレンタスビル配合剤 （マヴィレット）	☐	☐	☐	☐
その他（一般名： 商品名：）	☐	☐	☐	☐

各期ごとに、投与したC型肝炎治療薬の□にチェック（√）してください。C型肝炎治療薬の投与がない場合は「0. 投与なし」にチェックしてください。また、それ以外の薬剤を投与した場合は、その他の（ ）に薬剤名を記入してください。

E. 副作用の発現状況	2019 年度		2020 年度	
	Ⅲ期（10～12月）	Ⅳ期（1～3月）	I期（4～6月）	Ⅱ期（7～9月）
0. なし	☐	☐	☐	☐
1. 嘔気	☐	☐	☐	☐
2. 下痢	☐	☐	☐	☐
3. 口内炎	☐	☐	☐	☐
4. 貧血	☐	☐	☐	☐
5. 血尿	☐	☐	☐	☐
6. しびれ	☐	☐	☐	☐
7. 皮疹	☐	☐	☐	☐
8. 頭痛	☐	☐	☐	☐
9. 中枢神経症状（ふらつき、めまい、不眠など）	☐	☐	☐	☐
10. リボジストロフィー	☐	☐	☐	☐
11. 黄疸	☐	☐	☐	☐
その他（ ）	☐	☐	☐	☐

各期ごとに、発現した副作用の□をチェック（√）してください。副作用の発現がない場合は、「0. なし」にチェックしてください。また、それ以外の副作用が発現していた場合は、その他の（ ）に副作用名を記入してください。

2020年-健2

生活状況報告書

(本人記入用)

氏 名		個人番号	- 0
記入者	本人・代筆（続柄）	記入日	年 月 日現在
身 長	cm	体 重	kg

記入要領

1. この報告書は、発症者健康管理手当の受給者が提出時の日常生活の状態を記入し、**医師記入の健康状態報告書とともに8月1日から31日までの間に提出してください。**
2. 現況届（様式第3号）のご提出があれば、本人記入の生活状況報告書と医師記入の健康状態報告書を提出しなかった場合でも発症者健康管理手当は支給されます。しかしながら、治療の長期化に伴う皆様をめぐる生活面での課題を把握し、今後の支援策の検討につなげるために皆様の生活状況の調査をするという本調査の趣旨にかんがみ、ぜひとも回答にご協力くださるようお願いいたします。
3. 記入者欄に、報告書記入者の本人・代筆の別を○で囲んでください。代筆の場合は本人との続柄をカッコ内に記入してください。
4. あなたの日常生活の状態について、問1～問19の回答方法に応じて、最も良く当てはまると思われる状態の数字を○で囲むか、あるいは、あてはまる数字や文字をご記入ください。

- 問1** あなたの現在のお住まいはどこですか。都道府県名をご記入いただき、あてはまる番号1つに○をつけてください。

都・道・府・県

- | | |
|--------|----------------|
| 1. 持ち家 | 4. 病院・診療所に入院中 |
| 2. 賃貸 | 5. 社会福祉施設等に入所中 |
| 3. 社宅等 | 6. その他 |

- 問2** あなたの世帯で、普段一緒にお住まいで、生計を共にしている方（世帯員）は、あなたを含めて何人ですか。（一時的に不在の方を含みます。）

人

2人以上 と答えた方に伺います。

- 問2-1** あなたから見て、同居している方の続柄はどれですか。
あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------|------------|---------|
| 1. 配偶者 | 3. 子ども（成人） | 5. 兄弟姉妹 |
| 2. 子ども（未成年） | 4. 父母 | 6. その他 |

問3 あなたの過去1か月間の仕事の状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 主に仕事をしている | 5. 仕事なし・家事（専業） |
| 2. 主に家事で仕事あり | 6. 仕事なし・就職希望あり |
| 3. 主に通学で仕事あり | 7. 仕事なし・就職希望なし |
| 4. 仕事あり（1～3以外） | |

5～7（仕事なし）と
回答した方
→ 問4へ

※ 収入を伴う仕事を少しでもした方は1～4（仕事あり）、まったく仕事をしなかった方は5～7（仕事なし）の中からお答えください。無給で自家営業の手伝いをした場合や、育児休業や介護休業のため、一時的に仕事を休んでいる場合も1～4（仕事あり）とします。PTA役員やボランティアなど無報酬の活動は5～7（仕事なし）とします。なお、家事には、育児、介護を含めます。

1～4（仕事あり）と回答した方に伺います。

問3-1 あなたの過去1週間に実際に仕事をした
日数、勤務した1日あたりの概ねの時間
数をお答えください。
なお、複数の仕事をした場合は、全ての
合計をお答えください。

1週間に 日
1日あたり 時間

問3-2 現在の主な仕事について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|-------------------|
| 1. 勤め | 2. 自営（会社などの役員を含む） |
|-------|-------------------|
- 問4へ

1. 勤め と答えた方に伺います。

問3-3 あなたの勤め先での呼称についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|------------------|--------|
| 1. 正規の職員・従業員 | 4. 労働者派遣事業所の派遣社員 | 7. その他 |
| 2. パート | 5. 契約社員 | |
| 3. アルバイト | 6. 嘱託 | |

「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づく事業所に雇用され、そこから派遣されている人をいいます。

問4 障害者雇用について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

障害者雇用促進法により企業等の事業主には一定割合以上障害者を雇用する義務が課せられています。ここでいう障害者雇用とは、障害者であることを明らかにして雇用される場合を指します。

問4-1 障害者雇用について

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問4-2 障害者雇用の利用に
ついて

- | |
|--------------------------|
| 1. 障害者雇用として働いている |
| 2. 障害者雇用を検討している |
| 3. 障害者雇用を検討しなかった・検討していない |

問5 障害者向け就労支援サービスについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

ここでいう障害者向けの就労支援サービスとは、障害者就労移行支援や障害者就労継続支援の他、ハローワークや障害者職業センター等で障害者手帳を提示した上で受けられる就労支援全般を指します。

問5-1 障害者向け就労支援サービスについて

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問5-2 障害者向け就労支援サービスの利用について

- | |
|------------------------------|
| 1. サービスを就職時に利用した・現在利用している |
| 2. サービスの利用を検討している |
| 3. 障害者としてサービスを受けるつもりはない・なかった |

問6 あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. よい 2. まあよい 3. ふつう 4. あまりよくない 5. よくない

問7 次の（ア）から（カ）の質問について、過去1か月の間はどのようなようであったか、6つの項目それぞれのあてはまる番号1つに○をつけてください。

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
（ア）神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
（イ）絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
（ウ）そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
（エ）気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
（オ）何をしても骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
（カ）自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問8 あなたはここ数日、病気やけがなどで体の具合の悪いところ（自覚症状）がありますか。

1. ある 2. ない → 問9へ

問8-1 それは、どのような症状ですか。あてはまるすべての症状名の番号に○をつけてください。
その中で最も気になる症状名の番号を番号記入欄に記入してください。

全身症状	1. 熱がある	呼吸器系	15. せきやたんが出る	筋骨格系	29. 肩こり	
	2. 体がだるい		16. 鼻がつまる・ 鼻汁が出る		30. 腰痛	
	3. 眠れない		17. ゼイゼイする		31. 手足の関節が痛む	
	4. いらいらしやすい		18. 胃のもたれ・むねやけ		32. 手足の動きが悪い	
眼	5. もの忘れする	消化器系	19. 下痢	手足	33. 手足のしびれ	
	6. 頭痛		20. 便秘		34. 手足が冷える	
	7. めまい		21. 食欲不振		35. 足のむくみやだるさ	
	8. 目のかすみ		22. 腹痛・胃痛		尿路生殖器系	36. 尿が出にくい・ 排尿時痛い
9. 物を見づらい	23. 痔による痛み・ 出血など	37. 頻尿（尿の出る回数が多い）				
耳	10. 耳なりがする	歯	24. 歯が痛い	損傷		38. 尿失禁（尿がもれる）
	11. きこえにくい		25. 歯ぐきのはれ・出血			39. 月経不順・月経痛
	胸部		12. 動悸		26. かみにくい	40. 骨折・ねんざ・脱きゅう
			13. 息切れ		27. 発疹 （じんま疹・できものなど）	41. 切り傷・やけどなどの けが
14. 前胸部に痛みが ある		28. かゆみ（湿疹・水虫など）	42. その他			
皮膚						

最も気になる症状の番号記入欄 → 番

問9 血友病・HIV関連を除く入院・通院についてお尋ねします。

あなたは**現在、血友病・HIV関連以外の傷病（病気やけが）**で、病院や診療所（医院、歯科医院）、あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）に入院、または通院していますか。
（往診、訪問診療、問8の症状で通っているものを含む）

1. 入院または通院している 2. 入院も通院もしていない 問10へ

問9-1 どのような傷病（病気やけが）で入院、または通院していますか。
あてはまるすべての傷病名の番号に○をつけてください。
その中で最も気になる傷病名の番号を番号記入欄に記入してください。

内分泌・代謝障害 精神・神経	1. 糖尿病	呼吸器系	15. 急性鼻咽頭炎（かぜ）	尿路生殖器官系	32. 腎臓の病気	
	2. 肥満症		16. アレルギー性鼻炎		33. 前立腺肥大症	
	3. 脂質異常症 （高コレステロール血症等）		17. 慢性閉塞性肺疾患 （COPD）		34. 閉経期又は閉経後 障害（更年期障害等）	
	4. 甲状腺の病気		18. 喘息		損傷	35. 骨折
5. うつ病やその他の こころの病気	19. その他の呼吸器系 の病気	36. 骨折以外のけが・ やけど				
循環器系	6. 認知症	消化器系	20. 胃・十二指腸の病気	最も気になる傷病の 番号記入欄	37. 貧血・血液の病気	
	7. パーキンソン病		21. 肝臓・胆のうの病気		38. 悪性新生物（がん）	
	8. その他の神経の病気 （神経痛・麻痺等）		22. その他の消化器系の病気		39. 妊娠・産褥（切迫 流産、前褥胎盤等）	
	9. 眼の病気		23. 歯の病気		40. 不妊症	
	10. 耳の病気	皮膚	24. アトピー性皮膚炎		41. その他	
	11. 高血圧症		25. その他の皮膚の病気		42. 不明	
	12. 脳卒中 （脳出血、脳梗塞等）		筋骨格系		26. 痛風	番
	13. 狭心症・心筋梗塞				27. 関節リウマチ	
14. その他の循環器系の 病気	28. 関節症					
	29. 肩こり症					
			30. 腰痛症			
			31. 骨粗しょう症			

問10 あなたの**現在の生活の状況**はいかがですか。
 まず、次のA～Dの中から、**最も近いものに○をつけてください。**
 次に、右側の2つからより**当てはまる方に○をつけてください。**

A. 障害等を有しない・または、 何らかの障害等を有するが、 日常生活はほぼ自立しており 独力で外出する	Aと 答えた方	1. 交通機関等（自家用車を含む）を 利用して外出する 2. 隣近所へなら外出する
B. 屋内での生活はおおむね自立 しているが、 介助なしには外出しない	Bと 答えた方	3. 介助により外出し、 日中はほとんどベッドから離れて生活する 4. 外出の頻度が少なく、 日中も寝たり起きたりの生活をしている
C. 屋内での生活は何らかの介助を 要し、日中もベッド上での 生活が主体であるが、 座位を保つ	Cと 答えた方	5. 車いすに移乗し、 食事、排泄はベッドから離れて行う 6. 介助により車いすに移乗する
D. 1日中ベッド上で過ごし、 排泄、食事、着替えにおいて 介助を要する	Dと 答えた方	7. 自力で寝返りをうつ 8. 自力では寝返りもうてない

問 1 1 あなたは**現在**、日常生活で悩みやストレスがありますか。

1. ある	2. ない
-------	-------

問 1 2 へ

問 1 1-1 それは、どのような原因ですか。**あてはまるすべての原因の番号に○をつけてください。**

その中で**最も気になる原因の番号**を番号記入欄に記入してください。

- | | |
|----------------------|----------------------------------|
| 1. 家族との人間関係 | 12. 妊娠・出産 |
| 2. 家族以外との人間関係 | 13. 育児 |
| 3. 恋愛・性に関すること | 14. 家事 |
| 4. 結婚 | 15. 自分の学業・受験・進学 |
| 5. 離婚 | 16. 子どもの教育 |
| 6. いじめ、セクシュアル・ハラスメント | 17. 自分の仕事 |
| 7. 生きがいに関すること | 18. 家族の仕事 |
| 8. 自由にできる時間がないこと | 19. 住まいや生活環境
(公害、安全及び交通事情を含む) |
| 9. 収入・家計・借金等 | 20. その他 |
| 10. 自分の病気や介護 | 21. わからない |
| 11. 家族の病気や介護 | |

最も気になる悩みやストレスの番号記入欄 → 番

問 1 1-2 悩みやストレスを、どのように相談していますか。**あてはまるすべての番号に○をつけてください。**

また、最も気になる悩みやストレスについてどのように相談していますか。

あてはまる番号の主なものを2つまで番号記入欄に記入してください。

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1. 家族に相談している | 9. 医療機関の医療ソーシャルワーカーに相談している |
| 2. 友人・知人に相談している | 10. 医療機関の臨床心理士・カウンセラー等に相談している |
| 3. 職場の上司、学校の先生に相談している | 11. テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している |
| 4. 公的な機関（保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等）の相談窓口（電話等での相談を含む）を利用している | 12. 1～11以外で相談している
(職場の相談窓口等) |
| 5. 患者団体の相談窓口（電話等での相談を含む）を利用している | 13. 相談したいが誰にも相談できないでいる |
| 6. 患者団体以外の民間の相談機関（悩み相談所等）の相談窓口（電話等での相談を含む）を利用している | 14. 相談したいがどこで相談したら良いかわからない |
| 7. 医療機関の医師に相談している | 15. 相談する必要はないので誰にも相談していない |
| 8. 医療機関の看護師に相談している | |

最も気になる悩みやストレスの相談状況の番号記入欄 → 番

問 1 2 あなたは障害者手帳を取得していますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1. 身体障害者手帳 2. 療育手帳（愛の手帳、愛護手帳、みどりの手帳） 3. 精神障害者保健福祉手帳 4. 取得していない	等級に○をつけてください。 ア. 1級 エ. 4級 イ. 2級 オ. 5級 ウ. 3級 カ. 6級
	種別に○をつけてください。 ア. 肢体不自由 イ. 免疫機能障害 ウ. その他

4. 取得していない と答えた方に伺います。

問 1 2-1 手帳を取得していない理由はどれですか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1. 障害の種類や程度が手帳の基準に合致しない 2. 手帳の制度や取得の手続きがわからない 3. とくに手帳がなくても困らない 4. 手帳を持ちたくない 5. その他

問 1 3 あなたは障害者総合支援法に基づく障害支援区分の認定を受けていますか※。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 認定を受けている 2. 認定調査は受けたが、非該当だった 3. 認定を受けていない 4. わからない	区分に○をつけてください。 ア. 区分1 エ. 区分4 イ. 区分2 オ. 区分5 ウ. 区分3 カ. 区分6
--	---

※障害者（身体障害者手帳をお持ちの方等）は、市町村への申請により「障害福祉サービス受給者証」が交付され、その区分に応じた障害福祉サービスを受けることができます。

問 1 4 あなたは現在、障害福祉サービスを利用していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している 2. 利用していない	問 1 5 へ
-------------------------	---------

1. 利用している と答えた方に伺います。

問 1 4-1 利用している障害福祉サービスはどれですか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1. 訪問系サービス （居宅介護、重度訪問介護、 行動援護、重度障害者等包括支援） 2. 就労支援系サービス 3. 訓練系サービス 4. その他日中活動サービス	5. 障害者のグループホーム・ケアホーム 6. 入所施設 7. 指定相談支援 8. その他 9. わからない
---	--

問15 あなたは介護保険法に基づく要介護（要支援）認定を受けていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 認定を受けている
2. 認定調査は受けたが、非該当だった
3. 認定は受けていない
4. わからない

区分に○をつけてください。

- ア. 要支援1 ウ. 要介護1 カ. 要介護4
 イ. 要支援2 エ. 要介護2 キ. 要介護5
 オ. 要介護3 ク. わからない

問16 あなたは現在、介護サービスを利用していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している
2. 利用していない

問17へ

1. 利用している と答えた方に伺います。

問16-1 利用している介護サービスはどれですか。
あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1. 訪問系サービス
（訪問介護（ホームヘルプ）、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション等（各種介護予防サービスや介護予防・日常生活支援総合事業による訪問系サービスを含む））
2. 通所系サービス
（通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション等（各種介護予防サービスや介護予防・日常生活支援総合事業による通所系サービスを含む））
3. 短期入所サービス（ショートステイ）
4. 認知症グループホーム
5. 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅
6. 施設入所（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設）
7. その他
8. わからない

問17 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. 普通 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

問18 差し支えなければ、あなたの昨年のおおよその年間収入総額について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

なお、年間収入総額には、就労による賃金等収入（税込み）のほか、公的年金や健康管理手当も含めてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 200万円未満 | 5. 800～1000万円未満 |
| 2. 200～400万円未満 | 6. 1000万円以上 |
| 3. 400～600万円未満 | 7. わからない |
| 4. 600～800万円未満 | |

問18-1 年間収入総額に関し、あなたの公的年金の受給状況を教えてください。

1. 障害基礎年金1級 または 障害厚生年金1級を受給している
2. 障害基礎年金2級 または 障害厚生年金2級を受給している
3. 障害厚生年金3級を受給している
4. その他の公的年金（国民年金、厚生年金）を受給している
5. 公的年金は受給していない
6. わからない

問19 あなたは、現在生活をしている中でどのようなことにお困りですか。また、将来に対してどのような不安をお持ちですか。それに対して、どのような支援を受けたいですか。以下の項目に分けて、自由にお書きください。

あなたの健康、医療、福祉に関すること

日常生活、仕事、収入に関すること

その他のこと

日中の連絡先（報告書の内容等について昼間連絡させていただく場合がございます）

固定電話 TEL 携帯電話 TEL

※転居などにより、住所・電話番号等に変更があった場合には変更届（様式第4号）を速やかに提出くださるようお願いいたします。

質問はこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

[8/8]

